

2024 年度厚生労働省委託事業  
製造請負事業実態把握調査  
報告書

2025 年 3 月

一般社団法人 日本 BPO 協会

## 目次

はじめに 調査実施概要 .....	1
1. 調査の目的・背景 .....	2
2. 調査の内容 .....	2
(1) 調査対象 .....	2
(2) 調査方法 .....	2
(3) 調査期間 .....	3
(4) 調査項目 .....	4
(5) 有効回収数 .....	6
3. 調査結果の主な概要（問題点・課題等）について ※ [ ] 内は参照ページ.....	7
I. 発注者（委託元） .....	14
1. 会社の概要 .....	15
(1) 発注者の概要.....	15
2. 委託業務の概要.....	18
(1) 委託業務の生産品目 .....	18
(2) 委託業務の人数規模 .....	19
3. 委託業務の活用.....	20
(1) 業務委託の目的 .....	20
(2) 委託先選定の重視ポイント.....	21
4. 委託業務の実態.....	22
(1) 委託業務への指示.....	22
(2) 委託先の従業員に直接指示する場合の可否についての従業員への周知 .....	23
(3) 委託業務の現場の状況 .....	24
(4) 委託業務の内容・範囲の明確化の状況 .....	25
(5) 委託業務の内容・範囲の明確化をしない理由 .....	26
(6) 委託料金の見直しの取り決め .....	27
5. 適正な請負 .....	30
(1) 委託業務での機械・設備等の適正な使用状況 .....	30
(2) 偽装請負への不安.....	31
(3) 適正な請負を行うための知識の認知状況.....	32
(4) GJ 認定制度の活用についての考え.....	38
6. 委託業務の外国人就労 .....	39
(1) 委託業務への外国人労働者の配置に対する考え.....	39
(2) 委託業務への外国人労働者の配置に消極的な理由.....	40
7. 委託先との関係.....	41
(1) 委託先とのコミュニケーション（意思疎通）の機会 .....	41
(2) 委託料金の設定・支払い方法 .....	42

(3)	生産性向上の場合の委託料金の見直し状況	43
(4)	委託料金の値上げ申し入れへの対応	44
(5)	値上げに応じる際に重視する理由	45
8.	今後の事業運営	46
(1)	今後のアウトソーシング（外部委託）の方向性	46
(2)	事業継続のための重要課題	47
II.	受託者（請負事業者）	48
1.	会社の概要	49
(1)	受託者の概要	49
2.	請負業務の概要	56
(1)	請負業務の生産品目	56
(2)	請負業務の人数規模	57
3.	請負業務の活用	58
(1)	受注獲得のための請負業務のアピールポイント	58
4.	請負業務の実態	59
(1)	発注者の請負業務への指示	59
(2)	発注者が直接指示する場合の可否についての従業員（請負労働者）への周知	60
(3)	請負業務の現場の状況	61
(4)	請負業務の内容・範囲の明確化の状況	62
(5)	請負業務の内容・範囲の明確化をしない理由	63
(6)	請負料金の見直しの取り決め	64
5.	適正な請負	67
(1)	請負業務での機械・設備等の適正な使用状況	67
(2)	偽装請負への不安	68
(3)	適正な請負を行うための知識の認知状況	69
(4)	GJ 認定制度の取得についての考え	75
6.	雇用状況と人材不足	76
(1)	請負業務の労働力（人材）不足の状況	76
(2)	請負業務の有期雇用者及び外国人労働者の割合	77
(3)	請負業務の有期雇用者の雇用管理上の課題	80
(4)	請負業務の外国人労働者の出身国	81
(5)	請負業務の外国人労働者の在留資格	82
(6)	請負業務の外国人労働者の雇用管理上の課題	83
(7)	外国人労働者の雇用に関する行政への要望	84
(8)	今後の有期雇用者、外国人労働者の雇用の方向性	85
7.	請負労働者の雇用管理	88
(1)	請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組み	88
(2)	請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組課題	94

(3)	今年度の請負労働者の賃上げの実施状況 .....	95
8.	キャリア形成支援.....	96
(1)	請負労働者へのキャリア面談、キャリアパスの提示の実施状況.....	96
(2)	請負労働者のキャリアパス（アップ）についての考え .....	99
9.	発注者との関係.....	100
(1)	発注者とのコミュニケーション（意思疎通）の機会.....	100
(2)	請負料金の設定・請求方法 .....	101
(3)	生産性向上の場合の請負料金の見直し状況.....	102
(4)	請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応.....	103
10.	今後の事業運営.....	104
(1)	今後の請負事業の見通し.....	104
(2)	事業継続のための重要課題 .....	105
III.	請負労働者 .....	106
1.	請負労働者の概要.....	107
(1)	請負労働者の概要 .....	107
2.	請負労働者の業務.....	110
(1)	従事している業務の生産品目 .....	110
(2)	従事している業務 .....	111
3.	請負業務の実態.....	112
(1)	業務についての発注者からの直接指示 .....	112
(2)	従事している業務の現場の状況 .....	113
4.	教育・研修 .....	114
(1)	現在の在籍会社での教育・研修の受講状況.....	114
(2)	教育・研修に対する考え.....	115
5.	キャリア形成支援.....	116
(1)	キャリア面談、キャリアパス提示を受けた経験・頻度 .....	116
(2)	キャリアパス（アップ）に対する考え .....	119
6.	能力評価、処遇.....	120
(1)	評価の仕組みの有無と説明状況、処遇への反映、面談の有無.....	120
(2)	今年度の賃上げの状況 .....	125
7.	働き方について .....	126
(1)	今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望.....	126
8.	GJ認定制度 .....	127
(1)	GJ認定制度の認知状況.....	127
(2)	就業先選定基準としてのGJ認定制度 .....	128
IV.	テーマ別調査結果.....	129
1.	コンプライアンス .....	130
(1)	発注者（委託元） .....	130

【1】委託業務への指示について (Q9) [図表①～⑤]	130
【2】委託業務の現場の状況について (Q11) [図表⑥～⑦]	134
【3】委託業務での機械・設備等の適正な使用状況について (Q15) [図表⑧～⑨]	136
【4】偽装請負への不安について (Q16) [図表⑩～⑬]	137
【5】委託料金の設定・支払い方法について (Q22) [図表⑭～⑮]	139
(2) 受託者 (請負事業者)	140
【1】発注者の請負業務への指示について (Q9) [図表①～⑤]	140
【2】請負業務の現場の状況について (Q11) [図表⑥～⑦]	144
【3】請負業務での機械・設備等の適正な使用状況について (Q15) [図表⑧～⑨]	146
【4】偽装請負への不安について (Q16) [図表⑩～⑬]	147
【5】請負料金の設定・請求方法について (Q33) [図表⑭]	149
(3) 請負労働者	150
【1】業務についての発注者からの直接指示について (Q7) [図表①]	150
(参考) 調査票	152
1. スクリーニング票	153
2. 本調査_発注者票	158
3. 本調査_受託者票	166
4. 本調査_労働者票	177

# はじめに 調査実施概要

## 1. 調査の目的・背景

製造業の請負事業については、いわゆる偽装請負の問題をはじめとする労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（昭和 60 年法律第 88 号。以下「労働者派遣法」という。）等の労働関係法令違反、労働条件や処遇の改善の必要性、これらの職場で働く労働者のキャリアパスが明らかでない等、様々な問題点が指摘されてきました。

このような状況を踏まえ、本調査は請負事業適正化・雇用管理改善の促進のため、請負事業者、発注者及び請負労働者を対象に、業界の実態把握を目的として実施するものです。

## 2. 調査の内容

### (1) 調査対象

#### <スクリーニング>

(株)インテージが保有するビジネスパーソンパネル(旧法人パネル：2024 年 5 月実施)のうち、次の条件に該当するモニター

- ・年齢：20-79 歳
- ・職業：会社員、パート・アルバイト
- ・職種：製造

#### <本調査>

##### ① 発注者（委託元）

スクリーニング結果より、次の条件にあてはまる業務の発注（委託）をしている会社員

- ・職業・役職：主任クラス以上
- ・業務内容：製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）に関する業務発注（委託）をしていて、自社の工場等で行っている

##### ② 受託者（請負事業者）

スクリーニング結果より、次の条件にあてはまる業務を受託（請負）している会社員

- ・職業・役職：主任クラス以上
- ・業務内容：製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）に関する業務受託（請負）をしていて、発注（委託）元の工場等で行っている

##### ③ 請負労働者

スクリーニング結果より、次の条件にあてはまる業務に従事している会社員、パート・アルバイト

- ・職業・役職：一般社員と非正規社員
- ・業務内容：製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）に関する業務受託（請負）をしていて、発注（委託）元の工場等で行っている

### (2) 調査方法

①発注者（委託元）および②受託者（請負事業者）および③請負労働者ともに、インターネット調査（スクリーニング、本調査）

(3) 調査期間

スクリーニング調査:2024年8月21日(水)－9月3日(火)

本調査 :2024年9月5日(木)－9月9日(月)

#### (4) 調査項目

##### スクリーニング

設問	項目名
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	職業【共通】
Q4	役職【共通】
Q5	従業員数【共通】
Q6	業種【共通】
Q7	発注（委託）・受託（請負）の有無【共通】
Q8	発注（委託）の業務内容【共通】
Q9	発注（委託）の事業所内（構内）実施の有無【製造】
Q10	受託（請負）業務の内容【共通】
Q11	受託（請負）の発注者事業所内（構内）実施の有無【製造】
Q12	委託業務の内容【物流】
Q13	委託業務の場所【物流】
Q14	請負業務の内容【物流】
Q15	請負業務の場所【物流】

##### 発注者（委託元）本調査

設問	項目名
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	会社の年間売上高
Q4	会社の人数規模
Q5	委託業務の生産品目
Q6	委託業務の人数規模
Q7	業務委託の目的
Q8	委託先選定の重視ポイント
Q9	委託業務への指示
Q10	委託先の従業員に直接指示する場合の可否についての従業員への周知
Q11	委託業務の現場の状況
Q12	委託業務の内容・範囲の明確化の状況
Q13	委託業務の内容・範囲の明確化をしない理由
Q14	委託料金の見直しの取り決め
Q15	委託業務での機械・設備等の適正な使用状況
Q16	偽装請負への不安
Q17	適正な請負を行うための知識の認知状況
Q18	GJ 認定制度の活用についての考え
Q19	委託業務への外国人労働者の配置に対する考え
Q20	委託業務への外国人労働者の配置に消極的な理由
Q21	委託先とのコミュニケーション（意思疎通）の機会
Q22	委託料金の設定・支払い方法
Q23	生産性向上の場合の委託料金の見直し状況
Q24	委託料金の値上げ申し入れへの対応
Q25	値上げに応じる際に重視する理由
Q26	今後のアウトソーシング（外部委託）の方向性
Q27	事業継続のための重要課題

受託者（請負事業者）本調査

設問	項目名
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	会社の年間売上高
Q4	会社の事業別の売上高比率
Q5	会社の人数規模
Q6	請負業務の生産品目
Q7	請負業務の人数規模
Q8	受注獲得のための請負業務のアピールポイント
Q9	発注者の請負業務への指示
Q10	発注者が直接指示する場合の可否についての従業員（請負労働者）への周知
Q11	請負業務の現場の状況
Q12	請負業務の内容・範囲の明確化の状況
Q13	請負業務の内容・範囲の明確化をしない理由
Q14	請負料金の見直しの取り決め
Q15	請負業務での機械・設備等の適正な使用状況
Q16	偽装請負への不安
Q17	適正な請負を行うための知識の認知状況
Q18	GJ 認定制度の取得についての考え
Q19	請負業務の労働力（人材）不足の状況
Q20	請負業務の有期雇用者、外国人労働者の割合
Q21	請負業務の有期雇用者の雇用管理上の課題
Q22	請負業務の外国人労働者の出身国
Q23	請負業務の外国人労働者の在留資格
Q24	請負業務の外国人労働者の雇用管理上の課題
Q25	外国人労働者の雇用に関する行政への要望
Q26	今後の有期雇用者、外国人労働者の雇用の方向性
Q27	請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組み
Q28	請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組課題
Q29	今年度の請負労働者の賃上げの実施状況
Q30	請負労働者へのキャリア面談、キャリアパスの提示の実施状況
Q31	請負労働者のキャリアパス（アップ）についての考え
Q32	発注者とのコミュニケーション（意思疎通）の機会
Q33	請負料金の設定・請求方法
Q34	生産性向上の場合の請負料金の見直し状況
Q35	請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応
Q36	今後の請負事業の見通し
Q37	事業継続のための重要課題

請負労働者 本調査

設問	項目名
Q1	性別
Q2	年齢
Q3	現在の雇用形態
Q4	現在の会社での勤続年数
Q5	従事している業務の生産品目
Q6	従事している業務
Q7	業務についての発注者からの直接指示
Q8	従事している業務の現場の状況
Q9	現在の在籍会社での教育・研修の受講状況
Q10	教育・研修に対する考え
Q11	キャリア面談、キャリアパス提示を受けた経験・頻度
Q12	キャリアパス（アップ）に対する考え
Q13	評価の仕組みの有無と説明状況、処遇への反映、面談の有無
Q14	今年度の賃上げの状況
Q15	今後（1～2年）の仕事や働き方に関する希望
Q16	GJ 認定制度の認知状況
Q17	就業先選定基準としての GJ 認定制度

(5) 有効回収数

スクリーニング有効回収数 : 105,733s

本調査有効回収数 : 製造発注者（委託元） 326s 製造受託者（請負事業者） 323s  
製造請負労働者 437s

### 3. 調査結果の主な概要(問題点・課題等)について ※[ ]内は参照ページ

#### 【1】 調査結果(単純集計) [調査対象:発注者・受託者・請負労働者]

##### 1. 発注者から受託者(請負事業者)への直接指示

発注者から受託者の従業員(請負労働者)へ直接指示を行っている割合は、発注者 18.1%、受託者 16.1%と、約 2 割。請負労働者では 58.4%、約 6 割となっている。

また、発注者が直接指示する場合の可否(直接指示が適正な場合と不適正な場合)についての従業員への周知を行っている割合は、発注者 67.8%、約 7 割に、受託者 63.2%、約 6 割に、とどまっている。

[ P : 22、23、59、60、112 ]

##### 2. 請負現場における発注者と受託者(請負事業者)の混在状況

発注者が委託(請負)現場の中で受託者と一緒に業務を行っている割合は、発注者 28.2%、受託者 34.4%、双方、3 割前後の高い値となっている。請負労働者では 12.4%、約 1 割となっている。

[ P : 24、61 ]

##### 3. 請負業務の内容・範囲の明確化(契約書等へ具体的に記載)

請負業務の内容・範囲が明確で契約書等に具体的に記載されている割合は、発注者 63.5%、受託者 62.8%と、約 6 割にとどまっている。一方、契約書等に具体的に記載されていない割合は、発注者 23.0%、受託者 24.8%と、双方、2 割を大きく超えている。

その理由のとしては、柔軟な対応ができ、やりやすいが、発注者 36.0%、受託者 51.3%。契約時点では具体的な内容まで詰めていないが、発注者 36.0%、受託者 25.0%となっている。 [ P : 25、26、62、63 ]

##### 4. 請負料金の見直しの取り決めや対応

請負料金の見直しが必要になった場合、契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う割合は、発注者 37.4%、受託者 36.8%と、双方、4 割にもとどかない。イレギュラー的に費用が発生した場合の見直しの割合は、発注者 32.2%、受託者 24.8%と、さらに低い値となっている。 [ P : 27、64 ]

##### 5. 機械・設備等の使用における国が定める基準への対応

すべて基準どおりに行っている割合は、発注者 41.1%、受託者 36.5%と、双方、4 割前後にとどまっている。概ね行っている割合を含めても、発注者 77.6%、受託者 79.3%と、約 8 割程度となっている。

[ P : 30、67 ]

##### 6. 偽装請負への不安

偽装請負への不安については、(不安が)ある、多少あるを合わせた、不安がある割合は、発注者 32.5%、受託者 26.9%と、双方、3 割程度が、不安があるとなっている。 [ P : 31、68 ]

##### 7. 適正な請負を行うための知識の認知状況

●名前も内容も知っている割合は、それぞれ次のとおり。約 2 割から 4 割程度と、低い値となっている。

受託者は発注者より、どの項目においても、認知度が低く、また、GJ 認定制度については、発注者、受託者とも認知度が最も低く、請負労働者に至っては 1 割にとどかない極めて低い値となっている。

- ・告示第 3 7 号 : 発注者 43.9% 受託者 33.7%
- ・請負ガイドライン : 発注者 44.2% 受託者 33.7%
- ・労働契約申し込みみなし制度 : 発注者 35.0% 受託者 26.9%
- ・パートナーシップ構築宣言 : 発注者 32.5% 受託者 23.5%
- ・GJ 認定制度 : 発注者 32.2% 受託者 21.1% 請負労働者 6.4%

●内容を知らない割合は、それぞれ次のとおり。発注者、受託者においては、約6割から8割の高い値となっている。受託者は発注者より、どの項目においても高く、GJ認定制度については、発注者、受託者とも、最も高い値となっている。また、請負労働者においては、9割を超える極めて高い値となっている。

- ・告示第37号 :発注者 56.1% 受託者 66.3%
- ・請負ガイドライン :発注者 55.8% 受託者 66.2%
- ・労働契約申し込みみなし制度 :発注者 65.0% 受託者 73.1%
- ・パートナーシップ構築宣言 :発注者 67.5% 受託者 76.5%
- ・GJ認定制度 :発注者 67.8% 受託者 78.9% 請負労働者 93.6%

[ P : 32、69、127 ]

## 8. GJ認定制度の活用（取得）についての考え

発注者では、すでに委託先選定のポイント（判断）の1つにしている、ポイントとして検討したいを合わせた、委託先選定の基準とすることに前向きな割合は42.6%、約4割。委託先に紹介したい割合を合わせると49.7%、約5割に及ぶ。

受託者においては、すでにGJ認定を取得している、取得を検討または予定している、興味がある・検討してみたいを合わせた、GJ認定の取得に前向きな割合は35.6%と、3割を大きく超えている。

一方、請負労働者においては、受託者のGJ認定制度を取得が就業先選定基準の判断基準（目安）の1つになるかについて、すでに判断基準の1つにしている、判断基準の1つになるを合わせた、判断基準になる割合は38.7%、約4割に上る。

[ P : 38、75、128 ]

## 9. 発注者と受託者とのコミュニケーション（意思疎通）の機会

定期的に設けている割合は、発注者では37.4%、4割にとどかず、受託者においては26.6%と、3割に届かない、双方、低い値となっている。

[ P : 41、100 ]

## 10. 料金の設定・支払い（請求）方法

発注者では、時間単価ベースに掛かった工数（人数×時間）の設定・支払いの割合が23.0%、2割を大きく超え、受託者においては、33.4%と、3割を大きく超え、双方、高い値となっている。

[ P : 42、101 ]

### 11. 生産性向上の場合の料金の見直し状況

発注者では、委託料金を変えない、変えないことが多いを合わせた、変えない割合が63.8%と、6割にとどまり、減らす、減らすことが多いを合わせた、減らす割合は10.1%、1割となっている。

受託者においては、請負料金が変わらない、変わらないことが多いを合わせた、変わらない割合が58.5%、約6割にとどまり、減る、減ることが多いを合わせた、減る割合は14.9%と、1割を大きく超えている。

[ P : 43、102 ]

### 12. 料金値上げ申し入れに対する発注者の対応

受託者からの値上げ申し入れに対して、発注者では、協議応じ値上げを行うことがある割合が55.8%にとどまり、協議に応じるが値上げの可能性が低い、協議に応じるか分からない、協議に応じない可能性が高い、協議に応じない（値上げしない）を合わせた、値上げをしないの割合は、26.7%、約3割となっている。

受託者においては、発注者が協議に応じ、申し入れ額またはある程度認めてもらった割合が36.8%、4割にとどかず、協議に応じてもらえたが値上げには至らなかった、協議に応じてもらえなかった、値上げを申し入れたことはないを合わせた、値上げなしの割合は38.1%と、4割近い値となっている。

[ P : 44、103 ]

### 13. 請負業務の労働力（人材）不足の状況

受託者の請負業務の労働力（人材）不足の状況は、採用ができず業務に支障が出ている又はその可能性がある、業務遂行が困難、継続が難しい、請負事業の経営に影響・事業全体の継続が困難を合わせた、支障が出ている割合は、22.9%、2割を超えている。

採用ができており特に問題となっていない割合は 17.0%、十分な採用ができず、なんとかやりくりしている割合は、42.1%となっている。 [ P : 76 ]

#### 1 4 . 有期雇用者の雇用と管理上の課題・方向性

- (1) 受託者の請負業務における有期雇用者の占めるおよその割合は 52.3%、約 5 割。有期雇用者がいない割合は 28.5%、約 3 割となっている。 [ P : 77 ]
- (2) 受託者の有期雇用者の雇用管理上の課題の上位 5 つは、求人を行っても応募がない 40.6%、採用してもすぐに辞める・定着しない 35.3%、キャリアアップを望まない（責任の重くない仕事を望む） 20.7%、採用コストの増加が事業経営の負担 17.6%、業務の範囲・就業場所（転勤）に融通がきかない 14.2%となっている。 [ P : 80 ]
- (3) 受託者の今後の有期雇用者の雇用の方向性は、増やしていく、状況をみて増やしていくを合わせた、増やしていく割合は 28.5%、約 3 割となっている。 [ P : 85 ]

#### 1 5 . 外国人労働者の雇用と雇用管理上の課題・行政への要望・方向性

- (1) 受託者の請負業務における外国人労働者の占めるおよその割合は 34.7%、3 割を大きく超えている。外国人労働者がいない割合は 51.4%、約 5 割となっている。 [ P : 77 ]
- (2) 発注者の委託（請負）業務に外国人労働者を配置（就労）について、発注者が配置しても良いとする割合は 49.7%と、5 割程度。できれば配置してほしくない、配置してもらいたくないを合わせた、配置してもらいたくない割合は 24.8%と、2 割を大きく超えている。  
配置してもらいたくない理由は、コミュニケーションが取りづらい 53.1%、工場・構内の環境が整っていない 37.0%、作業習熟度・作業品質に不安を感じる 30.9%、工場・構内で外国人労働者は受け入れていない 27.2%、トラブルの発生やその場の対応が難しいと思われる 24.7%と続く。 [ P : 39、40 ]
- (3) 請負業務で雇用している外国人労働者の出身国の上位 6 つは、ベトナム 42.9%、中国 31.3%、フィリピン 25.9%、インドネシア 17.9%、ブラジル 14.3%、ネパール 13.4%と、ブラジルを除きアジア諸国が高い割合となっている。  
在留資格は、技能実習 44.6%、特定技能 33.0%、身分に基づく在留資格 33.0%、技術・人文知識・国際業務は 7.1%となっている。 [ P : 81、82 ]
- (4) 受託者の外国人労働者の雇用管理上の課題の上位 5 つは、コミュニケーションが取りづらい 28.5%、能力等が実証されないまま採用されることが不安 24.1%、在留資格・外国人労働者受け入れの仕組みが分かりづらい 20.4%、生活環境・労働環境を整えるのが難しい 18.3%、外国人労働者を管理できるリーダーがいない、または不足 18.0%となっている。これに、登録・申請等の手続きが煩雑すぎる・手間がかかる 15.8%と続く。前述の発注者が外国人労働者を配置してもらいたくない理由と複数の項目が符合する。 [ P : 83 ]
- (5) 受託者の外国人労働者に関する行政への要望の上位 5 つは、在留資格・受け入れの手続きの簡素化 19.8%、在留期間の延長・緩和 18.3%、受け入れコストの支援 18.0%、日本語教育のコストの支援 18.0%、生活支援策の推進 17.0%と続く。 [ P : 84 ]
- (6) 受託者の今後の外国人労働者の雇用の方向性は、増やしていく、状況をみて増やしていくを合わせた、増やしていく方向性の割合は 21.1%、2 割を超えている。 [ P : 85 ]

#### 1 6 . 請負労働者の処遇改善・スキルアップへの取組み

- (1) 受託者の請負労働者の人材育成（教育訓練）の実施については、行っている、概ね行っているを合わせた、行っている割合が 63.5%、6 割程度にとどまる。行っていないとする割合は 23.8%と、2 割を大きく超えている。  
一方、請負労働者の在籍会社で受けた教育・研修の上位 5 つは、安全衛生研修 56.5%、入社時研修

52.2%、技能（スキル）アップ研修 39.1%、現場に役立つ研修 30.2%、ものづくりの基本的な知識習得の研修 24.9%と続く。必須の安全衛生研修をはじめ、いずれも低い割合となっている。

[ P : 88、114 ]

- (2) 受託者の請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組課題の上位5つは、日常業務の中から教育・訓練の時間がとれない 34.1%、離職してしまうので無駄になる（長期育成が難しい） 22.9%、請負労働者が教育・訓練に積極的でない 22.6%、処遇改善を行いたいと請負料金がアップしない 21.1%、リーダー・管理職を希望する者が少ない 20.4%と続く。

[ P : 94 ]

一方、請負労働者の教育・研修に対する考えは、知識・技能を高めたい 40.3%、就業時間内に実施してほしい 24.9%、受けて賃金を上げたい 24.7%、あまり考えたことがない 22.7%、受けたい研修がない 9.4%、受ける必要はない・受けたくない 8.2%、自分自身で自主的に研修を行う 5.9%と続く。

あまり考えたことがない以降の受託者の教育・研修に消極的な割合は、46.2%に上る。

[ P : 115 ]

- (3) 受託者の請負労働者への必要な職務知識、資格等の明示については、行っている、概ね行っているを合わせた、行っている割合は 62.8%、6割程度にとどまる。あまり行っていない、行っていないを合わせた、行っていない割合は 25.1%と、2割を大きく超えている。

[ P : 88 ]

- (4) 受託者の請負労働者への業務や能力評価の賃金への反映については、行っている、概ね行っているを合わせた、行っている割合は、50.5%、5割にとどまる。あまり行っていない、行っていないを合わせた、行っていない割合は 33.7%と、3割を大きく超えている。

一方、請負労働者では、能力や仕事上の貢献を評価する仕組みがある割合は 43.0%、ない割合は 35.5%。能力や仕事上の貢献の処遇への反映については、反映があるとするとする割合は 41.9%、ない割合が 40.0%。いずれも 4割前後となっている。

[ P : 88、120 ]

- (5) 受託者の今年度の賃上げ（率）の実施状況は、賃上げた割合は 57.6%。賃上げを行わなかった 13.9%、1割を大きく超えている。また、賃下げした割合は 1.9%となっている。

請負労働者においては、賃金が上がった割合は 57.0%。賃金が上がらなかった 28.4%、約3割の高い値となっている。また、賃金が下がった割合は 4.8%となっている。

[ P : 95、125 ]

#### 1 7. キャリアパス（アップ）の取組みと今後の働き方に関する希望

- (1) 受託者の請負労働者へのキャリア面談の実施状況は、行っている、概ね行っているを合わせた、行っている割合は 39.3%、約4割と低い。キャリアパスの提示も 32.8%と、3割程度にとどまっている。

また、請負労働者に対するキャリアパス（アップ）についての考えは、積極的に取組んで行きたい、必要に応じ取組んで行きたいを合わせた、取組んで行きたい割合は 53.9%、5割程度と低い。

[ P : 96、99 ]

- (2) 請負労働者のキャリア面談を受けた経験・頻度は、定期的にある、たまにあるを合わせた、受けたことがある割合が 52.9%、約5割。キャリアパスを示された経験・頻度では、定期的にある、たまにあるを合わせた、示されたことがある割合は、44.4%、4割程度となっている。

[ P : 116 ]

- (3) 請負労働者のキャリアパス(アップ)に対する考えは、積極的に取組んで行きたい、機会があれば取組んでいきたいを合わせた、取組んで行きたい割合は 50.3%、5割。取組んで行こうと思わない、負担に感じる、特に何も考えていないを合わせた、取組みに消極的な割合は 41.5%、4割を超えている。

[ P : 119 ]

- (4) 請負労働者の今後1～2年の仕事や働き方に関する希望では、作業員として、リーダー・管理職として、あるいはデータ・情報処理などのより専門的な仕事など、職種の違いはあるが、現在在籍する会社の製造業務、製造関連業務で働きたいとする割合が 53.1%、5割を超えている。

[ P : 126 ]

#### 1 8. 今後のアウトソーシング（外部委託）の方向性

発注者では、外部委託に重点を置く 23.6%、自社化に重点を置く 20.2%、外部委託と派遣活用に重点

を置く 16.0%、派遣活用に重点を置く 7.1%、どちらとも言えない 16.6%となっている。

一方、受託者の今後の事業の見通しは、拡大する、多少拡大するを合わせた、拡大する割合は 24.5%、縮小する、多少縮小するを合わせた、縮小する割合は、12.4%となっている。 [ P : 46、104 ]

#### 1 9. 事業を継続のための重要課題

発注者の重要課題の上位 5 つは、生産性・品質の維持、向上 69.0%、コスト上昇への対応と利益確保 53.4%、人材確保・定着 42.3%、生産量の変動対応・納期厳守 38.0%、コンプライアンスの徹底 34.7%となっている。

一方、受託者の重要課題の上位 5 つは、生産性・品質の維持、向上 52.6%、人材確保・定着 46.1%、コスト上昇への対応と利益確保 43.0%、コンプライアンスの徹底 32.5%、生産量の変動対応・納期厳守 26.3%となっている。

各項目に割合、順位の違いはあるものの、発注者、受託者の双方、符号したものになっている。

[ P : 47、105 ]

## 【2】テーマ別調査結果(クロス集計) [調査対象:発注者・受託者・請負労働者]

### ■ テーマ : コンプライアンス

#### 1. 発注者から受託者の従業員（請負労働者）への直接指示

(1) 発注者が請負労働者に直接指示する場合の可否（直接指示が適正な場合と不適正な場合）の従業員への周知、請負業務の現場状況、請負業務の内容・範囲の明確化の状況

発注者、受託者、双方とも、発注者が受託者の従業員に直接指示する場合の可否について従業員に周知している、請負現場で請負労働者だけで業務を行っている、請負業務の内容・範囲が明確で契約書等に具体的に記載している等の場合が、それぞれ、受託者の責任者に指示を行っている割合が最も高い。また、発注者、受託者、請負労働者とも、発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っている場合は、受託者が請負労働者に直接指示を行っている割合が最も高くなっている。

また、受託者においては、発注者が受託者の従業員に直接指示する場合の可否について知らない、請負業務の内容・範囲について詳細に定めず契約書等に具体的には記載していない等の場合が、発注者が受託者の請負労働者に直接指示を行っている割合が最も高くなっている。

[ P : 130、131、140、141、150 ]

(2) 適正な請負を行うための知識の認知状況

発注者、受託者、双方とも、適正な請負を行うための知識（37号告示、請負ガイドライン、労働契約申し込みみなし制度、GJ認定制度）の名前も内容も知っている場合が、発注者が受託者の責任者に指示を行っている割合が最も高くなっている。 [ P : 132、142 ]

(3) 発注者と受託者とのコミュニケーション（意思疎通）の機会

発注者、受託者、双方とも、発注者と受託者とのコミュニケーションの機会を定期的に設けている場合が、発注者が受託者の責任者に指示を行っている割合が最も高くなっている。 [ P : 133、143 ]

#### 2. 請負業務の現場の状況（発注者の混在）

(1) 請負業務の内容・範囲の明確化の状況

発注者、受託者、双方とも、請負業務の内容・範囲が明確で契約書等に具体的に記載している場合が、請負現場で請負労働者だけで業務を行っている割合が最も高い。 [ P : 134、144 ]

## (2) 適正な請負を行うための知識の認知状況

発注者では、適正な請負を行うための知識（37号告示、請負ガイドライン、GJ認定制度）の名前も内容も知っている場合が、請負現場で請負労働者だけで業務を行っている割合が最も高い。

受託者においては、適正な請負を行うための知識の違いによって異なる結果となっているが、名前も内容も知っている場合が、総じて、請負現場で請負労働者だけで業務を行っている割合が高くなっている。

[ P : 135、145 ]

## 3. 機械・設備等の適正な使用状況

### (1) 請負現場の状況、請負業務の内容・範囲の明確化の状況

発注者、受託者、双方とも、請負現場で請負労働者だけで業務を行っている、請負業務の内容・範囲が明確で契約書等に具体的に記載している等の場合が、国が定める機械・設備等の適正な使用の基準に対して、すべて基準どおりに行っている割合が最も高い。

[ P : 136、146 ]

## 4. 偽装請負への不安

### (1) 発注者が請負労働者に直接指示する場合の可否（直接指示が適正な場合と不適正な場合）の従業員への周知、請負業務の内容・範囲の明確化の状況

発注者では、発注者が請負労働者に直接指示する場合の可否について従業員へ周知している、請負業務の内容・範囲が明確で契約書等に具体的に記載している等の場合、不安がある割合が最も高い。一方、受託者においては、発注者が請負労働者に直接指示する場合の可否について従業員へ周知している、請負業務の内容・範囲が明確で契約書等に具体的に記載している等の場合、不安がない割合が、最も高くなっている。

[ P : 137、138、147、148 ]

### (2) 請負業務の現場の状況、料金の設定・支払い（請求）方法

発注者、受託者、双方とも、発注者が請負現場の中で一緒に業務を行っている、料金の設定・支払い（請求）方法が時間単価をベースに掛かった工数（人数×時間）を乗じて料金の支払い（請求）を行っている等の場合が、（不安が）ある、多少あるを合わせた、不安がある割合が最も高く、また、請負現場で請負労働者だけで業務を行っている場合は、不安がない割合が最も高くなっている。

料金の設定・支払い（請求）については、発注者では、料金設定の取り決めがなく、都度、受託者と協議・決定し、支払っている場合が、（不安が）ある、多少あるを合わせた、不安がある割合が最も低い。

受託者においては、請負単価をベースに出来高で請負料金を請求している場合が、（不安が）ある、多少あるを合わせた、不安がある割合が最も低くなっている。

[ P : 137、138、147、148 ]

## 5. 料金の設定、支払い（請求）方法

### (1) 請負業務の内容・範囲の明確化の状況

発注者、受託者、双方とも、請負業務の内容・範囲が明確で、契約書等に具体的に記載している場合が、請負単価をベースに出来高に応じて、料金の支払い（請求）を行っている割合が最も高い。

[ P : 139、149 ]

### (2) 適正な請負を行うための知識の認知状況（パートナーシップ構築宣言）

発注者において、パートナーシップ構築宣言の名前も内容も知っている場合が、請負単価をベースに出来高に応じて支払いを行っている割合が最も高い。

[ P : 139 ]

#### \*調査結果(数値)の見方

- 報告書中の問番号および設問は、調査票の問番号および設問をそのまま示している。また、本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、語句を簡略化している場合がある（詳細は、調査票参照）。
- 調査結果の数値は回答率（％）で示している。％の母数は、その質問の回答数または属性別の TOTAL 数で、「n=」で表している。
- 割合は小数点第 2 位で四捨五入し、小数点第 1 位まで示している。よって、「○は 1 つだけ」などの質問であっても、端数が影響し、回答率の合計値が 100.0%にならない場合がある。
- 複数回答（「○は 3 つまで」を含む）の設問では、回答率（％）は回答数「n=」に占める割合となっている。したがって、回答割合を全て合計しても 100.0%にならない場合がある。
- 属性の回答者数では、傾向を分析する上で十分とは言えない 30 人未満の結果も含まれるが、参考値として掲載している。
- テーマ別調査結果で「その他」のサンプル数が少ないものについては、「分からない」や「特にない」と「その他」を合計して表示している場合もある。

## I. 発注者(委託元)

# 1. 会社の概要

## (1) 発注者の概要

【設問文】 Q1 あなたの性別をお答えください。 / Q2 あなたの年齢をお答えください。

- 回答者の性別、年齢は次のとおり。

図表 I-1-1①. 回答者の性別 (Q1)



図表 I-1-1②. 回答者の年齢 (Q2)



【設問文】 Q3 あなたの会社の年間のおよその売上高について、お答えください。

- 回答者の会社の年間売上高は、「1,000 億円以上」が最も高く、23.0%。「10 億円未満」22.4%、「100～500 億円未満」16.9%が続く。

図表 I-1-1③. 回答者の会社の年間売上高 (Q3)

		n=	10億円未満	10～50億円未満	50～100億円未満	100～500億円未満	500～1,000億円未満	1,000億円以上	分からない	(%)
TOTAL		326	22.4	14.4	7.4	16.9	7.4	23.0	8.6	
										(%)
	TOTAL	n= 326	22.4	14.4	7.4	16.9	7.4	23.0	8.6	
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	66.7	19.6	1.0	1.0	0.0	0.0	11.8	
	100～500人未満	83	3.6	26.5	26.5	32.5	3.6	0.0	7.2	
	500人以上	139	1.4	3.6	0.7	19.4	15.1	54.0	5.8	
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	6.9	6.9	6.9	20.7	3.4	51.7	3.4	
	電気・情報通信機械器具・部品	57	26.3	10.5	5.3	15.8	14.0	22.8	5.3	
	輸送用機械器具・部品	30	13.3	6.7	13.3	16.7	13.3	30.0	6.7	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	29.4	23.5	3.9	15.7	3.9	11.8	11.8	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	18.8	15.6	21.9	12.5	9.4	21.9	0.0	
	食料品・飲料品	27	18.5	25.9	0.0	18.5	7.4	18.5	11.1	
	衣料品・日用品・消耗品	14	28.6	14.3	0.0	14.3	7.1	28.6	7.1	
その他	86	25.6	12.8	7.0	18.6	3.5	18.6	14.0		
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	45.8	24.0	5.2	8.3	2.1	6.3	8.3	
	30～100人未満	70	24.3	11.4	12.9	25.7	5.7	15.7	4.3	
	100～500人未満	46	4.3	19.6	10.9	23.9	15.2	21.7	4.3	
	500人以上	46	0.0	2.2	0.0	15.2	13.0	69.6	0.0	
	分からない	68	14.7	8.8	7.4	16.2	7.4	23.5	22.1	

【設問文】 Q4 あなたの会社の従業員のおよその人数について、お答えください。

- 回答者の会社の人数規模は、「3,000人以上」が最も高く、23.3%。「10～50人未満」「100～300人未満」15.3%が続く。

図表 I-1-1④. 回答者の会社の人数規模 (Q4)



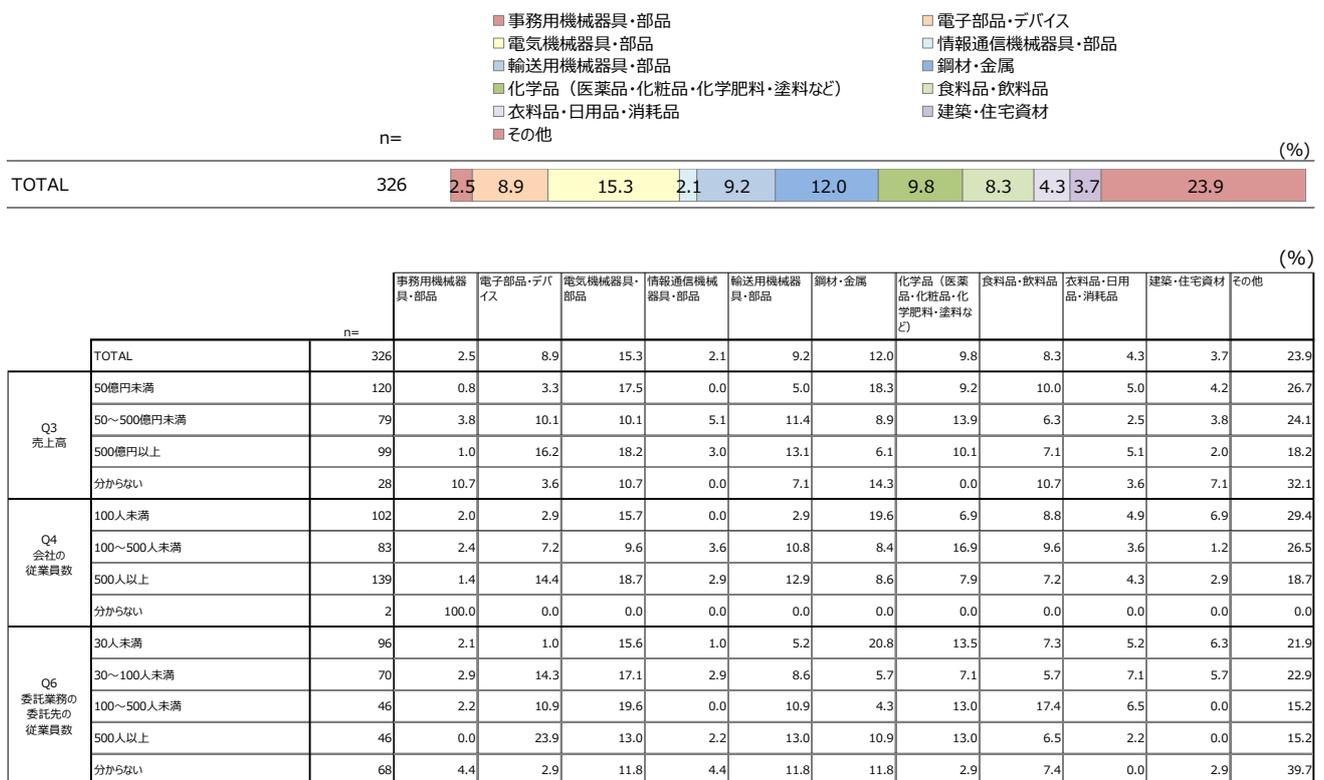
## 2. 委託業務の概要

### (1) 委託業務の生産品目

【設問文】 Q5 委託業務の生産品目について、最もあてはまるものを選んでください。

- 委託業務の生産品目では、「電気機械器具・部品」が最も高く、15.3%。「鋼材・金属」12.0%、「化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）」9.8%が続く。

図表 I-2-1. 委託業務の生産品目（Q5）



## (2) 委託業務の人数規模

【設問文】 Q6 委託業務には、委託先の従業員がおよそ何人くらい従事していますか。

- 委託業務の人数規模では、「3～10人未満」が最も高く、14.4%、「10～30人未満」11.3%、「50～100人未満」11.0%が続く。

図表 I-2-2. 委託業務の人数規模 (Q6)



	n=	人数規模 (%)										
		3人未満	3～10人未満	10～30人未満	30～50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1,000人未満	1,000人以上	分からない	
TOTAL	326	3.7	14.4	11.3	10.4	11.0	10.4	3.7	4.0	10.1	20.9	
Q3 売上高	50億円未満	120	7.5	28.3	20.0	10.8	10.0	8.3	0.8	0.8	0.0	13.3
	50～500億円未満	79	2.5	3.8	10.1	19.0	15.2	12.7	7.6	6.3	2.5	20.3
	500億円以上	99	0.0	5.1	3.0	5.1	10.1	13.1	4.0	7.1	31.3	21.2
	分からない	28	3.6	17.9	7.1	3.6	7.1	3.6	3.6	0.0	0.0	53.6
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	8.8	33.3	16.7	11.8	7.8	3.9	1.0	1.0	0.0	15.7
	100～500人未満	83	2.4	9.6	15.7	15.7	14.5	12.0	4.8	2.4	1.2	21.7
	500人以上	139	0.7	3.6	5.0	6.5	11.5	14.4	5.0	7.2	23.0	23.0
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	0.0	3.4	0.0	24.1	10.3	10.3	6.9	13.8	24.1	6.9
	電気・情報通信機械器具・部品	57	1.8	10.5	15.8	7.0	17.5	12.3	3.5	1.8	10.5	19.3
	輸送用機械器具・部品	30	3.3	6.7	6.7	10.0	10.0	10.0	6.7	6.7	13.3	26.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	3.9	31.4	15.7	7.8	7.8	3.9	0.0	3.9	5.9	19.6
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	32	3.1	25.0	12.5	12.5	3.1	15.6	3.1	0.0	18.8	6.3
	食料品・飲料品	27	7.4	7.4	11.1	0.0	14.8	22.2	7.4	7.4	3.7	18.5
	衣料品・日用品・消耗品	14	0.0	14.3	21.4	28.6	7.1	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0
	その他	86	5.8	11.6	9.3	9.3	11.6	8.1	1.2	1.2	7.0	34.9

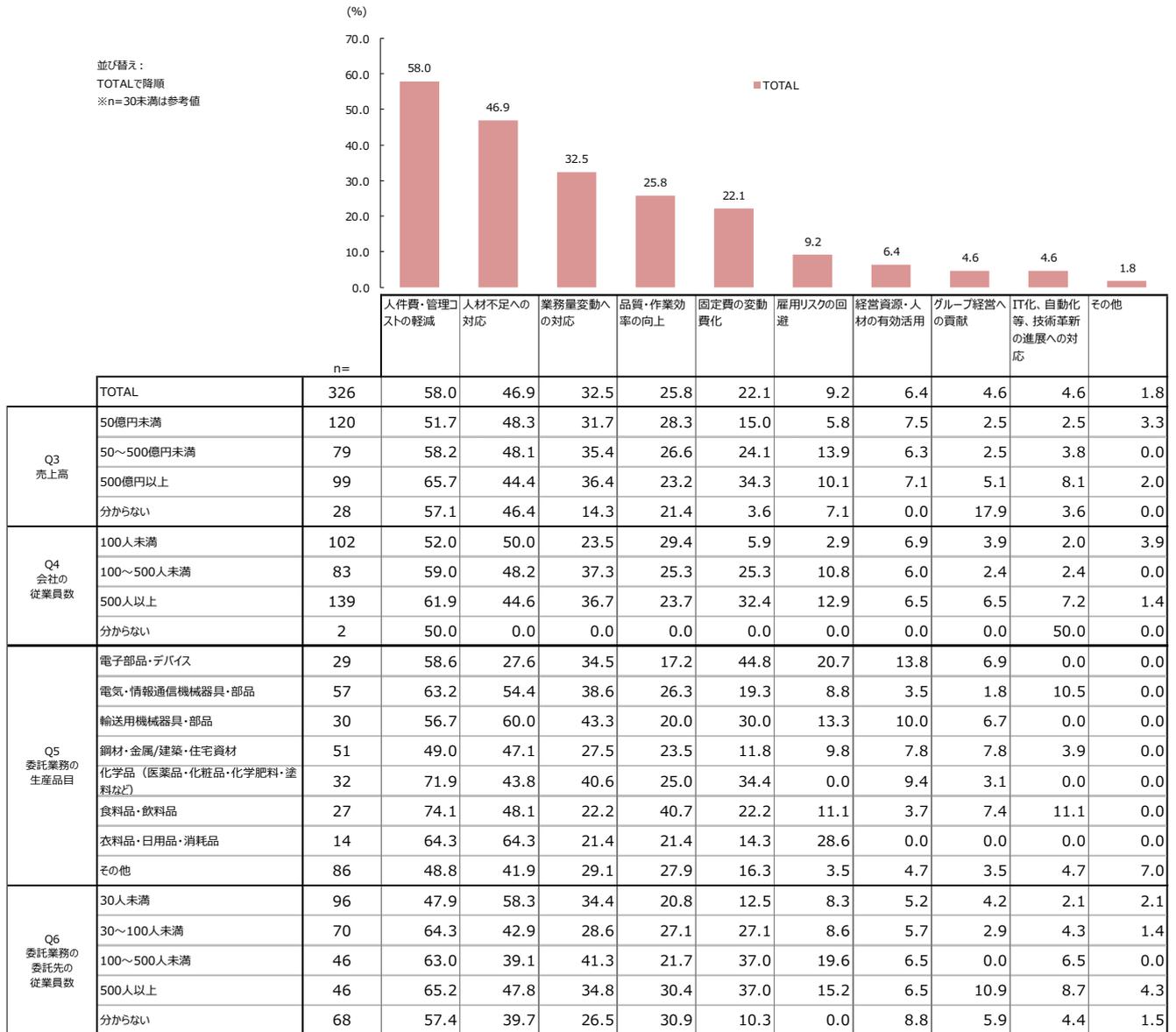
### 3. 委託業務の活用

#### (1) 業務委託の目的

【設問文】 Q7 業務を他社に委託する目的として、特に重要視しているものを次の中から、最大3つまで選んでください。

- 業務委託の目的では、「人件費・管理コストの軽減」が最も高く、58.0%。「人材不足への対応」46.9%、「業務量変動への対応」32.5%が続く。

図表 I-3-1. 業務委託の目的 (Q7) \* 回答は3つまで \*

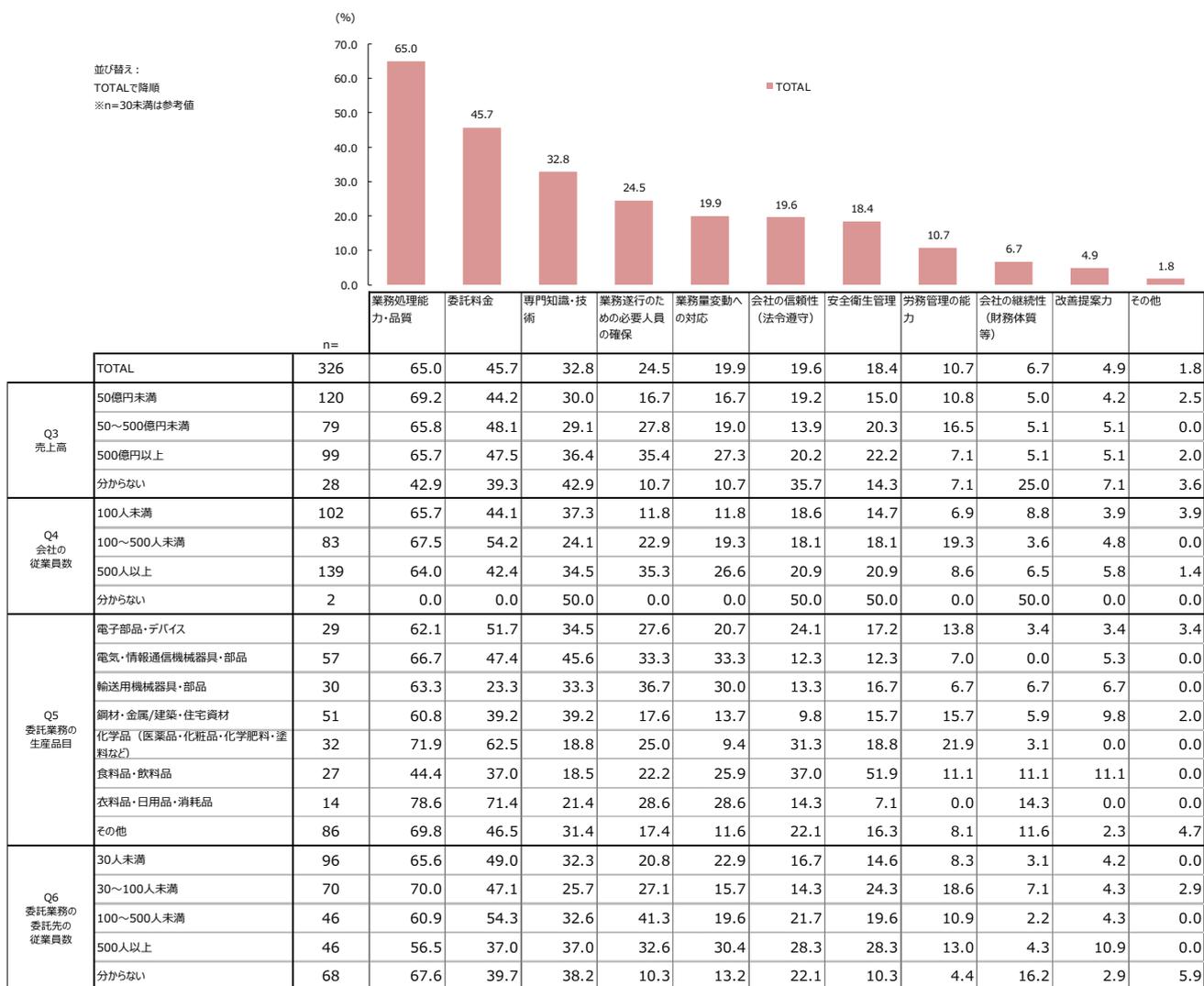


## (2) 委託先選定の重視ポイント

【設問文】 Q8 業務を他社に委託する場合の委託先選定において重要視しているものを次の中から、最大3つまで選んでください。

- 委託先選定の重視ポイントでは、「業務処理能力・品質」が最も高く、65.0%。「委託料金」45.7%、「専門知識・技術」32.8%が続く。

図表 I-3-2. 委託先選定の重視ポイント (Q8) \* 回答は3つまで \*



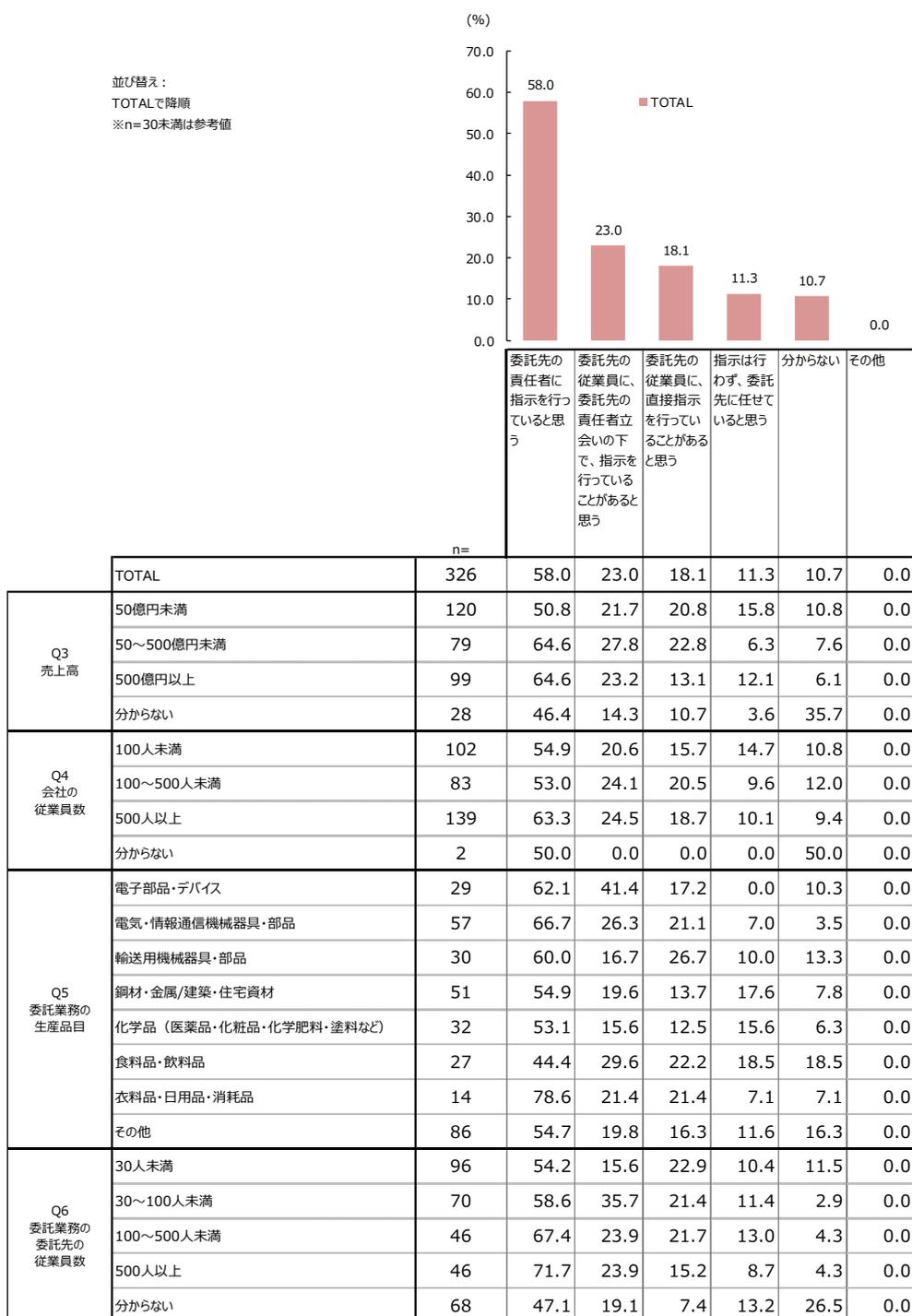
## 4. 委託業務の実態

### (1) 委託業務への指示

【設問文】 Q9 委託業務の遂行に関し、自社の従業員は、委託先にどのように指示を行っていると思いますか。あてはまると思うものをすべて選んでください。

- 委託業務への指示では、「委託先の責任者に指示を行っていると思う」が最も高く、58.0%。「委託先の従業員に、委託先の責任者立会いの下で、指示を行っていることがあると思う」23.0%、「委託先の従業員に、直接指示を行っていることがあると思う」18.1%、「指示は行わず、委託先に任せていると思う」11.3%が続く。

図表 I-4-1. 委託業務への指示 (Q9) \* 複数回答 \*



## (2) 委託先の従業員に直接指示する場合の可否についての従業員への周知

【設問文】 Q10 発注者（自社）が委託先の従業員（請負労働者）に直接指示することが認められる場合（適正）と認められない場合（不適正）について、自社従業員へ周知していますか。

- 委託先の従業員に直接指示する場合の可否についての従業員への周知では、「従業員へ周知している」が最も高く、67.8%。「従業員への周知は行っていない」9.8%、「認められる場合と認められない場合があることを知らなかった」8.9%が続く。

図表 I-4-2. 委託先の従業員に直接指示する場合の可否についての従業員への周知（Q10）

		n=	従業員へ周知している	従業員への周知は行っていない	認められる場合と認められない場合があることを知らなかった	分からない	(%)
TOTAL		326	67.8	9.8	8.9	13.5	
		n=					(%)
Q3 売上高	TOTAL	326	67.8	9.8	8.9	13.5	
	50億円未満	120	60.0	15.8	12.5	11.7	
	50～500億円未満	79	74.7	6.3	6.3	12.7	
	500億円以上	99	78.8	6.1	7.1	8.1	
	分からない	28	42.9	7.1	7.1	42.9	
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	55.9	19.6	10.8	13.7	
	100～500人未満	83	69.9	3.6	12.0	14.5	
	500人以上	139	76.3	6.5	5.8	11.5	
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	100.0	
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	79.3	10.3	6.9	3.4	
	電気・情報通信機械器具・部品	57	71.9	10.5	5.3	12.3	
	輸送用機械器具・部品	30	70.0	10.0	3.3	16.7	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	62.7	13.7	15.7	7.8	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	68.8	9.4	15.6	6.3	
	食料品・飲料品	27	66.7	7.4	7.4	18.5	
	衣料品・日用品・消耗品	14	71.4	14.3	14.3	0.0	
	その他	86	62.8	7.0	7.0	23.3	
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	65.6	12.5	12.5	9.4	
	30～100人未満	70	72.9	12.9	11.4	2.9	
	100～500人未満	46	78.3	13.0	4.3	4.3	
	500人以上	46	82.6	2.2	6.5	8.7	
	分からない	68	48.5	5.9	5.9	39.7	

### (3) 委託業務の現場の状況

【設問文】 Q11 委託業務の現場は、どのような状況になっていると思いますか。

- 委託業務の現場の状況では、「委託先の従業員だけで業務を行っていると思う」が最も高く、60.1%。「自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う」28.2%が続く。

図表 I-4-3. 委託業務の現場の状況 (Q11)

		n=	(% )			
			委託先の従業員だけで業務を行っていると思う	自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う	その他	分からない
TOTAL		326	60.1	28.2	0.0	11.7
Q3 売上高	TOTAL	326	60.1	28.2	0.0	11.7
	50億円未満	120	65.0	25.0	0.0	10.0
	50～500億円未満	79	55.7	31.6	0.0	12.7
	500億円以上	99	64.6	26.3	0.0	9.1
	分からない	28	35.7	39.3	0.0	25.0
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	64.7	24.5	0.0	10.8
	100～500人未満	83	61.4	26.5	0.0	12.0
	500人以上	139	56.1	32.4	0.0	11.5
	分からない	2	50.0	0.0	0.0	50.0
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	72.4	24.1	0.0	3.4
	電気・情報通信機械器具・部品	57	64.9	29.8	0.0	5.3
	輸送用機械器具・部品	30	46.7	40.0	0.0	13.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	66.7	23.5	0.0	9.8
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	32	65.6	21.9	0.0	12.5
	食料品・飲料品	27	51.9	37.0	0.0	11.1
	衣料品・日用品・消耗品	14	71.4	28.6	0.0	0.0
	その他	86	52.3	26.7	0.0	20.9
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	65.6	26.0	0.0	8.3
	30～100人未満	70	62.9	35.7	0.0	1.4
	100～500人未満	46	56.5	39.1	0.0	4.3
	500人以上	46	73.9	19.6	0.0	6.5
	分からない	68	42.6	22.1	0.0	35.3

#### (4) 委託業務の内容・範囲の明確化の状況

【設問文】 Q12 委託業務の内容、範囲は明確になっていますか。

- 委託業務の内容・範囲の明確化の状況では、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」が最も高く、63.5%。「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」16.9%、「詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない」6.1%が続く。
- 「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」「詳細には定めておらず、契約書にも具体的には記載していない」を合わせた「記載していない（BOTTOM2）」の割合は、23.0%。

図表 I-4-4. 委託業務の内容・範囲の明確化の状況（Q12）

		n=	n=				記載していない (BOTTOM2)
			(%)				(%)
TOTAL		326	63.5	16.9	6.1	13.5	23.0

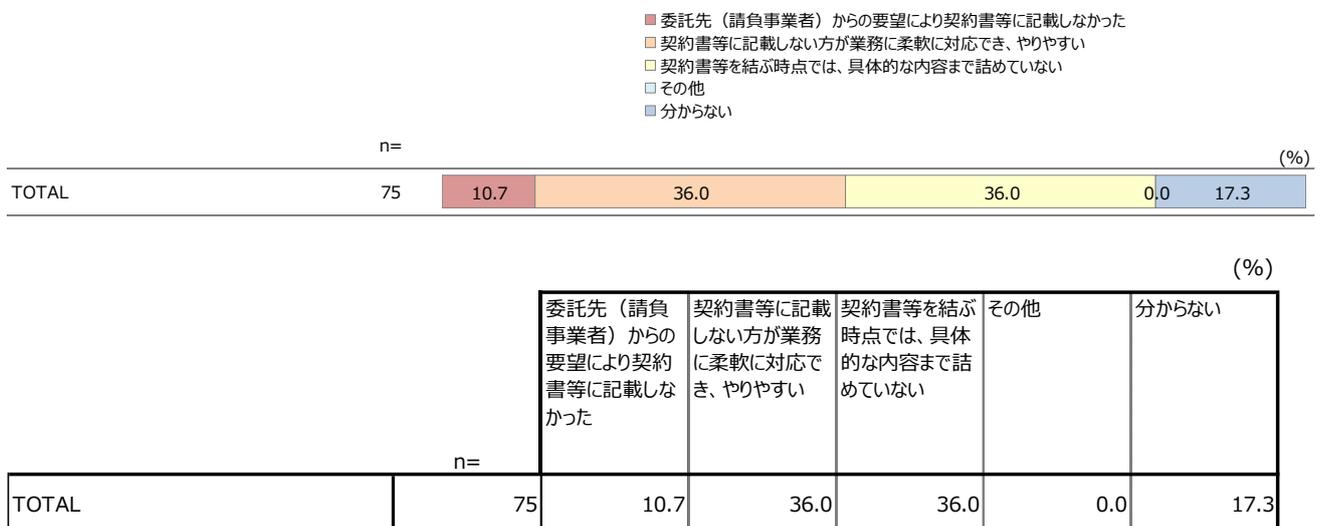
		n=	明確になっており、契約書等に具体的に記載している	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	分からない	記載していない (BOTTOM2)
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
TOTAL		326	63.5	16.9	6.1	13.5	23.0
Q3 売上高	50億円未満	120	52.5	22.5	12.5	12.5	35.0
	50～500億円未満	79	72.2	12.7	5.1	10.1	17.7
	500億円以上	99	76.8	13.1	1.0	9.1	14.1
	分からない	28	39.3	17.9	0.0	42.9	17.9
Q4 会社の従業員数	100人未満	102	49.0	23.5	12.7	14.7	36.3
	100～500人未満	83	63.9	16.9	6.0	13.3	22.9
	500人以上	139	74.8	12.2	1.4	11.5	13.7
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q5 委託業務の生産品目	電子部品・デバイス	29	72.4	24.1	0.0	3.4	24.1
	電気・情報通信機械器具・部品	57	63.2	19.3	7.0	10.5	26.3
	輸送用機械器具・部品	30	66.7	13.3	6.7	13.3	20.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	54.9	29.4	7.8	7.8	37.3
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	87.5	6.3	0.0	6.3	6.3
	食料品・飲料品	27	55.6	18.5	3.7	22.2	22.2
	衣料品・日用品・消耗品	14	64.3	21.4	7.1	7.1	28.6
	その他	86	58.1	9.3	9.3	23.3	18.6
Q6 委託業務の委託先の従業員数	30人未満	96	57.3	19.8	12.5	10.4	32.3
	30～100人未満	70	70.0	20.0	4.3	5.7	24.3
	100～500人未満	46	69.6	21.7	2.2	6.5	23.9
	500人以上	46	82.6	10.9	2.2	4.3	13.0
	分からない	68	48.5	10.3	4.4	36.8	14.7

## (5) 委託業務の内容・範囲の明確化をしない理由

【設問文】 Q13 Q12 で、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」または「詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない」と答えた方にお伺いします。契約書等に委託業務の内容・範囲を具体的に記載しない理由は何ですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 委託業務の内容・範囲の明確化をしない理由では、「契約書等に記載しない方が業務に柔軟に対応でき、やりやすい」「契約書等を結ぶ時点では、具体的な内容まで詰めていない」が最も高く、36.0%。「委託先(請負事業者)からの要望により契約書等に記載しなかった」10.7%が続く。

図表 I-4-5. 委託業務の内容・範囲の明確化をしない理由 (Q13)



## (6) 委託料金の見直しの取り決め

【設問文】 Q14 委託料金の見直しについての取り決めや対応はどのように行っていますか。それぞれの項目についてあてはまるものを1つ選んでください。

- 委託料金の見直しの取り決めでは、『(1) 委託料金の見直しが必要になった場合』は、「契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う」が最も高く、37.4%。「契約書等に具体的に明記されていないが、委託先との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する」24.8%、「分からない」19.3%が続く。
- 『(2) イレギュラー的に費用が発生した場合』は、「契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う」が最も高く、32.2%。「契約書等に具体的に明記されていないが、委託先との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する」29.1%、「契約書等に取り決めはないが、申し入れがあった場合、都度協議を行い決定する」20.2%が続く。

図表 I-4-6. 委託料金の見直しの取り決め (Q14)

- 契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う
- 契約書等に具体的に明記されていないが、委託先との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する
- 契約書等に取り決めはないが、申し入れがあった場合、都度協議を行い決定する
- 契約書等に取り決めがないので、申し入れがあっても対応しない
- 分からない

	n=	(%)				
(1) 委託料金の見直しが必要になった場合	326	37.4	24.8	17.8	0.6	19.3
(2) イレギュラー的に費用が発生した場合	326	32.2	29.1	20.2	1.5	16.9

	n=	(%)				
		契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う	契約書等に具体的に明記されていないが、委託先との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する	契約書等に取り決めはないが、申し入れがあった場合、都度協議を行い決定する	契約書等に取り決めがないので、申し入れがあっても対応しない	分からない
(1) 委託料金の見直しが必要になった場合	326	37.4	24.8	17.8	0.6	19.3
(2) イレギュラー的に費用が発生した場合	326	32.2	29.1	20.2	1.5	16.9

【設問文】 Q14 委託料金の見直しについての取り決めや対応はどのように行っていますか。それぞれの項目についてあてはまるものを1つ選んでください。

(1)委託料金の見直しが必要になった場合（業務内容の変更、生産性向上、運営コスト増等）

- 委託料金の見直しが必要になった場合では、「契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う」が最も高く、37.4%。「契約書等に具体的に明記されていないが、委託先との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する」24.8%、「分からない」19.3%が続く。

図表 I-4-6①. 委託料金の見直しの取り決め  
(1)委託料金の見直しが必要になった場合（Q14）

- 契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う
- 契約書等に具体的に明記されていないが、委託先との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する
- 契約書等に取り決めはないが、申し入れがあった場合、都度協議を行い決定する
- 契約書等に取り決めがないので、申し入れがあっても対応しない
- 分からない

	n=	(%)				
TOTAL	326	37.4	24.8	17.8	0.6	19.3

		n=	(%)				
			契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う	契約書等に具体的に明記されていないが、委託先との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する	契約書等に取り決めはないが、申し入れがあった場合、都度協議を行い決定する	契約書等に取り決めがないので、申し入れがあっても対応しない	分からない
TOTAL		326	37.4	24.8	17.8	0.6	19.3
Q3 売上高	50億円未満	120	26.7	25.8	27.5	1.7	18.3
	50～500億円未満	79	48.1	29.1	7.6	0.0	15.2
	500億円以上	99	48.5	25.3	13.1	0.0	13.1
	分からない	28	14.3	7.1	21.4	0.0	57.1
Q4 会社の従業員数	100人未満	102	21.6	25.5	28.4	2.0	22.5
	100～500人未満	83	41.0	27.7	13.3	0.0	18.1
	500人以上	139	47.5	23.0	12.9	0.0	16.5
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q5 委託業務の生産品目	電子部品・デバイス	29	37.9	31.0	24.1	0.0	6.9
	電気・情報通信機械器具・部品	57	45.6	24.6	15.8	0.0	14.0
	輸送用機械器具・部品	30	43.3	23.3	16.7	0.0	16.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	29.4	27.5	31.4	0.0	11.8
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	62.5	18.8	6.3	0.0	12.5
	食料品・飲料品	27	29.6	25.9	14.8	3.7	25.9
	衣料品・日用品・消耗品	14	35.7	35.7	14.3	0.0	14.3
	その他	86	27.9	22.1	15.1	1.2	33.7
Q6 委託業務の委託先の従業員数	30人未満	96	27.1	27.1	27.1	2.1	16.7
	30～100人未満	70	44.3	28.6	17.1	0.0	10.0
	100～500人未満	46	43.5	37.0	13.0	0.0	6.5
	500人以上	46	58.7	19.6	15.2	0.0	6.5
	分からない	68	26.5	13.2	10.3	0.0	50.0

【設問文】 Q14 委託料金の見直しについての取り決めや対応はどのように行っていますか。それぞれの項目についてあてはまるものを1つ選んでください。

(2)イレギュラー的に費用が発生した場合（想定を超える急激な生産量の変動や想定外の外部要因による費用増等）

- イレギュラー的に費用が発生した場合は、「契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う」が最も高く、32.2%。「契約書等に具体的に明記されていないが、委託先との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する」29.1%、「契約書等に取り決めはないが、申し入れがあった場合、都度協議を行い決定する」20.2%が続く。

図表 I-4-6②. 委託料金の見直しの取り決め  
(2)イレギュラー的に費用が発生した場合 (Q14)

■ 契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う  
 ■ 契約書等に具体的に明記されていないが、委託先との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する  
 ■ 契約書等に取り決めはないが、申し入れがあった場合、都度協議を行い決定する  
 ■ 契約書等に取り決めがないので、申し入れがあっても対応しない  
 ■ 分からない  
 n=

TOTAL	326	32.2	29.1	20.2	1.5	16.9
-------	-----	------	------	------	-----	------

		(%)					
		n=	契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う	契約書等に具体的に明記されていないが、委託先との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する	契約書等に取り決めはないが、申し入れがあった場合、都度協議を行い決定する	契約書等に取り決めがないので、申し入れがあっても対応しない	分からない
TOTAL		326	32.2	29.1	20.2	1.5	16.9
Q3 売上高	50億円未満	120	25.0	25.0	30.8	3.3	15.8
	50～500億円未満	79	39.2	34.2	12.7	0.0	13.9
	500億円以上	99	41.4	33.3	13.1	1.0	11.1
	分からない	28	10.7	17.9	21.4	0.0	50.0
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	20.6	25.5	31.4	2.9	19.6
	100～500人未満	83	34.9	30.1	18.1	1.2	15.7
	500人以上	139	39.6	31.7	13.7	0.7	14.4
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	37.9	44.8	10.3	0.0	6.9
	電気・情報通信機械器具・部品	57	45.6	24.6	19.3	0.0	10.5
	輸送用機械器具・部品	30	33.3	30.0	26.7	0.0	10.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	33.3	19.6	31.4	5.9	9.8
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	43.8	28.1	15.6	0.0	12.5
	食料品・飲料品	27	22.2	29.6	18.5	0.0	29.6
	衣料品・日用品・消耗品	14	14.3	57.1	21.4	0.0	7.1
その他	86	22.1	27.9	17.4	2.3	30.2	
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	25.0	26.0	30.2	3.1	15.6
	30～100人未満	70	38.6	38.6	14.3	1.4	7.1
	100～500人未満	46	32.6	32.6	28.3	0.0	6.5
	500人以上	46	47.8	28.3	15.2	2.2	6.5
	分からない	68	25.0	22.1	10.3	0.0	42.6

## 5. 適正な請負

### (1) 委託業務での機械・設備等の適正な使用状況

【設問文】 Q15 業務の委託に関しては、国が定める基準に『業務を処理するのに必要な機械、設備等は委託先が準備する必要があり、発注者が調達する場合は双務契約を締結し、有償で貸与しなければならない』※とあります。あなたの関わる委託業務では、この通りに行われていると思いますか。

- 委託業務での機械・設備等の適正な使用状況では、「すべて基準通りに行っていると思う」が最も高く、41.1%。「おおむね基準通りに行っていると思う」36.5%、「分からない」15.0%が続く。
- 「すべて基準通りに行っていると思う」「おおむね基準通りに行っていると思う」を合わせた「行っていると思う (TOP2)」の割合は、77.6%。

図表 I-5-1. 委託業務での機械・設備等の適正な使用状況 (Q15)

		n=	すべて基準通りに行っていると思う	おおむね基準通りに行っていると思う	基準があることは知っているが、行っていないと思う	基準があることも知らない	分からない	行っていると思う (TOP2) (%)
TOTAL		326	41.1	36.5	4.0	3.4	15.0	77.6
								(%)
		n=	すべて基準通りに行っていると思う	おおむね基準通りに行っていると思う	基準があることは知っているが、行っていないと思う	基準があることも知らない	分からない	行っていると思う (TOP2)
Q3 売上高	TOTAL	326	41.1	36.5	4.0	3.4	15.0	77.6
	50億円未満	120	30.0	44.2	4.2	5.0	16.7	74.2
	50～500億円未満	79	36.7	43.0	5.1	2.5	12.7	79.7
	500億円以上	99	60.6	26.3	4.0	2.0	7.1	86.9
	分からない	28	32.1	21.4	0.0	3.6	42.9	53.6
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	27.5	40.2	4.9	5.9	21.6	67.6
	100～500人未満	83	32.5	48.2	4.8	2.4	12.0	80.7
	500人以上	139	56.8	27.3	2.9	2.2	10.8	84.2
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	37.9	44.8	10.3	3.4	3.4	82.8
	電気・情報通信機械器具・部品	57	49.1	36.8	0.0	3.5	10.5	86.0
	輸送用機械器具・部品	30	43.3	33.3	10.0	3.3	10.0	76.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	35.3	35.3	7.8	5.9	15.7	70.6
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	32	40.6	50.0	0.0	3.1	6.3	90.6
	食料品・飲料品	27	37.0	33.3	7.4	0.0	22.2	70.4
	衣料品・日用品・消耗品	14	64.3	35.7	0.0	0.0	0.0	100.0
	その他	86	37.2	31.4	1.2	3.5	26.7	68.6
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	30.2	44.8	4.2	5.2	15.6	75.0
	30～100人未満	70	44.3	44.3	5.7	1.4	4.3	88.6
	100～500人未満	46	39.1	43.5	4.3	4.3	8.7	82.6
	500人以上	46	63.0	26.1	4.3	4.3	2.2	89.1
	分からない	68	39.7	19.1	1.5	1.5	38.2	58.8

## (2) 偽装請負への不安

【設問文】 Q16 委託業務に関し、偽装請負への不安はありますか。

- 偽装請負への不安では、「ない」が最も高く、41.4%。「多少ある」25.5%、「意識したことがない」14.7%が続く。
- 「ある」「多少ある」を合わせた「ある（TOP2）」の割合は、32.5%。

図表 I-5-2. 偽装請負への不安（Q16）

		n=	■ ある	■ 多少ある	■ ない	■ 意識したことがない	■ 分からない	(%) ある (TOP2)	
TOTAL		326	7.1	25.5	41.4	14.7	11.3	32.5	
								(%)	ある (TOP2)
		n=	ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある (TOP2)	
TOTAL		326	7.1	25.5	41.4	14.7	11.3	32.5	
Q3 売上高	50億円未満	120	5.8	20.0	46.7	16.7	10.8	25.8	
	50～500億円未満	79	13.9	27.8	38.0	15.2	5.1	41.8	
	500億円以上	99	5.1	31.3	44.4	9.1	10.1	36.4	
	分からない	28	0.0	21.4	17.9	25.0	35.7	21.4	
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	3.9	19.6	47.1	16.7	12.7	23.5	
	100～500人未満	83	13.3	25.3	33.7	20.5	7.2	38.6	
	500人以上	139	5.8	30.2	42.4	10.1	11.5	36.0	
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	3.4	31.0	48.3	13.8	3.4	34.5	
	電気・情報通信機械器具・部品	57	8.8	24.6	38.6	14.0	14.0	33.3	
	輸送用機械器具・部品	30	6.7	33.3	43.3	10.0	6.7	40.0	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	9.8	25.5	41.2	13.7	9.8	35.3	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	12.5	31.3	40.6	15.6	0.0	43.8	
	食料品・飲料品	27	7.4	25.9	37.0	7.4	22.2	33.3	
	衣料品・日用品・消耗品	14	7.1	14.3	71.4	7.1	0.0	21.4	
	その他	86	3.5	20.9	37.2	20.9	17.4	24.4	
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	5.2	17.7	49.0	18.8	9.4	22.9	
	30～100人未満	70	10.0	34.3	38.6	14.3	2.9	44.3	
	100～500人未満	46	15.2	23.9	45.7	8.7	6.5	39.1	
	500人以上	46	6.5	43.5	41.3	6.5	2.2	50.0	
	分からない	68	1.5	16.2	30.9	19.1	32.4	17.6	

### (3) 適正な請負を行うための知識の認知状況

【設問文】 Q17 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを1つお選びください。

- 適正な請負を行うための知識の認知について、「名前も内容も知っている」割合が高いのは、『(2) 製造請負ガイドライン』(44.2%)、『(1) 派遣事業と請負事業の区分基準(労働省告示第37号)』(43.9%)で4割を超える。
- 一方、「名前も内容も知らない」割合が高いのは『(5) 製造請負優良適正事業者認定制度(GJ認定制度)』(39.3%)、『(3) 労働契約申込みみなし制度』(37.7%)が続く。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名前を知っている(TOP2)」の割合が高いのは、『(2) 製造請負ガイドライン』(75.5%)、『(1) 派遣事業と請負事業の区分基準(労働省告示第37号)』(71.2%)で7割を超える。
- 「名前は知っているが内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない(BOTTOM2)」の割合が高いのは、『(5) 製造請負優良適正事業者認定制度(GJ認定制度)』(67.8%)、『(4) パートナーシップ構築宣言』(67.5%)、『(3) 労働契約申込みみなし制度』(65.0%)で6割を超える。

図表 I-5-3. 適正な請負を行うための知識の認知状況 (Q17)

	n=	認知状況 (%)			TOP2 / BOTTOM2 (%)	
		名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)
(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (労働省告示第37号)	326	43.9	27.3	28.8	71.2	56.1
(2) 製造請負ガイドライン	326	44.2	31.3	24.5	75.5	55.8
(3) 労働契約申込みみなし制度	326	35.0	27.3	37.7	62.3	65.0
(4) パートナーシップ構築宣言	326	32.5	32.8	34.7	65.3	67.5
(5) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ認定制度)	326	32.2	28.5	39.3	60.7	67.8

	n=	認知状況 (%)				
		名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)
(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (労働省告示第37号)	326	43.9	27.3	28.8	71.2	56.1
(2) 製造請負ガイドライン	326	44.2	31.3	24.5	75.5	55.8
(3) 労働契約申込みみなし制度	326	35.0	27.3	37.7	62.3	65.0
(4) パートナーシップ構築宣言	326	32.5	32.8	34.7	65.3	67.5
(5) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ認定制度)	326	32.2	28.5	39.3	60.7	67.8

【設問文】 Q17 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを1つお選びください。

(1)派遣事業と請負事業の区分基準（労働省告示第37号）

- 派遣事業と請負事業の区分基準では、「名前も内容も知っている」が最も高く、43.9%。「名前も内容も知らない」28.8%、「名前は知っているが内容は知らない」27.3%が続く。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名前を知っている（TOP2）」の割合は、71.2%。「名前は知っているが内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（BOTTOM2）」の割合は、56.1%。

図表 I-5-3①. 適正な請負を行うための知識の認知状況  
(1) 派遣事業と請負事業の区分基準（労働省告示第37号）（Q17）

	n=	認知状況			割合 (%)	
		名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)
TOTAL	326	43.9	27.3	28.8	71.2	56.1

	n=	認知状況 (%)					
		名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)	
TOTAL	326	43.9	27.3	28.8	71.2	56.1	
Q3 売上高	50億円未満	120	30.8	37.5	31.7	68.3	69.2
	50～500億円未満	79	54.4	20.3	25.3	74.7	45.6
	500億円以上	99	61.6	21.2	17.2	82.8	38.4
	分からない	28	7.1	25.0	67.9	32.1	92.9
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	27.5	36.3	36.3	63.7	72.5
	100～500人未満	83	42.2	25.3	32.5	67.5	57.8
	500人以上	139	57.6	22.3	20.1	79.9	42.4
	分からない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	58.6	17.2	24.1	75.9	41.4
	電気・情報通信機械器具・部品	57	52.6	31.6	15.8	84.2	47.4
	輸送用機械器具・部品	30	33.3	26.7	40.0	60.0	66.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	35.3	33.3	31.4	68.6	64.7
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	40.6	21.9	37.5	62.5	59.4
	食料品・飲料品	27	40.7	33.3	25.9	74.1	59.3
	衣料品・日用品・消耗品	14	57.1	21.4	21.4	78.6	42.9
	その他	86	41.9	25.6	32.6	67.4	58.1
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	38.5	27.1	34.4	65.6	61.5
	30～100人未満	70	48.6	30.0	21.4	78.6	51.4
	100～500人未満	46	52.2	30.4	17.4	82.6	47.8
	500人以上	46	71.7	13.0	15.2	84.8	28.3
	分からない	68	22.1	32.4	45.6	54.4	77.9

【設問文】 Q17 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを1つお選びください。

(2)製造請負ガイドライン

- 製造請負ガイドラインでは、「名前も内容も知っている」が最も高く、44.2%。「名前は知っているが内容は知らない」31.3%、「名前も内容も知らない」24.5%が続く。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名前を知っている（TOP2）」の割合は、75.5%。「名前は知っているが内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（BOTTOM2）」の割合は、55.8%。

図表 I-5-3②. 適正な請負を行うための知識の認知状況  
(2)製造請負ガイドライン (Q17)

	n=	%			名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)
		名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない		
TOTAL	326	44.2	31.3	24.5	75.5	55.8

	n=	%					
		名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)	
TOTAL	326	44.2	31.3	24.5	75.5	55.8	
Q3 売上高	50億円未満	120	37.5	35.0	27.5	72.5	62.5
	50～500億円未満	79	46.8	36.7	16.5	83.5	53.2
	500億円以上	99	60.6	23.2	16.2	83.8	39.4
	分からない	28	7.1	28.6	64.3	35.7	92.9
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	32.4	33.3	34.3	65.7	67.6
	100～500人未満	83	41.0	37.3	21.7	78.3	59.0
	500人以上	139	55.4	26.6	18.0	82.0	44.6
	分からない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	58.6	20.7	20.7	79.3	41.4
	電気・情報通信機械器具・部品	57	45.6	40.4	14.0	86.0	54.4
	輸送用機械器具・部品	30	36.7	33.3	30.0	70.0	63.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	41.2	27.5	31.4	68.6	58.8
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	50.0	37.5	12.5	87.5	50.0
	食料品・飲料品	27	48.1	25.9	25.9	74.1	51.9
	衣料品・日用品・消耗品	14	64.3	21.4	14.3	85.7	35.7
	その他	86	36.0	31.4	32.6	67.4	64.0
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	40.6	35.4	24.0	76.0	59.4
	30～100人未満	70	48.6	34.3	17.1	82.9	51.4
	100～500人未満	46	52.2	26.1	21.7	78.3	47.8
	500人以上	46	67.4	19.6	13.0	87.0	32.6
	分からない	68	23.5	33.8	42.6	57.4	76.5

【設問文】 Q17 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを1つお選びください。

(3)労働契約申込みみなし制度

- 労働契約申込みみなし制度では、「名前も内容も知らない」が最も高く、37.7%。「名前も内容も知っている」35.0%、「名前は知っているが内容は知らない」27.3%が続く。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名前を知っている（TOP2）」の割合は、62.3%。「名前は知っているが内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（BOTTOM2）」の割合は、65.0%。

図表 I-5-3③. 適正な請負を行うための知識の認知状況

(3) 労働契約申込みみなし制度 (Q17)



	n=	(%)					
		名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)	
TOTAL	326	35.0	27.3	37.7	62.3	65.0	
Q3 売上高	50億円未満	120	27.5	33.3	39.2	60.8	72.5
	50～500億円未満	79	40.5	29.1	30.4	69.6	59.5
	500億円以上	99	47.5	19.2	33.3	66.7	52.5
	分からない	28	7.1	25.0	67.9	32.1	92.9
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	24.5	30.4	45.1	54.9	75.5
	100～500人未満	83	31.3	30.1	38.6	61.4	68.7
	500人以上	139	45.3	23.7	30.9	69.1	54.7
	分からない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	48.3	17.2	34.5	65.5	51.7
	電気・情報通信機械器具・部品	57	38.6	40.4	21.1	78.9	61.4
	輸送用機械器具・部品	30	26.7	36.7	36.7	63.3	73.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	31.4	33.3	35.3	64.7	68.6
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	34.4	21.9	43.8	56.3	65.6
	食料品・飲料品	27	37.0	18.5	44.4	55.6	63.0
	衣料品・日用品・消耗品	14	57.1	7.1	35.7	64.3	42.9
	その他	86	29.1	23.3	47.7	52.3	70.9
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	24.0	33.3	42.7	57.3	76.0
	30～100人未満	70	41.4	31.4	27.1	72.9	58.6
	100～500人未満	46	54.3	17.4	28.3	71.7	45.7
	500人以上	46	52.2	23.9	23.9	76.1	47.8
	分からない	68	19.1	23.5	57.4	42.6	80.9

【設問文】 Q17 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを1つお選びください。

(4)パートナーシップ構築宣言

- パートナーシップ構築宣言では、「名前も内容も知らない」が最も高く、34.7%。「名前は知っているが内容は知らない」32.8%、「名前も内容も知っている」32.5%が続く。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名前を知っている（TOP2）」の割合は、65.3%。「名前は知っているが内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（BOTTOM2）」の割合は、67.5%。

図表 I-5-3④. 適正な請負を行うための知識の認知状況  
(4)パートナーシップ構築宣言 (Q17)

	n=	%			名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)
		名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない		
TOTAL	326	32.5	32.8	34.7	65.3	67.5

	n=	%					
		名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)	
TOTAL	326	32.5	32.8	34.7	65.3	67.5	
Q3 売上高	50億円未満	120	28.3	37.5	34.2	65.8	71.7
	50～500億円未満	79	34.2	30.4	35.4	64.6	65.8
	500億円以上	99	43.4	32.3	24.2	75.8	56.6
	分からない	28	7.1	21.4	71.4	28.6	92.9
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	23.5	37.3	39.2	60.8	76.5
	100～500人未満	83	31.3	30.1	38.6	61.4	68.7
	500人以上	139	40.3	31.7	28.1	71.9	59.7
	分からない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	44.8	24.1	31.0	69.0	55.2
	電気・情報通信機械器具・部品	57	33.3	45.6	21.1	78.9	66.7
	輸送用機械器具・部品	30	20.0	36.7	43.3	56.7	80.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	41.2	23.5	35.3	64.7	58.8
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	31.3	34.4	34.4	65.6	68.8
	食料品・飲料品	27	33.3	40.7	25.9	74.1	66.7
	衣料品・日用品・消耗品	14	57.1	21.4	21.4	78.6	42.9
その他	86	23.3	30.2	46.5	53.5	76.7	
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	27.1	33.3	39.6	60.4	72.9
	30～100人未満	70	41.4	34.3	24.3	75.7	58.6
	100～500人未満	46	30.4	43.5	26.1	73.9	69.6
	500人以上	46	54.3	26.1	19.6	80.4	45.7
	分からない	68	17.6	27.9	54.4	45.6	82.4

【設問文】 Q17 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを1つお選びください。

(5)製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）

- 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）では、「名前も内容も知らない」が最も高く、39.3%。「名前も内容も知っている」32.2%、「名前は知っているが内容は知らない」28.5%が続く。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名前を知っている（TOP2）」の割合は、60.7%。「名前は知っているが内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（BOTTOM2）」の割合は、67.8%。

図表 I-5-3⑤. 適正な請負を行うための知識の認知状況  
(5)製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）（Q17）

		n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)
			n=			(%)	
TOTAL		326	32.2	28.5	39.3	60.7	67.8
			n=			(%)	
			名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)
Q3 売上高	TOTAL	326	32.2	28.5	39.3	60.7	67.8
	50億円未満	120	25.8	35.0	39.2	60.8	74.2
	50～500億円未満	79	35.4	24.1	40.5	59.5	64.6
	500億円以上	99	44.4	25.3	30.3	69.7	55.6
	分からない	28	7.1	25.0	67.9	32.1	92.9
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	21.6	34.3	44.1	55.9	78.4
	100～500人未満	83	30.1	26.5	43.4	56.6	69.9
	500人以上	139	41.7	25.9	32.4	67.6	58.3
	分からない	2	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	44.8	24.1	31.0	69.0	55.2
	電気・情報通信機械器具・部品	57	38.6	35.1	26.3	73.7	61.4
	輸送用機械器具・部品	30	20.0	40.0	40.0	60.0	80.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	28.1	28.1	43.8	56.3	71.9
	食料品・飲料品	27	40.7	18.5	40.7	59.3	59.3
	衣料品・日用品・消耗品	14	50.0	7.1	42.9	57.1	50.0
	その他	86	23.3	25.6	51.2	48.8	76.7
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	22.9	34.4	42.7	57.3	77.1
	30～100人未満	70	35.7	41.4	22.9	77.1	64.3
	100～500人未満	46	43.5	19.6	37.0	63.0	56.5
	500人以上	46	56.5	15.2	28.3	71.7	43.5
	分からない	68	17.6	22.1	60.3	39.7	82.4

#### (4) GJ 認定制度の活用についての考え

【設問文】 Q18 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）はどのように活用できますか。

- 認定制度の活用についての考えでは、「特にない」が最も高く、49.7%。「GJ 認定制度取得を委託先選定のポイント（判断）の1つとして検討したい」27.3%、「すでに GJ 認定制度取得を委託先事業者選定のポイント（判断）の1つにしている」15.3%が続く。

図表 I-5-4. GJ 認定制度の活用についての考え（Q18）

		n=	15.3	27.3	7.1	0.6	49.7
			■すでにGJ認定制度取得を委託先事業者選定のポイント（判断）の1つにしている ■GJ認定制度取得を委託先選定のポイント（判断）の1つとして検討したい ■GJ認定制度を委託先（請負事業者）に紹介したい ■その他 ■特にない				
			(%)				
TOTAL		326	15.3	27.3	7.1	0.6	49.7
			(%)				
		n=	すでにGJ認定制度取得を委託先事業者選定のポイント（判断）の1つにしている	GJ認定制度取得を委託先選定のポイント（判断）の1つとして検討したい	GJ認定制度を委託先（請負事業者）に紹介したい	その他	特にない
Q3 売上高	TOTAL	326	15.3	27.3	7.1	0.6	49.7
	50億円未満	120	10.0	25.8	6.7	0.8	56.7
	50～500億円未満	79	19.0	32.9	6.3	0.0	41.8
	500億円以上	99	23.2	29.3	8.1	1.0	38.4
	分からない	28	0.0	10.7	7.1	0.0	82.1
Q4 会社の従業員数	100人未満	102	7.8	20.6	6.9	1.0	63.7
	100～500人未満	83	10.8	36.1	8.4	0.0	44.6
	500人以上	139	23.7	27.3	6.5	0.7	41.7
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q5 委託業務の生産品目	電子部品・デバイス	29	31.0	34.5	3.4	3.4	27.6
	電気・情報通信機械器具・部品	57	22.8	31.6	3.5	0.0	42.1
	輸送用機械器具・部品	30	16.7	30.0	3.3	0.0	50.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	17.6	23.5	11.8	0.0	47.1
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	15.6	28.1	6.3	0.0	50.0
	食料品・飲料品	27	11.1	33.3	7.4	3.7	44.4
	衣料品・日用品・消耗品	14	7.1	42.9	7.1	0.0	42.9
	その他	86	5.8	18.6	9.3	0.0	66.3
Q6 委託業務の委託先の従業員数	30人未満	96	9.4	24.0	12.5	1.0	53.1
	30～100人未満	70	15.7	41.4	5.7	0.0	37.1
	100～500人未満	46	17.4	37.0	4.3	0.0	41.3
	500人以上	46	39.1	21.7	10.9	2.2	26.1
	分からない	68	5.9	14.7	0.0	0.0	79.4

## 6. 委託業務の外国人就労

### (1) 委託業務への外国人労働者の配置に対する考え

【設問文】 Q19 委託業務において、委託先が外国人労働者を配置（使用）することについて、最もあてはまるものを選んでください。

- 委託業務への外国人労働者の配置に対する考えでは、「配置しても良い」が最も高く、49.7%。「できれば配置してもらいたくない」15.6%、「配置してもらいたくない」9.2%が続く。
- 「できれば配置してもらいたくない」「配置してもらいたくない」を合わせた「配置してもらいたくない（BOTTOM2）」の割合は、24.8%。

図表 I-6-1. 委託業務への外国人労働者の配置に対する考え（Q19）

		配置してもらいたくない (BOTTOM2) (%)						
		配置しても良い	できれば配置してもらいたくない	配置してもらいたくない	その他	分からない	配置してもらいたくない (BOTTOM2)	
n=		n=						
TOTAL		326	49.7	15.6	9.2	0.3	25.2	24.8
		(%)						
		n=	配置しても良い	できれば配置してもらいたくない	配置してもらいたくない	その他	分からない	配置してもらいたくない (BOTTOM2)
TOTAL		326	49.7	15.6	9.2	0.3	25.2	24.8
Q3 売上高	50億円未満	120	44.2	14.2	11.7	0.0	30.0	25.8
	50～500億円未満	79	55.7	16.5	8.9	0.0	19.0	25.3
	500億円以上	99	56.6	18.2	7.1	1.0	17.2	25.3
	分からない	28	32.1	10.7	7.1	0.0	50.0	17.9
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	42.2	12.7	11.8	0.0	33.3	24.5
	100～500人未満	83	55.4	14.5	7.2	0.0	22.9	21.7
	500人以上	139	52.5	18.7	8.6	0.7	19.4	27.3
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	62.1	20.7	3.4	0.0	13.8	24.1
	電気・情報通信機械器具・部品	57	59.6	12.3	8.8	0.0	19.3	21.1
	輸送用機械器具・部品	30	43.3	23.3	6.7	0.0	26.7	30.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	49.0	21.6	3.9	0.0	25.5	25.5
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	46.9	15.6	15.6	0.0	21.9	31.3
	食料品・飲料品	27	48.1	14.8	7.4	3.7	25.9	22.2
	衣料品・日用品・消耗品	14	71.4	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6
その他	86	39.5	10.5	12.8	0.0	37.2	23.3	
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	46.9	15.6	9.4	0.0	28.1	25.0
	30～100人未満	70	57.1	20.0	10.0	0.0	12.9	30.0
	100～500人未満	46	50.0	19.6	19.6	0.0	10.9	39.1
	500人以上	46	69.6	15.2	6.5	0.0	8.7	21.7
	分からない	68	32.4	8.8	2.9	1.5	54.4	11.8

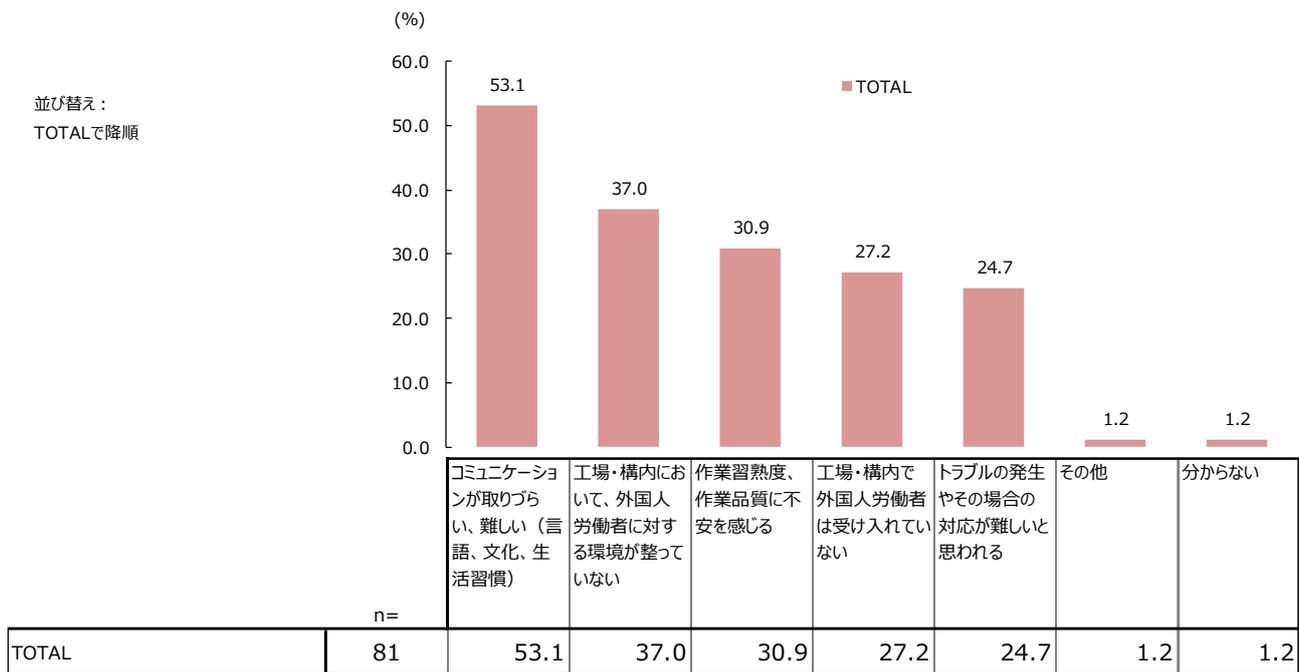
## (2) 委託業務への外国人労働者の配置に消極的な理由

【設問文】 Q20 Q19 で、「できれば配置してもらいたくない」、「配置してもらいたくない」と答えた方にお伺いします。その理由として、

あてはまるものを最大 3 つまでお選びください。

- 委託業務への外国人労働者の配置に消極的な理由では、「コミュニケーションが取りづらい、難しい（言語、文化、生活習慣）」が最も高く、53.1%。「工場・構内において、外国人労働者に対する環境が整っていない」37.0%、「作業習熟度、作業品質に不安を感じる」30.9%が続く。

図表 I-6-2. 委託業務への外国人労働者の配置に消極的な理由（Q20） \* 回答は 3 つまで \*



## 7. 委託先との関係

### (1) 委託先とのコミュニケーション(意思疎通)の機会

【設問文】 Q21 委託先とのコミュニケーション（意思疎通）の機会を設けていますか。最もあてはまるものをお答えください。

- 委託先とのコミュニケーション（意思疎通）の機会では、「定期的に設けている」が最も高く、37.4%。「必要に応じて設けている」35.0%、「特に設けていない」9.2%が続く。
- 「定期的に設けている」「必要に応じて設けている」を合わせた「設けている（TOP2）」の割合は、72.4%。

図表 I-7-1. 委託先とのコミュニケーション（意思疎通）の機会（Q21）

		n=	定期的に設けている	必要に応じて設けている	特に設けていない	その他	分からない	設けている (TOP2) (%)	
TOTAL		326	37.4	35.0	9.2	0.0	18.4	72.4	
								(%)	
		n=	定期的に設けて いる	必要に応じて設 けている	特に設けていな い	その他	分からない	設けている (TOP2)	
Q3 売上高	TOTAL	326	37.4	35.0	9.2	0.0	18.4	72.4	
	50億円未満	120	20.0	45.0	16.7	0.0	18.3	65.0	
	50～500億円未満	79	45.6	34.2	3.8	0.0	16.5	79.7	
	500億円以上	99	56.6	24.2	6.1	0.0	13.1	80.8	
	分からない	28	21.4	32.1	3.6	0.0	42.9	53.6	
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	16.7	44.1	16.7	0.0	22.5	60.8	
	100～500人未満	83	39.8	38.6	6.0	0.0	15.7	78.3	
	500人以上	139	51.8	26.6	5.8	0.0	15.8	78.4	
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	34.5	55.2	3.4	0.0	6.9	89.7	
	電気・情報通信機械器具・部品	57	43.9	35.1	8.8	0.0	12.3	78.9	
	輸送用機械器具・部品	30	50.0	20.0	6.7	0.0	23.3	70.0	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	29.4	37.3	15.7	0.0	17.6	66.7	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	46.9	31.3	9.4	0.0	12.5	78.1	
	食料品・飲料品	27	25.9	44.4	7.4	0.0	22.2	70.4	
	衣料品・日用品・消耗品	14	42.9	50.0	0.0	0.0	7.1	92.9	
	その他	86	33.7	27.9	10.5	0.0	27.9	61.6	
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	31.3	40.6	11.5	0.0	16.7	71.9	
	30～100人未満	70	41.4	41.4	8.6	0.0	8.6	82.9	
	100～500人未満	46	37.0	43.5	6.5	0.0	13.0	80.4	
	500人以上	46	56.5	28.3	6.5	0.0	8.7	84.8	
	分からない	68	29.4	19.1	10.3	0.0	41.2	48.5	

## (2) 委託料金の設定・支払い方法

【設問文】 Q22 委託業務の料金設定、支払い方法はどのようになっていますか。最もあてはまるものを選んでください。

- 委託料金の設定・支払い方法では、「事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）」が最も高く、41.4%。「事前に取り決めた時間単価をベースに、掛った工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）」23.0%、「料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている」6.7%が続く。

図表 I-7-2. 委託料金の設定・支払い方法（Q22）

- 事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）
- 事前に取り決めた時間単価をベースに、掛った工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）
- 定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている
- 料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている
- その他
- 分からない

	n=	n=					(%)
TOTAL	326	41.4	23.0	5.2	6.7	0	23.6

		n=	事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）	事前に取り決めた時間単価をベースに、掛った工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）	定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている	料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている	その他	分からない
TOTAL		326	41.4	23.0	5.2	6.7	0.0	23.6
Q3 売上高	50億円未満	120	40.0	21.7	5.0	11.7	0.0	21.7
	50～500億円未満	79	45.6	26.6	1.3	3.8	0.0	22.8
	500億円以上	99	46.5	25.3	9.1	2.0	0.0	17.2
	分からない	28	17.9	10.7	3.6	10.7	0.0	57.1
Q4 会社の従業員数	100人未満	102	38.2	14.7	4.9	13.7	0.0	28.4
	100～500人未満	83	41.0	25.3	2.4	6.0	0.0	25.3
	500人以上	139	44.6	28.1	7.2	2.2	0.0	18.0
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q5 委託業務の生産品目	電子部品・デバイス	29	41.4	31.0	13.8	3.4	0.0	10.3
	電気・情報通信機械器具・部品	57	50.9	22.8	5.3	3.5	0.0	17.5
	輸送用機械器具・部品	30	26.7	30.0	0.0	10.0	0.0	33.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	35.3	23.5	9.8	11.8	0.0	19.6
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	62.5	15.6	6.3	0.0	0.0	15.6
	食料品・飲料品	27	44.4	18.5	0.0	3.7	0.0	33.3
	衣料品・日用品・消耗品	14	64.3	21.4	0.0	0.0	0.0	14.3
	その他	86	31.4	22.1	3.5	10.5	0.0	32.6
Q6 委託業務の委託先の従業員数	30人未満	96	42.7	19.8	7.3	8.3	0.0	21.9
	30～100人未満	70	51.4	28.6	5.7	5.7	0.0	8.6
	100～500人未満	46	37.0	34.8	4.3	4.3	0.0	19.6
	500人以上	46	54.3	26.1	8.7	2.2	0.0	8.7
	分からない	68	23.5	11.8	0.0	10.3	0.0	54.4

### (3) 生産性向上の場合の委託料金の見直し状況

【設問文】 Q23 委託業務の生産性が向上したことにより、少ない人数で業務を処理することが可能になった場合、委託料金(単価) はどうしていますか。  
最もあてはまるものを選んでください。

- 生産性向上の場合の委託料金の見直し状況では、「変えないことが多い」が最も高く、38.3%。「変えない」25.5%、「減らすことが多い」8.9%が続く。
- 「変えない」「変えないことが多い」を合わせた「変えない(TOP2)」の割合は、63.8%。「減らすことが多い」「減らす」を合わせた「減らす(BOTTOM2)」の割合は、10.1%。

図表 I-7-3. 生産性向上の場合の委託料金の見直し状況 (Q23)

		n=	(% )					変えない (TOP2)	減らす (BOTTOM2)
			■ 変えない	■ 変えないことが多い	■ 減らすことが多い	■ 減らす	■ 分からない		
TOTAL		326	25.5	38.3	8.9	1.2	26.1	63.8	10.1
			(% )						
		n=	変えない	変えないことが多い	減らすことが多い	減らす	分からない	変えない (TOP2)	減らす (BOTTOM2)
Q3 売上高	TOTAL	326	25.5	38.3	8.9	1.2	26.1	63.8	10.1
	50億円未満	120	25.8	35.0	10.0	0.8	28.3	60.8	10.8
	50~500億円未満	79	29.1	43.0	6.3	2.5	19.0	72.2	8.9
	500億円以上	99	24.2	43.4	11.1	1.0	20.2	67.7	12.1
	分からない	28	17.9	21.4	3.6	0.0	57.1	39.3	3.6
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	25.5	34.3	6.9	1.0	32.4	59.8	7.8
	100~500人未満	83	28.9	42.2	7.2	2.4	19.3	71.1	9.6
	500人以上	139	23.7	39.6	11.5	0.7	24.5	63.3	12.2
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	20.7	51.7	17.2	0.0	10.3	72.4	17.2
	電気・情報通信機械器具・部品	57	36.8	38.6	7.0	0.0	17.5	75.4	7.0
	輸送用機械器具・部品	30	20.0	30.0	16.7	3.3	30.0	50.0	20.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	15.7	45.1	9.8	2.0	27.5	60.8	11.8
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	32	28.1	46.9	15.6	3.1	6.3	75.0	18.8
	食料品・飲料品	27	14.8	40.7	3.7	3.7	37.0	55.6	7.4
	衣料品・日用品・消耗品	14	50.0	35.7	7.1	0.0	7.1	85.7	7.1
その他	86	25.6	29.1	3.5	0.0	41.9	54.7	3.5	
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	30.2	35.4	8.3	1.0	25.0	65.6	9.4
	30~100人未満	70	27.1	45.7	15.7	0.0	11.4	72.9	15.7
	100~500人未満	46	34.8	47.8	4.3	2.2	10.9	82.6	6.5
	500人以上	46	21.7	52.2	8.7	4.3	13.0	73.9	13.0
	分からない	68	13.2	19.1	5.9	0.0	61.8	32.4	5.9

#### (4) 委託料金の値上げ申し入れへの対応

【設問文】 Q24 委託先から委託料金の値上げの申し入れがあった場合、どのように対応しますか。

- 委託料金の値上げ申し入れへの対応では、「協議に応じ、値上げを行うことがある」が最も高く、55.8%。「協議には応じるが、値上げの可能性は低い」15.3%、「協議に応じるかどうか分からない」8.0%が続く。
- 「協議には応じるが、値上げの可能性は低い」「協議に応じるかどうか分からない」「協議には応じない可能性が高い」「協議に応じない（値上げは行わない）」を合わせた「値上げしない（BOTTOM4）」の割合は、26.7%。

図表 I-7-4. 委託料金の値上げ申し入れへの対応 (Q24)

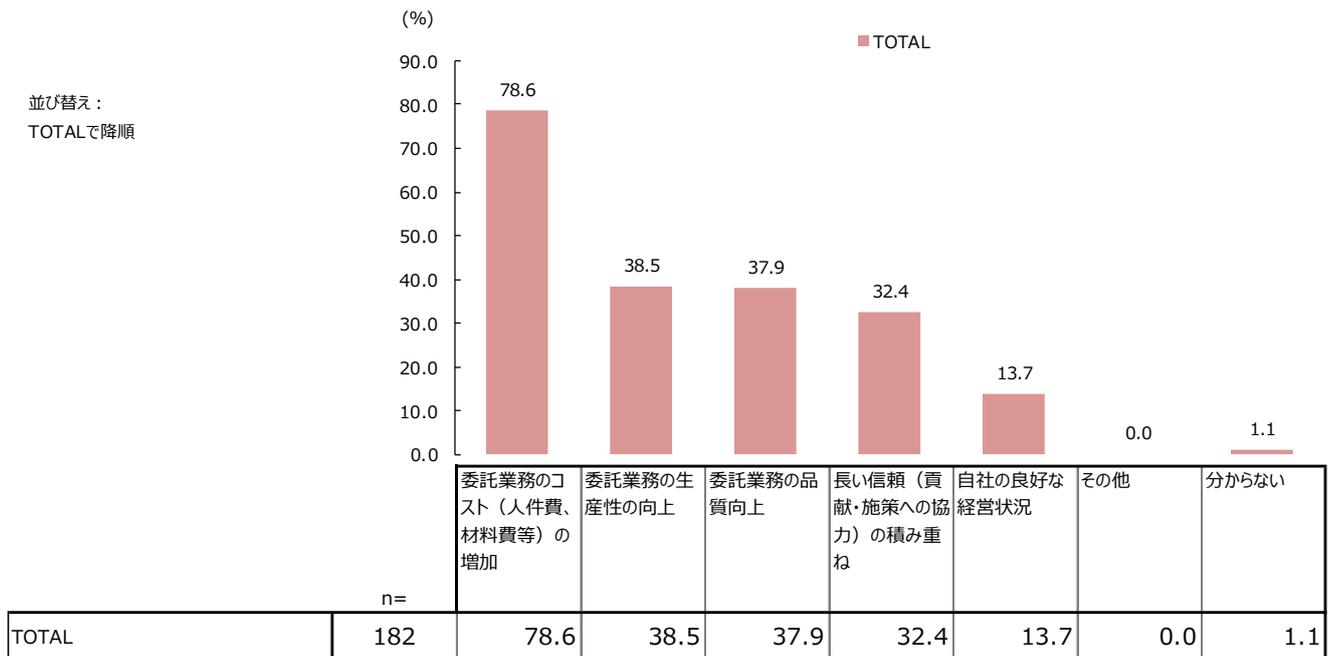
		n=	協議に応じ、値上げを行うことがある	協議には応じるが、値上げの可能性は低い	協議に応じるかどうか分からない	協議には応じない可能性が高い	協議に応じない（値上げは行わない）	分からない	値上げしない (BOTTOM4)
			(%)						
TOTAL		326	55.8	15.3	8.0	2.5	0.9	17.5	26.7
Q3 売上高	50億円未満	120	58.3	14.2	5.0	3.3	0.8	18.3	23.3
	50～500億円未満	79	49.4	21.5	11.4	1.3	1.3	15.2	35.4
	500億円以上	99	63.6	11.1	11.1	3.0	1.0	10.1	26.3
	分からない	28	35.7	17.9	0.0	0.0	0.0	46.4	17.9
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	56.9	14.7	4.9	2.0	1.0	20.6	22.5
	100～500人未満	83	50.6	21.7	7.2	3.6	1.2	15.7	33.7
	500人以上	139	59.0	12.2	10.8	2.2	0.7	15.1	25.9
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	48.3	27.6	13.8	3.4	0.0	6.9	44.8
	電気・情報通信機械器具・部品	57	61.4	19.3	5.3	1.8	1.8	10.5	28.1
	輸送用機械器具・部品	30	53.3	10.0	13.3	3.3	0.0	20.0	26.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	62.7	11.8	5.9	2.0	2.0	15.7	21.6
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	68.8	15.6	6.3	3.1	3.1	3.1	28.1
	食料品・飲料品	27	48.1	18.5	11.1	0.0	0.0	22.2	29.6
	衣料品・日用品・消耗品	14	57.1	21.4	14.3	0.0	0.0	7.1	35.7
	その他	86	48.8	10.5	5.8	3.5	0.0	31.4	19.8
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	66.7	13.5	3.1	2.1	1.0	13.5	19.8
	30～100人未満	70	58.6	21.4	11.4	1.4	0.0	7.1	34.3
	100～500人未満	46	37.0	30.4	13.0	6.5	2.2	10.9	52.2
	500人以上	46	65.2	10.9	13.0	4.3	0.0	6.5	28.3
	分からない	68	44.1	4.4	4.4	0.0	1.5	45.6	10.3

## (5) 値上げに応じる際に重視する理由

【設問文】 Q25 Q24 で、「協議に応じ、値上げを行うことがある」と答えた方にお伺いします。値上げに応じる際に、重視する理由を最大3つまで選んでください。

- 値上げに応じる際に重視する理由では、「委託業務のコスト（人件費、材料費等）の増加」が最も高く、78.6%。「委託業務の生産性の向上」38.5%、「委託業務の品質向上」37.9%が続く。

図表 I-7-5. 値上げに応じる際に重視する理由（Q25） \* 回答は3つまで \*



## 8. 今後の事業運営

### (1) 今後のアウトソーシング(外部委託)の方向性

【設問文】 Q26 今後、アウトソーシング（外部委託）の方向性をどのように思われますか。

- 今後のアウトソーシング（外部委託）の方向性では、「外部委託に重点を置くと思われる」が最も高く、23.6%。「自社化に重点を置くと思われる」20.2%、「どちらともいえない」「分からない」16.6%、「外部委託と派遣活用の両方に重点を置くと思われる」16.0%が続く。

図表 I-8-1. 今後のアウトソーシング（外部委託）の方向性（Q26）

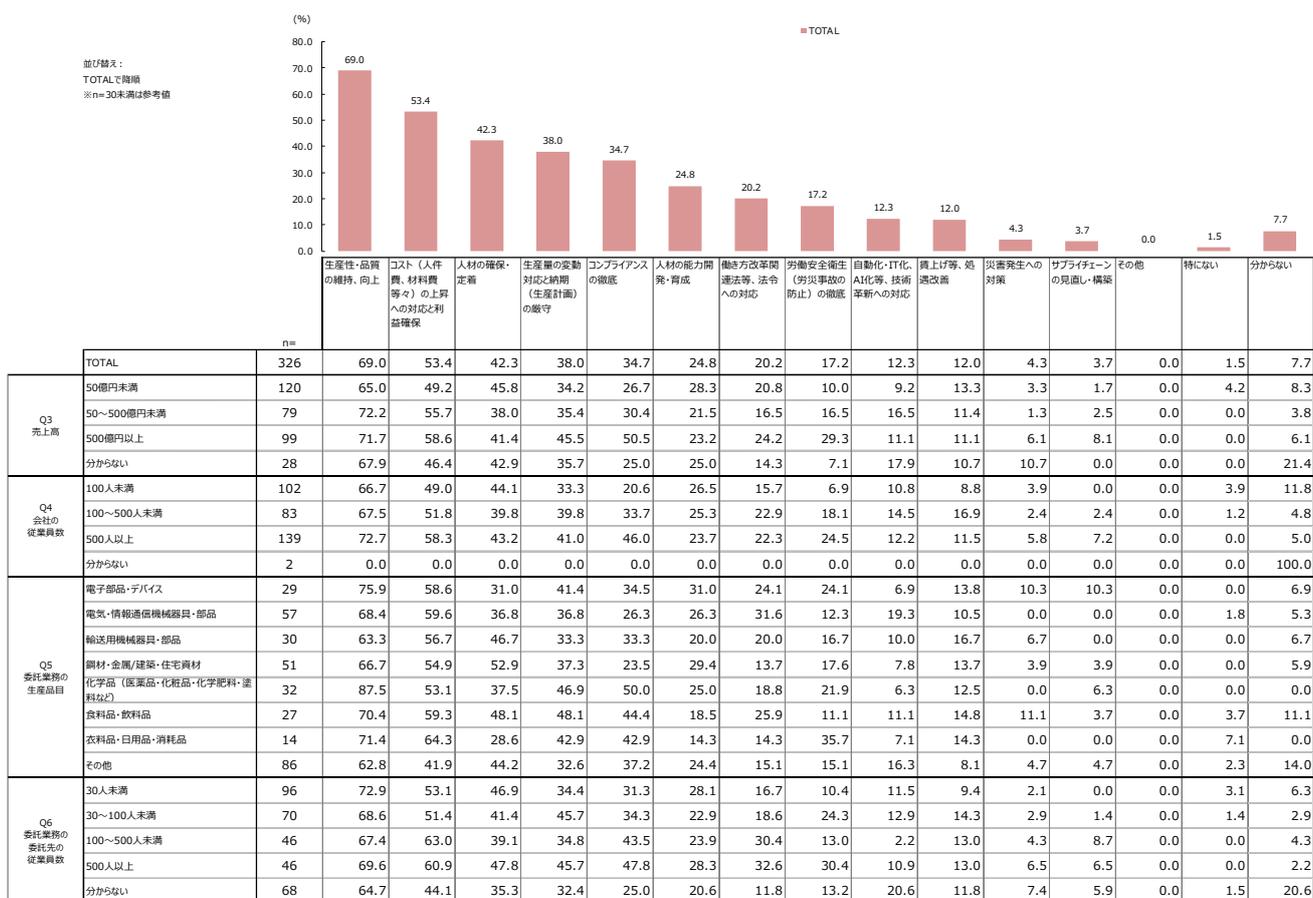
		n=	n=							(%)
			■ 自社化に重点を置くと思われる	■ 外部委託に重点を置くと思われる	■ 派遣活用に重点を置くと思われる	■ 外部委託と派遣活用の両方に重点を置くと思われる	■ どちらともいえない	■ その他	■ 分からない	
TOTAL		326	20.2	23.6	7.1	16.0	16.6	0.0	16.6	
			n=							(%)
	TOTAL	326	20.2	23.6	7.1	16.0	16.6	0.0	16.6	
Q3 売上高	50億円未満	120	25.8	24.2	4.2	10.8	16.7	0.0	18.3	
	50～500億円未満	79	22.8	21.5	10.1	19.0	15.2	0.0	11.4	
	500億円以上	99	17.2	30.3	8.1	20.2	14.1	0.0	10.1	
	分からない	28	0.0	3.6	7.1	14.3	28.6	0.0	46.4	
Q4 会社の 従業員数	100人未満	102	25.5	20.6	2.9	10.8	19.6	0.0	20.6	
	100～500人未満	83	18.1	22.9	7.2	16.9	19.3	0.0	15.7	
	500人以上	139	18.0	26.6	10.1	19.4	12.9	0.0	12.9	
	分からない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
Q5 委託業務の 生産品目	電子部品・デバイス	29	20.7	31.0	10.3	17.2	6.9	0.0	13.8	
	電気・情報通信機械器具・部品	57	19.3	31.6	7.0	22.8	8.8	0.0	10.5	
	輸送用機械器具・部品	30	16.7	30.0	6.7	13.3	10.0	0.0	23.3	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	51	23.5	17.6	7.8	11.8	21.6	0.0	17.6	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	32	21.9	31.3	9.4	21.9	9.4	0.0	6.3	
	食料品・飲料品	27	22.2	18.5	3.7	14.8	22.2	0.0	18.5	
	衣料品・日用品・消耗品	14	35.7	21.4	7.1	28.6	7.1	0.0	0.0	
	その他	86	16.3	16.3	5.8	10.5	26.7	0.0	24.4	
Q6 委託業務の 委託先の 従業員数	30人未満	96	24.0	25.0	4.2	10.4	21.9	0.0	14.6	
	30～100人未満	70	30.0	28.6	4.3	17.1	14.3	0.0	5.7	
	100～500人未満	46	17.4	23.9	19.6	21.7	8.7	0.0	8.7	
	500人以上	46	15.2	30.4	8.7	26.1	13.0	0.0	6.5	
	分からない	68	10.3	11.8	4.4	11.8	19.1	0.0	42.6	

## (2) 事業継続のための重要課題

【設問文】 Q27 今後、事業を継続していく上で、現在、重要課題と考えられるものを最大5つまで選んでください。

- 事業継続のための重要課題では、「生産性・品質の維持、向上」が最も高く、69.0%。「コスト（人件費、材料費等々）の上昇への対応と利益確保」53.4%、「人材の確保・定着」42.3%が続く。

図表 I-8-2. 事業継続のための重要課題（Q27） \* 回答は5つまで \*



## II. 受託者(請負事業者)

# 1. 会社の概要

## (1) 受託者の概要

【設問文】 Q1 あなたの性別をお答えください。 / Q2 あなたの年齢をお答えください。

- 回答者の性別、年齢は次のとおり。

図表 II-1-1①. 回答者の性別 (Q1)



図表 II-1-1②. 回答者の年齢 (Q2)



【設問文】 Q3 あなたの会社の年間のおよその売上高について、お答えください。

- 回答者の会社の年間売上高は、「100 億円以上」が最も高く、23.5%。「10～50 億円未満」18.3%、「1～5 億円未満」17.0%が続く。

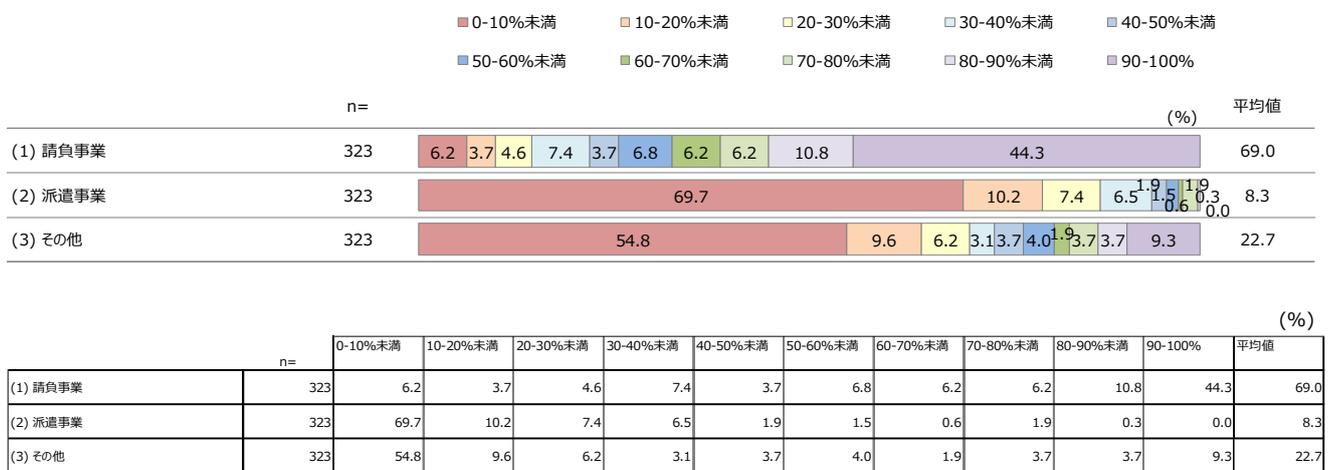
図表 II-1-1③. 回答者の会社の年間売上高 (Q3)

		n=	1億円未満	1～5億円未満	5～10億円未満	10～50億円未満	50～100億円未満	100億円以上	分からない
			(%)						
TOTAL		323	9.9	17.0	8.4	18.3	11.1	23.5	11.8
			(%)						
		n=	1億円未満	1～5億円未満	5～10億円未満	10～50億円未満	50～100億円未満	100億円以上	分からない
TOTAL		323	9.9	17.0	8.4	18.3	11.1	23.5	11.8
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	47	10.6	4.3	8.5	17.0	4.3	46.8	8.5
	請負事業 (30～70%未満)	78	5.1	16.7	14.1	10.3	12.8	30.8	10.3
	請負事業 (70%以上)	198	11.6	20.2	6.1	21.7	12.1	15.2	13.1
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	20.0	34.3	12.9	17.1	3.6	1.4	10.7
	100～500人未満	105	3.8	4.8	7.6	28.6	23.8	19.0	12.4
	500人以上	74	0.0	2.7	1.4	6.8	8.1	73.0	8.1
	分からない	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	21.4	14.3	3.6	25.0	3.6	17.9	14.3
	電気・情報通信機械器具・部品	51	9.8	15.7	11.8	17.6	17.6	21.6	5.9
	輸送用機械器具・部品	28	7.1	10.7	10.7	14.3	21.4	25.0	10.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	8.9	21.4	5.4	17.9	10.7	26.8	8.9
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	31	6.5	9.7	9.7	22.6	6.5	32.3	12.9
	食料品・飲料品	20	5.0	10.0	10.0	25.0	10.0	35.0	5.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	38.5	15.4	7.7	15.4	7.7	0.0
	その他	96	9.4	18.8	7.3	16.7	8.3	20.8	18.8
Q7 受託 (請負) 業務の 人員規模	30人未満	104	23.1	32.7	9.6	14.4	6.7	3.8	9.6
	30～100人未満	89	5.6	18.0	12.4	24.7	11.2	18.0	10.1
	100～500人未満	67	4.5	3.0	7.5	26.9	23.9	25.4	9.0
	500人以上	41	0.0	2.4	0.0	7.3	7.3	75.6	7.3
	分からない	22	0.0	9.1	4.5	4.5	0.0	36.4	45.5

【設問文】 Q4 あなたの会社の年間売上高に占める事業別のおよその売上比率を教えてください。（数字は概算値で結構です。）

- 回答者の会社の事業別の売上高比率について、「90-100%」の割合が高いのは『（1）請負事業』（44.3%）で4割強。
- 一方で、「0-10%未満」の割合が高いのは『（2）派遣事業』（69.7%）で約7割。次いで、『（3）その他』（54.8%）で5割台半ばである。

図表 II-1-1④. 回答者の会社の事業別の売上高比率（Q4）



【設問文】 Q4 あなたの会社の年間売上高に占める事業別のおよその売上比率を教えてください。（数字は概算値で結構です。）

(1) 請負事業

- 回答者の会社の事業別の売上高比率は、請負事業では「90-100%」が最も高く、44.3%。「80-90%未満」10.8%、「30-40%未満」7.4%が続く。

図表 II-1-1④. 回答者の会社の事業別の売上高比率

(1) 請負事業 (Q4)

■ 0-10%未満 ■ 10-20%未満 ■ 20-30%未満 ■ 30-40%未満 ■ 40-50%未満 ■ 50-60%未満 ■ 60-70%未満 ■ 70-80%未満 ■ 80-90%未満 ■ 90-100%

	n=	n=										平均値
		n=										(%)
TOTAL	323	6.2	3.7	4.6	7.4	3.7	6.8	6.2	6.2	10.8	44.3	69.0

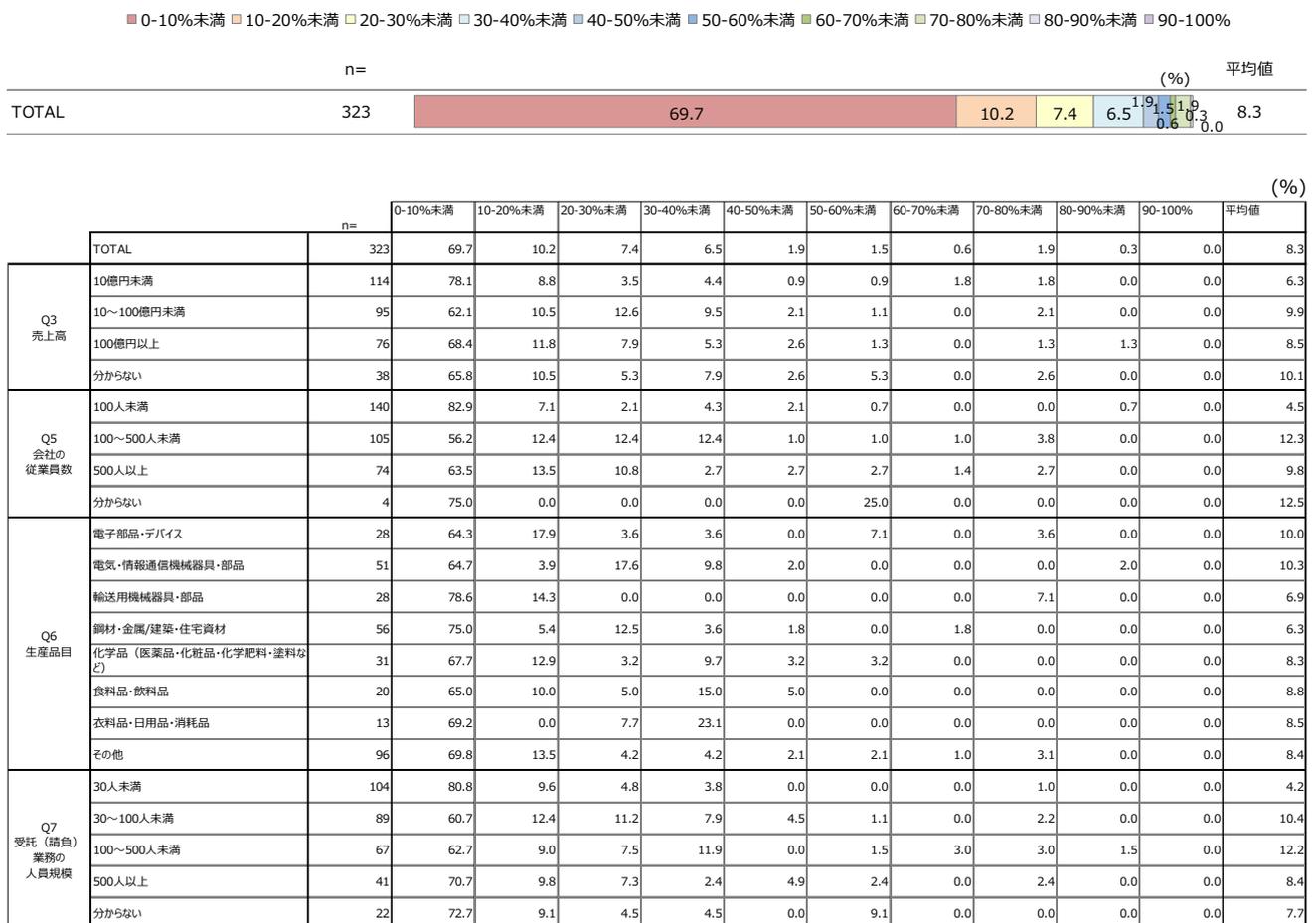
		n=	n=										平均値
			0-10%未満	10-20%未満	20-30%未満	30-40%未満	40-50%未満	50-60%未満	60-70%未満	70-80%未満	80-90%未満	90-100%	(%)
TOTAL		323	6.2	3.7	4.6	7.4	3.7	6.8	6.2	6.2	10.8	44.3	69.0
Q3 売上高	10億円未満	114	5.3	1.8	2.6	9.6	2.6	5.3	7.0	4.4	8.8	52.6	73.5
	10~100億円未満	95	4.2	3.2	3.2	4.2	4.2	6.3	4.2	11.6	13.7	45.3	73.5
	100億円以上	76	10.5	7.9	10.5	10.5	6.6	5.3	9.2	2.6	9.2	27.6	53.8
	分からない	38	5.3	2.6	2.6	2.6	0.0	15.8	2.6	5.3	13.2	50.0	74.6
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	7.1	2.9	3.6	5.0	2.9	6.4	5.0	4.3	8.6	54.3	73.4
	100~500人未満	105	3.8	1.9	3.8	7.6	5.7	7.6	6.7	9.5	12.4	41.0	70.1
	500人以上	74	8.1	6.8	8.1	12.2	2.7	4.1	8.1	5.4	13.5	31.1	59.9
	分からない	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	52.5
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	7.1	3.6	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	3.6	10.7	53.6	71.4
	電気・情報通信機械器具・部品	51	2.0	3.9	7.8	9.8	2.0	3.9	13.7	2.0	9.8	45.1	69.5
	輸送用機械器具・部品	28	7.1	0.0	10.7	7.1	3.6	7.1	7.1	3.6	3.6	50.0	69.1
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	7.1	1.8	1.8	1.8	8.9	1.8	7.1	5.4	8.9	55.4	75.8
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	6.5	6.5	9.7	9.7	6.5	9.7	3.2	9.7	9.7	29.0	59.2
	食料品・飲料品	20	0.0	5.0	5.0	15.0	0.0	10.0	5.0	15.0	10.0	35.0	67.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	15.4	23.1	7.7	15.4	55.0
その他	96	6.3	5.2	3.1	8.3	1.0	8.3	3.1	5.2	15.6	43.8	69.4	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	10.6	4.8	5.8	6.7	1.9	6.7	4.8	2.9	12.5	43.3	65.5
	30~100人未満	89	2.2	2.2	3.4	5.6	5.6	7.9	7.9	9.0	11.2	44.9	73.0
	100~500人未満	67	1.5	1.5	3.0	11.9	6.0	4.5	4.5	9.0	7.5	50.7	74.0
	500人以上	41	7.3	4.9	9.8	4.9	2.4	4.9	9.8	4.9	12.2	39.0	65.5
	分からない	22	13.6	9.1	0.0	9.1	0.0	13.6	4.5	4.5	9.1	36.4	60.0

【設問文】 Q4 あなたの会社の年間売上高に占める事業別のおよその売上比率を教えてください。（数字は概算値で結構です。）

(2) 派遣事業

- 回答者の会社の派遣事業の売上比率は、派遣事業では「0-10%未満」が最も高く、69.7%。「10-20%未満」10.2%、「20-30%未満」7.4%が続く。

図表 II-1-1④. 回答者の会社の事業別の売上高比率  
(2) 派遣事業 (Q4)

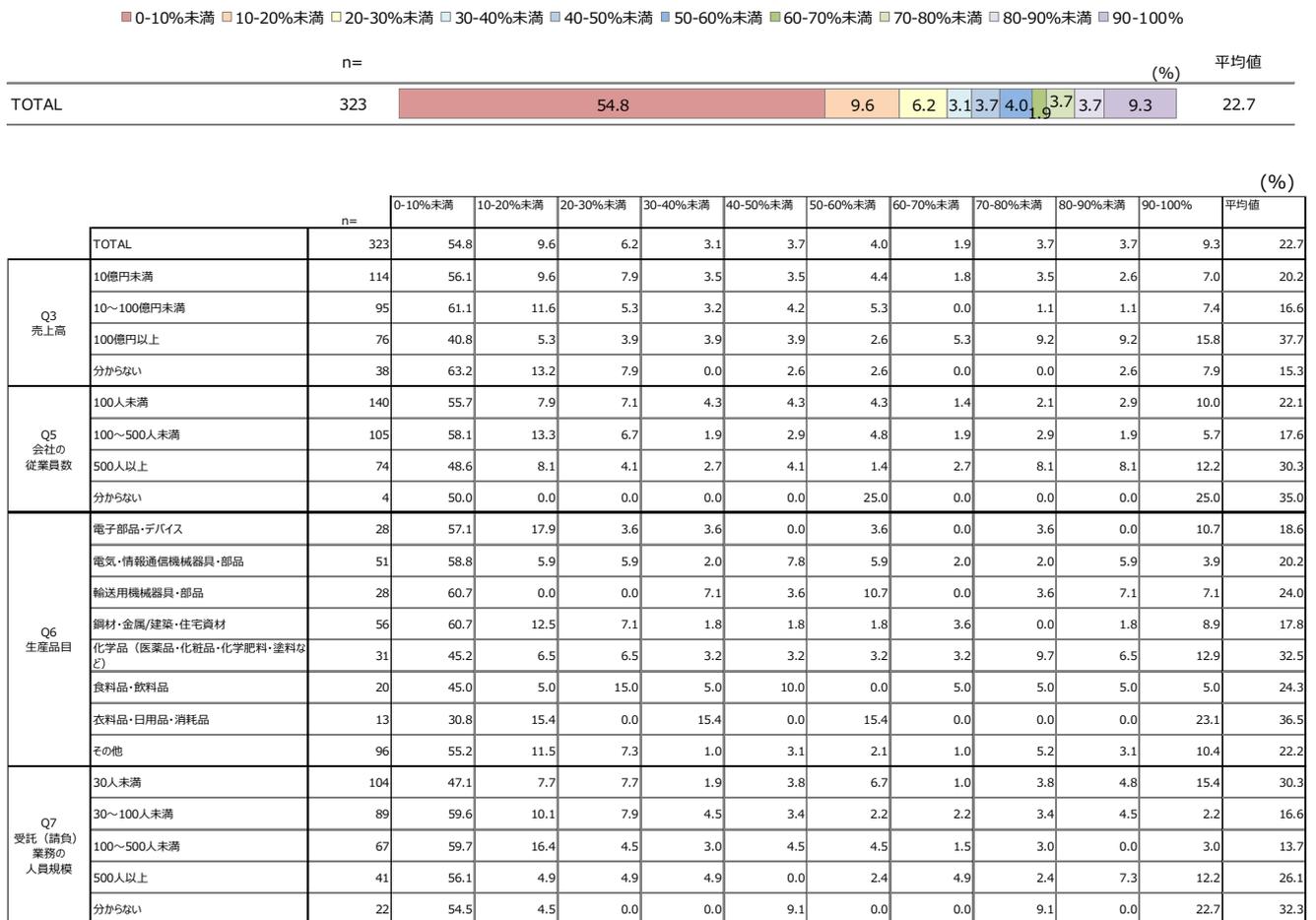


【設問文】 Q4 あなたの会社の年間売上高に占める事業別のおよその売上比率を教えてください。（数字は概算値で結構です。）

(3) その他

- 回答者の会社のその他の売上比率は、その他の事業では「0-10%未満」が最も高く、54.8%。「10-20%未満」9.6%、「90-100%」9.3%が続く。

図表 II-1-1④. 回答者の会社の事業別の売上高比率  
(3) その他 (Q4)



【設問文】 Q5 あなたの会社の従業員（現場スタッフを含む）のおよその人数について、お答えください。

- 回答者の会社の人数規模では、「100～300 人未満」が最も高く、21.7%。「10～50 人未満」20.1%、「50～100 人未満」13.6%が続く。

図表 II-1-1⑤. 回答者の会社の人数規模（Q5）



## 2. 請負業務の概要

### (1) 請負業務の生產品目

【設問文】 Q6 請負業務の生產品目について教えてください。最も該当するものを1つ選んでください。

- 請負業務の生產品目では、「鋼材・金属」が最も高く、14.6%。「電気機械器具・部品」13.0%、「化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）」9.6%が続く。

図表 II-2-1. 請負業務の生產品目（Q6）

		n=												(%)
TOTAL		323	0.9	8.7	13.0	2.8	8.7	14.6	9.6	6.2	4.0	2.8	28.8	

		n=	事務用機械器具・部品	電子部品・デバイス	電気機械器具・部品	情報通信機械器具・部品	輸送用機械器具・部品	鋼材・金属	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	食料品・飲料品	衣料品・日用品・消耗品	建築・住宅資材	その他	(%)
Q3 売上高	TOTAL	323	0.9	8.7	13.0	2.8	8.7	14.6	9.6	6.2	4.0	2.8	28.8	
	10億円未満	114	1.8	9.6	13.2	3.5	7.0	15.8	7.0	4.4	7.9	1.8	28.1	
	10～100億円未満	95	0.0	8.4	15.8	3.2	10.5	13.7	9.5	7.4	3.2	3.2	25.3	
	100億円以上	76	1.3	6.6	13.2	1.3	9.2	15.8	13.2	9.2	1.3	3.9	25.0	
	分からない	38	0.0	10.5	5.3	2.6	7.9	10.5	10.5	2.6	0.0	2.6	47.4	
Q4 事業別の売上比率	請負事業（30%未満）	47	0.0	6.4	12.8	2.1	10.6	8.5	14.9	4.3	6.4	4.3	29.8	
	請負事業（30～70%未満）	78	2.6	7.7	15.4	3.8	9.0	12.8	11.5	7.7	5.1	1.3	23.1	
	請負事業（70%以上）	198	0.5	9.6	12.1	2.5	8.1	16.7	7.6	6.1	3.0	3.0	30.8	
Q5 会社の従業員数	100人未満	140	1.4	9.3	12.1	2.1	7.9	15.0	7.9	5.7	6.4	1.4	30.7	
	100～500人未満	105	0.0	10.5	16.2	3.8	5.7	13.3	11.4	3.8	2.9	5.7	26.7	
	500人以上	74	1.4	5.4	10.8	2.7	13.5	14.9	9.5	9.5	1.4	1.4	29.7	
	分からない	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
Q7 受託（請負）業務の人員規模	30人未満	104	1.9	6.7	13.5	1.9	10.6	12.5	9.6	4.8	8.7	1.0	28.8	
	30～100人未満	89	0.0	13.5	14.6	3.4	4.5	15.7	9.0	5.6	1.1	3.4	29.2	
	100～500人未満	67	0.0	10.4	14.9	3.0	7.5	14.9	13.4	4.5	3.0	4.5	23.9	
	500人以上	41	2.4	2.4	12.2	0.0	17.1	12.2	7.3	7.3	2.4	2.4	34.1	
分からない	22	0.0	4.5	0.0	9.1	4.5	22.7	4.5	18.2	0.0	4.5	31.8		

## (2) 請負業務の人数規模

【設問文】 Q7 請負業務は、全体で何人くらいで行っていますか（派遣労働者を含む）。およその人数について、お答えください。

- 請負業務の人数規模では、「30～50 人未満」「100～300 人未満」が最も高く、15.8%。「3～10 人未満」「10～30 人未満」12.1%が続く。

図表 II-2-2. 請負業務の人数規模（Q7）

		n=											(%)	
		3人未満	3～10人未満	10～30人未満	30～50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1,000人未満	1,000人以上	分からない			
TOTAL		323	8.0	12.1	12.1	15.8	11.8	15.8	5.0	3.1	9.6	6.8		
		n=											(%)	
			3人未満	3～10人未満	10～30人未満	30～50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1,000人未満	1,000人以上	分からない		
TOTAL		323	8.0	12.1	12.1	15.8	11.8	15.8	5.0	3.1	9.6	6.8		
Q3 売上高	10億円未満	114	16.7	28.1	14.9	16.7	11.4	7.9	0.9	0.9	0.0	2.6		
	10～100億円未満	95	5.3	6.3	11.6	20.0	13.7	28.4	7.4	4.2	2.1	1.1		
	100億円以上	76	0.0	0.0	5.3	10.5	10.5	13.2	9.2	3.9	36.8	10.5		
	分からない	38	5.3	2.6	18.4	13.2	10.5	13.2	2.6	5.3	2.6	26.3		
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	14.9	21.3	10.6	8.5	6.4	4.3	4.3	2.1	17.0	10.6		
	請負事業（30～70%未満）	78	6.4	10.3	10.3	16.7	14.1	20.5	2.6	0.0	11.5	7.7		
	請負事業（70%以上）	198	7.1	10.6	13.1	17.2	12.1	16.7	6.1	4.5	7.1	5.6		
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	17.1	25.0	19.3	20.7	11.4	1.4	0.7	0.7	0.0	3.6		
	100～500人未満	105	1.9	3.8	8.6	14.3	16.2	39.0	9.5	0.0	1.0	5.7		
	500人以上	74	0.0	0.0	2.7	9.5	6.8	10.8	6.8	12.2	40.5	10.8		
	分からない	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0		
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	14.3	3.6	7.1	17.9	25.0	21.4	3.6	0.0	3.6	3.6		
	電気・情報通信機械器具・部品	51	9.8	5.9	15.7	15.7	15.7	19.6	3.9	0.0	9.8	3.9		
	輸送用機械器具・部品	28	10.7	7.1	21.4	10.7	3.6	17.9	0.0	7.1	17.9	3.6		
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	1.8	12.5	10.7	21.4	8.9	8.9	14.3	1.8	8.9	10.7		
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	12.9	6.5	12.9	16.1	9.7	25.8	3.2	3.2	6.5	3.2		
	食料品・飲料品	20	0.0	15.0	10.0	15.0	10.0	5.0	10.0	0.0	15.0	20.0		
	衣料品・日用品・消耗品	13	23.1	38.5	7.7	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0		
その他	96	6.3	16.7	10.4	14.6	12.5	14.6	2.1	6.3	9.4	7.3			

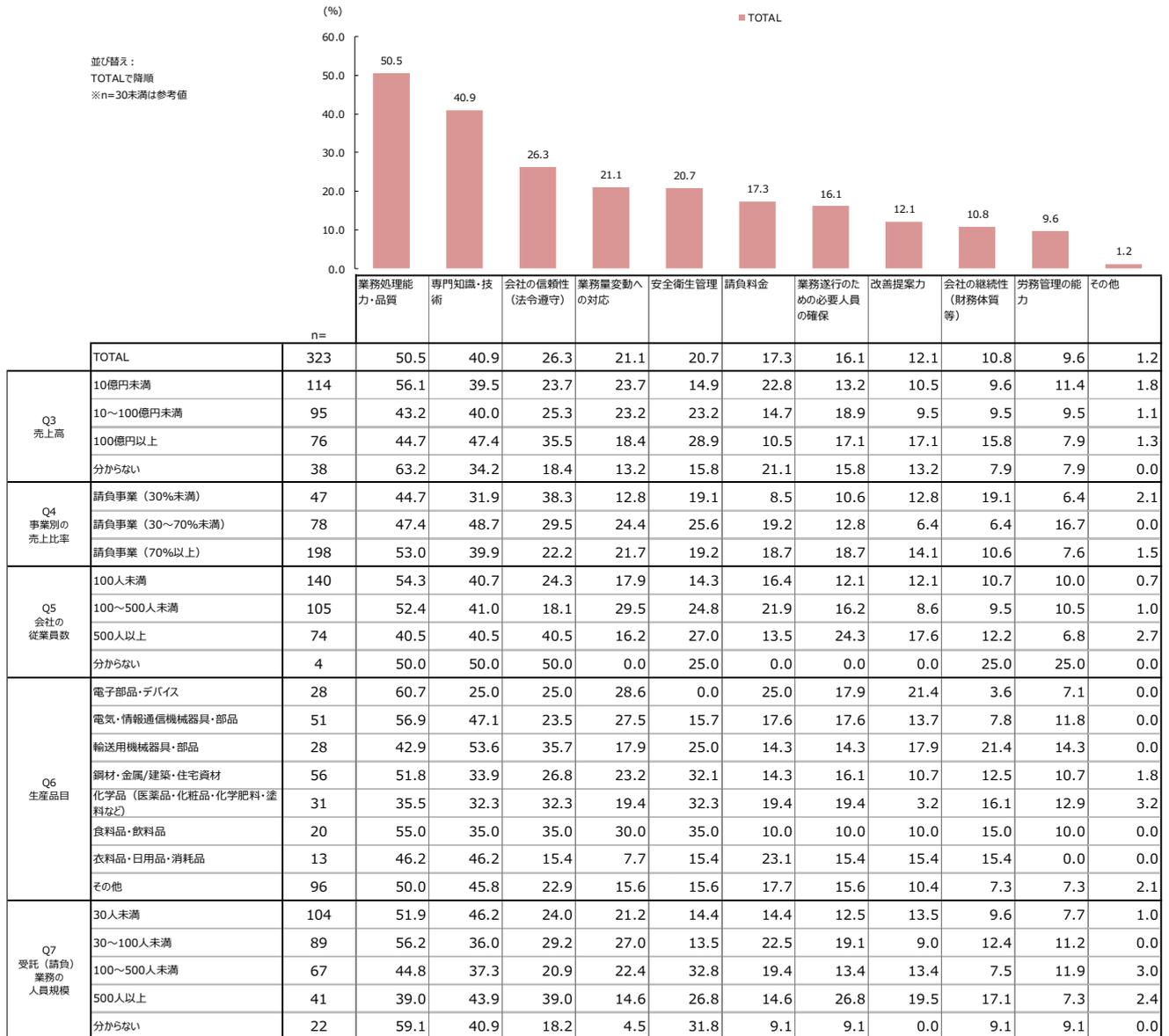
### 3. 請負業務の活用

#### (1) 受注獲得のための請負業務のアピールポイント

【設問文】 Q8 受注獲得のための自社の請負業務のアピールポイントは何ですか。次の中から最大3つまで選んでください。

- 受注獲得のための請負業務のアピールポイントでは、「業務処理能力・品質」が最も高く、50.5%。「専門知識・技術」40.9%、「会社の信頼性（法令遵守）」26.3%が続く。

図表 II-3-1. 受注獲得のための請負業務のアピールポイント（Q8）\* 回答は3つまで\*



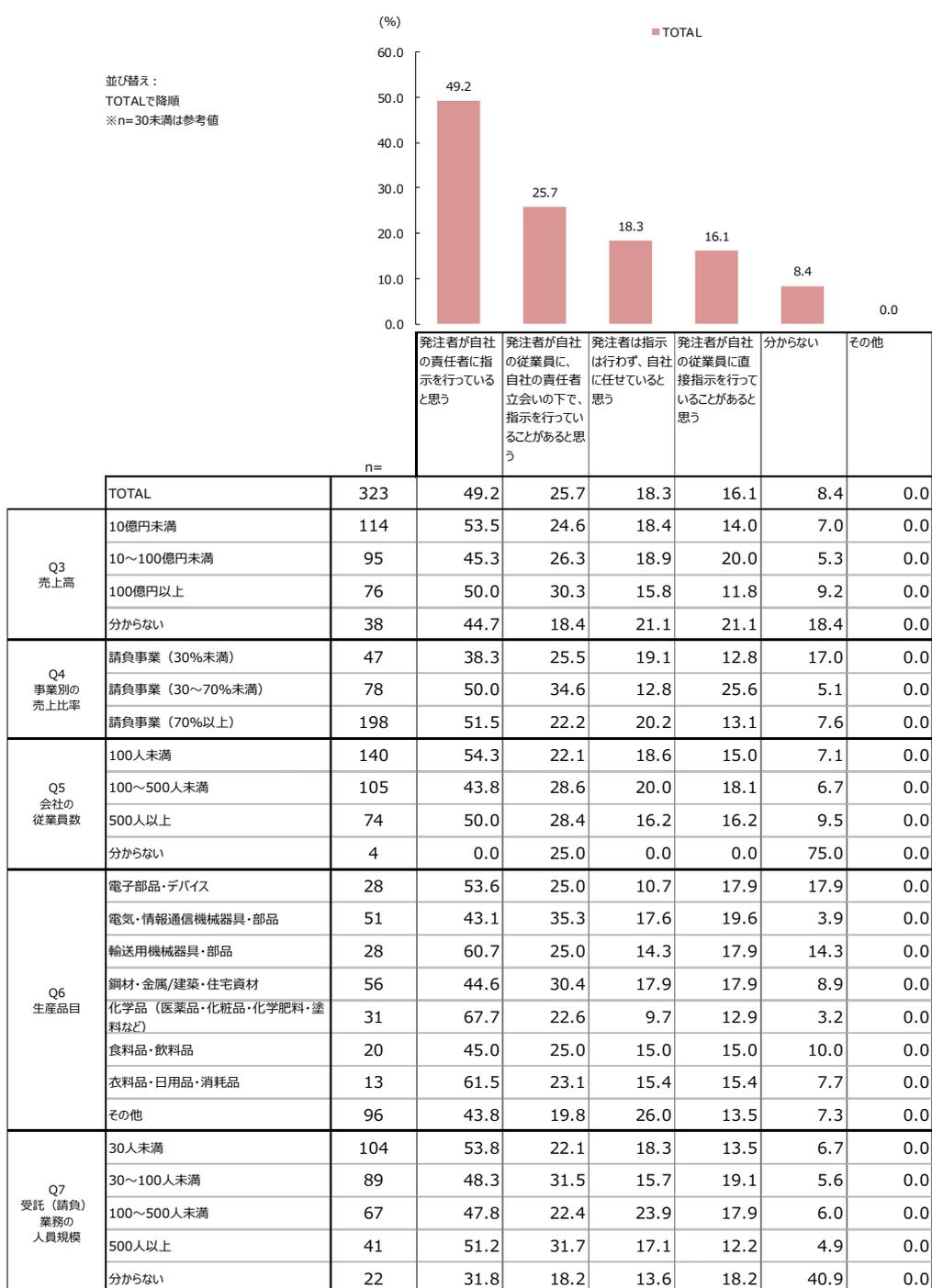
## 4. 請負業務の実態

### (1) 発注者の請負業務への指示

【設問文】 Q9 請け負っている業務の遂行に関し、発注者は自社の従業員に対してどのように指示を行っていると思いますか。あてはまると思うものをすべて選んでください。

- 発注者の請負業務への指示では、「発注者が自社の責任者に指示を行っていると思う」が最も高く、49.2%。「発注者が自社の従業員に、自社の責任者立会いの下で、指示を行っていることがあると思う」25.7%、「発注者は指示は行わず、自社に任せていると思う」18.3%、「発注者が自社の従業員に直接指示を行っていることがあると思う」16.1%が続く。

図表 II-4-1. 発注者の請負業務への指示 (Q9) \* 複数回答 \*



## (2) 発注者が直接指示する場合の可否についての従業員(請負労働者)への周知

【設問文】 Q10 発注者が自社従業員（請負労働者）に直接指示することが認められる場合（適正）と認められない場合（不適正）について、自社従業員（請負労働者）へ周知していますか。

- 発注者が直接指示する場合の可否についての従業員（請負労働者）への周知では、「従業員へ周知している」が最も高く、63.2%。「従業員への周知は行っていない」12.1%、「認められる場合と認められない場合があることを知らなかった」10.8%が続く。

図表 II-4-2. 発注者が直接指示する場合の可否についての従業員（請負労働者）への周知（Q10）

		n=	(% )			
			従業員へ周知している	従業員への周知は行っていない	認められる場合と認められない場合があることを知らなかった	分からない
TOTAL		323	63.2	12.1	10.8	13.9
Q3 売上高	10億円未満	114	60.5	13.2	13.2	13.2
	10～100億円未満	95	62.1	15.8	8.4	13.7
	100億円以上	76	75.0	6.6	10.5	7.9
	分からない	38	50.0	10.5	10.5	28.9
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	61.7	10.6	12.8	14.9
	請負事業（30～70%未満）	78	66.7	14.1	11.5	7.7
	請負事業（70%以上）	198	62.1	11.6	10.1	16.2
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	55.7	14.3	12.1	17.9
	100～500人未満	105	70.5	11.4	8.6	9.5
	500人以上	74	68.9	9.5	10.8	10.8
	分からない	4	25.0	0.0	25.0	50.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	60.7	14.3	7.1	17.9
	電気・情報通信機械器具・部品	51	58.8	15.7	15.7	9.8
	輸送用機械器具・部品	28	64.3	10.7	10.7	14.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	57.1	17.9	10.7	14.3
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	83.9	3.2	9.7	3.2
	食料品・飲料品	20	60.0	5.0	15.0	20.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	76.9	15.4	0.0	7.7
その他	96	61.5	10.4	10.4	17.7	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	57.7	15.4	11.5	15.4
	30～100人未満	89	60.7	15.7	7.9	15.7
	100～500人未満	67	73.1	9.0	11.9	6.0
	500人以上	41	78.0	7.3	9.8	4.9
	分からない	22	40.9	0.0	18.2	40.9

### (3) 請負業務の現場の状況

【設問文】 Q11 請負業務の現場は、どのような状況になっていると思いますか。

- 請負業務の現場の状況では、「自社の従業員だけで業務を行っていると思う」が最も高く、54.8%。「発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う」34.4%が続く。

図表 II-4-3. 請負業務の現場の状況 (Q11)

		n=	(%)			
			■ 自社の従業員だけで業務を行っていると思う	■ 発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う	□ その他	□ 分からない
TOTAL		323	54.8	34.4	0.6	10.2
			(%)			
		n=	自社の従業員だけで業務を行っていると思う	発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う	その他	分からない
Q3 売上高	TOTAL	323	54.8	34.4	0.6	10.2
	10億円未満	114	57.0	34.2	0.0	8.8
	10～100億円未満	95	55.8	31.6	1.1	11.6
	100億円以上	76	46.1	43.4	1.3	9.2
	分からない	38	63.2	23.7	0.0	13.2
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	53.2	31.9	0.0	14.9
	請負事業（30～70%未満）	78	50.0	47.4	0.0	2.6
	請負事業（70%以上）	198	57.1	29.8	1.0	12.1
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	59.3	30.7	0.0	10.0
	100～500人未満	105	57.1	34.3	0.0	8.6
	500人以上	74	43.2	41.9	2.7	12.2
	分からない	4	50.0	25.0	0.0	25.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	50.0	28.6	0.0	21.4
	電気・情報通信機械器具・部品	51	35.3	52.9	2.0	9.8
	輸送用機械器具・部品	28	60.7	28.6	0.0	10.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	58.9	30.4	0.0	10.7
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	61.3	35.5	0.0	3.2
	食料品・飲料品	20	55.0	35.0	0.0	10.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	76.9	23.1	0.0	0.0
	その他	96	57.3	31.3	1.0	10.4
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	59.6	30.8	0.0	9.6
	30～100人未満	89	50.6	40.4	0.0	9.0
	100～500人未満	67	59.7	32.8	1.5	6.0
	500人以上	41	46.3	41.5	2.4	9.8
	分からない	22	50.0	18.2	0.0	31.8

#### (4) 請負業務の内容・範囲の明確化の状況

【設問文】 Q12 請負業務の内容、範囲は、明確になっていますか。

- 請負業務の内容・範囲の明確化の状況では、「明確になっており、契約書等に具体的に記載している」が最も高く、62.8%。「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」19.5%、「詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない」5.3%が続く。
- 「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」「詳細には定めておらず、契約書にも具体的には記載していない」を合わせた「記載していない（BOTTOM2）」の割合は、24.8%。

図表 II-4-4. 請負業務の内容・範囲の明確化の状況（Q12）

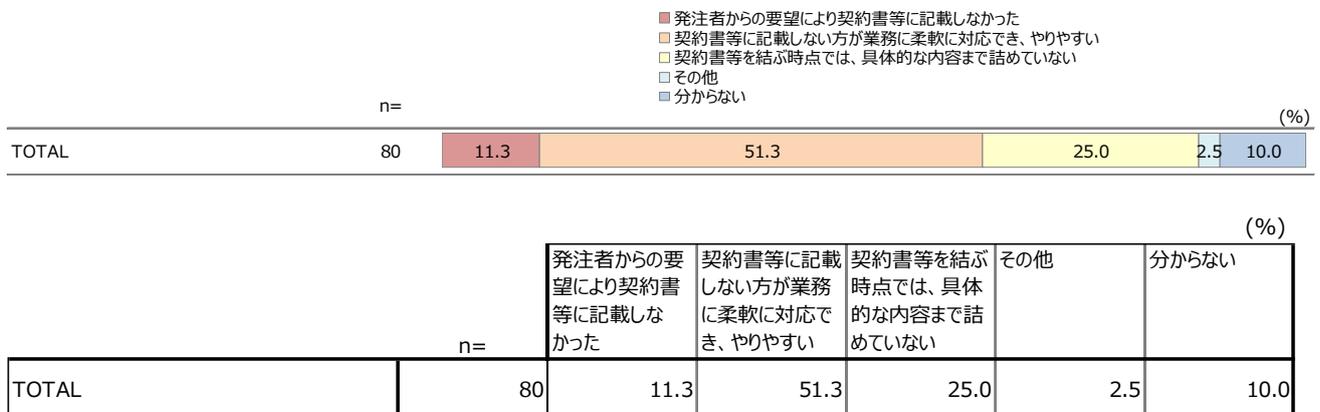
		n=	n=				記載していない (BOTTOM2)
			明確になっており、契約書等に具体的に記載している	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	分からない	(%)
TOTAL		323	62.8	19.5	5.3	12.4	24.8
							(%)
		n=	明確になっており、契約書等に具体的に記載している	明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	分からない	記載していない (BOTTOM2)
	TOTAL	323	62.8	19.5	5.3	12.4	24.8
Q3 売上高	10億円未満	114	57.9	27.2	6.1	8.8	33.3
	10～100億円未満	95	65.3	15.8	9.5	9.5	25.3
	100億円以上	76	69.7	17.1	1.3	11.8	18.4
	分からない	38	57.9	10.5	0.0	31.6	10.5
Q4 事業別の売上比率	請負事業（30%未満）	47	59.6	14.9	4.3	21.3	19.1
	請負事業（30～70%未満）	78	59.0	28.2	7.7	5.1	35.9
	請負事業（70%以上）	198	65.2	17.2	4.5	13.1	21.7
Q5 会社の従業員数	100人未満	140	56.4	25.0	5.7	12.9	30.7
	100～500人未満	105	64.8	18.1	6.7	10.5	24.8
	500人以上	74	73.0	10.8	2.7	13.5	13.5
	分からない	4	50.0	25.0	0.0	25.0	25.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	50.0	10.7	14.3	25.0	25.0
	電気・情報通信機械器具・部品	51	60.8	29.4	2.0	7.8	31.4
	輸送用機械器具・部品	28	67.9	10.7	10.7	10.7	21.4
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	62.5	17.9	1.8	17.9	19.6
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	77.4	12.9	3.2	6.5	16.1
	食料品・飲料品	20	65.0	20.0	0.0	15.0	20.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	38.5	53.8	7.7	0.0	61.5
その他	96	64.6	17.7	6.3	11.5	24.0	
Q7 受託（請負）業務の人員規模	30人未満	104	57.7	27.9	5.8	8.7	33.7
	30～100人未満	89	64.0	15.7	6.7	13.5	22.5
	100～500人未満	67	61.2	25.4	6.0	7.5	31.3
	500人以上	41	82.9	4.9	2.4	9.8	7.3
	分からない	22	50.0	4.5	0.0	45.5	4.5

## (5) 請負業務の内容・範囲の明確化をしない理由

【設問文】 Q13 Q12 で、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」または「詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない」と答えた方にお伺いします。契約書等に請負業務の内容・範囲を具体的に記載しない理由で、最もあてはまるものを選んでください。

- 請負業務の内容・範囲の明確化をしない理由では、「契約書等に記載しない方が業務に柔軟に対応でき、やりやすい」が最も高く、51.3%。「契約書等を結ぶ時点では、具体的な内容まで詰めていない」25.0%、「発注者からの要望により契約書等に記載しなかった」11.3%が続く。

図表 II-4-5. 請負業務の内容・範囲の明確化をしない理由 (Q13)

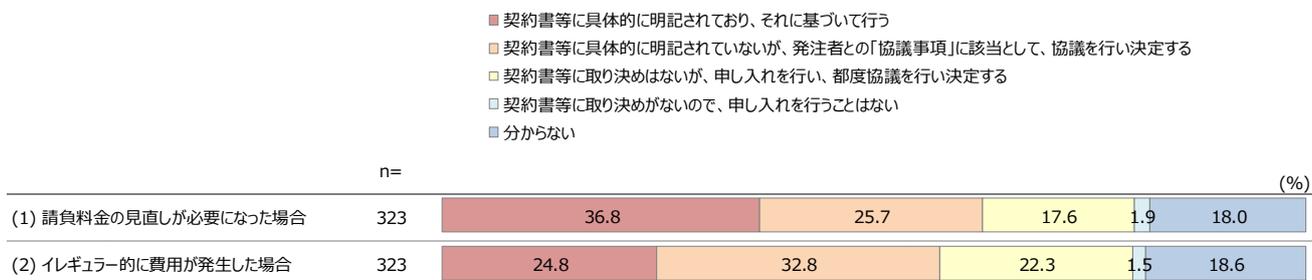


## (6) 請負料金の見直しの取り決め

【設問文】 Q14 請負料金の見直しについての取り決めや対応はどのように行っていますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

- 『(1) 請負料金の見直しが必要になった場合』では、「契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う」が最も高く、36.8%。「契約書等に具体的に明記されていないが、発注者との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する」25.7%、「契約書等に取り決めはないが、申し入れを行い、都度協議を行い決定する」17.6%が続く。
- 『(2) イレギュラー的に費用が発生した場合』では、「契約書等に具体的に明記されていないが、発注者との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する」が最も高く、32.8%。「契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う」24.8%、「契約書等に取り決めはないが、申し入れを行い、都度協議を行い決定する」22.3%が続く。

図表 II-4-6. 請負料金の見直しの取り決め (Q14)



	n=	契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う (%)	契約書等に具体的に明記されていないが、発注者との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する (%)	契約書等に取り決めはないが、申し入れを行い、都度協議を行い決定する (%)	契約書等に取り決めがないので、申し入れを行うことはない (%)	分からない (%)
(1) 請負料金の見直しが必要になった場合	323	36.8	25.7	17.6	1.9	18.0
(2) イレギュラー的に費用が発生した場合	323	24.8	32.8	22.3	1.5	18.6

【設問文】 Q14 請負料金の見直しについての取り決めや対応はどのように行っていますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

(1)請負料金の見直しが必要になった場合（業務内容の変更、生産性向上、運営コスト増等）

- 請負料金の見直しが必要になった場合では、「契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う」が最も高く、36.8%。「契約書等に具体的に明記されていないが、発注者との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する」25.7%、「契約書等に取り決めはないが、申し入れを行い、都度協議を行い決定する」17.6%が続く。

図表 II-4-6①. 請負料金の見直しの取り決め  
(1)請負料金の見直しが必要になった場合（Q14）

- 契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う
- 契約書等に具体的に明記されていないが、発注者との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する
- 契約書等に取り決めはないが、申し入れを行い、都度協議を行い決定する
- 契約書等に取り決めがないので、申し入れを行うことはない
- 分からない

		n=	(%)				
TOTAL		323	36.8	25.7	17.6	1.9	18.0

		n=	(%)				
			契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う	契約書等に具体的に明記されていないが、発注者との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する	契約書等に取り決めはないが、申し入れを行い、都度協議を行い決定する	契約書等に取り決めがないので、申し入れを行うことはない	分からない
TOTAL		323	36.8	25.7	17.6	1.9	18.0
Q3 売上高	10億円未満	114	32.5	24.6	28.1	2.6	12.3
	10～100億円未満	95	36.8	28.4	14.7	3.2	16.8
	100億円以上	76	47.4	30.3	9.2	0.0	13.2
	分からない	38	28.9	13.2	10.5	0.0	47.4
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	36.2	21.3	21.3	0.0	21.3
	請負事業（30～70%未満）	78	37.2	32.1	16.7	2.6	11.5
	請負事業（70%以上）	198	36.9	24.2	17.2	2.0	19.7
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	32.9	22.9	25.7	2.1	16.4
	100～500人未満	105	35.2	30.5	13.3	1.0	20.0
	500人以上	74	47.3	25.7	9.5	2.7	14.9
	分からない	4	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	17.9	32.1	10.7	3.6	35.7
	電気・情報通信機械器具・部品	51	39.2	25.5	21.6	2.0	11.8
	輸送用機械器具・部品	28	25.0	39.3	7.1	7.1	21.4
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	44.6	25.0	14.3	0.0	16.1
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	45.2	35.5	9.7	0.0	9.7
	食料品・飲料品	20	35.0	20.0	30.0	0.0	15.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	46.2	23.1	7.7	7.7
その他	96	40.6	15.6	21.9	1.0	20.8	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	37.5	23.1	23.1	3.8	12.5
	30～100人未満	89	28.1	31.5	20.2	0.0	20.2
	100～500人未満	67	38.8	28.4	13.4	3.0	16.4
	500人以上	41	53.7	26.8	7.3	0.0	12.2
	分からない	22	31.8	4.5	13.6	0.0	50.0

【設問文】 Q14 請負料金の見直しについての取り決めや対応はどのように行っていますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

(2)イレギュラー的に費用が発生した場合（想定を超える急激な生産量の変動や想定外の外部要因による費用増等）

- イレギュラー的に費用が発生した場合は、「契約書等に具体的に明記されていないが、発注者との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する」が最も高く、32.8%。「契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う」24.8%、「契約書等に取り決めはないが、申し入れを行い、都度協議を行い決定する」22.3%が続く。

図表 II-4-6②. 請負料金の見直しの取り決め  
(2)イレギュラー的に費用が発生した場合（Q14）

■ 契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う  
 ■ 契約書等に具体的に明記されていないが、発注者との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する  
 ■ 契約書等に取り決めはないが、申し入れを行い、都度協議を行い決定する  
 ■ 契約書等に取り決めがないので、申し入れを行うことはない  
 ■ 分からない

TOTAL	323	24.8	32.8	22.3	1.5	18.6
-------	-----	------	------	------	-----	------

		n=	(% )				
		n=	契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う	契約書等に具体的に明記されていないが、発注者との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する	契約書等に取り決めはないが、申し入れを行い、都度協議を行い決定する	契約書等に取り決めがないので、申し入れを行うことはない	分からない
TOTAL		323	24.8	32.8	22.3	1.5	18.6
Q3 売上高	10億円未満	114	19.3	28.9	36.0	0.9	14.9
	10～100億円未満	95	30.5	33.7	14.7	3.2	17.9
	100億円以上	76	30.3	36.8	18.4	1.3	13.2
	分からない	38	15.8	34.2	7.9	0.0	42.1
Q4 事業別の売上比率	請負事業（30%未満）	47	27.7	25.5	23.4	2.1	21.3
	請負事業（30～70%未満）	78	24.4	41.0	20.5	1.3	12.8
	請負事業（70%以上）	198	24.2	31.3	22.7	1.5	20.2
Q5 会社の従業員数	100人未満	140	17.9	32.1	30.7	2.1	17.1
	100～500人未満	105	26.7	36.2	15.2	1.0	21.0
	500人以上	74	35.1	31.1	17.6	1.4	14.9
	分からない	4	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	14.3	32.1	14.3	3.6	35.7
	電気・情報通信機械器具・部品	51	27.5	33.3	23.5	2.0	13.7
	輸送用機械器具・部品	28	17.9	35.7	21.4	3.6	21.4
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	32.1	30.4	17.9	1.8	17.9
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	29.0	54.8	6.5	0.0	9.7
	食品・飲料品	20	25.0	20.0	40.0	0.0	15.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	38.5	30.8	7.7	7.7
その他	96	24.0	28.1	27.1	0.0	20.8	
Q7 受託（請負）業務の人員規模	30人未満	104	22.1	31.7	29.8	1.0	15.4
	30～100人未満	89	22.5	33.7	21.3	1.1	21.3
	100～500人未満	67	22.4	38.8	16.4	4.5	17.9
	500人以上	41	39.0	31.7	19.5	0.0	9.8
	分からない	22	27.3	18.2	13.6	0.0	40.9

## 5. 適正な請負

### (1) 請負業務での機械・設備等の適正な使用状況

【設問文】 Q15 業務の委託（請負）に関しては、国が定める基準に『業務を処理するのに必要な機械、設備等は委託先が準備する必要があり、発注者が調達する場合は双務契約を締結し、有償で貸与しなければならない』※とあります。あなたの関わる請負業務では、その通りに行われていますか。

- 請負業務での機械・設備等の適正な使用状況では、「おおむね基準通りに行っていると思う」が最も高く、42.7%。「すべて基準通りに行っていると思う」36.5%、「基準はあることは知っているが、行っていないと思う」4.6%が続く。
- 「すべて基準通りに行っていると思う」「おおむね基準通りに行っていると思う」を合わせた「行っていると思う（TOP2）」の割合は、79.3%。

図表 II-5-1. 請負業務での機械・設備等の適正な使用状況（Q15）

		n=	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ すべて基準通りに行っていると思う</li> <li>■ おおむね基準通りに行っていると思う</li> <li>■ 基準があることは知っているが、行っていないと思う</li> <li>■ 基準があることも知らない</li> <li>■ 分からない</li> </ul>					行っていると思う (%) (TOP2)
TOTAL	323	36.5	42.7	4.6	2.8	13.3	79.3	

		n=	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ すべて基準通りに行っていると思う</li> <li>■ おおむね基準通りに行っていると思う</li> <li>■ 基準があることは知っているが、行っていないと思う</li> <li>■ 基準があることも知らない</li> <li>■ 分からない</li> <li>■ 行っていると思う (TOP2)</li> </ul>					(%)
TOTAL		323	36.5	42.7	4.6	2.8	13.3	79.3
Q3 売上高	10億円未満	114	33.3	45.6	6.1	2.6	12.3	78.9
	10～100億円未満	95	35.8	44.2	4.2	4.2	11.6	80.0
	100億円以上	76	43.4	40.8	5.3	2.6	7.9	84.2
	分からない	38	34.2	34.2	0.0	0.0	31.6	68.4
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	36.2	40.4	0.0	4.3	19.1	76.6
	請負事業（30～70%未満）	78	30.8	52.6	5.1	2.6	9.0	83.3
	請負事業（70%以上）	198	38.9	39.4	5.6	2.5	13.6	78.3
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	31.4	45.7	4.3	4.3	14.3	77.1
	100～500人未満	105	31.4	47.6	3.8	2.9	14.3	79.0
	500人以上	74	52.7	31.1	6.8	0.0	9.5	83.8
	分からない	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	75.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	28.6	35.7	7.1	3.6	25.0	64.3
	電気・情報通信機械器具・部品	51	45.1	37.3	3.9	3.9	9.8	82.4
	輸送用機械器具・部品	28	46.4	28.6	7.1	7.1	10.7	75.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	28.6	53.6	3.6	5.4	8.9	82.1
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	51.6	38.7	6.5	0.0	3.2	90.3
	食料品・飲料品	20	35.0	55.0	0.0	5.0	5.0	90.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	46.2	30.8	7.7	0.0	15.4	76.9
その他	96	30.2	45.8	4.2	0.0	19.8	76.0	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	29.8	46.2	5.8	3.8	14.4	76.0
	30～100人未満	89	30.3	51.7	1.1	3.4	13.5	82.0
	100～500人未満	67	37.3	47.8	6.0	1.5	7.5	85.1
	500人以上	41	68.3	17.1	7.3	0.0	7.3	85.4
	分からない	22	31.8	22.7	4.5	4.5	36.4	54.5

## (2) 偽装請負への不安

【設問文】 Q16 請負業務に関し、偽装請負への不安はありますか。

- 偽装請負への不安では、「ない」が最も高く、46.7%。「多少ある」22.3%、「意識したことがない」16.4%が続く。
- 「ある」「多少ある」を合わせた「ある（TOP2）」の割合は、26.9%。

図表 II-5-2. 偽装請負への不安（Q16）

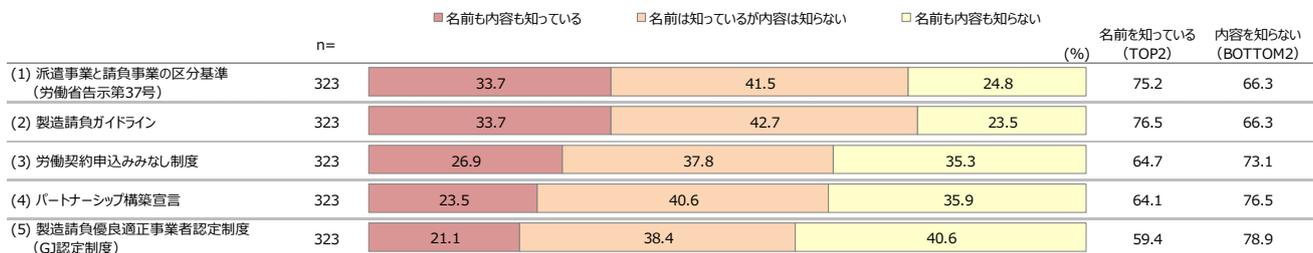
		n=	ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある（TOP2）	
			n=					(%)	
TOTAL		323	4.6	22.3	46.7	16.4	9.9	26.9	
			n=					(%)	
TOTAL		323	4.6	22.3	46.7	16.4	9.9	26.9	
Q3 売上高	10億円未満	114	2.6	22.8	46.5	19.3	8.8	25.4	
	10～100億円未満	95	5.3	22.1	51.6	12.6	8.4	27.4	
	100億円以上	76	5.3	26.3	46.1	14.5	7.9	31.6	
	分からない	38	7.9	13.2	36.8	21.1	21.1	21.1	
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	2.1	14.9	48.9	14.9	19.1	17.0	
	請負事業（30～70%未満）	78	6.4	33.3	38.5	15.4	6.4	39.7	
	請負事業（70%以上）	198	4.5	19.7	49.5	17.2	9.1	24.2	
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	2.9	14.3	51.4	23.6	7.9	17.1	
	100～500人未満	105	5.7	31.4	40.0	12.4	10.5	37.1	
	500人以上	74	6.8	25.7	45.9	9.5	12.2	32.4	
	分からない	4	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	10.7	14.3	35.7	21.4	17.9	25.0	
	電気・情報通信機械器具・部品	51	3.9	27.5	43.1	21.6	3.9	31.4	
	輸送用機械器具・部品	28	3.6	10.7	60.7	14.3	10.7	14.3	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	0.0	30.4	41.1	19.6	8.9	30.4	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	3.2	16.1	67.7	9.7	3.2	19.4	
	食品・飲料品	20	5.0	30.0	40.0	20.0	5.0	35.0	
	衣料品・日用品・消耗品	13	7.7	23.1	53.8	7.7	7.7	30.8	
	その他	96	6.3	20.8	44.8	13.5	14.6	27.1	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	2.9	20.2	50.0	19.2	7.7	23.1	
	30～100人未満	89	3.4	24.7	41.6	21.3	9.0	28.1	
	100～500人未満	67	7.5	28.4	49.3	10.4	4.5	35.8	
	500人以上	41	9.8	19.5	51.2	9.8	9.8	29.3	
	分からない	22	0.0	9.1	36.4	13.6	40.9	9.1	

### (3) 適正な請負を行うための知識の認知状況

【設問文】 Q17 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

- 適正な請負を行うための知識の認知について、「名前も内容も知っている」割合が高いのは『(1) 派遣事業と請負事業の区分基準（労働省告示第37号）』『(2) 製造請負ガイドライン』（33.7%）で3割を超える。
- 一方、「名前も内容も知らない」割合が高いのは『(5) 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）』（40.6%）で4割を超える。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名前を知っている（TOP2）」の割合が高いのは、『(2) 製造請負ガイドライン』（76.5%）、『(1) 派遣事業と請負事業の区分基準（労働省告示第37号）』（75.2%）で7割を超える。
- 「名前は知っているが内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（BOTTOM2）」の割合が高いのは、『(5) 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）』（78.9%）、『(4) パートナーシップ構築宣言』（76.5%）、『(3) 労働契約申込みみなし制度』（73.1%）で7割を超える。

図表 II-5-3. 適正な請負を行うための知識の認知状況（Q17）



(%)

	n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)
(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (労働省告示第37号)	323	33.7	41.5	24.8	75.2	66.3
(2) 製造請負ガイドライン	323	33.7	42.7	23.5	76.5	66.3
(3) 労働契約申込みみなし制度	323	26.9	37.8	35.3	64.7	73.1
(4) パートナーシップ構築宣言	323	23.5	40.6	35.9	64.1	76.5
(5) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ認定制度)	323	21.1	38.4	40.6	59.4	78.9

【設問文】 Q17 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

(1)派遣事業と請負事業の区分基準（労働省告示第 37 号）

- 派遣事業と請負事業の区分基準（労働省告示第 37 号）では、「名前は知っているが内容は知らない」が最も高く、41.5%。「名前も内容も知っている」33.7%、「名前も内容も知らない」24.8%が続く。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名前を知っている（TOP2）」の割合は、75.2%。「名前は知っているが内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（BOTTOM2）」の割合は、66.3%。

図表 II-5-3①. 適正な請負を行うための知識の認知状況  
(1)派遣事業と請負事業の区分基準（労働省告示第 37 号）（Q17）

		n=	■ 名前も内容も知っている ■ 名前は知っているが内容は知らない ■ 名前も内容も知らない			名前を知っている (TOP2) 内容を知らない (BOTTOM2)	
						(%)	(%)
TOTAL		323	33.7	41.5	24.8	75.2	66.3
			(%)				
		n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)
	TOTAL	323	33.7	41.5	24.8	75.2	66.3
Q3 売上高	10億円未満	114	27.2	43.0	29.8	70.2	72.8
	10～100億円未満	95	34.7	42.1	23.2	76.8	65.3
	100億円以上	76	43.4	42.1	14.5	85.5	56.6
	分からない	38	31.6	34.2	34.2	65.8	68.4
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	23.4	40.4	36.2	63.8	76.6
	請負事業（30～70%未満）	78	41.0	35.9	23.1	76.9	59.0
	請負事業（70%以上）	198	33.3	43.9	22.7	77.3	66.7
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	25.0	42.9	32.1	67.9	75.0
	100～500人未満	105	37.1	40.0	22.9	77.1	62.9
	500人以上	74	45.9	40.5	13.5	86.5	54.1
	分からない	4	25.0	50.0	25.0	75.0	75.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	35.7	46.4	17.9	82.1	64.3
	電気・情報通信機械器具・部品	51	43.1	37.3	19.6	80.4	56.9
	輸送用機械器具・部品	28	28.6	42.9	28.6	71.4	71.4
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	28.6	46.4	25.0	75.0	71.4
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	45.2	35.5	19.4	80.6	54.8
	食料品・飲料品	20	25.0	50.0	25.0	75.0	75.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	30.8	53.8	15.4	84.6	69.2
	その他	96	31.3	37.5	31.3	68.8	68.8
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	27.9	41.3	30.8	69.2	72.1
	30～100人未満	89	31.5	44.9	23.6	76.4	68.5
	100～500人未満	67	37.3	44.8	17.9	82.1	62.7
	500人以上	41	56.1	34.1	9.8	90.2	43.9
	分からない	22	18.2	31.8	50.0	50.0	81.8

【設問文】 Q17 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

(2)製造請負ガイドライン

- 製造請負ガイドラインでは、「名前は知っているが内容は知らない」が最も高く、42.7%。「名前も内容も知っている」33.7%、「名前も内容も知らない」23.5%が続く。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名前を知っている（TOP2）」の割合は、76.5%。「名前は知っているが内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（BOTTOM2）」の割合は、66.3%。

図表 II-5-3②. 適正な請負を行うための知識の認知状況  
(2)製造請負ガイドライン (Q17)

	n=	n=			n=		
		■ 名前も内容も知っている	□ 名前は知っているが内容は知らない	□ 名前も内容も知らない	(%)	(%)	
TOTAL	323	33.7	42.7	23.5	76.5	66.3	
					(%)		
	n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)	
TOTAL	323	33.7	42.7	23.5	76.5	66.3	
Q3 売上高	10億円未満	114	27.2	47.4	25.4	74.6	72.8
	10～100億円未満	95	35.8	40.0	24.2	75.8	64.2
	100億円以上	76	42.1	40.8	17.1	82.9	57.9
	分からない	38	31.6	39.5	28.9	71.1	68.4
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	23.4	42.6	34.0	66.0	76.6
	請負事業（30～70%未満）	78	38.5	44.9	16.7	83.3	61.5
	請負事業（70%以上）	198	34.3	41.9	23.7	76.3	65.7
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	23.6	49.3	27.1	72.9	76.4
	100～500人未満	105	37.1	39.0	23.8	76.2	62.9
	500人以上	74	48.6	35.1	16.2	83.8	51.4
	分からない	4	25.0	50.0	25.0	75.0	75.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	32.1	46.4	21.4	78.6	67.9
	電気・情報通信機械器具・部品	51	35.3	51.0	13.7	86.3	64.7
	輸送用機械器具・部品	28	39.3	35.7	25.0	75.0	60.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	26.8	53.6	19.6	80.4	73.2
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	58.1	12.9	29.0	71.0	41.9
	食料品・飲料品	20	40.0	30.0	30.0	70.0	60.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	69.2	15.4	84.6	84.6
	その他	96	29.2	41.7	29.2	70.8	70.8
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	21.2	51.9	26.9	73.1	78.8
	30～100人未満	89	37.1	40.4	22.5	77.5	62.9
	100～500人未満	67	41.8	41.8	16.4	83.6	58.2
	500人以上	41	53.7	29.3	17.1	82.9	46.3
	分からない	22	18.2	36.4	45.5	54.5	81.8

【設問文】 Q17 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

(3)労働契約申込みみなし制度

- 労働契約申込みみなし制度では、「名前は知っているが内容は知らない」が最も高く、37.8%。「名前も内容も知らない」35.3%、「名前も内容も知っている」26.9%が続く。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名前を知っている（TOP2）」の割合は、64.7%。「名前は知っているが内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（BOTTOM2）」の割合は、73.1%。

図表 II-5-3③. 適正な請負を行うための知識の認知状況  
(3)労働契約申込みみなし制度 (Q17)

n=		■ 名前も内容も知っている	■ 名前は知っているが内容は知らない	□ 名前も内容も知らない	(%)		
					名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)	
TOTAL	323	26.9	37.8	35.3	64.7	73.1	
		(%)					
n=		名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)	
	TOTAL	323	26.9	37.8	35.3	64.7	73.1
Q3 売上高	10億円未満	114	21.1	36.8	42.1	57.9	78.9
	10～100億円未満	95	22.1	46.3	31.6	68.4	77.9
	100億円以上	76	42.1	32.9	25.0	75.0	57.9
	分からない	38	26.3	28.9	44.7	55.3	73.7
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	27.7	29.8	42.6	57.4	72.3
	請負事業（30～70%未満）	78	28.2	42.3	29.5	70.5	71.8
	請負事業（70%以上）	198	26.3	37.9	35.9	64.1	73.7
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	18.6	38.6	42.9	57.1	81.4
	100～500人未満	105	26.7	40.0	33.3	66.7	73.3
	500人以上	74	43.2	32.4	24.3	75.7	56.8
	分からない	4	25.0	50.0	25.0	75.0	75.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	21.4	39.3	39.3	60.7	78.6
	電気・情報通信機械器具・部品	51	31.4	37.3	31.4	68.6	68.6
	輸送用機械器具・部品	28	21.4	39.3	39.3	60.7	78.6
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	28.6	41.1	30.4	69.6	71.4
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	38.7	32.3	29.0	71.0	61.3
	食料品・飲料品	20	25.0	35.0	40.0	60.0	75.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	30.8	53.8	15.4	84.6	69.2
	その他	96	22.9	35.4	41.7	58.3	77.1
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	22.1	40.4	37.5	62.5	77.9
	30～100人未満	89	22.5	38.2	39.3	60.7	77.5
	100～500人未満	67	26.9	44.8	28.4	71.6	73.1
	500人以上	41	53.7	24.4	22.0	78.0	46.3
	分からない	22	18.2	27.3	54.5	45.5	81.8

【設問文】 Q17 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

(4)パートナーシップ構築宣言

- パートナーシップ構築宣言では、「名前は知っているが内容は知らない」が最も高く、40.6%。「名前も内容も知らない」35.9%、「名前も内容も知っている」23.5%が続く。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名前を知っている（TOP2）」の割合は、64.1%。「名前は知っているが内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（BOTTOM2）」の割合は、76.5%。

図表 II-5-3④. 適正な請負を行うための知識の認知状況  
(4)パートナーシップ構築宣言 (Q17)

		n=	■ 名前も内容も知っている	■ 名前は知っているが内容は知らない	□ 名前も内容も知らない	(%)	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)	
TOTAL		323	23.5	40.6	35.9		64.1	76.5	
			(%)						
		n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)		
TOTAL		323	23.5	40.6	35.9	64.1	76.5		
Q3 売上高	10億円未満	114	16.7	41.2	42.1	57.9	83.3		
	10～100億円未満	95	23.2	43.2	33.7	66.3	76.8		
	100億円以上	76	38.2	39.5	22.4	77.6	61.8		
	分からない	38	15.8	34.2	50.0	50.0	84.2		
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	21.3	38.3	40.4	59.6	78.7		
	請負事業（30～70%未満）	78	28.2	42.3	29.5	70.5	71.8		
	請負事業（70%以上）	198	22.2	40.4	37.4	62.6	77.8		
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	15.0	39.3	45.7	54.3	85.0		
	100～500人未満	105	27.6	41.0	31.4	68.6	72.4		
	500人以上	74	35.1	43.2	21.6	78.4	64.9		
	分からない	4	0.0	25.0	75.0	25.0	100.0		
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	17.9	39.3	42.9	57.1	82.1		
	電気・情報通信機械器具・部品	51	27.5	47.1	25.5	74.5	72.5		
	輸送用機械器具・部品	28	17.9	42.9	39.3	60.7	82.1		
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	32.1	37.5	30.4	69.6	67.9		
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	32.3	32.3	35.5	64.5	67.7		
	食料品・飲料品	20	20.0	40.0	40.0	60.0	80.0		
	衣料品・日用品・消耗品	13	30.8	23.1	46.2	53.8	69.2		
	その他	96	16.7	43.8	39.6	60.4	83.3		
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	15.4	43.3	41.3	58.7	84.6		
	30～100人未満	89	21.3	42.7	36.0	64.0	78.7		
	100～500人未満	67	28.4	41.8	29.9	70.1	71.6		
	500人以上	41	46.3	34.1	19.5	80.5	53.7		
	分からない	22	13.6	27.3	59.1	40.9	86.4		

【設問文】 Q17 適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

(5)製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）

- 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）では、「名前も内容も知らない」が最も高く、40.6%。「名前は知っているが内容は知らない」38.4%、「名前も内容も知っている」21.1%が続く。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた「名前を知っている（TOP2）」の割合は、59.4%。「名前は知っているが内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（BOTTOM2）」の割合は、78.9%。

図表 II-5-3⑤. 適正な請負を行うための知識の認知状況  
(5)製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）（Q17）

		n=	■ 名前も内容も知っている	■ 名前は知っているが内容は知らない	□ 名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2) (%)	内容を知らない (BOTTOM2)	
TOTAL		323	21.1	38.4	40.6	59.4	78.9	
			(%)					
		n=	名前も内容も知っている	名前は知っているが内容は知らない	名前も内容も知らない	名前を知っている (TOP2)	内容を知らない (BOTTOM2)	
Q3 売上高	TOTAL	323	21.1	38.4	40.6	59.4	78.9	
	10億円未満	114	14.0	41.2	44.7	55.3	86.0	
	10～100億円未満	95	24.2	33.7	42.1	57.9	75.8	
	100億円以上	76	31.6	40.8	27.6	72.4	68.4	
	分からない	38	13.2	36.8	50.0	50.0	86.8	
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	12.8	40.4	46.8	53.2	87.2	
	請負事業（30～70%未満）	78	28.2	42.3	29.5	70.5	71.8	
	請負事業（70%以上）	198	20.2	36.4	43.4	56.6	79.8	
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	14.3	36.4	49.3	50.7	85.7	
	100～500人未満	105	25.7	37.1	37.1	62.9	74.3	
	500人以上	74	28.4	43.2	28.4	71.6	71.6	
	分からない	4	0.0	50.0	50.0	50.0	100.0	
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	14.3	42.9	42.9	57.1	85.7	
	電気・情報通信機械器具・部品	51	27.5	33.3	39.2	60.8	72.5	
	輸送用機械器具・部品	28	7.1	50.0	42.9	57.1	92.9	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	23.2	39.3	37.5	62.5	76.8	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	35.5	22.6	41.9	58.1	64.5	
	食料品・飲料品	20	25.0	30.0	45.0	55.0	75.0	
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	61.5	23.1	76.9	84.6	
その他	96	17.7	39.6	42.7	57.3	82.3		
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	12.5	41.3	46.2	53.8	87.5	
	30～100人未満	89	24.7	34.8	40.4	59.6	75.3	
	100～500人未満	67	25.4	40.3	34.3	65.7	74.6	
	500人以上	41	36.6	34.1	29.3	70.7	63.4	
	分からない	22	4.5	40.9	54.5	45.5	95.5	

#### (4) GJ 認定制度の取得についての考え

【設問文】 Q18 自社の製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）の取得について、お答えください。

- GJ 認定制度の取得についての考えでは、「GJ 認定の取得に興味がある、または検討してみたい」が最も高く、16.1%。「GJ 認定の取得に興味がない」13.9%、「GJ 認定の取得（受審）を検討している、または予定している」13.0%が続く。一方、「分からない」は、49.8%と約 5 割にのぼる。
- 「GJ 認定の取得に興味がない」「以前、GJ 認定を取得していたが、今は取得していない」を合わせた「取得しない（BOTTOM2）」の割合は、14.6%。

図表 II-5-4. GJ 認定制度の取得についての考え（Q18）

		n=	6.5	13.0	16.1	13.9	0.6	49.8	取得しない (%) (BOTTOM2)
		n=	6.5	13.0	16.1	13.9	0.6	49.8	14.6
			すでにGJ認定を取得している	GJ認定の取得（受審）を検討している、または予定している	GJ認定の取得に興味がある、または検討してみたい	GJ認定の取得に興味がない	以前、GJ認定を取得していたが、今は取得していない	分からない	取得しない (BOTTOM2)
TOTAL		323	6.5	13.0	16.1	13.9	0.6	49.8	14.6
Q3 売上高	TOTAL	323	6.5	13.0	16.1	13.9	0.6	49.8	14.6
	10億円未満	114	2.6	7.0	22.8	19.3	0.9	47.4	20.2
	10～100億円未満	95	6.3	15.8	16.8	12.6	1.1	47.4	13.7
	100億円以上	76	14.5	18.4	11.8	11.8	0.0	43.4	11.8
	分からない	38	2.6	13.2	2.6	5.3	0.0	76.3	5.3
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	4.3	12.8	8.5	27.7	0.0	46.8	27.7
	請負事業（30～70%未満）	78	11.5	17.9	21.8	3.8	1.3	43.6	5.1
	請負事業（70%以上）	198	5.1	11.1	15.7	14.6	0.5	53.0	15.2
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	2.1	9.3	17.1	22.1	0.7	48.6	22.9
	100～500人未満	105	9.5	17.1	16.2	5.7	1.0	50.5	6.7
	500人以上	74	10.8	14.9	14.9	10.8	0.0	48.6	10.8
	分からない	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	7.1	7.1	10.7	21.4	0.0	53.6	21.4
	電気・情報通信機械器具・部品	51	7.8	19.6	27.5	5.9	0.0	39.2	5.9
	輸送用機械器具・部品	28	3.6	7.1	14.3	10.7	3.6	60.7	14.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	7.1	16.1	17.9	10.7	0.0	48.2	10.7
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	3.2	16.1	22.6	12.9	0.0	45.2	12.9
	食料品・飲料品	20	5.0	25.0	10.0	20.0	0.0	40.0	20.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	7.7	15.4	23.1	15.4	0.0	38.5	15.4
	その他	96	7.3	7.3	9.4	17.7	1.0	57.3	18.8
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	2.9	6.7	21.2	23.1	0.0	46.2	23.1
	30～100人未満	89	6.7	16.9	15.7	10.1	0.0	50.6	10.1
	100～500人未満	67	7.5	16.4	13.4	11.9	1.5	49.3	13.4
	500人以上	41	14.6	19.5	12.2	7.3	0.0	46.3	7.3
	分からない	22	4.5	4.5	9.1	4.5	4.5	72.7	9.1

## 6. 雇用状況と人材不足

### (1) 請負業務の労働力(人材)不足の状況

【設問文】 Q19 請負業務における労働力（人材）不足の状況についてお伺いします。

- 請負業務の労働力（人材）不足の状況では、「十分な採用等ができず、なんとかやりくりしている」が最も高く、42.1%。「採用等ができており、特に問題にはなっていない」17.0%、「採用等ができず、業務遂行に支障がでてきている。または、その可能性がある」16.4%が続く。
- 「採用等ができず、業務遂行に支障がでてきている。または、その可能性がある」「業務遂行が困難な状況にあり、請負業務の継続が難しい」「請負事業の経営に影響しており、請負事業全体の継続が難しくなっている」を合わせた「支障が出ている（BOTTOM3）」の割合は、22.9%。

図表 II-6-1. 請負業務の労働力（人材）不足の状況（Q19）

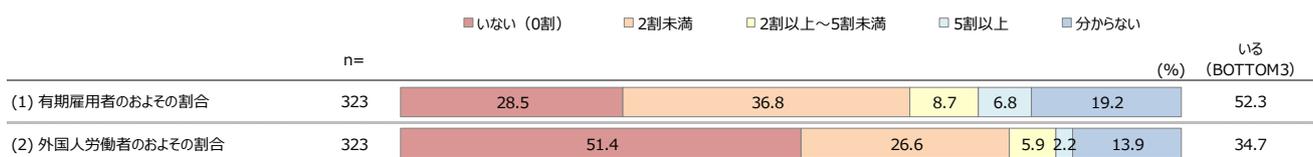
		n=	支障が出ている (BOTTOM3) (%)						
			17.0	42.1	16.4	5.0	1.5	18.0	22.9
			採用等ができており、特に問題にはなっていない	十分な採用等ができず、なんとかやりくりしている	採用等ができず、業務遂行に支障がでてきている。または、その可能性がある	業務遂行が困難な状況にあり、請負業務の継続が難しい	請負事業の経営に影響しており、請負事業全体の継続が難しくなっている	分からない	支障が出ている (BOTTOM3)
TOTAL		323	17.0	42.1	16.4	5.0	1.5	18.0	22.9
Q3 売上高	10億円未満	114	14.9	39.5	15.8	6.1	2.6	21.1	24.6
	10～100億円未満	95	16.8	40.0	21.1	5.3	1.1	15.8	27.4
	100億円以上	76	19.7	44.7	17.1	5.3	1.3	11.8	23.7
	分からない	38	18.4	50.0	5.3	0.0	0.0	26.3	5.3
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	12.8	36.2	19.1	2.1	2.1	27.7	23.4
	請負事業（30～70%未満）	78	17.9	43.6	16.7	3.8	2.6	15.4	23.1
	請負事業（70%以上）	198	17.7	42.9	15.7	6.1	1.0	16.7	22.7
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	14.3	42.9	14.3	7.1	2.1	19.3	23.6
	100～500人未満	105	20.0	39.0	19.0	2.9	1.0	18.1	22.9
	500人以上	74	17.6	45.9	16.2	4.1	1.4	14.9	21.6
	分からない	4	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	17.9	39.3	14.3	3.6	0.0	25.0	17.9
	電気・情報通信機械器具・部品	51	11.8	43.1	19.6	9.8	0.0	15.7	29.4
	輸送用機械器具・部品	28	25.0	35.7	14.3	3.6	3.6	17.9	21.4
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	16.1	39.3	21.4	5.4	3.6	14.3	30.4
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	12.9	54.8	9.7	6.5	3.2	12.9	19.4
	食料品・飲料品	20	25.0	45.0	25.0	5.0	0.0	0.0	30.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	23.1	38.5	15.4	0.0	0.0	23.1	15.4
	その他	96	16.7	41.7	13.5	3.1	1.0	24.0	17.7
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	16.3	40.4	14.4	5.8	1.9	21.2	22.1
	30～100人未満	89	15.7	49.4	16.9	4.5	0.0	13.5	21.3
	100～500人未満	67	17.9	41.8	17.9	4.5	1.5	16.4	23.9
	500人以上	41	22.0	43.9	19.5	4.9	0.0	9.8	24.4
	分からない	22	13.6	18.2	13.6	4.5	9.1	40.9	27.3

## (2) 請負業務の有期雇用者及び外国人労働者の割合

【設問文】 Q20 請負業務における有期雇用者（自社が受け入れている派遣労働者を除く）及び外国人労働者の占める割合は、それぞれおよそどれくらいですか。

- 請負業務の有期雇用者及び外国人労働者の割合では、『（1）有期雇用者のおよその割合』は、「2割未満」が最も高く36.8%。「いない（0割）」28.5%、「2割以上～5割未満」8.7%、「5割以上」6.8%が続く。『（2）外国人労働者のおよその割合』では、「いない（0割）」が最も高く、51.4%。「2割未満」26.6%、「2割以上～5割未満」5.9%、「5割以上」2.2%が続く。
- 『（1）有期雇用者のおよその割合』では、「2割未満」「2割以上～5割未満」「5割以上」を合わせた「いる（BOTTOM3）」の割合は、52.3%。『（2）外国人労働者のおよその割合』では、「2割未満」「2割以上～5割未満」「5割以上」を合わせた「いる（BOTTOM3）」の割合は、34.7%。

図表 II-6-2. 請負業務の有期雇用者及び外国人労働者の割合（Q20）



	n=	いない (0割)	2割未満	2割以上～5割未満	5割以上	分からない	いる (BOTTOM3)
(1) 有期雇用者のおよその割合	323	28.5	36.8	8.7	6.8	19.2	52.3
(2) 外国人労働者のおよその割合	323	51.4	26.6	5.9	2.2	13.9	34.7

【設問文】 Q20 請負業務における有期雇用者（自社が受け入れている派遣労働者を除く）及び外国人労働者の占める割合は、それぞれおよそどれくらいですか。

(1)有期雇用者のおよその割合

- 有期雇用者のおよその割合では、「2割未満」が最も高く、36.8%。「いない（0割）」28.5%、「2割以上～5割未満」8.7%が続く。
- 「2割未満」「2割以上～5割未満」「5割以上」を合わせた「いる（BOTTOM3）」の割合は52.3%。

図表 II-6-2①. 請負業務の有期雇用者及び外国人労働者の割合

(1)有期雇用者のおよその割合（Q20）

	n=	■ いない（0割）	■ 2割未満	■ 2割以上～5割未満	■ 5割以上	■ 分からない	いる（BOTTOM3）
		（%）					
TOTAL	323	28.5	36.8	8.7	6.8	19.2	52.3

		n=	いない（0割）	2割未満	2割以上～5割未満	5割以上	分からない	いる（BOTTOM3）
			（%）					
	TOTAL	323	28.5	36.8	8.7	6.8	19.2	52.3
Q3 売上高	10億円未満	114	44.7	21.9	7.9	7.0	18.4	36.8
	10～100億円未満	95	24.2	48.4	9.5	4.2	13.7	62.1
	100億円以上	76	15.8	47.4	7.9	9.2	19.7	64.5
	分からない	38	15.8	31.6	10.5	7.9	34.2	50.0
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	29.8	36.2	6.4	6.4	21.3	48.9
	請負事業（30～70%未満）	78	21.8	38.5	9.0	14.1	16.7	61.5
	請負事業（70%以上）	198	30.8	36.4	9.1	4.0	19.7	49.5
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	47.1	23.6	3.6	5.0	20.7	32.1
	100～500人未満	105	15.2	49.5	16.2	3.8	15.2	69.5
	500人以上	74	13.5	45.9	6.8	12.2	21.6	64.9
	分からない	4	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	75.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	21.4	35.7	7.1	10.7	25.0	53.6
	電気・情報通信機械器具・部品	51	23.5	47.1	9.8	3.9	15.7	60.8
	輸送用機械器具・部品	28	25.0	35.7	10.7	14.3	14.3	60.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	26.8	44.6	7.1	1.8	19.6	53.6
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	35.5	32.3	6.5	6.5	19.4	45.2
	食料品・飲料品	20	20.0	30.0	30.0	10.0	10.0	70.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	46.2	23.1	0.0	15.4	15.4	38.5
その他	96	32.3	32.3	6.3	6.3	22.9	44.8	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	49.0	22.1	5.8	4.8	18.3	32.7
	30～100人未満	89	24.7	41.6	7.9	5.6	20.2	55.1
	100～500人未満	67	17.9	47.8	14.9	7.5	11.9	70.1
	500人以上	41	12.2	48.8	7.3	14.6	17.1	70.7
	分からない	22	9.1	31.8	9.1	4.5	45.5	45.5

【設問文】 Q20 請負業務における有期雇用者（自社が受け入れている派遣労働者を除く）及び外国人労働者の占める割合は、それぞれおおよそどれくらいですか。

(2)外国人労働者のおよその割合

- 外国人労働者のおよその割合では、「いない（0割）」が最も高く、51.4%。「2割未満」26.6%、「2割以上～5割未満」5.9%が続く。
- 「2割未満」「2割以上～5割未満」「5割以上」を合わせた「いる（BOTTOM3）」の割合は 34.7%。

図表 II-6-2②. 請負業務の有期雇用者及び外国人労働者の割合  
(2)外国人労働者のおよその割合（Q20）

		n=	■ いない (0割)	□ 2割未満	□ 2割以上～5割未満	□ 5割以上	■ 分からない	いる (BOTTOM3) (%)
TOTAL		323	51.4	26.6	5.9	2.2	13.9	34.7

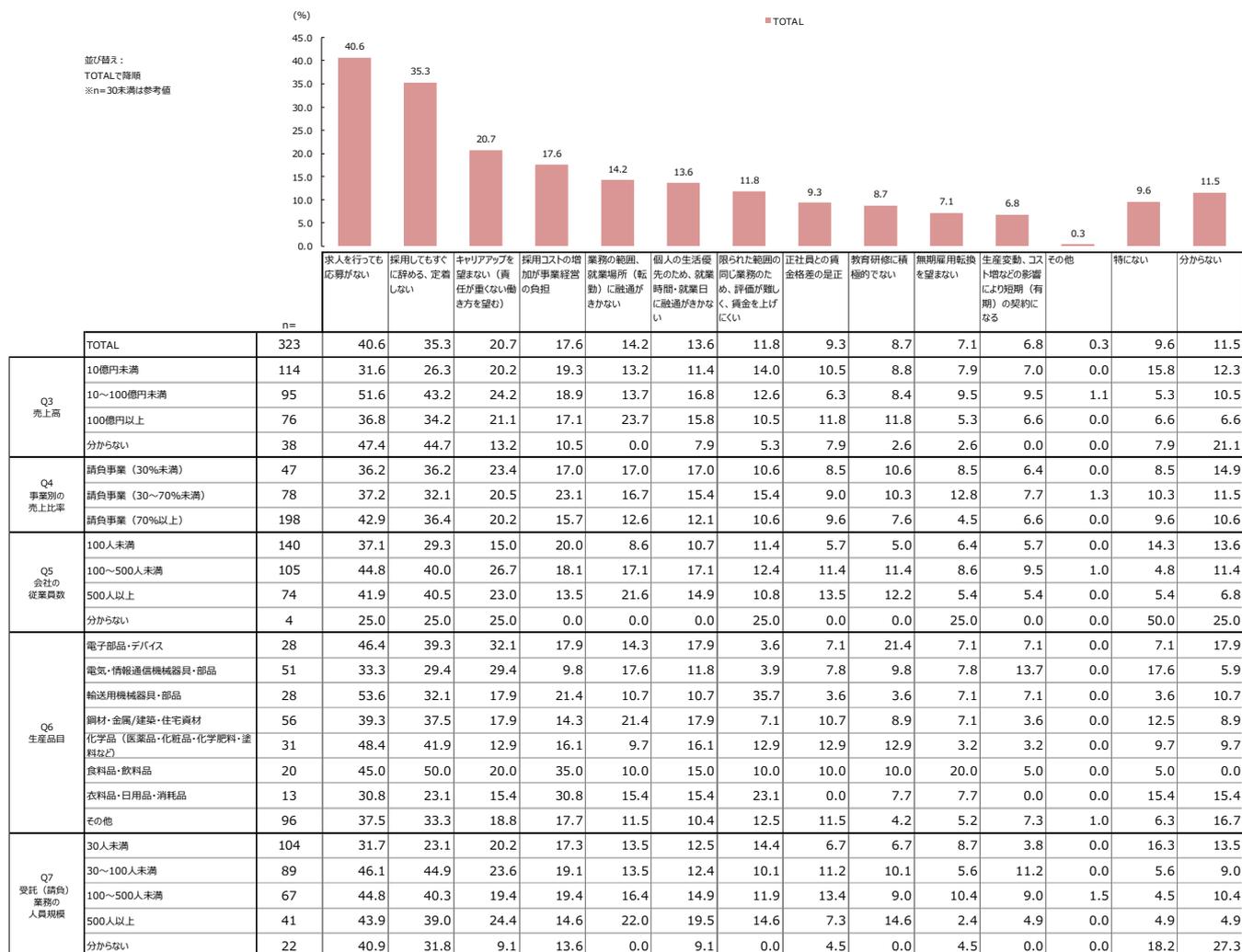
		n=	いない (0割)	2割未満	2割以上～5割未満	5割以上	分からない	いる (BOTTOM3) (%)
TOTAL		323	51.4	26.6	5.9	2.2	13.9	34.7
Q3 売上高	10億円未満	114	62.3	15.8	4.4	4.4	13.2	24.6
	10～100億円未満	95	51.6	33.7	2.1	1.1	11.6	36.8
	100億円以上	76	43.4	35.5	9.2	0.0	11.8	44.7
	分からない	38	34.2	23.7	13.2	2.6	26.3	39.5
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	46.8	25.5	4.3	2.1	21.3	31.9
	請負事業（30～70%未満）	78	46.2	30.8	7.7	3.8	11.5	42.3
	請負事業（70%以上）	198	54.5	25.3	5.6	1.5	13.1	32.3
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	64.3	14.3	5.0	2.9	13.6	22.1
	100～500人未満	105	46.7	31.4	4.8	2.9	14.3	39.0
	500人以上	74	36.5	41.9	8.1	0.0	13.5	50.0
	分からない	4	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	75.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	35.7	39.3	3.6	3.6	17.9	46.4
	電気・情報通信機械器具・部品	51	51.0	25.5	7.8	3.9	11.8	37.3
	輸送用機械器具・部品	28	46.4	32.1	3.6	3.6	14.3	39.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	42.9	37.5	8.9	0.0	10.7	46.4
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	74.2	9.7	3.2	0.0	12.9	12.9
	食料品・飲料品	20	45.0	35.0	20.0	0.0	0.0	55.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	69.2	15.4	0.0	0.0	15.4	15.4
	その他	96	54.2	20.8	3.1	3.1	18.8	27.1
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	70.2	13.5	5.8	1.9	8.7	21.2
	30～100人未満	89	48.3	25.8	5.6	3.4	16.9	34.8
	100～500人未満	67	49.3	31.3	6.0	1.5	11.9	38.8
	500人以上	41	31.7	51.2	4.9	0.0	12.2	56.1
	分からない	22	18.2	31.8	9.1	4.5	36.4	45.5

### (3) 請負業務の有期雇用者の雇用管理上の課題

【設問文】 Q21 請負業務における有期雇用者の雇用管理の課題は何ですか。あてはまるものを最大5つまで選んでください。

- 請負業務の有期雇用者の雇用管理上の課題では、「求人を行っても応募がない」が最も高く、40.6%。「採用してもすぐに辞める、定着しない」35.3%、「キャリアアップを望まない（責任が重くない働き方を望む）」20.7%が続く。

図表 II-6-3. 請負業務の有期雇用者の雇用管理上の課題（Q21） \* 回答は5つまで \*

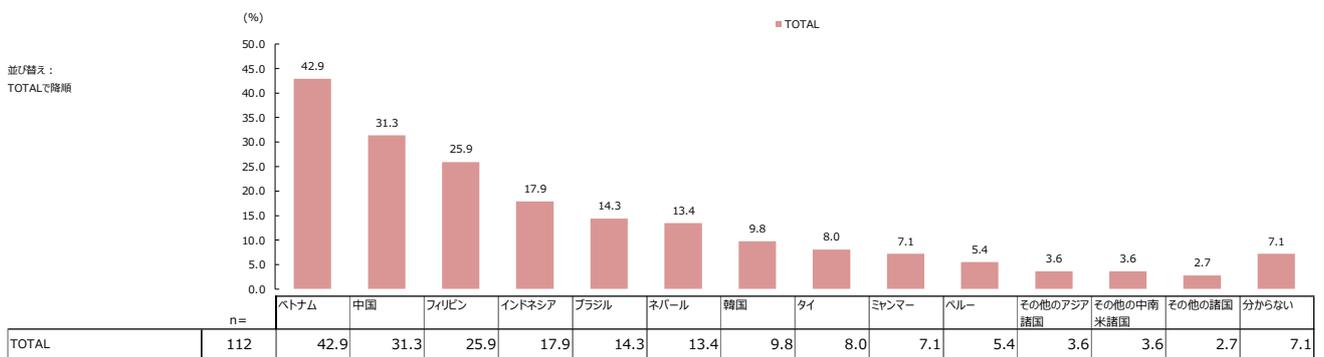


#### (4) 請負業務の外国人労働者の出身国

【設問文】 Q22 Q20 で、請負業務において外国人労働者を雇用している（割合あり）と答えた方にお伺いします。その雇用している外国人労働者の出身国はどこ国ですか。分かる範囲であてはまるものをすべて選んでください。

- 請負業務の外国人労働者の出身国では、「ベトナム」が最も高く、42.9%。「中国」31.3%、「フィリピン」25.9%が続く。

図表 II-6-4. 請負業務の外国人労働者の出身国（Q22） \* 複数回答 \*

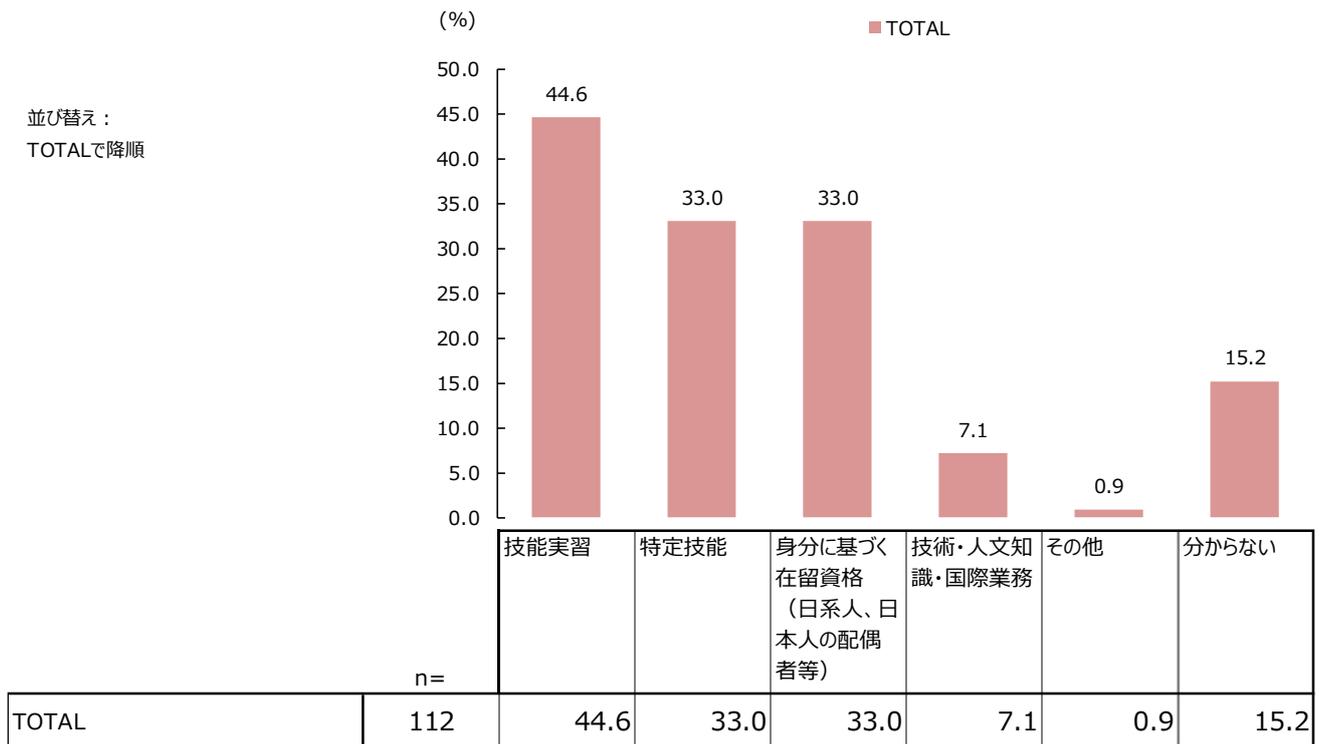


## (5) 請負業務の外国人労働者の在留資格

【設問文】 Q23 Q20 で、請負業務において外国人労働者を雇用している（割合あり）と答えた方にお伺いします。その雇用している外国人労働者の在留資格は何ですか。分かる範囲であればまるものをすべて選んでください。

- 請負業務の外国人労働者の在留資格では、「技能実習」が最も高く、44.6%。「特定技能」「身分に基づく在留資格（日系人、日本人の配偶者等）」33.0%が続く。

図表 II-6-5. 請負業務の外国人労働者の在留資格（Q23）＊複数回答＊



## (6) 請負業務の外国人労働者の雇用管理上の課題

【設問文】 Q24 外国人労働者の雇用管理上の課題についてお伺いします。あてはまるものを最大5つまで選んでください。

- 請負業務の外国人労働者の雇用管理上の課題では、「コミュニケーションがとりづらい（言語、文化、生活習慣等）」が最も高く、28.5%。「能力等が実証されない（分からない）まま採用されることが不安」24.1%、「在留資格、外国人労働者受け入れの仕組みが分かりづらい」20.4%が続く。

図表 II-6-6. 請負業務の外国人労働者の雇用管理上の課題（Q24） \* 回答は5つまで \*

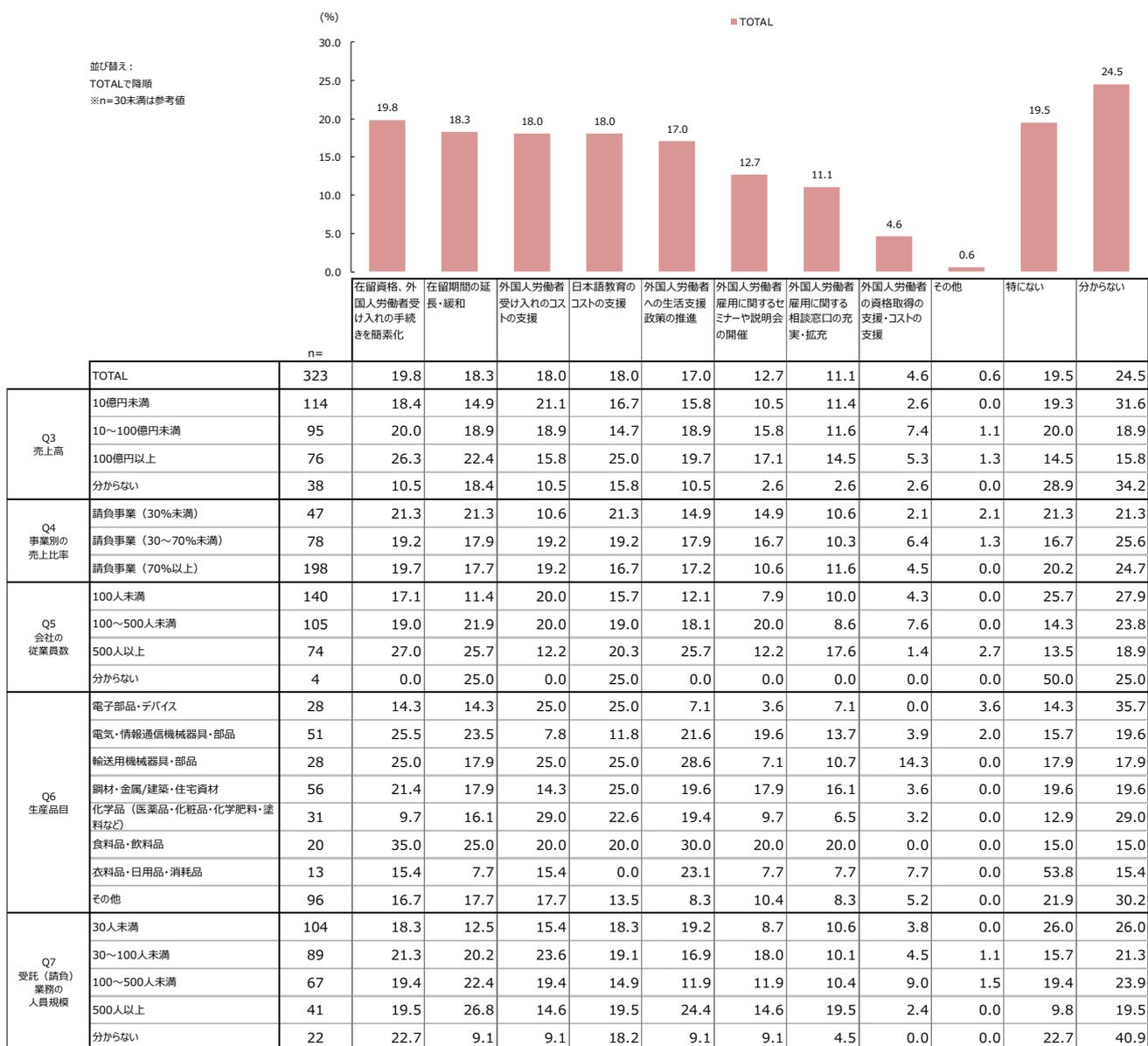


## (7) 外国人労働者の雇用に関する行政への要望

【設問文】 Q25 外国人労働者の雇用に関する行政への要望についてお伺いします。あてはまるものを最大3つまで選んでください。

- 外国人労働者の雇用に関する行政への要望は、「在留資格、外国人労働者受け入れの手続きを簡素化」が最も高く、19.8%。「在留期間の延長・緩和」18.3%、「外国人労働者受け入れのコストの支援」「日本語教育のコストの支援」18.0%が続く。

図表 II-6-7. 外国人労働者の雇用に関する行政への要望 (Q25) \*回答は3つまで\*

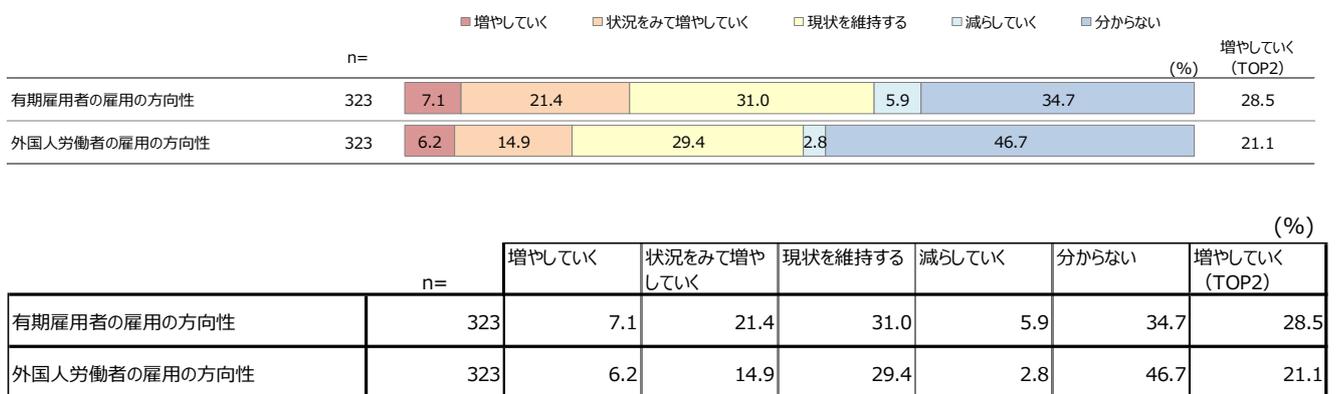


## (8) 今後の有期雇用者、外国人労働者の雇用の方向性

【設問文】 Q26 今後、有期雇用者、外国人労働者の雇用の方向性としては、どのようにお考えですか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください。

- 今後の有期雇用者、外国人労働者の雇用の方向性で「増やしていく」「状況を見て増やしていく」を合わせた「増やしていく（TOP2）」の割合は、『（１）有期雇用者の雇用の方向性』では 28.5%、『（２）外国人労働者の雇用の方向性』では、21.1%。

図表 II-6-8. 今後の有期雇用者、外国人労働者の雇用の方向性（Q26）



【設問文】 Q26 今後、有期雇用者、外国人労働者の雇用の方向性としては、どのようにお考えですか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください。

(1)有期雇用者の雇用の方向性

- 有期雇用者の雇用の方向性では、「分からない」が最も高く、34.7%。「現状を維持する」31.0%、「状況をみて増やしていく」21.4%が続く。
- 「増やしていく」「状況をみて増やしていく」を合わせた「増やしていく（TOP2）」の割合は、28.5%。

図表 II-6-8①. 今後の有期雇用者、外国人労働者の雇用の方向性  
(1)有期雇用者の雇用の方向性（Q26）

	n=	方向性					増やしていく (TOP2) (%)
		増やしていく	状況をみて増やしていく	現状を維持する	減らしていく	分からない	
TOTAL	323	7.1	21.4	31.0	5.9	34.7	28.5

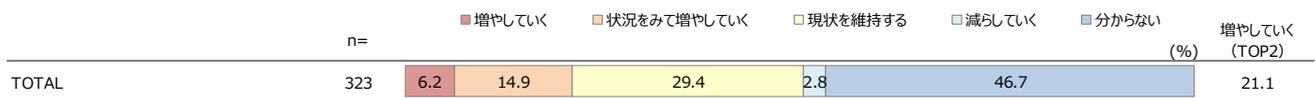
	n=	方向性 (%)						増やしていく (TOP2) (%)
		増やしていく	状況をみて増やしていく	現状を維持する	減らしていく	分からない		
TOTAL	323	7.1	21.4	31.0	5.9	34.7	28.5	
Q3 売上高	10億円未満	114	2.6	21.1	33.3	3.5	39.5	23.7
	10～100億円未満	95	9.5	21.1	31.6	5.3	32.6	30.5
	100億円以上	76	11.8	21.1	32.9	11.8	22.4	32.9
	分からない	38	5.3	23.7	18.4	2.6	50.0	28.9
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	6.4	8.5	38.3	8.5	38.3	14.9
	請負事業（30～70%未満）	78	7.7	29.5	29.5	3.8	29.5	37.2
	請負事業（70%以上）	198	7.1	21.2	29.8	6.1	35.9	28.3
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	2.1	17.1	32.1	3.6	45.0	19.3
	100～500人未満	105	10.5	23.8	31.4	6.7	27.6	34.3
	500人以上	74	12.2	24.3	29.7	8.1	25.7	36.5
	分からない	4	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	50.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	7.1	17.9	28.6	3.6	42.9	25.0
	電気・情報通信機械器具・部品	51	7.8	29.4	31.4	5.9	25.5	37.3
	輸送用機械器具・部品	28	14.3	32.1	21.4	10.7	21.4	46.4
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	8.9	17.9	33.9	5.4	33.9	26.8
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	6.5	19.4	41.9	0.0	32.3	25.8
	食料品・飲料品	20	10.0	35.0	25.0	5.0	25.0	45.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	0.0	15.4	38.5	0.0	46.2	15.4
	その他	96	4.2	15.6	29.2	8.3	42.7	19.8
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	2.9	15.4	32.7	5.8	43.3	18.3
	30～100人未満	89	4.5	22.5	36.0	5.6	31.5	27.0
	100～500人未満	67	13.4	22.4	32.8	6.0	25.4	35.8
	500人以上	41	17.1	29.3	19.5	7.3	26.8	46.3
	分からない	22	0.0	27.3	18.2	4.5	50.0	27.3

【設問文】 Q26 今後、有期雇用者、外国人労働者の雇用の方向性としては、どのようにお考えですか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください。

(2)外国人労働者の雇用の方向性

- 外国人労働者の雇用の方向性では、「分からない」が最も高く、46.7%。「現状を維持する」29.4%、「状況をみて増やしていく」14.9%が続く。
- 「増やしていく」「状況をみて増やしていく」を合わせた「増やしていく（TOP2）」の割合は、21.1%。

図表 II-6-8②. 今後の有期雇用者、外国人労働者の雇用の方向性  
(2)外国人労働者の雇用の方向性（Q26）



項目	n	方向性 (%)						増やしていく (TOP2) (%)
		増やしていく	状況をみて増やしていく	現状を維持する	減らしていく	分からない		
TOTAL	323	6.2	14.9	29.4	2.8	46.7	21.1	
Q3 売上高	10億円未満	114	2.6	8.8	31.6	0.9	56.1	11.4
	10～100億円未満	95	8.4	16.8	30.5	5.3	38.9	25.3
	100億円以上	76	10.5	23.7	27.6	2.6	35.5	34.2
	分からない	38	2.6	10.5	23.7	2.6	60.5	13.2
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	4.3	14.9	31.9	6.4	42.6	19.1
	請負事業（30～70%未満）	78	5.1	17.9	32.1	0.0	44.9	23.1
	請負事業（70%以上）	198	7.1	13.6	27.8	3.0	48.5	20.7
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	2.1	6.4	32.1	2.1	57.1	8.6
	100～500人未満	105	8.6	19.0	29.5	2.9	40.0	27.6
	500人以上	74	10.8	24.3	24.3	2.7	37.8	35.1
	分からない	4	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	10.7	3.6	35.7	3.6	46.4	14.3
	電気・情報通信機械器具・部品	51	7.8	23.5	37.3	0.0	31.4	31.4
	輸送用機械器具・部品	28	10.7	10.7	35.7	0.0	42.9	21.4
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	7.1	17.9	28.6	1.8	44.6	25.0
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	6.5	12.9	25.8	0.0	54.8	19.4
	食料品・飲料品	20	10.0	25.0	20.0	10.0	35.0	35.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	0.0	7.7	23.1	0.0	69.2	7.7
その他	96	2.1	12.5	26.0	5.2	54.2	14.6	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	2.9	5.8	31.7	1.9	57.7	8.7
	30～100人未満	89	6.7	15.7	32.6	2.2	42.7	22.5
	100～500人未満	67	11.9	16.4	29.9	4.5	37.3	28.4
	500人以上	41	7.3	29.3	22.0	2.4	39.0	36.6
	分からない	22	0.0	22.7	18.2	4.5	54.5	22.7

## 7. 請負労働者の雇用管理

### (1) 請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組み

【設問文】 Q27 請負労働者の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれあてはまるものを選んでください。

- 請負業務の従業員の処遇改善、スキルアップの取組みについて、「行っている」および「概ね行っている」を合わせた「行っている（TOP2）」の割合が高いのは、『（1）人材の育成（教育訓練）の実施』（63.5%）、『（2）必要な職務知識、資格等の明示』（62.8%）となっている。
- 「あまり行っていない」および「行っていない」を合わせた「行っていない（BOTTOM2）」の割合が高いのは、『（5）福利厚生面の充実』（36.5%）、『（3）業績や能力評価の賃金への反映』（33.7%）となっている。

図表 II-7-1. 請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組み（Q27）

	n=	%					行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)
		行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない		
(1) 人材の育成（教育訓練）の実施	323	22.9	40.6	18.3	5.6	12.7	63.5	23.8
(2) 必要な職務知識、資格等の明示	323	22.3	40.6	18.9	6.2	12.1	62.8	25.1
(3) 業績や能力評価の賃金への反映	323	16.7	33.7	24.5	9.3	15.8	50.5	33.7
(4) 業績や能力評価結果のフィードバック 面談	323	17.0	35.9	21.1	10.2	15.8	52.9	31.3
(5) 福利厚生面の充実	323	16.7	33.7	25.4	11.1	13.0	50.5	36.5

	n=	%					%	
		行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)
(1) 人材の育成（教育訓練）の実施	323	22.9	40.6	18.3	5.6	12.7	63.5	23.8
(2) 必要な職務知識、資格等の明示	323	22.3	40.6	18.9	6.2	12.1	62.8	25.1
(3) 業績や能力評価の賃金への反映	323	16.7	33.7	24.5	9.3	15.8	50.5	33.7
(4) 業績や能力評価結果のフィードバック 面談	323	17.0	35.9	21.1	10.2	15.8	52.9	31.3
(5) 福利厚生面の充実	323	16.7	33.7	25.4	11.1	13.0	50.5	36.5

【設問文】 Q27 請負労働者の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれあてはまるものを選んでください。

(1)人材の育成（教育訓練）の実施

- 人材の育成（教育訓練）の実施では、「概ね行っている」が最も高く、40.6%。「行っている」22.9%、「あまり行っていない」18.3%が続く。
- 「行っている」「概ね行っている」を合わせた「行っている（TOP2）」の割合は、63.5%。「あまり行っていない」「行っていない」を合わせた「行っていない（BOTTOM2）」の割合は、23.8%。

図表 II-7-1①. 請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組み  
(1)人材の育成（教育訓練）の実施（Q27）

		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)
			(%)						
TOTAL		323	22.9	40.6	18.3	5.6	12.7	63.5	23.8
			(%)						
		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)
TOTAL		323	22.9	40.6	18.3	5.6	12.7	63.5	23.8
Q3 売上高	10億円未満	114	16.7	28.9	28.1	11.4	14.9	45.6	39.5
	10～100億円未満	95	27.4	49.5	12.6	3.2	7.4	76.8	15.8
	100億円以上	76	25.0	48.7	13.2	2.6	10.5	73.7	15.8
	分からない	38	26.3	36.8	13.2	0.0	23.7	63.2	13.2
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	19.1	40.4	12.8	10.6	17.0	59.6	23.4
	請負事業（30～70%未満）	78	19.2	42.3	20.5	3.8	14.1	61.5	24.4
	請負事業（70%以上）	198	25.3	39.9	18.7	5.1	11.1	65.2	23.7
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	16.4	33.6	23.6	11.4	15.0	50.0	35.0
	100～500人未満	105	27.6	47.6	14.3	0.0	10.5	75.2	14.3
	500人以上	74	28.4	44.6	13.5	2.7	10.8	73.0	16.2
	分からない	4	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	21.4	35.7	14.3	10.7	17.9	57.1	25.0
	電気・情報通信機械器具・部品	51	17.6	51.0	21.6	5.9	3.9	68.6	27.5
	輸送用機械器具・部品	28	28.6	32.1	28.6	0.0	10.7	60.7	28.6
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	35.7	39.3	12.5	1.8	10.7	75.0	14.3
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	32.3	35.5	9.7	3.2	19.4	67.7	12.9
	食料品・飲料品	20	15.0	50.0	25.0	0.0	10.0	65.0	25.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	23.1	38.5	15.4	15.4	7.7	61.5	30.8
その他	96	15.6	39.6	19.8	8.3	16.7	55.2	28.1	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	22.1	24.0	29.8	13.5	10.6	46.2	43.3
	30～100人未満	89	14.6	59.6	11.2	1.1	13.5	74.2	12.4
	100～500人未満	67	28.4	44.8	13.4	3.0	10.4	73.1	16.4
	500人以上	41	39.0	34.1	17.1	2.4	7.3	73.2	19.5
	分からない	22	13.6	40.9	9.1	0.0	36.4	54.5	9.1

【設問文】 Q27 請負労働者の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれあてはまるものを選んでください。

(2)必要な職務知識、資格等の明示

- 必要な職務知識、資格等の明示では、「概ね行っている」が最も高く、40.6%。「行っている」22.3%、「あまり行っていない」18.9%が続く。
- 「行っている」「概ね行っている」を合わせた「行っている（TOP2）」の割合は、62.8%。「あまり行っていない」「行っていない」を合わせた「行っていない（BOTTOM2）」の割合は、25.1%。

図表 II-7-1②. 請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組み  
(2)必要な職務知識、資格等の明示 (Q27)

		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)	
			n=					行っている (TOP2)		行っていない (BOTTOM2)
			n=					行っている (TOP2)		行っていない (BOTTOM2)
TOTAL		323	22.3	40.6	18.9	6.2	12.1	62.8	25.1	
			n=					行っている (TOP2)		行っていない (BOTTOM2)
			n=					行っている (TOP2)		行っていない (BOTTOM2)
TOTAL		323	22.3	40.6	18.9	6.2	12.1	62.8	25.1	
Q3 売上高	10億円未満	114	18.4	30.7	26.3	8.8	15.8	49.1	35.1	
	10～100億円未満	95	25.3	49.5	12.6	5.3	7.4	74.7	17.9	
	100億円以上	76	26.3	46.1	13.2	5.3	9.2	72.4	18.4	
	分からない	38	18.4	36.8	23.7	2.6	18.4	55.3	26.3	
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	21.3	25.5	25.5	8.5	19.1	46.8	34.0	
	請負事業（30～70%未満）	78	14.1	50.0	19.2	5.1	11.5	64.1	24.4	
	請負事業（70%以上）	198	25.8	40.4	17.2	6.1	10.6	66.2	23.2	
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	17.1	34.3	25.0	9.3	14.3	51.4	34.3	
	100～500人未満	105	23.8	46.7	17.1	2.9	9.5	70.5	20.0	
	500人以上	74	29.7	43.2	10.8	5.4	10.8	73.0	16.2	
	分からない	4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	14.3	42.9	21.4	3.6	17.9	57.1	25.0	
	電気・情報通信機械器具・部品	51	29.4	39.2	23.5	2.0	5.9	68.6	25.5	
	輸送用機械器具・部品	28	32.1	25.0	28.6	3.6	10.7	57.1	32.1	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	26.8	46.4	14.3	3.6	8.9	73.2	17.9	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	35.5	41.9	0.0	6.5	16.1	77.4	6.5	
	食料品・飲料品	20	10.0	60.0	15.0	10.0	5.0	70.0	25.0	
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	46.2	15.4	15.4	7.7	61.5	30.8	
	その他	96	14.6	36.5	22.9	9.4	16.7	51.0	32.3	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	17.3	30.8	27.9	12.5	11.5	48.1	40.4	
	30～100人未満	89	20.2	48.3	16.9	3.4	11.2	68.5	20.2	
	100～500人未満	67	26.9	47.8	13.4	3.0	9.0	74.6	16.4	
	500人以上	41	39.0	36.6	12.2	4.9	7.3	75.6	17.1	
	分からない	22	9.1	40.9	13.6	0.0	36.4	50.0	13.6	

【設問文】 Q27 請負労働者の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれあてはまるものを選んでください。

(3)業務や能力評価の賃金への反映

- 業務や能力評価の賃金への反映では、「概ね行っている」が最も高く、33.7%。「あまり行っていない」24.5%、「行っている」16.7%が続く。
- 「行っている」「概ね行っている」を合わせた「行っている (TOP2)」の割合は、50.5%。「あまり行っていない」「行っていない」を合わせた「行っていない (BOTTOM2)」の割合は、33.7%。

図表 II-7-1③. 請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組み  
(3)業務や能力評価の賃金への反映 (Q27)

	n=	n=					行っている (TOP2)		行っていない (BOTTOM2)	
		行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	(%)	(%)	(%)	(%)
TOTAL	323	16.7	33.7	24.5	9.3	15.8	50.5	33.7		
		(%)								
	n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)		
	TOTAL	323	16.7	33.7	24.5	9.3	15.8	50.5	33.7	
Q3 売上高	10億円未満	114	11.4	32.5	25.4	14.0	16.7	43.9	39.5	
	10~100億円未満	95	20.0	33.7	27.4	7.4	11.6	53.7	34.7	
	100億円以上	76	22.4	40.8	18.4	5.3	13.2	63.2	23.7	
	分からない	38	13.2	23.7	26.3	7.9	28.9	36.8	34.2	
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	47	10.6	36.2	23.4	8.5	21.3	46.8	31.9	
	請負事業 (30~70%未満)	78	17.9	33.3	23.1	10.3	15.4	51.3	33.3	
	請負事業 (70%以上)	198	17.7	33.3	25.3	9.1	14.6	51.0	34.3	
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	8.6	34.3	25.0	15.7	16.4	42.9	40.7	
	100~500人未満	105	22.9	29.5	27.6	3.8	16.2	52.4	31.4	
	500人以上	74	23.0	40.5	17.6	5.4	13.5	63.5	23.0	
	分からない	4	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	50.0	
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	10.7	25.0	25.0	14.3	25.0	35.7	39.3	
	電気・情報通信機械器具・部品	51	19.6	39.2	25.5	7.8	7.8	58.8	33.3	
	輸送用機械器具・部品	28	3.6	35.7	39.3	3.6	17.9	39.3	42.9	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	23.2	33.9	21.4	7.1	14.3	57.1	28.6	
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	31	29.0	22.6	22.6	6.5	19.4	51.6	29.0	
	食料品・飲料品	20	25.0	30.0	25.0	10.0	10.0	55.0	35.0	
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	53.8	7.7	15.4	7.7	69.2	23.1	
	その他	96	11.5	34.4	24.0	11.5	18.8	45.8	35.4	
Q7 受託 (請負) 業務の 人員規模	30人未満	104	10.6	34.6	26.0	14.4	14.4	45.2	40.4	
	30~100人未満	89	10.1	37.1	29.2	7.9	15.7	47.2	37.1	
	100~500人未満	67	26.9	28.4	22.4	7.5	14.9	55.2	29.9	
	500人以上	41	31.7	39.0	17.1	2.4	9.8	70.7	19.5	
	分からない	22	13.6	22.7	18.2	9.1	36.4	36.4	27.3	

【設問文】 Q27 請負労働者の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれあてはまるものを選んでください。

(4)業績や能力評価結果のフィードバック面談（※）

※業績や能力の評価結果に基づいて、業績や能力の向上のための助言や指導を行うものです。

- 業績や能力評価結果のフィードバック面談では、「概ね行っている」が最も高く、35.9%。「あまり行っていない」21.1%、「行っている」17.0%が続く。
- 「行っている」「概ね行っている」を合わせた「行っている（TOP2）」の割合は、52.9%。「あまり行っていない」「行っていない」を合わせた「行っていない（BOTTOM2）」の割合は、31.3%。

図表 II-7-1④. 請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組み  
(4)業績や能力評価結果のフィードバック面談（Q27）

		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)
			(%)						
TOTAL		323	17.0	35.9	21.1	10.2	15.8	52.9	31.3
			(%)						
		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)
	TOTAL	323	17.0	35.9	21.1	10.2	15.8	52.9	31.3
Q3 売上高	10億円未満	114	8.8	36.8	21.1	18.4	14.9	45.6	39.5
	10～100億円未満	95	21.1	36.8	24.2	5.3	12.6	57.9	29.5
	100億円以上	76	25.0	42.1	15.8	2.6	14.5	67.1	18.4
	分からない	38	15.8	18.4	23.7	13.2	28.9	34.2	36.8
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	14.9	38.3	21.3	4.3	21.3	53.2	25.5
	請負事業（30～70%未満）	78	15.4	38.5	19.2	10.3	16.7	53.8	29.5
	請負事業（70%以上）	198	18.2	34.3	21.7	11.6	14.1	52.5	33.3
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	10.7	35.7	22.9	16.4	14.3	46.4	39.3
	100～500人未満	105	23.8	32.4	20.0	4.8	19.0	56.2	24.8
	500人以上	74	18.9	43.2	20.3	4.1	13.5	62.2	24.3
	分からない	4	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	50.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	10.7	28.6	14.3	21.4	25.0	39.3	35.7
	電気・情報通信機械器具・部品	51	21.6	41.2	21.6	5.9	9.8	62.7	27.5
	輸送用機械器具・部品	28	14.3	28.6	32.1	7.1	17.9	42.9	39.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	19.6	41.1	16.1	7.1	16.1	60.7	23.2
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	25.8	32.3	12.9	12.9	16.1	58.1	25.8
	食料品・飲料品	20	15.0	40.0	25.0	15.0	5.0	55.0	40.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	61.5	7.7	7.7	7.7	76.9	15.4
その他	96	13.5	31.3	26.0	10.4	18.8	44.8	36.5	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	13.5	37.5	21.2	15.4	12.5	51.0	36.5
	30～100人未満	89	11.2	39.3	22.5	11.2	15.7	50.6	33.7
	100～500人未満	67	23.9	32.8	17.9	7.5	17.9	56.7	25.4
	500人以上	41	29.3	39.0	22.0	0.0	9.8	68.3	22.0
	分からない	22	13.6	18.2	22.7	9.1	36.4	31.8	31.8

【設問文】 Q27 請負労働者の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれあてはまるものを選んでください。

(5)福利厚生面の充実

- 福利厚生面の充実では、「概ね行っている」が最も高く、33.7%。「あまり行っていない」25.4%、「行っている」16.7%が続く。
- 「行っている」「概ね行っている」を合わせた「行っている（TOP2）」の割合は、50.5%。「あまり行っていない」「行っていない」を合わせた「行っていない（BOTTOM2）」の割合は、36.5%。

図表 II-7-1⑤. 請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組み  
(5)福利厚生面の充実（Q27）

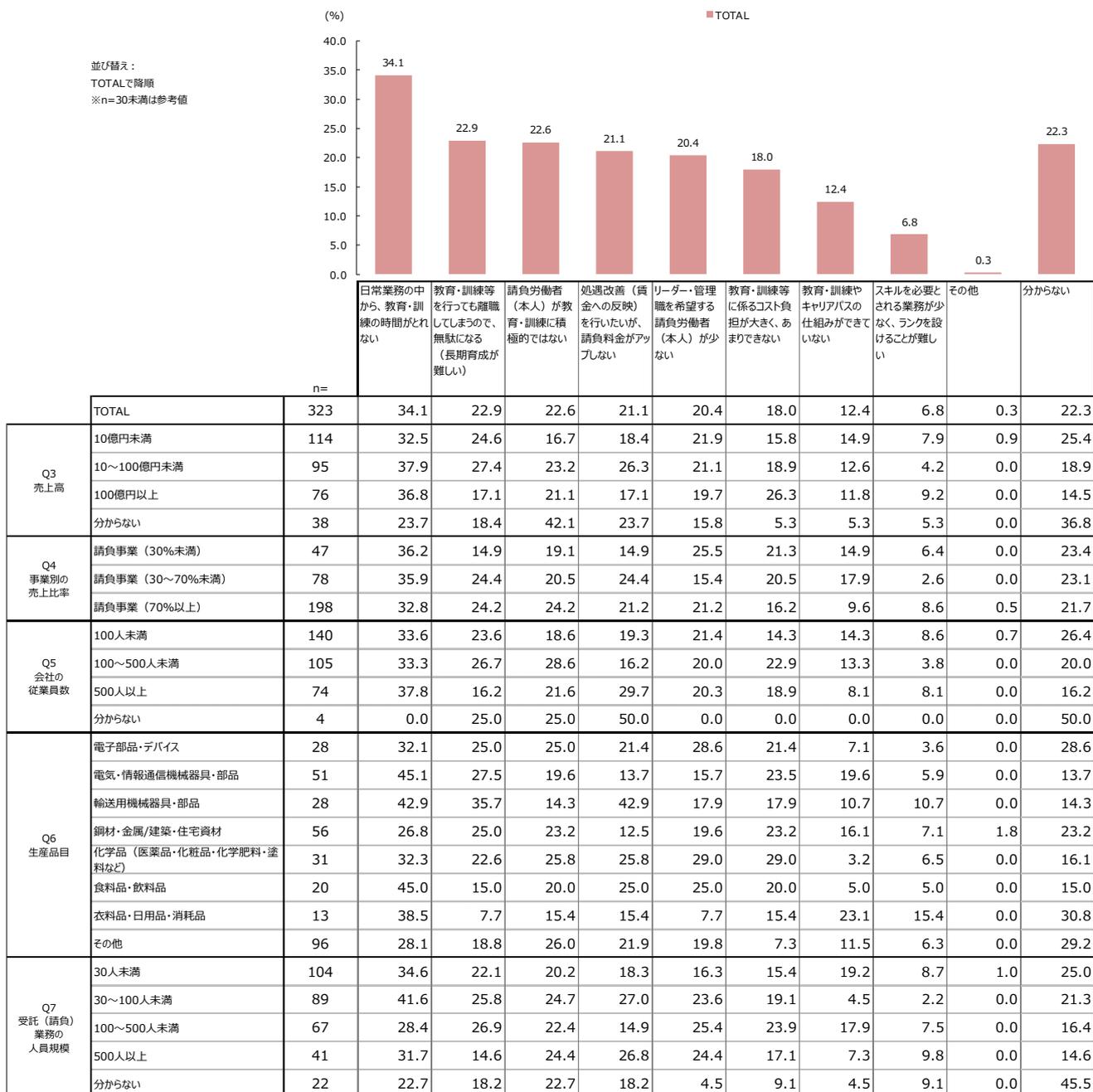
		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)
			n=					(%)	
TOTAL		323	16.7	33.7	25.4	11.1	13.0	50.5	36.5
								(%)	
		n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)
	TOTAL	323	16.7	33.7	25.4	11.1	13.0	50.5	36.5
Q3 売上高	10億円未満	114	12.3	28.9	32.5	13.2	13.2	41.2	45.6
	10～100億円未満	95	16.8	40.0	22.1	10.5	10.5	56.8	32.6
	100億円以上	76	19.7	40.8	19.7	6.6	13.2	60.5	26.3
	分からない	38	23.7	18.4	23.7	15.8	18.4	42.1	39.5
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	17.0	36.2	23.4	4.3	19.1	53.2	27.7
	請負事業（30～70%未満）	78	15.4	33.3	23.1	12.8	15.4	48.7	35.9
	請負事業（70%以上）	198	17.2	33.3	26.8	12.1	10.6	50.5	38.9
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	12.9	29.3	30.0	14.3	13.6	42.1	44.3
	100～500人未満	105	21.0	38.1	20.0	8.6	12.4	59.0	28.6
	500人以上	74	16.2	37.8	23.0	9.5	13.5	54.1	32.4
	分からない	4	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	10.7	25.0	10.7	25.0	28.6	35.7	35.7
	電気・情報通信機械器具・部品	51	21.6	29.4	33.3	11.8	3.9	51.0	45.1
	輸送用機械器具・部品	28	17.9	21.4	42.9	7.1	10.7	39.3	50.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	12.5	44.6	30.4	3.6	8.9	57.1	33.9
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	19.4	35.5	16.1	12.9	16.1	54.8	29.0
	食料品・飲料品	20	20.0	45.0	25.0	5.0	5.0	65.0	30.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	53.8	15.4	7.7	7.7	69.2	23.1
その他	96	16.7	30.2	21.9	13.5	17.7	46.9	35.4	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	14.4	27.9	31.7	16.3	9.6	42.3	48.1
	30～100人未満	89	12.4	36.0	24.7	11.2	15.7	48.3	36.0
	100～500人未満	67	17.9	46.3	19.4	7.5	9.0	64.2	26.9
	500人以上	41	26.8	31.7	24.4	7.3	9.8	58.5	31.7
	分からない	22	22.7	18.2	18.2	4.5	36.4	40.9	22.7

## (2) 請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組課題

【設問文】 Q28 請負労働者の処遇改善やスキルアップの取組課題についてお伺いします。あてはまるものを最大3つまで選んでください。

- 請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組課題では、「日常業務の中から、教育・訓練の時間がとれない」が最も高く、34.1%。「教育・訓練等を行っても離職してしまうので、無駄になる（長期育成が難しい）」22.9%、「請負労働者（本人）が教育・訓練に積極的ではない」22.6%が続く。

図表 II-7-2. 請負労働者の処遇改善、スキルアップの取組課題（Q28）＊回答は3つまで＊



### (3) 今年度の請負労働者の賃上げの実施状況

【設問文】 Q29 今年度の請負労働者の賃上げ状況についてお伺いします。平均賃上げ率はおよそ何パーセント程度だったでしょうか。

- 今年度の請負労働者の賃上げの実施状況では、「3～4%程度」が最も高く、22.0%。「1～2%程度」19.8%、「5%程度以上」15.8%が続く。
- 「1～2%程度」「3～4%程度」「5%程度以上」を合わせた「賃上げした」の割合は、57.6%。

図表 II-7-3. 今年度の請負労働者の賃上げの実施状況 (Q29)

		n=	(%)						賃上げした
			賃上げは行わなかった (0%)	1～2%程度	3～4%程度	5%程度以上	賃下げをした	分からない	
TOTAL		323	13.9	19.8	22.0	15.8	1.9	26.6	57.6
			(%)						
		n=	賃上げは行わなかった (0%)	1～2%程度	3～4%程度	5%程度以上	賃下げをした	分からない	賃上げした
Q3 売上高	TOTAL	323	13.9	19.8	22.0	15.8	1.9	26.6	57.6
	10億円未満	114	21.9	21.1	18.4	12.3	3.5	22.8	51.8
	10～100億円未満	95	10.5	21.1	26.3	20.0	1.1	21.1	67.4
	100億円以上	76	3.9	21.1	26.3	22.4	1.3	25.0	69.7
	分からない	38	18.4	10.5	13.2	2.6	0.0	55.3	26.3
Q4 事業別の 売上比率	請負事業 (30%未満)	47	8.5	23.4	25.5	10.6	6.4	25.5	59.6
	請負事業 (30～70%未満)	78	16.7	20.5	19.2	14.1	0.0	29.5	53.8
	請負事業 (70%以上)	198	14.1	18.7	22.2	17.7	1.5	25.8	58.6
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	27.1	19.3	19.3	11.4	2.9	20.0	50.0
	100～500人未満	105	2.9	21.9	21.9	17.1	1.0	35.2	61.0
	500人以上	74	5.4	18.9	28.4	23.0	1.4	23.0	70.3
	分からない	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	25.0	14.3	10.7	3.6	7.1	39.3	28.6
	電気・情報通信機械器具・部品	51	5.9	19.6	27.5	19.6	0.0	27.5	66.7
	輸送用機械器具・部品	28	14.3	21.4	14.3	28.6	0.0	21.4	64.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	17.9	17.9	23.2	19.6	3.6	17.9	60.7
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	31	12.9	29.0	32.3	3.2	3.2	19.4	64.5
	食料品・飲料品	20	5.0	25.0	35.0	15.0	0.0	20.0	75.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	30.8	7.7	15.4	0.0	30.8	53.8
	その他	96	14.6	16.7	19.8	15.6	1.0	32.3	52.1
Q7 受託 (請負) 業務の 人員規模	30人未満	104	28.8	13.5	24.0	12.5	2.9	18.3	50.0
	30～100人未満	89	11.2	33.7	14.6	10.1	0.0	30.3	58.4
	100～500人未満	67	4.5	16.4	31.3	20.9	1.5	25.4	68.7
	500人以上	41	4.9	17.1	22.0	34.1	2.4	19.5	73.2
	分からない	22	0.0	9.1	13.6	4.5	4.5	68.2	27.3

## 8. キャリア形成支援

### (1) 請負労働者へのキャリア面談、キャリアパスの提示の実施状況

【設問文】 Q30 請負労働者へのキャリア面談の実施、キャリアパスの提示についてお伺いします。それぞれあてはまるものを選んでください。

- 請負労働者へのキャリア面談、キャリアパスの提示の実施状況で、『（１）キャリア面談の実施』は「行っている」「概ね行っている」を合わせた「行っている（TOP2）」の割合が、39.3%。「あまり行っていない」「行っていない」を合わせた「行っていない（BOTTOM2）」の割合は、42.1%。
- 『（２）キャリアパスの提示の実施状況』は「行っている」「概ね行っている」を合わせた「行っている（TOP2）」の割合が、32.8%。「あまり行っていない」「行っていない」を合わせた「行っていない（BOTTOM2）」の割合は、46.1%。

図表 II-8-1. 請負労働者へのキャリア面談、キャリアパスの提示の実施状況（Q30）

	n=	%					行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)
		行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない		
(1) キャリア面談の実施	323	12.4	26.9	25.4	16.7	18.6	39.3	42.1
(2) キャリアパスの提示	323	9.9	22.9	27.6	18.6	21.1	32.8	46.1

	n=	%					行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)
		行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない		
(1) キャリア面談の実施	323	12.4	26.9	25.4	16.7	18.6	39.3	42.1
(2) キャリアパスの提示	323	9.9	22.9	27.6	18.6	21.1	32.8	46.1

【設問文】 Q30 請負労働者へのキャリア面談の実施、キャリアパスの提示についてお伺いします。それぞれあてはまるものを選んでください。

(1)キャリア面談の実施

※キャリア面談とは、従業員の中長期的なキャリア形成とその実現に向けて話し合い、従業員の自律的な成長を促進する機会のことです。

- キャリア面談の実施では「概ね行っている」が最も高く、26.9%。「あまり行っていない」25.4%、「行っていない」16.7%が続く。
- 「行っている」「概ね行っている」を合わせた「行っている（TOP2）」の割合が、39.3%。「あまり行っていない」「行っていない」を合わせた「行っていない（BOTTOM2）」の割合は、42.1%。

図表 II-8-1①. 請負労働者へのキャリア面談、キャリアパスの提示の実施状況  
(1)キャリア面談の実施 (Q30)

	n=	n=					行っている (TOP2)		行っていない (BOTTOM2)	
		行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	(%)	(%)	(%)	(%)
TOTAL	323	12.4	26.9	25.4	16.7	18.6	39.3	42.1		
		(%)								
	n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)		
Q3 売上高	TOTAL	323	12.4	26.9	25.4	16.7	18.6	39.3	42.1	
	10億円未満	114	7.0	23.7	28.9	24.6	15.8	30.7	53.5	
	10～100億円未満	95	12.6	30.5	27.4	14.7	14.7	43.2	42.1	
	100億円以上	76	22.4	35.5	19.7	3.9	18.4	57.9	23.7	
	分からない	38	7.9	10.5	21.1	23.7	36.8	18.4	44.7	
Q4 事業別の売上比率	請負事業 (30%未満)	47	14.9	27.7	23.4	12.8	21.3	42.6	36.2	
	請負事業 (30～70%未満)	78	15.4	28.2	23.1	11.5	21.8	43.6	34.6	
	請負事業 (70%以上)	198	10.6	26.3	26.8	19.7	16.7	36.9	46.5	
Q5 会社の従業員数	100人未満	140	6.4	22.9	30.0	25.7	15.0	29.3	55.7	
	100～500人未満	105	13.3	27.6	24.8	12.4	21.9	41.0	37.1	
	500人以上	74	21.6	35.1	18.9	5.4	18.9	56.8	24.3	
	分からない	4	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	10.7	25.0	17.9	17.9	28.6	35.7	35.7	
	電気・情報通信機械器具・部品	51	15.7	29.4	25.5	19.6	9.8	45.1	45.1	
	輸送用機械器具・部品	28	10.7	21.4	32.1	21.4	14.3	32.1	53.6	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	7.1	35.7	28.6	12.5	16.1	42.9	41.1	
	化学品 (医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	31	19.4	16.1	38.7	3.2	22.6	35.5	41.9	
	食料品・飲料品	20	10.0	45.0	15.0	15.0	15.0	55.0	30.0	
	衣料品・日用品・消耗品	13	23.1	30.8	15.4	7.7	23.1	53.8	23.1	
	その他	96	11.5	21.9	22.9	21.9	21.9	33.3	44.8	
Q7 受託 (請負) 業務の人員規模	30人未満	104	6.7	27.9	26.9	26.0	12.5	34.6	52.9	
	30～100人未満	89	7.9	27.0	33.7	11.2	20.2	34.8	44.9	
	100～500人未満	67	14.9	28.4	16.4	20.9	19.4	43.3	37.3	
	500人以上	41	31.7	31.7	22.0	0.0	14.6	63.4	22.0	
	分からない	22	13.6	9.1	18.2	13.6	45.5	22.7	31.8	

【設問文】 Q30 請負労働者へのキャリア面談の実施、キャリアパスの提示についてお伺いします。それぞれあてはまるものを選んでください。

(2)キャリアパスの提示

※キャリアパスとは、目標とする職務や職位に就くために必要なスキルや経験、そこに到達するまでの順序や道筋のことです。

- キャリアパスの提示では、「あまり行っていない」が最も高く、27.6%。「概ね行っている」22.9%、「行っていない」18.6%が続く。
- 「行っている」「概ね行っている」を合わせた「行っている（TOP2）」の割合が、32.8%。「あまり行っていない」「行っていない」を合わせた「行っていない（BOTTOM2）」の割合は、46.1%。

図表 II-8-1②. 請負労働者へのキャリア面談、キャリアパスの提示の実施状況  
(2)キャリアパスの提示（Q30）

	n=	%					行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)	
		行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない			
TOTAL	323	9.9	22.9	27.6	18.6	21.1	32.8	46.1	
	n=	行っている	概ね行っている	あまり行っていない	行っていない	分からない	行っている (TOP2)	行っていない (BOTTOM2)	
Q3 売上高	TOTAL	323	9.9	22.9	27.6	18.6	21.1	32.8	46.1
Q3 売上高	10億円未満	114	6.1	15.8	32.5	26.3	19.3	21.9	58.8
	10～100億円未満	95	8.4	23.2	32.6	17.9	17.9	31.6	50.5
	100億円以上	76	19.7	35.5	18.4	7.9	18.4	55.3	26.3
	分からない	38	5.3	18.4	18.4	18.4	39.5	23.7	36.8
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	8.5	25.5	25.5	21.3	19.1	34.0	46.8
	請負事業（30～70%未満）	78	16.7	23.1	26.9	10.3	23.1	39.7	37.2
	請負事業（70%以上）	198	7.6	22.2	28.3	21.2	20.7	29.8	49.5
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	5.7	17.1	33.6	26.4	17.1	22.9	60.0
	100～500人未満	105	10.5	21.9	25.7	15.2	26.7	32.4	41.0
	500人以上	74	16.2	36.5	18.9	9.5	18.9	52.7	28.4
	分からない	4	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	3.6	25.0	17.9	17.9	35.7	28.6	35.7
	電気・情報通信機械器具・部品	51	11.8	17.6	43.1	11.8	15.7	29.4	54.9
	輸送用機械器具・部品	28	7.1	21.4	35.7	17.9	17.9	28.6	53.6
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	10.7	32.1	21.4	17.9	17.9	42.9	39.3
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	19.4	12.9	38.7	12.9	16.1	32.3	51.6
	食料品・飲料品	20	10.0	20.0	40.0	10.0	20.0	30.0	50.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	30.8	23.1	7.7	23.1	46.2	30.8
その他	96	7.3	22.9	17.7	28.1	24.0	30.2	45.8	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	6.7	17.3	33.7	26.9	15.4	24.0	60.6
	30～100人未満	89	5.6	25.8	28.1	16.9	23.6	31.5	44.9
	100～500人未満	67	11.9	22.4	23.9	19.4	22.4	34.3	43.3
	500人以上	41	22.0	36.6	22.0	4.9	14.6	58.5	26.8
	分からない	22	13.6	13.6	18.2	9.1	45.5	27.3	27.3

## (2) 請負労働者のキャリアパス(アップ)についての考え

【設問文】 Q31 請負労働者のキャリアパス(アップ)について、どのように考えていますか。あてはまるものを選んでください。

- 請負労働者のキャリアパス(アップ)についての考えでは、「キャリアパス(アップ)には必要に応じ取組んで行きたい」が最も高く、42.7%。「キャリアパス(アップ)にはあまり取組んで行こうとは思わない」12.1%、「キャリアパス(アップ)に積極的に取組んで行きたい」11.1%が続く。
- 「キャリアパス(アップ)に積極的に取組んで行きたい」「キャリアパス(アップ)には必要に応じ取組んで行きたい」を合わせた「取組む(TOP2)」の割合が、53.9%。「キャリアパス(アップ)にはあまり取組んで行こうとは思わない」「キャリアパス(アップ)に取組んで行こうとは思わない」を合わせた「取組まない(BOTTOM2)」の割合は、15.5%。

図表 II-8-2. 請負労働者のキャリアパス(アップ)についての考え(Q31)

	n=	%						取組む(TOP2)	取組まない(BOTTOM2)
		11.1	42.7	12.1	3.4	0.3	30.3		
TOTAL	323	11.1	42.7	12.1	3.4	0.3	30.3	53.9	15.5

	n=	%								
		キャリアパス(アップ)に積極的に取組んで行きたい	キャリアパス(アップ)には必要に応じ取組んで行きたい	キャリアパス(アップ)にはあまり取組んで行こうとは思わない	キャリアパス(アップ)に取組んで行こうとは思わない	その他	分からない	取組む(TOP2)	取組まない(BOTTOM2)	
TOTAL	323	11.1	42.7	12.1	3.4	0.3	30.3	53.9	15.5	
Q3 売上高	10億円未満	114	5.3	39.5	12.3	4.4	0.9	37.7	44.7	16.7
	10~100億円未満	95	10.5	49.5	11.6	4.2	0.0	24.2	60.0	15.8
	100億円以上	76	18.4	44.7	15.8	2.6	0.0	18.4	63.2	18.4
	分からない	38	15.8	31.6	5.3	0.0	0.0	47.4	47.4	5.3
Q4 事業別の売上比率	請負事業(30%未満)	47	17.0	27.7	14.9	0.0	0.0	40.4	44.7	14.9
	請負事業(30~70%未満)	78	11.5	47.4	12.8	1.3	0.0	26.9	59.0	14.1
	請負事業(70%以上)	198	9.6	44.4	11.1	5.1	0.5	29.3	54.0	16.2
Q5 会社の従業員数	100人未満	140	5.7	40.7	13.6	3.6	0.7	35.7	46.4	17.1
	100~500人未満	105	14.3	46.7	7.6	1.9	0.0	29.5	61.0	9.5
	500人以上	74	16.2	43.2	14.9	5.4	0.0	20.3	59.5	20.3
	分からない	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	3.6	46.4	7.1	7.1	0.0	35.7	50.0	14.3
	電気・情報通信機械器具・部品	51	15.7	45.1	17.6	2.0	0.0	19.6	60.8	19.6
	輸送用機械器具・部品	28	14.3	50.0	10.7	7.1	0.0	17.9	64.3	17.9
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	10.7	46.4	5.4	1.8	1.8	33.9	57.1	7.1
	化学品(医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	31	16.1	41.9	12.9	0.0	0.0	29.0	58.1	12.9
	食料品・飲料品	20	10.0	40.0	20.0	10.0	0.0	20.0	50.0	30.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	46.2	0.0	0.0	0.0	38.5	61.5	0.0
その他	96	8.3	36.5	14.6	3.1	0.0	37.5	44.8	17.7	
Q7 受託(請負)業務の人員規模	30人未満	104	9.6	40.4	14.4	3.8	1.0	30.8	50.0	18.3
	30~100人未満	89	6.7	49.4	9.0	1.1	0.0	33.7	56.2	10.1
	100~500人未満	67	9.0	46.3	11.9	4.5	0.0	28.4	55.2	16.4
	500人以上	41	22.0	41.5	17.1	2.4	0.0	17.1	63.4	19.5
	分からない	22	22.7	18.2	4.5	9.1	0.0	45.5	40.9	13.6

## 9. 発注者との関係

### (1) 発注者とのコミュニケーション(意思疎通)の機会

【設問文】 Q32 発注者とのコミュニケーション(意思疎通)の機会を設けていますか。

- 発注者とのコミュニケーション(意思疎通)の機会では、「必要に応じて設けている」が最も高く、43.3%。「定期的に設けている」26.6%、「特に設けていない」11.8%が続く。
- 「定期的に設けている」「必要に応じて設けている」を合わせた「設けている(TOP2)」の割合は、70.0%。

図表 II-9-1. 発注者とのコミュニケーション(意思疎通)の機会(Q32)

		n=	■ 定期的に設けている	■ 必要に応じて設けている	□ 特に設けていない	□ その他	■ 分からない	設けている(TOP2)(%)
TOTAL		323	26.6	43.3	11.8	0.3	18.0	70.0
			(%)					
		n=	定期的に設けている	必要に応じて設けている	特に設けていない	その他	分からない	設けている(TOP2)
	TOTAL	323	26.6	43.3	11.8	0.3	18.0	70.0
Q3 売上高	10億円未満	114	23.7	44.7	14.9	0.0	16.7	68.4
	10~100億円未満	95	29.5	43.2	9.5	1.1	16.8	72.6
	100億円以上	76	28.9	48.7	11.8	0.0	10.5	77.6
	分からない	38	23.7	28.9	7.9	0.0	39.5	52.6
Q4 事業別の売上比率	請負事業(30%未満)	47	27.7	38.3	10.6	0.0	23.4	66.0
	請負事業(30~70%未満)	78	21.8	52.6	9.0	1.3	15.4	74.4
	請負事業(70%以上)	198	28.3	40.9	13.1	0.0	17.7	69.2
Q5 会社の従業員数	100人未満	140	23.6	40.7	15.7	0.0	20.0	64.3
	100~500人未満	105	27.6	48.6	5.7	0.0	18.1	76.2
	500人以上	74	32.4	40.5	13.5	1.4	12.2	73.0
	分からない	4	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	32.1	32.1	7.1	3.6	25.0	64.3
	電気・情報通信機械器具・部品	51	25.5	54.9	7.8	0.0	11.8	80.4
	輸送用機械器具・部品	28	39.3	21.4	21.4	0.0	17.9	60.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	19.6	46.4	16.1	0.0	17.9	66.1
	化学品(医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	31	32.3	45.2	0.0	0.0	22.6	77.4
	食料品・飲料品	20	20.0	55.0	20.0	0.0	5.0	75.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	15.4	53.8	7.7	0.0	23.1	69.2
	その他	96	27.1	40.6	12.5	0.0	19.8	67.7
Q7 受託(請負)業務の人員規模	30人未満	104	21.2	43.3	15.4	0.0	20.2	64.4
	30~100人未満	89	27.0	49.4	6.7	0.0	16.9	76.4
	100~500人未満	67	31.3	43.3	7.5	1.5	16.4	74.6
	500人以上	41	36.6	36.6	19.5	0.0	7.3	73.2
	分からない	22	18.2	31.8	13.6	0.0	36.4	50.0

## (2) 請負料金の設定・請求方法

【設問文】 Q33 請負業務の料金設定、請求方法はどのようになっていますか。最もあてはまるものを選んでください。

- 請負料金の設定・請求方法では、「請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）」が最も高く、33.4%。「請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）」26.9%、「料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している」8.0%が続く。

図表 II-9-2. 請負料金の設定・請求方法（Q33）

- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）
- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）
- 定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している
- 料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している
- その他
- 分からない

	n=	(%)					
TOTAL	323	26.9	33.4	7.1	8.0	0.3	24.1

		n=	(%)					
			請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）	請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）	定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している	料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している	その他	分からない
TOTAL		323	26.9	33.4	7.1	8.0	0.3	24.1
Q3 売上高	10億円未満	114	28.9	28.1	8.8	13.2	0.0	21.1
	10～100億円未満	95	25.3	36.8	6.3	7.4	1.1	23.2
	100億円以上	76	31.6	39.5	6.6	3.9	0.0	18.4
	分からない	38	15.8	28.9	5.3	2.6	0.0	47.4
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	14.9	34.0	6.4	14.9	0.0	29.8
	請負事業（30～70%未満）	78	32.1	37.2	3.8	6.4	1.3	19.2
	請負事業（70%以上）	198	27.8	31.8	8.6	7.1	0.0	24.7
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	27.9	26.4	7.9	11.4	0.0	26.4
	100～500人未満	105	25.7	34.3	8.6	4.8	1.0	25.7
	500人以上	74	27.0	45.9	4.1	6.8	0.0	16.2
	分からない	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	25.0	28.6	7.1	3.6	0.0	35.7
	電気・情報通信機械器具・部品	51	27.5	41.2	7.8	9.8	0.0	13.7
	輸送用機械器具・部品	28	28.6	46.4	7.1	7.1	0.0	10.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	26.8	39.3	5.4	3.6	0.0	25.0
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	35.5	25.8	6.5	9.7	0.0	22.6
	食料品・飲料品	20	35.0	40.0	0.0	15.0	0.0	10.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	23.1	30.8	7.7	7.7	0.0	30.8
	その他	96	22.9	25.0	9.4	9.4	1.0	32.3
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	26.9	26.9	8.7	14.4	0.0	23.1
	30～100人未満	89	25.8	41.6	4.5	3.4	0.0	24.7
	100～500人未満	67	28.4	31.3	10.4	6.0	1.5	22.4
	500人以上	41	31.7	43.9	4.9	7.3	0.0	12.2
	分からない	22	18.2	18.2	4.5	4.5	0.0	54.5

### (3) 生産性向上の場合の請負料金の見直し状況

【設問文】 Q34 請負業務の生産性が向上したことにより、少ない人数で業務を処理することが可能になった場合、請負料金（単価）はどのようになることが多いですか。

- 生産性向上の場合の請負料金の見直し状況では、「変わらないことが多い」が最も高く、41.2%。「変わらない」17.3%、「減ることが多い」13.3%が続く。
- 「変わらない」「変わらないことは多い」を合わせた「変わらない（TOP2）」の割合は、58.5%。「減ることが多い」「減る」を合わせた「減る（BOTTOM2）」の割合は、14.9%。

図表 II-9-3. 生産性向上の場合の請負料金の見直し状況（Q34）

		n=	(% )					変わらない (TOP2)	減る (BOTTOM2)
			変わらない	変わらないことが多い	減ることが多い	減る	分からない		
TOTAL		323	17.3	41.2	13.3	1.5	26.6	58.5	14.9
			(% )						
		n=	変わらない	変わらないことが多い	減ることが多い	減る	分からない	変わらない (TOP2)	減る (BOTTOM2)
TOTAL		323	17.3	41.2	13.3	1.5	26.6	58.5	14.9
Q3 売上高	10億円未満	114	17.5	37.7	16.7	1.8	26.3	55.3	18.4
	10～100億円未満	95	18.9	46.3	13.7	1.1	20.0	65.3	14.7
	100億円以上	76	15.8	48.7	11.8	2.6	21.1	64.5	14.5
	分からない	38	15.8	23.7	5.3	0.0	55.3	39.5	5.3
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	21.3	36.2	12.8	0.0	29.8	57.4	12.8
	請負事業（30～70%未満）	78	10.3	50.0	11.5	2.6	25.6	60.3	14.1
	請負事業（70%以上）	198	19.2	38.9	14.1	1.5	26.3	58.1	15.7
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	18.6	37.9	14.3	1.4	27.9	56.4	15.7
	100～500人未満	105	12.4	46.7	12.4	1.0	27.6	59.0	13.3
	500人以上	74	21.6	41.9	13.5	2.7	20.3	63.5	16.2
	分からない	4	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	14.3	25.0	21.4	0.0	39.3	39.3	21.4
	電気・情報通信機械器具・部品	51	19.6	49.0	7.8	3.9	19.6	68.6	11.8
	輸送用機械器具・部品	28	21.4	42.9	7.1	0.0	28.6	64.3	7.1
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	17.9	42.9	12.5	1.8	25.0	60.7	14.3
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	19.4	41.9	19.4	0.0	19.4	61.3	19.4
	食料品・飲料品	20	20.0	50.0	10.0	5.0	15.0	70.0	15.0
	衣料品・日用品・消耗品	13	0.0	53.8	7.7	0.0	38.5	53.8	7.7
その他	96	16.7	36.5	15.6	1.0	30.2	53.1	16.7	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	20.2	36.5	14.4	1.0	27.9	56.7	15.4
	30～100人未満	89	14.6	44.9	13.5	1.1	25.8	59.6	14.6
	100～500人未満	67	16.4	47.8	13.4	0.0	22.4	64.2	13.4
	500人以上	41	19.5	41.5	14.6	7.3	17.1	61.0	22.0
	分からない	22	13.6	27.3	4.5	0.0	54.5	40.9	4.5

#### (4) 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応

【設問文】 Q35 発注者に請負料金値上げの申し入れを行ったとき、発注者はどのような対応でしたか。直近の主な例について教えてください。最もあてはまるものを選んでください。

- 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応では、「協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった」が最も高く、36.8%。「協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった」25.4%、「協議に応じてもらえなかった」8.4%が続く。
- 「協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった」「協議に応じてもらえなかった」「値上げを申し入れたことはない」を合わせた「値上げなし（BOTTOM3）」の割合は、38.1%。

図表 II-9-4. 請負料金値上げ申し入れに対する発注者の対応（Q35）

		n=	<div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> <span>■ 協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった</span> <span>■ 協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった</span> <span>■ 協議に応じてもらえなかった</span> <span>■ 値上げを申し入れたことはない</span> <span>■ 分からない</span> </div>					(%)	値上げなし (BOTTOM3)
TOTAL		323	36.8	25.4	8.4	4.3	25.1	38.1	
			(%)						
		n=	協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった	協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった	協議に応じてもらえなかった	値上げを申し入れたことはない	分からない	値上げなし (BOTTOM3)	
TOTAL		323	36.8	25.4	8.4	4.3	25.1	38.1	
Q3 売上高	10億円未満	114	37.7	26.3	8.8	7.0	20.2	42.1	
	10～100億円未満	95	35.8	31.6	8.4	3.2	21.1	43.2	
	100億円以上	76	47.4	21.1	7.9	2.6	21.1	31.6	
	分からない	38	15.8	15.8	7.9	2.6	57.9	26.3	
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	36.2	23.4	6.4	6.4	27.7	36.2	
	請負事業（30～70%未満）	78	39.7	26.9	11.5	1.3	20.5	39.7	
	請負事業（70%以上）	198	35.9	25.3	7.6	5.1	26.3	37.9	
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	37.1	25.7	8.6	7.1	21.4	41.4	
	100～500人未満	105	32.4	28.6	6.7	1.0	31.4	36.2	
	500人以上	74	44.6	21.6	9.5	4.1	20.3	35.1	
	分からない	4	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	25.0	
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	25.0	17.9	17.9	3.6	35.7	39.3	
	電気・情報通信機械器具・部品	51	37.3	31.4	7.8	3.9	19.6	43.1	
	輸送用機械器具・部品	28	35.7	28.6	7.1	7.1	21.4	42.9	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	32.1	32.1	8.9	3.6	23.2	44.6	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	45.2	22.6	3.2	6.5	22.6	32.3	
	食料品・飲料品	20	45.0	25.0	10.0	0.0	20.0	35.0	
	衣料品・日用品・消耗品	13	30.8	38.5	7.7	0.0	23.1	46.2	
	その他	96	39.6	18.8	7.3	5.2	29.2	31.3	
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	33.7	29.8	9.6	7.7	19.2	47.1	
	30～100人未満	89	41.6	22.5	9.0	2.2	24.7	33.7	
	100～500人未満	67	32.8	28.4	7.5	3.0	28.4	38.8	
	500人以上	41	51.2	22.0	7.3	4.9	14.6	34.1	
	分からない	22	18.2	13.6	4.5	0.0	63.6	18.2	

# 10. 今後の事業運営

## (1) 今後の請負事業の見通し

【設問文】 Q36 今後、請負事業の見通しはどのようになるとお考えですか。

- 今後の請負事業の見通しでは、「現状維持」が最も高く、42.7%。「多少拡大する」18.6%、「多少縮小する」8.0%が続く。
- 「拡大する」「多少拡大する」を合わせた「拡大する（TOP2）」の割合は、24.5%。「多少縮小する」「縮小する」を合わせた「縮小する（BOTTOM2）」の割合は、12.4%。

図表 II-10-1. 今後の請負事業の見通し（Q36）

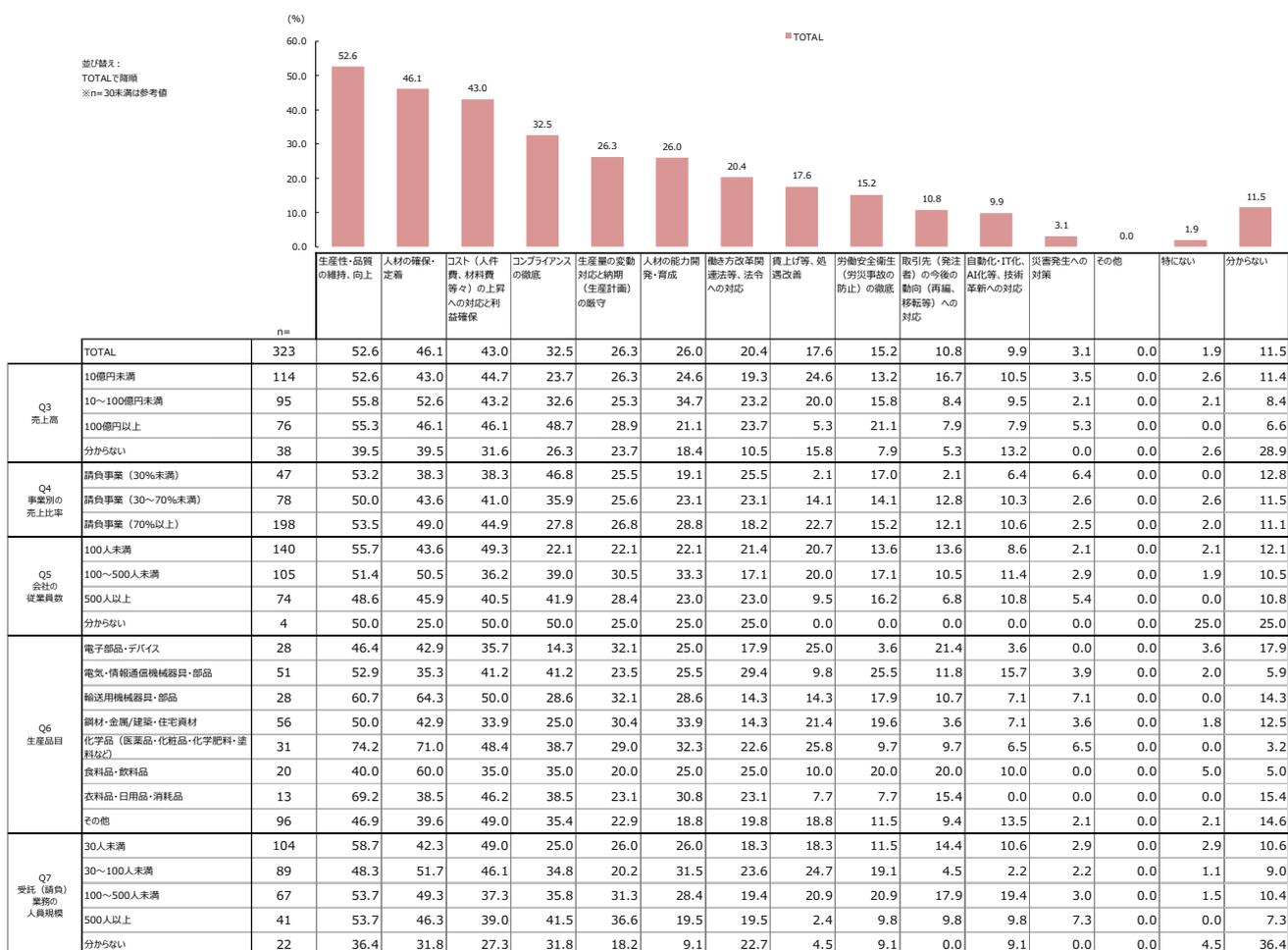
		n=	■ 拡大する	■ 多少拡大する	■ 現状維持	■ 多少縮小する	■ 縮小する	■ 分からない	拡大する (TOP2)	縮小する (BOTTOM2)	
			(%)								
TOTAL		323	5.9	18.6	42.7	8.0	4.3	20.4	24.5	12.4	
			(%)								
		n=	拡大する	多少拡大する	現状維持	多少縮小する	縮小する	分からない	拡大する (TOP2)	縮小する (BOTTOM2)	
TOTAL		323	5.9	18.6	42.7	8.0	4.3	20.4	24.5	12.4	
Q3 売上高	10億円未満	114	3.5	18.4	44.7	7.9	6.1	19.3	21.9	14.0	
	10～100億円未満	95	7.4	17.9	44.2	7.4	5.3	17.9	25.3	12.6	
	100億円以上	76	9.2	23.7	42.1	7.9	0.0	17.1	32.9	7.9	
	分からない	38	2.6	10.5	34.2	10.5	5.3	36.8	13.2	15.8	
Q4 事業別の 売上比率	請負事業（30%未満）	47	2.1	14.9	42.6	6.4	6.4	27.7	17.0	12.8	
	請負事業（30～70%未満）	78	9.0	20.5	41.0	7.7	3.8	17.9	29.5	11.5	
	請負事業（70%以上）	198	5.6	18.7	43.4	8.6	4.0	19.7	24.2	12.6	
Q5 会社の 従業員数	100人未満	140	3.6	12.1	45.7	7.1	7.1	24.3	15.7	14.3	
	100～500人未満	105	5.7	22.9	44.8	9.5	1.9	15.2	28.6	11.4	
	500人以上	74	10.8	25.7	36.5	6.8	1.4	18.9	36.5	8.1	
	分からない	4	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	50.0	
Q6 生産品目	電子部品・デバイス	28	0.0	7.1	50.0	17.9	7.1	17.9	7.1	25.0	
	電気・情報通信機械器具・部品	51	7.8	33.3	35.3	5.9	2.0	15.7	41.2	7.8	
	輸送用機械器具・部品	28	7.1	25.0	35.7	7.1	10.7	14.3	32.1	17.9	
	鋼材・金属/建築・住宅資材	56	3.6	19.6	50.0	5.4	3.6	17.9	23.2	8.9	
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	31	6.5	9.7	48.4	6.5	3.2	25.8	16.1	9.7	
	食品・飲料品	20	5.0	35.0	30.0	5.0	5.0	20.0	40.0	10.0	
	衣料品・日用品・消耗品	13	0.0	7.7	46.2	15.4	0.0	30.8	7.7	15.4	
その他	96	8.3	12.5	42.7	8.3	4.2	24.0	20.8	12.5		
Q7 受託（請負） 業務の 人員規模	30人未満	104	3.8	12.5	48.1	8.7	7.7	19.2	16.3	16.3	
	30～100人未満	89	3.4	23.6	40.4	9.0	1.1	22.5	27.0	10.1	
	100～500人未満	67	7.5	17.9	49.3	9.0	4.5	11.9	25.4	13.4	
	500人以上	41	14.6	29.3	31.7	7.3	2.4	14.6	43.9	9.8	
	分からない	22	4.5	9.1	27.3	0.0	4.5	54.5	13.6	4.5	

## (2) 事業継続のための重要課題

【設問文】 Q37 今後、事業を継続していく上で、現在、重要課題と考えられるものを最大5つまで選んでください。

- 事業継続のための重要課題では、「生産性・品質の維持、向上」が最も高く、52.6%。「人材の確保・定着」46.1%、「コスト（人件費、材料費等々）の上昇への対応と利益確保」43.0%が続く。

図表 II-10-2. 事業継続のための重要課題（Q37） \* 回答は5つまで \*



### III. 請負労働者

# 1. 請負労働者の概要

## (1) 請負労働者の概要

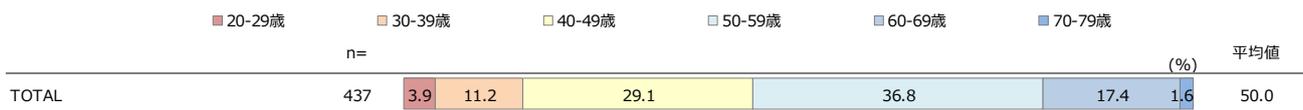
【設問文】 Q1 あなたの性別をお答えください。 / Q2 あなたの年齢をお答えください。

- 回答者の性別、年齢は次のとおり。

図表 III-1-1①. 回答者の性別 (Q1)



図表 III-1-1②. 回答者の年齢 (Q2)



【設問文】 Q3 あなたの現在の雇用形態について、お答えください。

- 現在の雇用形態では、「正社員（無期雇用社員）」が最も高く、68.4%。「パート・アルバイト」11.2%、「契約社員」8.9%が続く。

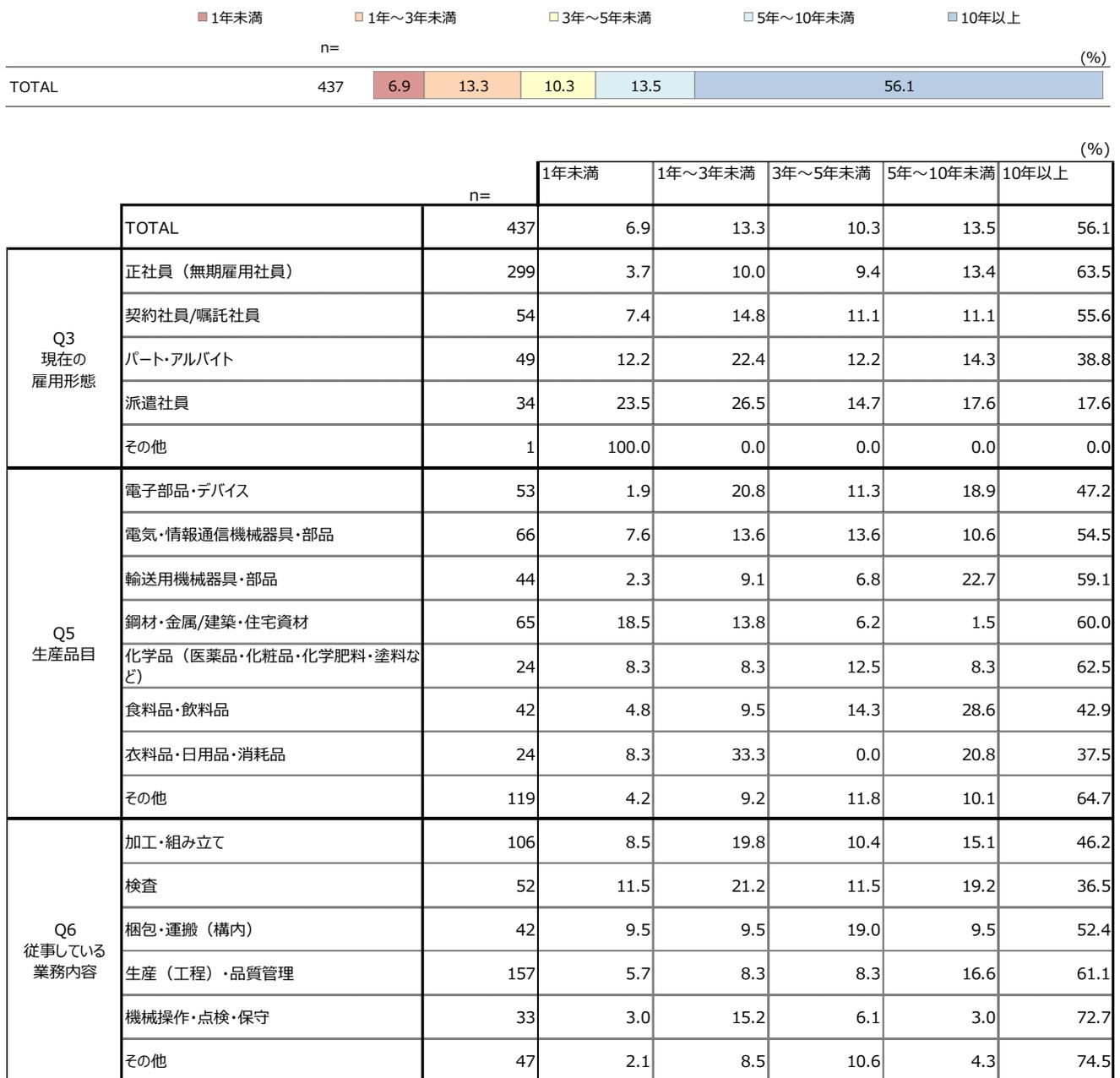
図表 III-1-1③. 現在の雇用形態（Q3）

		<span style="color: #c00000;">■</span> 正社員（無期雇用社員） <span style="color: #e69a00;">■</span> 契約社員 <span style="color: #ffff00;">■</span> パート・アルバイト <span style="color: #c0c0c0;">■</span> 嘱託社員 <span style="color: #6699cc;">■</span> 派遣社員 <span style="color: #3399ff;">■</span> 日々雇用 <span style="color: #669933;">■</span> その他													
		n=								(%)					
TOTAL		437	68.4							8.9	11.2	3.4	7.8	0.2	0.0
		n=	正社員（無期雇用社員）	契約社員	パート・アルバイト	嘱託社員	派遣社員	日々雇用	その他	(%)					
Q4 現在の会社での 勤続年数	TOTAL	437	68.4	8.9	11.2	3.4	7.8	0.2	0.0						
	3年未満	88	46.6	10.2	19.3	3.4	19.3	1.1	0.0						
	3年～5年未満	45	62.2	8.9	13.3	4.4	11.1	0.0	0.0						
	5年以上	304	75.7	8.6	8.6	3.3	3.9	0.0	0.0						
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	58.5	15.1	7.5	5.7	13.2	0.0	0.0						
	電気・情報通信機械器具・部品	66	65.2	12.1	9.1	1.5	12.1	0.0	0.0						
	輸送用機械器具・部品	44	75.0	9.1	6.8	2.3	6.8	0.0	0.0						
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	80.0	7.7	6.2	1.5	3.1	1.5	0.0						
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	66.7	12.5	12.5	0.0	8.3	0.0	0.0						
	食料品・飲料品	42	64.3	11.9	9.5	0.0	14.3	0.0	0.0						
	衣料品・日用品・消耗品	24	66.7	0.0	20.8	8.3	4.2	0.0	0.0						
その他	119	68.1	5.0	16.8	5.9	4.2	0.0	0.0							
Q6 従事している 業務内容	加工・組み立て	106	62.3	15.1	10.4	1.9	9.4	0.9	0.0						
	検査	52	57.7	9.6	17.3	0.0	15.4	0.0	0.0						
	梱包・運搬（構内）	42	61.9	7.1	19.0	4.8	7.1	0.0	0.0						
	生産（工程）・品質管理	157	75.2	5.7	8.3	4.5	6.4	0.0	0.0						
	機械操作・点検・保守	33	69.7	15.2	9.1	3.0	3.0	0.0	0.0						
	その他	47	76.6	2.1	10.6	6.4	4.3	0.0	0.0						

【設問文】 Q4 現在の会社での勤続はおよそ何年になりますか。

- 現在の会社での勤続年数では、「10年以上」が最も高く、56.1%。「5年～10年未満」13.5%、「1年～3年未満」13.3%が続く。

図表 III-1-1④. 現在の会社での勤続年数 (Q4)



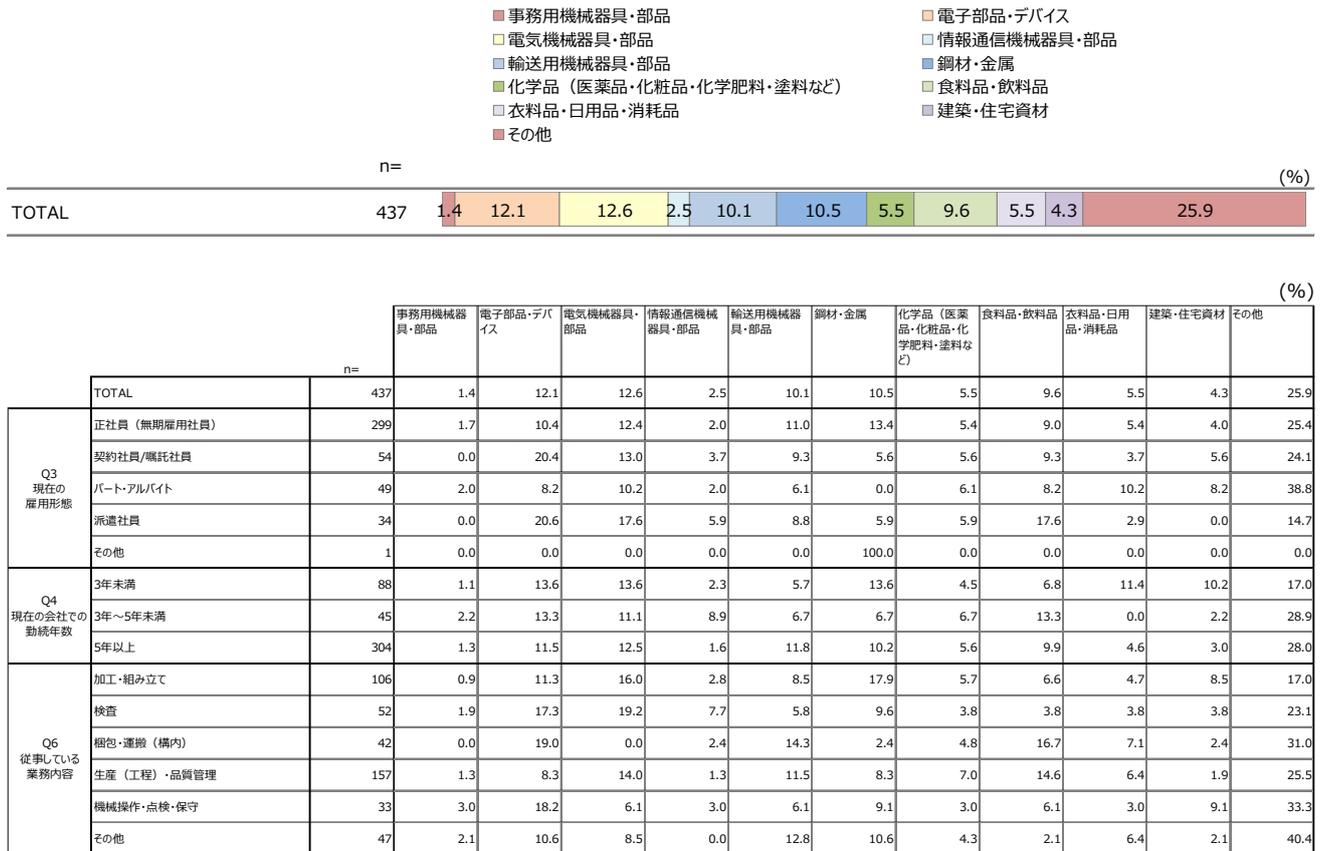
## 2. 請負労働者の業務

### (1) 従事している業務の生産品目

【設問文】 Q5 あなたが従事している業務の生産品目について、最もあてはまるものを選んでください。

- 従事している業務の生産品目では、「電気機械器具・部品」が最も高く、12.6%。「電子部品・デバイス」12.1%、「鋼材・金属」10.5%が続く。

図表 III-2-1. 従事している業務の生産品目 (Q5)



## (2) 従事している業務

【設問文】 Q6 あなたが従事している業務について、主に従事しているものを選んでください。

- 従事している業務では、「生産（工程）・品質管理」が最も高く、35.9%。「加工」15.6%、「検査」11.9%が続く。

図表 III-2-2. 従事している業務（Q6）

■加工 ■組み立て ■検査 ■梱包 ■運搬（構内） ■生産（工程）・品質管理 ■機械操作・点検・保守 ■その他

n=		(%)								
TOTAL		437	15.6	8.7	11.9	4.1	5.5	35.9	7.6	10.8
		n=	加工	組み立て	検査	梱包	運搬（構内）	生産（工程）・品質管理	機械操作・点検・保守	その他
TOTAL		437	15.6	8.7	11.9	4.1	5.5	35.9	7.6	10.8
Q3 現在の雇用形態	正社員（無期雇用社員）	299	15.4	6.7	10.0	2.7	6.0	39.5	7.7	12.0
	契約社員/嘱託社員	54	18.5	14.8	9.3	7.4	1.9	29.6	11.1	7.4
	パート・アルバイト	49	14.3	8.2	18.4	10.2	6.1	26.5	6.1	10.2
	派遣社員	34	11.8	17.6	23.5	2.9	5.9	29.4	2.9	5.9
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Q4 現在の会社での勤続年数	3年未満	88	18.2	15.9	19.3	5.7	3.4	25.0	6.8	5.7
	3年～5年未満	45	15.6	8.9	13.3	8.9	8.9	28.9	4.4	11.1
	5年以上	304	14.8	6.6	9.5	3.0	5.6	40.1	8.2	12.2
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	15.1	7.5	17.0	9.4	5.7	24.5	11.3	9.4
	電気・情報通信機械器具・部品	66	12.1	18.2	21.2	1.5	0.0	36.4	4.5	6.1
	輸送用機械器具・部品	44	9.1	11.4	6.8	4.5	9.1	40.9	4.5	13.6
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	35.4	7.7	10.8	0.0	3.1	24.6	9.2	9.2
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	45.8	4.2	8.3
	食料品・飲料品	42	16.7	0.0	4.8	4.8	11.9	54.8	4.8	2.4
	衣料品・日用品・消耗品	24	12.5	8.3	8.3	8.3	4.2	41.7	4.2	12.5
その他	119	9.2	6.7	10.9	3.4	7.6	35.3	10.1	16.8	

### 3. 請負業務の実態

#### (1) 業務についての発注者からの直接指示

【設問文】 Q7 あなたが従事している業務に関し、発注者（顧客）の従業員の方から直接指示を受けることがありますか。

- 業務についての発注者からの直接指示では、「たまにあると思う」が最も高く、38.2%。「ないと思う」37.8%、「よくあると思う」20.1%が続く。
- 「よくあると思う」「たまにあると思う」を合わせた「あると思う（TOP2）」の割合は、58.4%。

図表 III-3-1. 業務についての発注者からの直接指示（Q7）

		n=	よくあると思う	たまにあると思う	ないと思う	分からない	あると思う (TOP2) (%)
TOTAL		437	20.1	38.2	37.8	3.9	58.4
							(%)
		n=	よくあると思う	たまにあると思う	ないと思う	分からない	あると思う (TOP2)
Q3 現在の 雇用形態	TOTAL	437	20.1	38.2	37.8	3.9	58.4
	正社員（無期雇用社員）	299	22.7	39.5	33.8	4.0	62.2
	契約社員/嘱託社員	54	14.8	31.5	50.0	3.7	46.3
	パート・アルバイト	49	16.3	34.7	46.9	2.0	51.0
	派遣社員	34	11.8	41.2	41.2	5.9	52.9
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	
Q4 現在の会社での 勤続年数	3年未満	88	19.3	43.2	34.1	3.4	62.5
	3年～5年未満	45	22.2	40.0	37.8	0.0	62.2
	5年以上	304	20.1	36.5	38.8	4.6	56.6
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	11.3	49.1	32.1	7.5	60.4
	電気・情報通信機械器具・部品	66	22.7	42.4	31.8	3.0	65.2
	輸送用機械器具・部品	44	22.7	29.5	45.5	2.3	52.3
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	26.2	44.6	26.2	3.1	70.8
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	20.8	37.5	33.3	8.3	58.3
	食料品・飲料品	42	16.7	52.4	28.6	2.4	69.0
	衣料品・日用品・消耗品	24	16.7	37.5	41.7	4.2	54.2
	その他	119	20.2	26.1	50.4	3.4	46.2
Q6 従事している 業務内容	加工・組み立て	106	18.9	35.8	39.6	5.7	54.7
	検査	52	23.1	46.2	30.8	0.0	69.2
	梱包・運搬（構内）	42	16.7	42.9	35.7	4.8	59.5
	生産（工程）・品質管理	157	19.1	36.9	39.5	4.5	56.1
	機械操作・点検・保守	33	27.3	48.5	24.2	0.0	75.8
	その他	47	21.3	27.7	46.8	4.3	48.9

## (2) 従事している業務の現場の状況

【設問文】 Q8 あなたが従事している業務の現場では、誰と一緒に働いていると思いますか。最も当てはまるものを選んでください。

- 従事している業務の現場の状況では、「自社の従業員と一緒に働いていると思う」が最も高く、75.1%。「発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う」12.4%、「他の請負事業者の従業員と一緒に働いていると思う」8.7%が続く。

図表 III-3-2. 従事している業務の現場の状況（Q8）

		n=	(% )				
			■ 自社の従業員と一緒に働いていると思う	■ 発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う	■ 他の請負事業者の従業員と一緒に働いていると思う	■ その他	■ 分からない
TOTAL		437	75.1	12.4	8.7	0.5	3.4
			(% )				
		n=	自社の従業員と一緒に働いていると思う	発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う	他の請負事業者の従業員と一緒に働いていると思う	その他	分からない
Q3 現在の雇用形態	TOTAL	437	75.1	12.4	8.7	0.5	3.4
	正社員（無期雇用社員）	299	72.6	15.4	8.7	0.7	2.7
	契約社員/嘱託社員	54	83.3	7.4	3.7	0.0	5.6
	パート・アルバイト	49	87.8	2.0	4.1	0.0	6.1
	派遣社員	34	67.6	8.8	20.6	0.0	2.9
その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
Q4 現在の会社での勤続年数	3年未満	88	70.5	13.6	11.4	0.0	4.5
	3年～5年未満	45	73.3	20.0	6.7	0.0	0.0
	5年以上	304	76.6	10.9	8.2	0.7	3.6
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	66.0	15.1	17.0	0.0	1.9
	電気・情報通信機械器具・部品	66	75.8	10.6	9.1	0.0	4.5
	輸送用機械器具・部品	44	75.0	18.2	6.8	0.0	0.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	81.5	7.7	9.2	0.0	1.5
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	70.8	16.7	4.2	4.2	4.2
	食料品・飲料品	42	81.0	16.7	0.0	0.0	2.4
	衣料品・日用品・消耗品	24	58.3	16.7	16.7	4.2	4.2
	その他	119	77.3	9.2	7.6	0.0	5.9
Q6 従事している業務内容	加工・組み立て	106	82.1	7.5	7.5	0.0	2.8
	検査	52	73.1	15.4	9.6	0.0	1.9
	梱包・運搬（構内）	42	66.7	16.7	9.5	0.0	7.1
	生産（工程）・品質管理	157	75.2	12.1	8.9	1.3	2.5
	機械操作・点検・保守	33	66.7	24.2	6.1	0.0	3.0
	その他	47	74.5	8.5	10.6	0.0	6.4

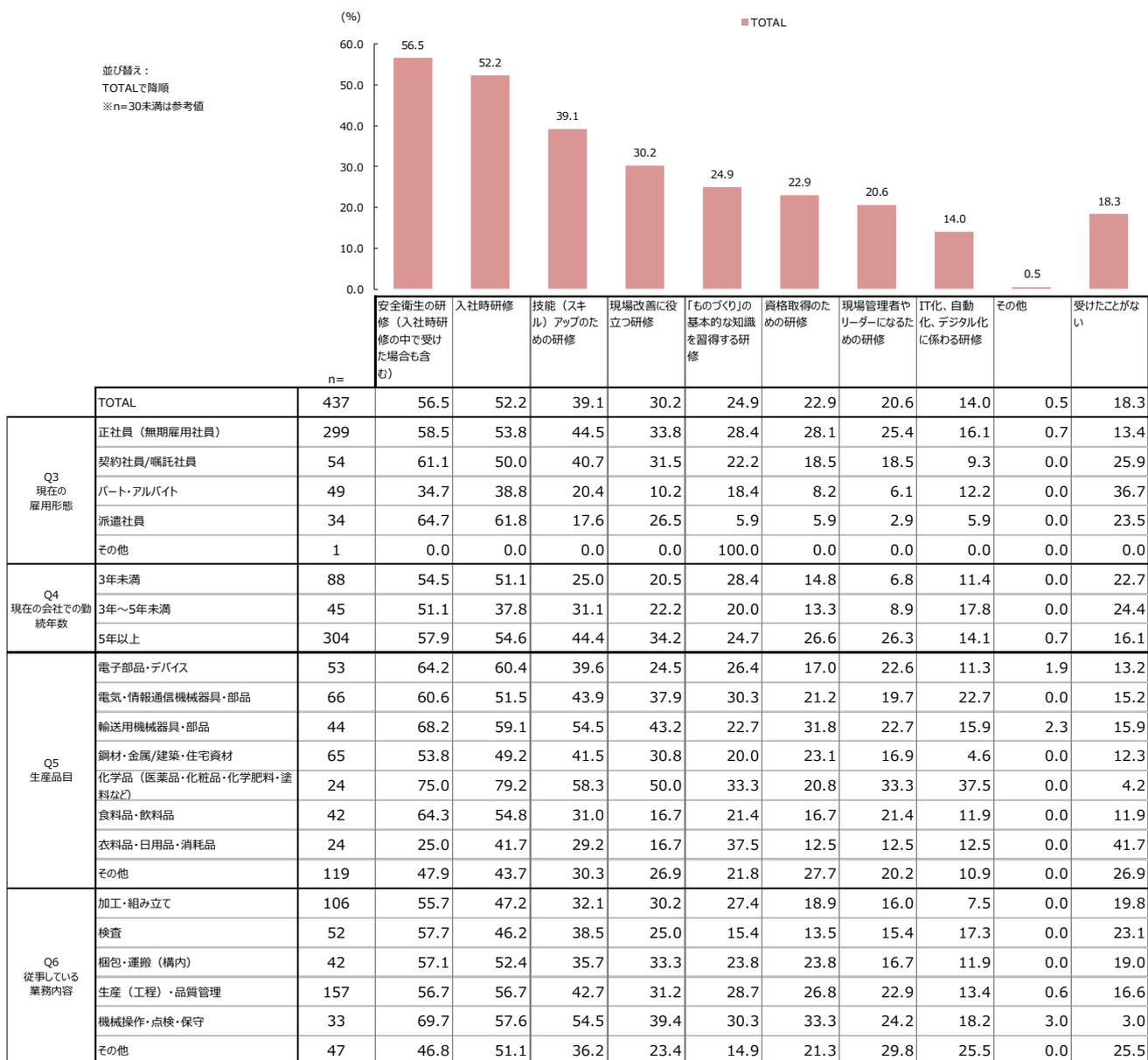
## 4. 教育・研修

### (1) 現在の在籍会社での教育・研修の受講状況

【設問文】 Q9 現在あなたが在籍している会社で、これまでどのような教育・研修を受けましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 現在の在籍会社での教育・研修の受講状況では、「安全衛生の研修（入社時研修の中で受けた場合も含む）」が最も高く、56.5%。「入社時研修」52.2%、「技能（スキル）アップのための研修」39.1%が続く。

図表 III-4-1. 現在の在籍会社での教育・研修の受講状況（Q9）＊複数回答＊

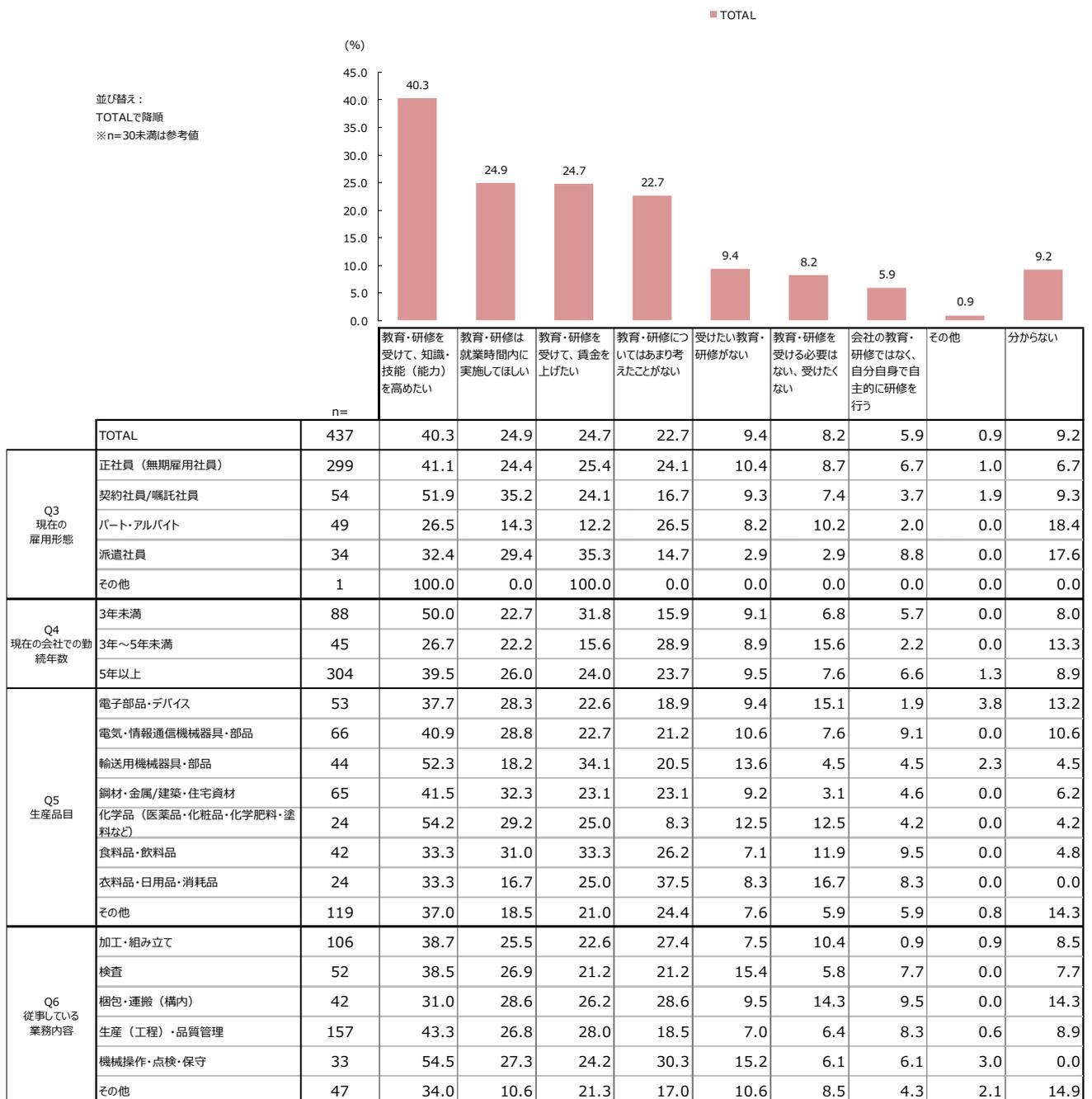


## (2) 教育・研修に対する考え

【設問文】 Q10 教育・研修に対するあなたのお考えについてお伺いします。あてはまるものをすべて選んでください。

- 教育・研修に対する考えでは、「教育・研修を受けて、知識・技能（能力）を高めたい」が最も高く、40.3%。「教育・研修は就業時間内に実施してほしい」24.9%、「教育・研修を受けて、賃金を上げたい」24.7%が続く。

図表 III-4-2. 教育・研修に対する意向（Q10） \* 複数回答 \*



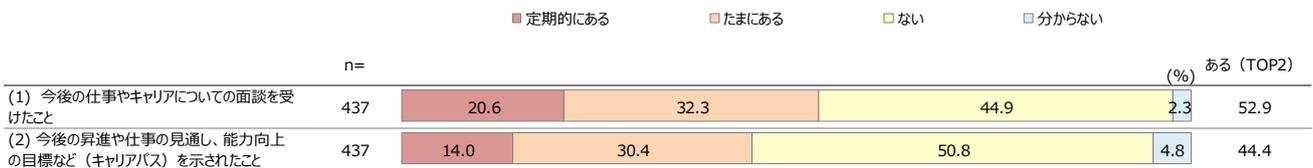
## 5. キャリア形成支援

### (1) キャリア面談、キャリアパス提示を受けた経験・頻度

【設問文】 Q11 あなたは、次の項目について、現在、在籍している会社から受けたことがありますか。それぞれあてはまるものを選んでください。

- 『（１）今後の仕事やキャリアについての面談を受けたこと』では、受けたことが「ない」が最も高く、44.9%。「たまにある」32.3%、「定期的にある」20.6%が続く。
- 『（２）今後の昇進や仕事の見通し、能力向上の目標など（キャリアパス）を示されたこと』では、示されたことが「ない」が最も高く、50.8%。「たまにある」30.4%、「定期的にある」14.0%が続く。
- 「定期的にある」「たまにある」を合わせた「ある（TOP2）」の割合は、『（１）今後の仕事やキャリアについての面談を受けたこと』では52.9%、『（２）今後の昇進や仕事の見通し、能力向上の目標など（キャリアパス）を示されたこと』では44.4%。

図表 III-5-1. キャリア面談、キャリアパス提示を受けた経験・頻度（Q11）



項目	n	頻度 (%)				ある (TOP2) (%)
		定期的にある	たまにある	ない	分からない	
(1) 今後の仕事やキャリアについての面談を受けたこと	437	20.6	32.3	44.9	2.3	52.9
(2) 今後の昇進や仕事の見通し、能力向上の目標など（キャリアパス）を示されたこと	437	14.0	30.4	50.8	4.8	44.4

【設問文】 Q11 あなたは、次の項目について、現在、在籍している会社から受けたことがありますか。それぞれあてはまるものを選んでください。

(1)今後の仕事やキャリアについての面談を受けたこと

- 今後の仕事やキャリアについての面談を受けたことでは、「ない」が最も高く、44.9%。「たまにある」32.3%、「定期的にある」20.6%が続く。
- 「定期的にある」「たまにある」を合わせた「ある（TOP2）」の割合は、52.9%。

図表 III-5-1①. キャリア面談、キャリアパス提示を受けた経験・頻度

(1)今後の仕事やキャリアについての面談を受けたこと (Q11)

		n=	定期的にある	たまにある	ない	分からない	(%) ある (TOP2)
TOTAL		437	20.6	32.3	44.9	2.3	52.9
			(%)				
		n=	定期的にある	たまにある	ない	分からない	ある (TOP2)
Q3 現在の 雇用形態	TOTAL	437	20.6	32.3	44.9	2.3	52.9
	正社員（無期雇用社員）	299	23.4	33.1	41.1	2.3	56.5
	契約社員/嘱託社員	54	22.2	37.0	40.7	0.0	59.3
	パート・アルバイト	49	6.1	20.4	67.3	6.1	26.5
	派遣社員	34	14.7	32.4	52.9	0.0	47.1
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	
Q4 現在の会社での 勤続年数	3年未満	88	19.3	39.8	37.5	3.4	59.1
	3年～5年未満	45	24.4	22.2	53.3	0.0	46.7
	5年以上	304	20.4	31.6	45.7	2.3	52.0
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	32.1	32.1	35.8	0.0	64.2
	電気・情報通信機械器具・部品	66	34.8	19.7	43.9	1.5	54.5
	輸送用機械器具・部品	44	22.7	31.8	43.2	2.3	54.5
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	6.2	43.1	47.7	3.1	49.2
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	33.3	41.7	20.8	4.2	75.0
	食料品・飲料品	42	19.0	45.2	35.7	0.0	64.3
	衣料品・日用品・消耗品	24	12.5	25.0	58.3	4.2	37.5
	その他	119	14.3	28.6	53.8	3.4	42.9
Q6 従事している 業務内容	加工・組み立て	106	18.9	29.2	49.1	2.8	48.1
	検査	52	26.9	25.0	48.1	0.0	51.9
	梱包・運搬（構内）	42	16.7	33.3	47.6	2.4	50.0
	生産（工程）・品質管理	157	21.0	34.4	42.0	2.5	55.4
	機械操作・点検・保守	33	24.2	39.4	36.4	0.0	63.6
	その他	47	17.0	34.0	44.7	4.3	51.1

【設問文】 Q11 あなたは、次の項目について、現在、在籍している会社から受けたことがありますか。それぞれあてはまるものを選んでください。

(2)今後の昇進や仕事の見通し、能力向上の目標など（キャリアパス）を示されたこと

※キャリアパスとは、目標とする職務や職位に就くために必要なスキルや経験、そこに到達するまでの順序や道筋のことです。

- 今後の昇進や仕事の見通し、能力向上の目標など（キャリアパス）を示されたことでは、「ない」が最も高く、50.8%。「たまにある」30.4%、「定期的にある」14.0%が続く。
- 「定期的にある」「たまにある」を合わせた「ある（TOP2）」の割合は、44.4%。

図表 III-5-1②. キャリア面談、キャリアパス提示を受けた経験・頻度

(2)今後の昇進や仕事の見通し、能力向上の目標など（キャリアパス）を示されたこと（Q11）

		n=	定期的にある	たまにある	ない	分からない	(%) ある (TOP2)
TOTAL		437	14.0	30.4	50.8	4.8	44.4
			(%)				
		n=	定期的にある	たまにある	ない	分からない	ある (TOP2)
Q3 現在の 雇用形態	TOTAL	437	14.0	30.4	50.8	4.8	44.4
	正社員（無期雇用社員）	299	17.7	33.1	44.8	4.3	50.8
	契約社員/嘱託社員	54	9.3	27.8	55.6	7.4	37.0
	パート・アルバイト	49	4.1	14.3	75.5	6.1	18.4
	派遣社員	34	2.9	35.3	58.8	2.9	38.2
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
Q4 現在の会社での 勤続年数	3年未満	88	13.6	30.7	47.7	8.0	44.3
	3年～5年未満	45	11.1	28.9	57.8	2.2	40.0
	5年以上	304	14.5	30.6	50.7	4.3	45.1
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	13.2	35.8	47.2	3.8	49.1
	電気・情報通信機械器具・部品	66	27.3	19.7	50.0	3.0	47.0
	輸送用機械器具・部品	44	13.6	34.1	47.7	4.5	47.7
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	4.6	33.8	52.3	9.2	38.5
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	20.8	41.7	33.3	4.2	62.5
	食料品・飲料品	42	9.5	47.6	42.9	0.0	57.1
	衣料品・日用品・消耗品	24	4.2	25.0	58.3	12.5	29.2
	その他	119	14.3	23.5	58.0	4.2	37.8
Q6 従事している 業務内容	加工・組み立て	106	8.5	24.5	61.3	5.7	33.0
	検査	52	13.5	28.8	51.9	5.8	42.3
	梱包・運搬（構内）	42	9.5	31.0	52.4	7.1	40.5
	生産（工程）・品質管理	157	18.5	33.1	44.6	3.8	51.6
	機械操作・点検・保守	33	15.2	33.3	51.5	0.0	48.5
	その他	47	14.9	34.0	44.7	6.4	48.9

## (2) キャリアパス(アップ)に対する考え

【設問文】 Q12 キャリアパス（アップ）に対するあなたの考えについてお伺いします。最もあてはまるものを選んでください。

- キャリアパス（アップ）に対する考えでは、「キャリアパス（アップ）の機会があれば取り組んでいきたい」が最も高く、41.9%。「キャリアパス（アップ）について特に何も考えていない」23.8%、「キャリアパス（アップ）を負担に感じる」10.1%が続く。
- 「キャリアアップに積極的に取り組んでいきたい」「キャリアアップの機会があれば取り組んでいきたい」を合わせた「キャリアアップに取り組んでいきたい（TOP2）」の割合は、50.3%。

図表 III-5-2. キャリアパス（アップ）に対する考え（Q12）

		n=	8.5	41.9	7.6	10.1	23.8	0.5	7.8	50.3
			キャリアパス（アップ）に積極的に取り組んでいきたい		キャリアパス（アップ）の機会があれば取り組んでいきたい	キャリアパス（アップ）に取り組んで行こうとは思わない	キャリアパス（アップ）を負担に感じる	キャリアパス（アップ）について特に何も考えていない	その他	キャリアアップに取り組んでいきたい（TOP2）
TOTAL		437	8.5	41.9	7.6	10.1	23.8	0.5	7.8	50.3
		n=								
Q3 現在の 雇用形態	TOTAL	437	8.5	41.9	7.6	10.1	23.8	0.5	7.8	50.3
	正社員（無期雇用社員）	299	9.7	45.2	9.7	10.4	18.4	0.7	6.0	54.8
	契約社員/嘱託社員	54	1.9	37.0	5.6	9.3	35.2	0.0	11.1	38.9
	パート・アルバイト	49	6.1	34.7	0.0	6.1	32.7	0.0	20.4	40.8
	派遣社員	34	11.8	29.4	2.9	14.7	41.2	0.0	0.0	41.2
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q4 現在の会社での 勤続年数	3年未満	88	13.6	44.3	6.8	10.2	17.0	0.0	8.0	58.0
	3年～5年未満	45	6.7	40.0	6.7	13.3	26.7	0.0	6.7	46.7
	5年以上	304	7.2	41.4	7.9	9.5	25.3	0.7	7.9	48.7
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	11.3	35.8	7.5	11.3	26.4	1.9	5.7	47.2
	電気・情報通信機械器具・部品	66	9.1	45.5	4.5	10.6	21.2	0.0	9.1	54.5
	輸送用機械器具・部品	44	11.4	47.7	6.8	11.4	15.9	2.3	4.5	59.1
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	6.2	46.2	3.1	13.8	21.5	0.0	9.2	52.3
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	8.3	54.2	12.5	4.2	12.5	0.0	8.3	62.5
	食料品・飲料品	42	14.3	47.6	11.9	4.8	16.7	0.0	4.8	61.9
	衣料品・日用品・消耗品	24	8.3	37.5	4.2	16.7	25.0	0.0	8.3	45.8
	その他	119	5.0	34.5	10.1	8.4	32.8	0.0	9.2	39.5
Q6 従事している 業務内容	加工・組み立て	106	10.4	37.7	6.6	6.6	28.3	0.0	10.4	48.1
	検査	52	3.8	40.4	3.8	9.6	32.7	0.0	9.6	44.2
	梱包・運搬（構内）	42	7.1	42.9	4.8	11.9	23.8	0.0	9.5	50.0
	生産（工程）・品質管理	157	10.2	45.2	7.6	10.2	21.0	0.6	5.1	55.4
	機械操作・点検・保守	33	9.1	39.4	6.1	18.2	18.2	3.0	6.1	48.5
	その他	47	4.3	42.6	17.0	10.6	17.0	0.0	8.5	46.8

## 6. 能力評価、処遇

### (1) 評価の仕組みの有無と説明状況、処遇への反映、面談の有無

【設問文】 Q13 現在、在籍する会社における、あなたの能力や仕事上の貢献を評価する仕組みや処遇への反映などについてお伺いします。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

- 『（１）能力や仕事上の貢献を評価する仕組み』の有無では、「ある」が 43.0%、「ない」が 35.5%。
- 『（２）能力や仕事上の貢献を評価する仕組みの説明』の有無では、「ある」が 35.2%、「ない」が 49.0%。
- 『（３）能力や仕事上の貢献を処遇への反映（給与など）』の有無では、「ある」が 41.9%、「ない」が 40.0%。
- 『（４）能力や仕事上の貢献の評価結果に基づいて、能力やその貢献の向上のための助言や指導などを行う面談』の有無では、「ある」が 37.5%、「ない」が 49.9%。

図表 III-6-1. 評価の仕組みの有無と説明状況、処遇への反映、面談の有無（Q13）



	n=	ある (%)	ない (%)	分からない (%)
(1) 能力や仕事上の貢献を評価する仕組みはありますか	437	43.0	35.5	21.5
(2) 能力や仕事上の貢献を評価する仕組みの説明はありますか	437	35.2	49.0	15.8
(3) 能力や仕事上の貢献を処遇への反映（給与など）はありますか	437	41.9	40.0	18.1
(4) 能力や仕事上の貢献の評価結果に基づいて、能力やその貢献の向上のための助言や指導などを行う面談はありますか	437	37.5	49.9	12.6

【設問文】 Q13 現在、在籍する会社における、あなたの能力や仕事上の貢献を評価する仕組みや処遇への反映などについてお伺いします。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

(1)能力や仕事上の貢献を評価する仕組みはありますか

- 能力や仕事上の貢献を評価する仕組みの有無では「ある」が最も高く、43.0%。「ない」35.5%、「分からない」21.5%が続く。

図表 III-6-1①. 評価の仕組みの有無と説明状況、処遇への反映、面談の有無  
(1)能力や仕事上の貢献を評価する仕組みの有無 (Q13)

		n=	(% )		
			■ ある	■ ない	■ 分からない
TOTAL		437	43.0	35.5	21.5
			(% )		
		n=	ある	ない	分からない
Q3 現在の 雇用形態	TOTAL	437	43.0	35.5	21.5
	正社員（無期雇用社員）	299	49.5	30.4	20.1
	契約社員/嘱託社員	54	40.7	33.3	25.9
	パート・アルバイト	49	16.3	61.2	22.4
	派遣社員	34	26.5	47.1	26.5
その他	1	100.0	0.0	0.0	
Q4 現在の会社での 勤続年数	3年未満	88	43.2	30.7	26.1
	3年～5年未満	45	40.0	40.0	20.0
	5年以上	304	43.4	36.2	20.4
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	43.4	35.8	20.8
	電気・情報通信機械器具・部品	66	56.1	25.8	18.2
	輸送用機械器具・部品	44	47.7	27.3	25.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	35.4	43.1	21.5
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	62.5	20.8	16.7
	食料品・飲料品	42	38.1	33.3	28.6
	衣料品・日用品・消耗品	24	50.0	29.2	20.8
その他	119	34.5	44.5	21.0	
Q6 従事している 業務内容	加工・組み立て	106	39.6	32.1	28.3
	検査	52	42.3	44.2	13.5
	梱包・運搬（構内）	42	47.6	31.0	21.4
	生産（工程）・品質管理	157	44.6	33.8	21.7
	機械操作・点検・保守	33	42.4	45.5	12.1
	その他	47	42.6	36.2	21.3

【設問文】 Q13 現在、在籍する会社における、あなたの能力や仕事上の貢献を評価する仕組みや処遇への反映などについてお伺いします。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

(2)能力や仕事上の貢献を評価する仕組みの説明はありますか

- 能力や仕事上の貢献を評価する仕組みの説明の有無では、「ない」が最も高く、49.0%。「ある」35.2%、「分からない」15.8%が続く。

図表 III-6-1②. 評価の仕組みの有無と説明状況、処遇への反映、面談の有無

(2)能力や仕事上の貢献を評価する仕組みの説明の有無 (Q13)

■ ある                      ■ ない                      ■ 分からない

	n=	(%)		
TOTAL	437	35.2	49.0	15.8

		n=	(%)		
			ある	ない	分からない
	TOTAL	437	35.2	49.0	15.8
Q3 現在の 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	299	39.5	44.8	15.7
	契約社員/嘱託社員	54	35.2	48.1	16.7
	パート・アルバイト	49	20.4	69.4	10.2
	派遣社員	34	17.6	58.8	23.5
	その他	1	100.0	0.0	0.0
Q4 現在の会社での 勤続年数	3年未満	88	33.0	45.5	21.6
	3年～5年未満	45	33.3	62.2	4.4
	5年以上	304	36.2	48.0	15.8
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	35.8	45.3	18.9
	電気・情報通信機械器具・部品	66	36.4	48.5	15.2
	輸送用機械器具・部品	44	40.9	40.9	18.2
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	29.2	52.3	18.5
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	50.0	33.3	16.7
	食料品・飲料品	42	38.1	45.2	16.7
	衣料品・日用品・消耗品	24	37.5	58.3	4.2
	その他	119	31.1	54.6	14.3
Q6 従事している 業務内容	加工・組み立て	106	31.1	47.2	21.7
	検査	52	28.8	57.7	13.5
	梱包・運搬（構内）	42	40.5	50.0	9.5
	生産（工程）・品質管理	157	38.2	47.8	14.0
	機械操作・点検・保守	33	39.4	48.5	12.1
	その他	47	34.0	46.8	19.1

【設問文】 Q13 現在、在籍する会社における、あなたの能力や仕事上の貢献を評価する仕組みや処遇への反映などについてお伺いします。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

(3)能力や仕事上の貢献を処遇への反映（給与など）はありますか

- 能力や仕事上の貢献を処遇への反映（給与など）の有無では、「ある」が最も高く、41.9%。「ない」40.0%、「分からない」18.1%が続く。

図表 III-6-1③. 評価の仕組みの有無と説明状況、処遇への反映、面談の有無  
(3)能力や仕事上の貢献を処遇への反映（給与など）の有無（Q13）

		n=	(% )		
			■ ある	■ ない	□ 分からない
TOTAL		437	41.9	40.0	18.1
			(% )		
		n=	ある	ない	分からない
Q3 現在の 雇用形態	TOTAL	437	41.9	40.0	18.1
	正社員（無期雇用社員）	299	46.8	33.1	20.1
	契約社員/嘱託社員	54	38.9	46.3	14.8
	パート・アルバイト	49	26.5	63.3	10.2
	派遣社員	34	26.5	58.8	14.7
その他	1	0.0	0.0	100.0	
Q4 現在の会社での 勤続年数	3年未満	88	38.6	38.6	22.7
	3年～5年未満	45	44.4	46.7	8.9
	5年以上	304	42.4	39.5	18.1
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	37.7	45.3	17.0
	電気・情報通信機械器具・部品	66	48.5	34.8	16.7
	輸送用機械器具・部品	44	47.7	36.4	15.9
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	43.1	30.8	26.2
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	62.5	25.0	12.5
	食料品・飲料品	42	40.5	38.1	21.4
	衣料品・日用品・消耗品	24	33.3	58.3	8.3
	その他	119	35.3	47.1	17.6
Q6 従事している 業務内容	加工・組み立て	106	36.8	39.6	23.6
	検査	52	36.5	46.2	17.3
	梱包・運搬（構内）	42	42.9	38.1	19.0
	生産（工程）・品質管理	157	43.3	39.5	17.2
	機械操作・点検・保守	33	45.5	45.5	9.1
	その他	47	51.1	34.0	14.9

【設問文】 Q13 現在、在籍する会社における、あなたの能力や仕事上の貢献を評価する仕組みや処遇への反映などについてお伺いします。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

(4)能力や仕事上の貢献の評価結果に基づいて、能力やその貢献の向上のための助言や指導などを行う面談はありますか

- 能力や仕事上の貢献の評価結果に基づいて、能力やその貢献の向上のための助言や指導などを行う面談の有無では、「ない」が最も高く、49.9%。「ある」37.5%、「分からない」12.6%が続く。

図表 III-6-1④. 評価の仕組みの有無と説明状況、処遇への反映、面談の有無

(4)能力や仕事上の貢献の評価結果に基づいて、

能力やその貢献の向上のための助言や指導などを行う面談の有無 (Q13)

		n=	ある	ない	分からない
			(%)		
TOTAL		437	37.5	49.9	12.6
			(%)		
		n=	ある	ない	分からない
	TOTAL	437	37.5	49.9	12.6
Q3 現在の 雇用形態	正社員（無期雇用社員）	299	42.8	43.5	13.7
	契約社員/嘱託社員	54	35.2	55.6	9.3
	パート・アルバイト	49	22.4	67.3	10.2
	派遣社員	34	17.6	70.6	11.8
	その他	1	0.0	100.0	0.0
Q4 現在の会社での 勤続年数	3年未満	88	38.6	46.6	14.8
	3年～5年未満	45	35.6	55.6	8.9
	5年以上	304	37.5	50.0	12.5
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	32.1	56.6	11.3
	電気・情報通信機械器具・部品	66	39.4	48.5	12.1
	輸送用機械器具・部品	44	36.4	45.5	18.2
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	36.9	47.7	15.4
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	58.3	33.3	8.3
	食料品・飲料品	42	45.2	40.5	14.3
	衣料品・日用品・消耗品	24	45.8	50.0	4.2
	その他	119	31.1	57.1	11.8
Q6 従事している 業務内容	加工・組み立て	106	32.1	52.8	15.1
	検査	52	36.5	53.8	9.6
	梱包・運搬（構内）	42	47.6	40.5	11.9
	生産（工程）・品質管理	157	38.2	49.7	12.1
	機械操作・点検・保守	33	36.4	54.5	9.1
	その他	47	40.4	44.7	14.9

## (2) 今年度の賃上げの状況

【設問文】 Q14 あなたは、今年度の賃金はおよそどれくらい上がりましたか。

- 今年度の賃上げの状況では、「1～2%程度」が最も高く、30.7%。「上がらなかった（0%）」28.4%、「3～4%程度」15.3%が続く。
- 「1～2%程度」「3～4%程度」「5%程度以上」を合わせた「上がった」の割合は、57.0%。

図表 III-6-2. 今年度の賃上げの状況（Q14）

		n=	(%)					上がった	
			上がらなかった（0%）	1～2%程度	3～4%程度	5%程度以上	下がった	分からない	上がった
TOTAL		437	28.4	30.7	15.3	11.0	4.8	9.8	57.0
		n=	上がらなかった（0%）	1～2%程度	3～4%程度	5%程度以上	下がった	分からない	上がった
Q3 現在の 雇用形態	TOTAL	437	28.4	30.7	15.3	11.0	4.8	9.8	57.0
	正社員（無期雇用社員）	299	21.7	33.4	17.7	13.4	4.7	9.0	64.5
	契約社員/嘱託社員	54	42.6	24.1	13.0	5.6	5.6	9.3	42.6
	パート・アルバイト	49	40.8	20.4	10.2	6.1	8.2	14.3	36.7
	派遣社員	34	47.1	32.4	5.9	5.9	0.0	8.8	44.1
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q4 現在の会社での 勤続年数	3年未満	88	28.4	25.0	21.6	3.4	3.4	18.2	50.0
	3年～5年未満	45	31.1	35.6	11.1	13.3	2.2	6.7	60.0
	5年以上	304	28.0	31.6	14.1	12.8	5.6	7.9	58.6
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	30.2	34.0	17.0	9.4	1.9	7.5	60.4
	電気・情報通信機械器具・部品	66	28.8	37.9	13.6	4.5	4.5	10.6	56.1
	輸送用機械器具・部品	44	27.3	38.6	11.4	6.8	13.6	2.3	56.8
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	21.5	23.1	21.5	13.8	6.2	13.8	58.5
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	20.8	20.8	29.2	8.3	8.3	12.5	58.3
	食料品・飲料品	42	28.6	31.0	23.8	14.3	0.0	2.4	69.0
	衣料品・日用品・消耗品	24	50.0	25.0	12.5	0.0	4.2	8.3	37.5
	その他	119	28.6	29.4	8.4	16.8	3.4	13.4	54.6
Q6 従事している 業務内容	加工・組み立て	106	27.4	34.0	13.2	8.5	3.8	13.2	55.7
	検査	52	26.9	40.4	15.4	7.7	3.8	5.8	63.5
	梱包・運搬（構内）	42	23.8	33.3	11.9	11.9	7.1	11.9	57.1
	生産（工程）・品質管理	157	29.9	31.8	15.9	10.2	4.5	7.6	58.0
	機械操作・点検・保守	33	24.2	9.1	24.2	27.3	6.1	9.1	60.6
	その他	47	34.0	21.3	14.9	10.6	6.4	12.8	46.8

## 7. 働き方について

### (1) 今後(1～2年)の仕事や働き方に関する希望

【設問文】 Q15 今後1～2年についてのあなたの仕事や働き方に関する希望はどのようなものですか。最もあてはまるものを選んでください。

- 今後(1～2年)の仕事や働き方に関する希望では、「製造業務で作業員として働きたい」が最も高く、32.3%。「特にない」22.2%、「製造に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい」11.0%が続く。
- 「製造業務で作業員として働きたい」「製造業務でリーダーや管理者として働きたい」「製造に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい」を合わせた「製造で働きたい(TOP3)」の割合は、53.1%。

図表 III-7-1. 今後(1～2年)の仕事や働き方に関する希望(Q15)

		n=	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製造業務で作業員として働きたい</li> <li>■ 製造業務でリーダーや管理者として働きたい</li> <li>■ 製造に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい</li> <li>■ 製造関連ではない仕事をしたい</li> <li>■ 現在、在籍する会社の他の現場で働きたい</li> <li>■ 現在、在籍する会社以外で働きたい(転職したい)</li> <li>■ その他</li> <li>■ 特にない</li> </ul> </div> <div style="width: 15%; text-align: right;">                     製造で働きたい (TOP3)                 </div> </div>								(%)
TOTAL		437	32.3	9.8	11.0	8.5	4.3	10.5	1.4	22.2	53.1
		n=									(%)
TOTAL		437	32.3	9.8	11.0	8.5	4.3	10.5	1.4	22.2	53.1
Q3 現在の 雇用形態	正社員(無期雇用社員)	299	28.8	11.7	13.4	9.4	3.7	9.7	1.7	21.7	53.8
	契約社員/嘱託社員	54	31.5	9.3	7.4	1.9	13.0	13.0	1.9	22.2	48.1
	パート・アルバイト	49	40.8	2.0	4.1	10.2	0.0	10.2	0.0	32.7	46.9
	派遣社員	34	50.0	5.9	5.9	8.8	2.9	14.7	0.0	11.8	61.8
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q4 現在の会社での 勤続年数	3年未満	88	35.2	9.1	9.1	10.2	6.8	11.4	0.0	18.2	53.4
	3年～5年未満	45	35.6	6.7	15.6	11.1	2.2	15.6	2.2	11.1	57.8
	5年以上	304	30.9	10.5	10.9	7.6	3.9	9.5	1.6	25.0	52.3
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	32.1	11.3	13.2	7.5	5.7	11.3	5.7	13.2	56.6
	電気・情報通信機器器具・部品	66	31.8	13.6	24.2	4.5	3.0	7.6	0.0	15.2	69.7
	輸送用機器器具・部品	44	29.5	9.1	11.4	2.3	11.4	4.5	2.3	29.5	50.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	38.5	12.3	7.7	13.8	3.1	7.7	0.0	16.9	58.5
	化学品(医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など)	24	25.0	4.2	20.8	12.5	0.0	20.8	0.0	16.7	50.0
	食品・飲料品	42	38.1	14.3	4.8	7.1	4.8	19.0	0.0	11.9	57.1
	衣料品・日用品・消耗品	24	37.5	4.2	12.5	12.5	0.0	12.5	4.2	16.7	54.2
	その他	119	28.6	6.7	4.2	9.2	4.2	10.1	0.8	36.1	39.5
Q6 従事している 業務内容	加工・組み立て	106	47.2	9.4	6.6	6.6	3.8	13.2	0.0	13.2	63.2
	検査	52	40.4	7.7	15.4	7.7	5.8	3.8	0.0	19.2	63.5
	梱包・運搬(構内)	42	28.6	7.1	9.5	9.5	2.4	14.3	0.0	28.6	45.2
	生産(工程)・品質管理	157	27.4	14.0	12.7	8.9	4.5	9.6	1.3	21.7	54.1
	機械操作・点検・保守	33	36.4	3.0	12.1	6.1	3.0	9.1	3.0	27.3	51.5
	その他	47	6.4	6.4	10.6	12.8	6.4	12.8	6.4	38.3	23.4

## 8. GJ 認定制度

### (1) GJ 認定制度の認知状況

【設問文】 Q16 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）の認知状況についてお伺いします。

- GJ 認定制度の認知状況では、「名前も内容も知らない」が最も高く、68.0%。「名前は知っているが、内容は知らない」25.6%、「名前も内容も知っている」6.4%が続く。
- 「名前も内容も知っている」「名前は知っているが、内容は知らない」を合わせた「名前を知っている（TOP2）」の割合は、32.0%。「名前は知っているが、内容は知らない」「名前も内容も知らない」を合わせた「内容を知らない（BOTTOM2）」の割合は、93.6%。

図表 III-8-1. GJ 認定制度の認知状況（Q16）

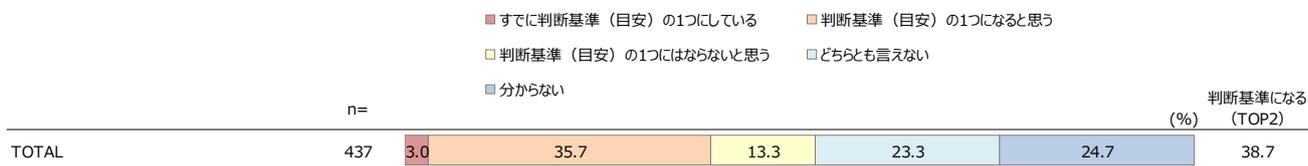
		n=	名前も内容も知っている			名前を知っている (TOP2)		内容を知らない (BOTTOM2)	
		n=	名前も内容も知っている	名前を知っているが、内容は知らない	名前も内容も知らない	(%)	(%)	(%)	(%)
TOTAL		437	6.4	25.6	68.0	32.0	93.6		
Q3 現在の 雇用形態	TOTAL	437	6.4	25.6	68.0	32.0	93.6		
	正社員（無期雇用社員）	299	8.0	26.4	65.6	34.4	92.0		
	契約社員/嘱託社員	54	3.7	33.3	63.0	37.0	96.3		
	パート・アルバイト	49	2.0	14.3	83.7	16.3	98.0		
	派遣社員	34	2.9	20.6	76.5	23.5	97.1		
その他	1	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0		
Q4 現在の会社での 勤続年数	3年未満	88	9.1	22.7	68.2	31.8	90.9		
	3年～5年未満	45	11.1	17.8	71.1	28.9	88.9		
	5年以上	304	4.9	27.6	67.4	32.6	95.1		
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	9.4	34.0	56.6	43.4	90.6		
	電気・情報通信機械器具・部品	66	16.7	22.7	60.6	39.4	83.3		
	輸送用機械器具・部品	44	0.0	31.8	68.2	31.8	100.0		
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	3.1	33.8	63.1	36.9	96.9		
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	8.3	29.2	62.5	37.5	91.7		
	食料品・飲料品	42	7.1	28.6	64.3	35.7	92.9		
	衣料品・日用品・消耗品	24	4.2	12.5	83.3	16.7	95.8		
	その他	119	3.4	17.6	79.0	21.0	96.6		
Q6 従事している 業務内容	加工・組み立て	106	6.6	26.4	67.0	33.0	93.4		
	検査	52	5.8	26.9	67.3	32.7	94.2		
	梱包・運搬（構内）	42	14.3	28.6	57.1	42.9	85.7		
	生産（工程）・品質管理	157	5.1	24.8	70.1	29.9	94.9		
	機械操作・点検・保守	33	9.1	21.2	69.7	30.3	90.9		
	その他	47	2.1	25.5	72.3	27.7	97.9		

## (2) 就業先選定基準としての GJ 認定制度

【設問文】 Q17 事業者が製造請負優良適正事業者認定制度（GJ 認定制度）を取得しているかどうかは、あなたが就業先（就職先）を選ぶときの判断基準（目安）の1つになると思いますか。

- 就業先選定基準としての GJ 認定制度では、「判断基準（目安）の1つになると思う」が最も高く、35.7%。「分からない」24.7%、「どちらとも言えない」23.3%が続く。
- 「すでに判断基準（目安）の1つにしている」「判断基準（目安）の1つになると思う」を合わせた「判断基準になる（TOP2）」の割合は、38.7%。

図表 III-8-2. 就業先選定基準としての GJ 認定制度（Q17）



Q3 現在の雇用形態	n=	判断基準になる (TOP2) (%)						
		すでに判断基準（目安）の1つにしている	判断基準（目安）の1つになると思う	判断基準（目安）の1つにはならないと思う	どちらとも言えない	分からない	判断基準になる (TOP2)	
TOTAL	437	3.0	35.7	13.3	23.3	24.7	38.7	
Q3 現在の雇用形態	正社員（無期雇用社員）	299	3.0	40.1	14.0	20.1	22.7	43.1
	契約社員/嘱託社員	54	3.7	25.9	3.7	40.7	25.9	29.6
	パート・アルバイト	49	2.0	20.4	22.4	28.6	26.5	22.4
	派遣社員	34	2.9	32.4	8.8	17.6	38.2	35.3
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
Q4 現在の会社での勤続年数	3年未満	88	5.7	40.9	11.4	20.5	21.6	46.6
	3年～5年未満	45	0.0	42.2	11.1	22.2	24.4	42.2
	5年以上	304	2.6	33.2	14.1	24.3	25.7	35.9
Q5 生産品目	電子部品・デバイス	53	3.8	39.6	13.2	24.5	18.9	43.4
	電気・情報通信機械器具・部品	66	7.6	40.9	7.6	10.6	33.3	48.5
	輸送用機械器具・部品	44	4.5	45.5	15.9	18.2	15.9	50.0
	鋼材・金属/建築・住宅資材	65	0.0	41.5	15.4	23.1	20.0	41.5
	化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）	24	4.2	45.8	8.3	33.3	8.3	50.0
	食料品・飲料品	42	2.4	38.1	14.3	19.0	26.2	40.5
	衣料品・日用品・消耗品	24	0.0	16.7	4.2	50.0	29.2	16.7
	その他	119	1.7	25.2	16.8	26.1	30.3	26.9
Q6 従事している業務内容	加工・組み立て	106	2.8	35.8	12.3	23.6	25.5	38.7
	検査	52	1.9	40.4	19.2	21.2	17.3	42.3
	梱包・運搬（構内）	42	11.9	33.3	11.9	21.4	21.4	45.2
	生産（工程）・品質管理	157	1.9	39.5	12.7	21.0	24.8	41.4
	機械操作・点検・保守	33	3.0	24.2	15.2	39.4	18.2	27.3
	その他	47	0.0	27.7	10.6	23.4	38.3	27.7

## IV. テーマ別調査結果

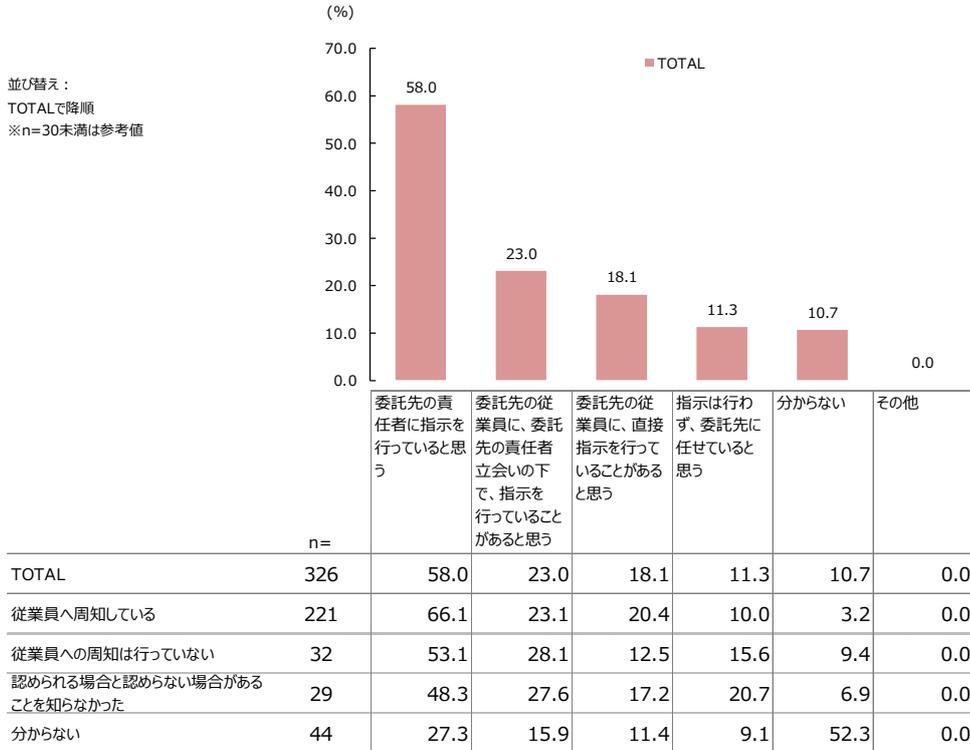
# 1. コンプライアンス

## (1) 発注者(委託元)

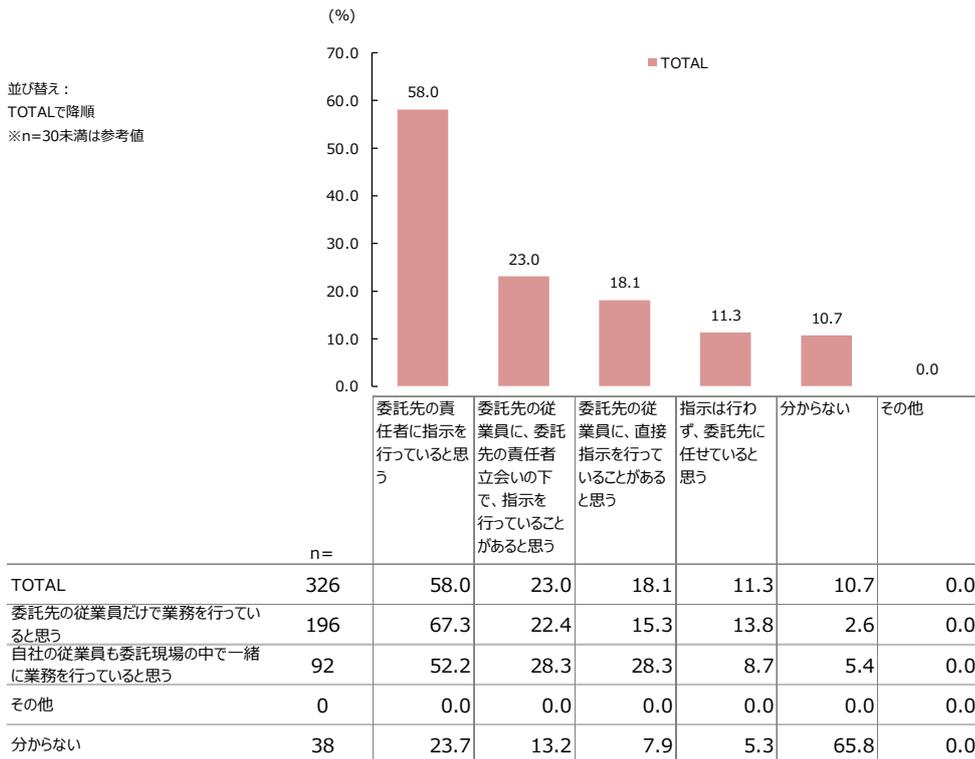
### 【1】委託業務への指示について(Q9)[図表①～⑤]

図表 IV-1-1①. 委託業務への指示（複数回答）

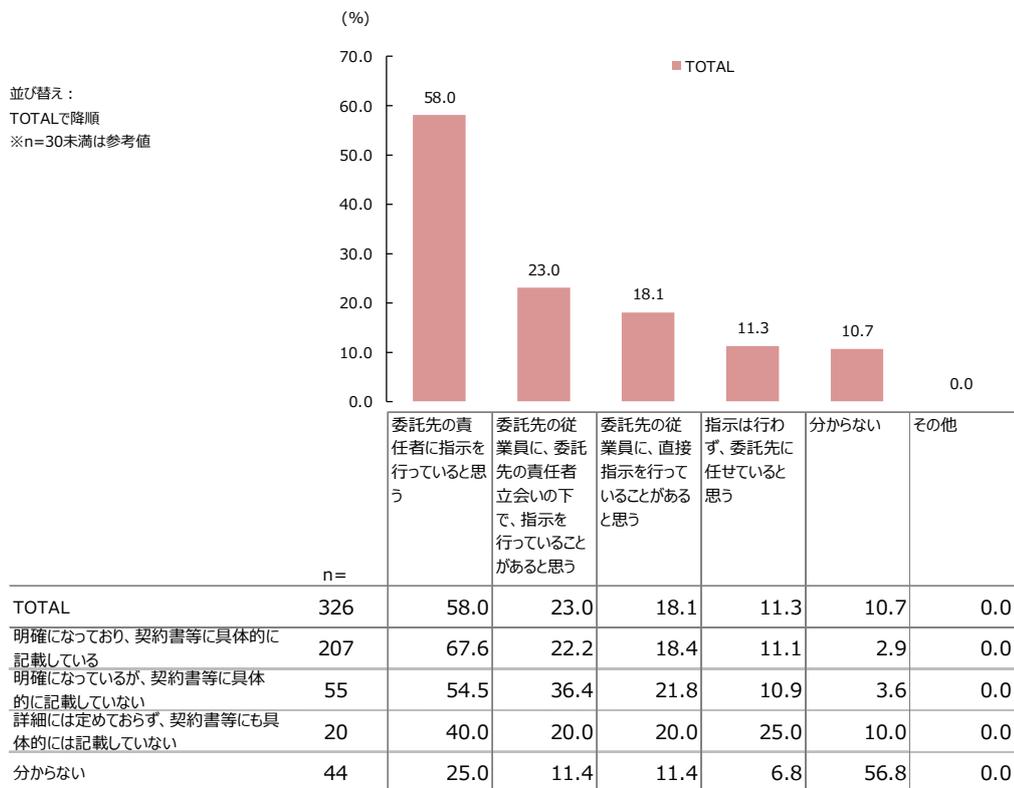
【委託先の従業員に直接指示する場合の可否についての従業員への周知別】



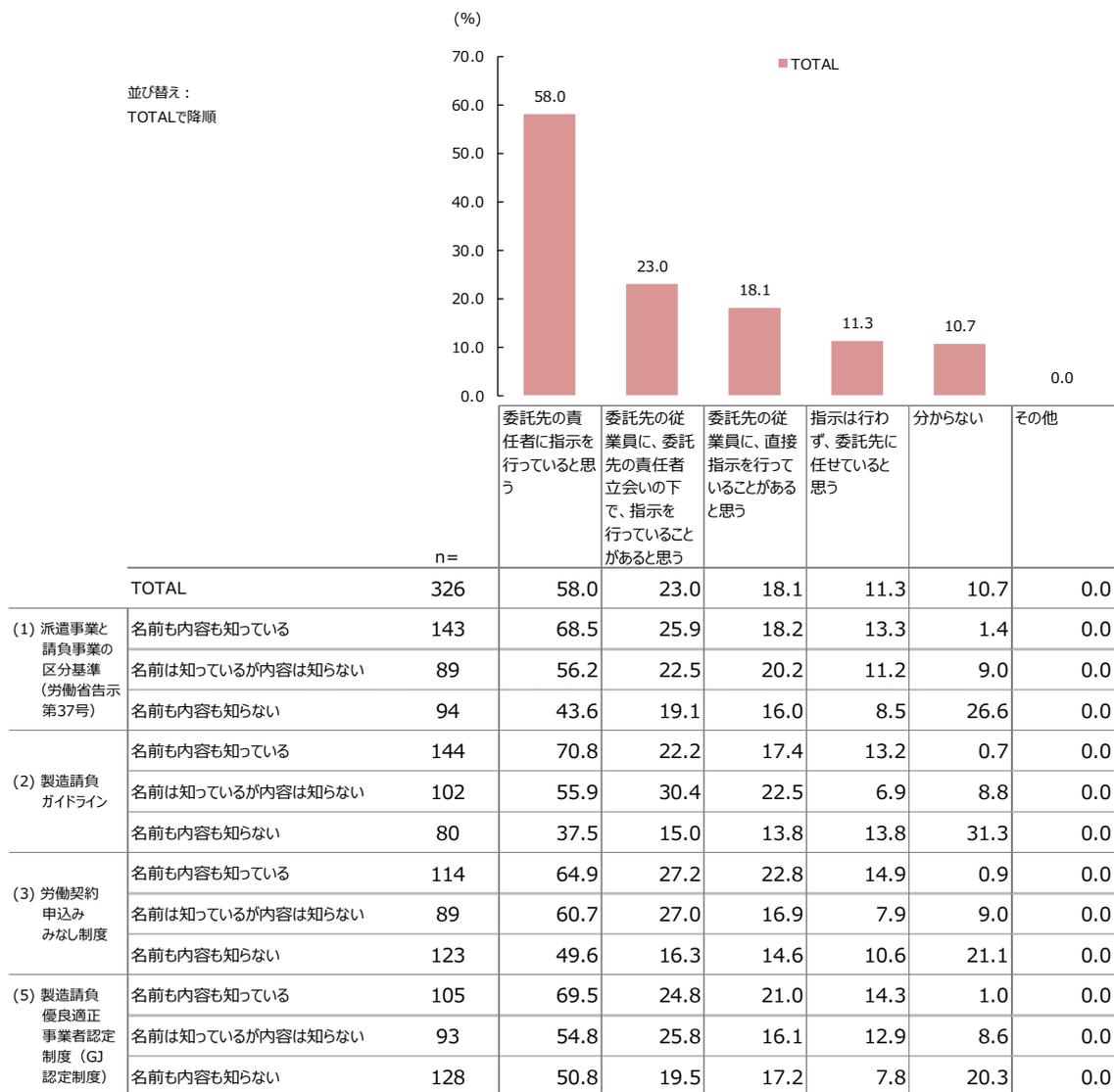
図表 IV-1-1②. 委託業務への指示（複数回答） 【委託業務の現場の状況別】



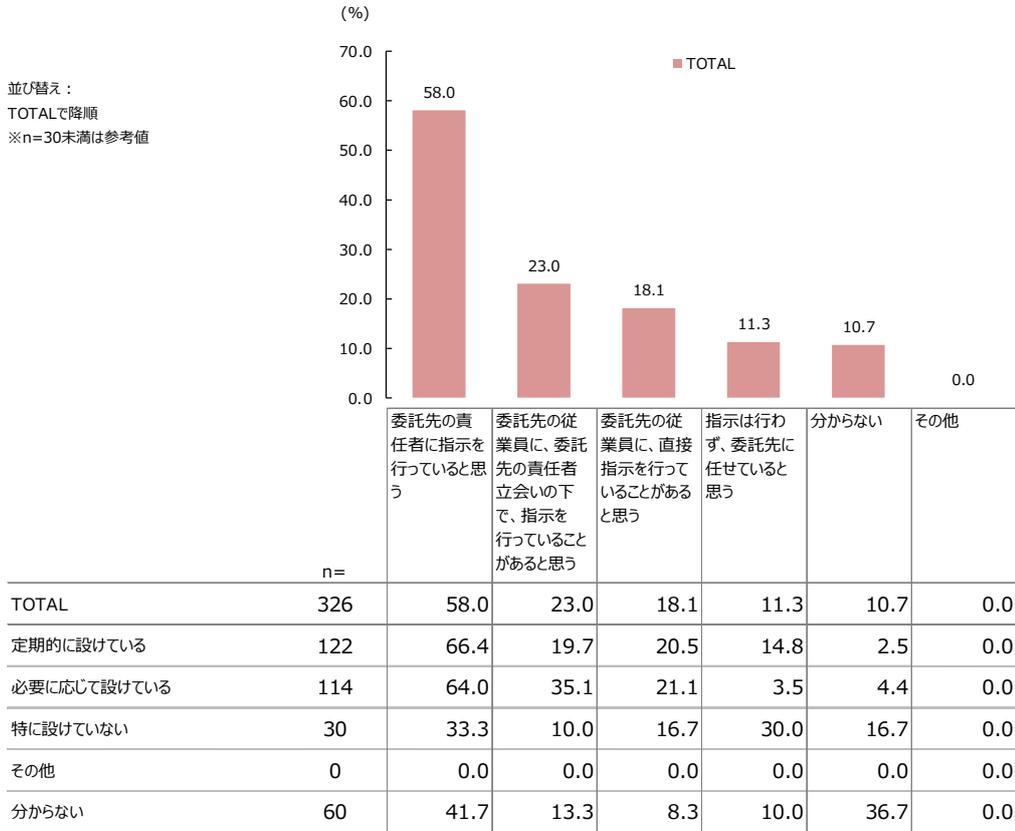
図表 IV-1-1③. 委託業務への指示（複数回答）【委託業務の内容・範囲の明確化の状況別】



図表 IV-1-1④. 委託業務への指示（複数回答） 【適正な請負を行うための知識の認知状況：項目別】



図表 IV-1-1⑤. 委託業務への指示（複数回答） 【委託先とのコミュニケーション（意思疎通）の機会別】



【2】委託業務の現場の状況について(Q11)[図表⑥～⑦]

図表 IV-1-1⑥. 委託業務の現場の状況【委託業務の内容・範囲の明確化の状況別】

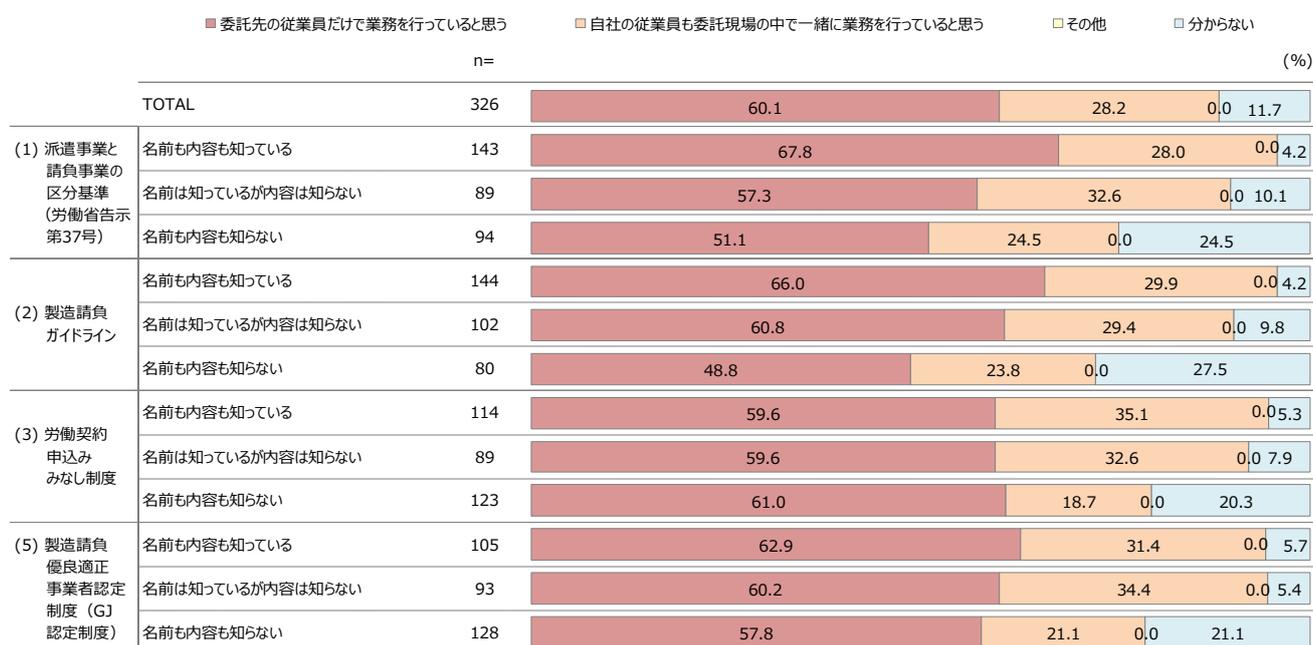
■ 委託先の従業員だけで業務を行っていると思う    ■ 自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う    □ その他    □ 分からない

	n=	(%)			
TOTAL	326	60.1	28.2	0.0	11.7
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	207	69.1	28.0	0.0	2.9
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	55	60.0	40.0	0.0	0.0
詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	20	50.0	35.0	0.0	15.0
分からない	44	22.7	11.4	0.0	65.9

※n=30未満は参考値

		(%)			
	n=	委託先の従業員だけで業務を行っていると思う	自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う	その他	分からない
TOTAL	326	60.1	28.2	0.0	11.7
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	207	69.1	28.0	0.0	2.9
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	55	60.0	40.0	0.0	0.0
詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	20	50.0	35.0	0.0	15.0
分からない	44	22.7	11.4	0.0	65.9

図表 IV-1-1⑦. 委託業務の現場の状況【適正な請負を行うための知識の認知状況：項目別】

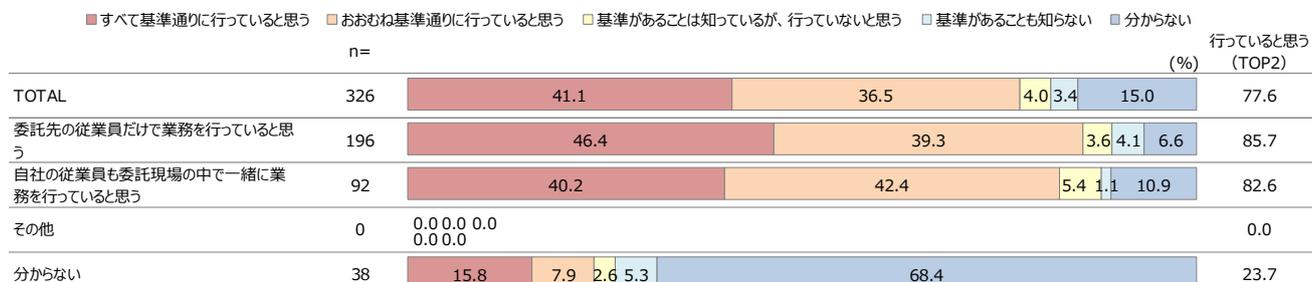


(%)

項目	認知状況	n=	委託先の従業員だけで業務を行っていると思う	自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う	その他	分からない
TOTAL		326	60.1	28.2	0.0	11.7
(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (労働省告示第37号)	名前も内容も知っている	143	67.8	28.0	0.0	4.2
	名前は知っているが内容は知らない	89	57.3	32.6	0.0	10.1
	名前も内容も知らない	94	51.1	24.5	0.0	24.5
(2) 製造請負ガイドライン	名前も内容も知っている	144	66.0	29.9	0.0	4.2
	名前は知っているが内容は知らない	102	60.8	29.4	0.0	9.8
	名前も内容も知らない	80	48.8	23.8	0.0	27.5
(3) 労働契約申込みみなし制度	名前も内容も知っている	114	59.6	35.1	0.0	5.3
	名前は知っているが内容は知らない	89	59.6	32.6	0.0	7.9
	名前も内容も知らない	123	61.0	18.7	0.0	20.3
(5) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ認定制度)	名前も内容も知っている	105	62.9	31.4	0.0	5.7
	名前は知っているが内容は知らない	93	60.2	34.4	0.0	5.4
	名前も内容も知らない	128	57.8	21.1	0.0	21.1

【3】委託業務での機械・設備等の適正な使用状況について(Q15)[図表⑧～⑨]

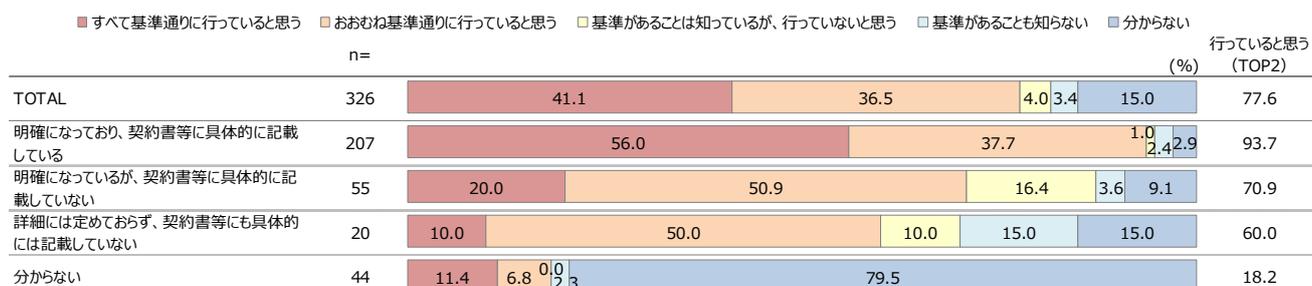
図表 IV-1-1⑧. 委託業務での機械・設備等の適正な使用状況  
【委託業務の現場の状況別】



※n=30未満は参考値

		(%)					
n=		すべて基準通りに行っていると思う	おおむね基準通りに行っていると思う	基準があることは知っているが、行っていないと思う	基準があることも知らない	分からない	行っていると思う (TOP2)
TOTAL	326	41.1	36.5	4.0	3.4	15.0	77.6
委託先の従業員だけで業務を行っていると思う	196	46.4	39.3	3.6	4.1	6.6	85.7
自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う	92	40.2	42.4	5.4	1.1	10.9	82.6
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
分からない	38	15.8	7.9	2.6	5.3	68.4	23.7

図表 IV-1-1⑨. 委託業務での機械・設備等の適正な使用状況  
【委託業務の内容・範囲の明確化の状況別】



※n=30未満は参考値

		(%)					
n=		すべて基準通りに行っていると思う	おおむね基準通りに行っていると思う	基準があることは知っているが、行っていないと思う	基準があることも知らない	分からない	行っていると思う (TOP2)
TOTAL	326	41.1	36.5	4.0	3.4	15.0	77.6
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	207	56.0	37.7	1.0	2.4	2.9	93.7
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	55	20.0	50.9	16.4	3.6	9.1	70.9
詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	20	10.0	50.0	10.0	15.0	15.0	60.0
分からない	44	11.4	6.8	0.0	2.3	79.5	18.2

【4】偽装請負への不安について(Q16)[図表⑩～⑬]

図表 IV-1-1⑩. 偽装請負への不安【委託先の従業員に直接指示する場合の可否についての従業員への周知別】



※n=30未満は参考値

		(% )					
	n=	あり	多少あり	ない	意識したことがない	分からない	ある (TOP2)
TOTAL	326	7.1	25.5	41.4	14.7	11.3	32.5
従業員へ周知している	221	9.5	29.0	45.2	11.8	4.5	38.5
従業員への周知は行ってない	32	3.1	25.0	46.9	18.8	6.3	28.1
認められる場合と認められない場合があることを知らなかった	29	3.4	24.1	37.9	24.1	10.3	27.6
分からない	44	0.0	9.1	20.5	20.5	50.0	9.1

図表 IV-1-1⑪. 偽装請負への不安【委託業務の現場の状況別】



※n=30未満は参考値

		(% )					
	n=	あり	多少あり	ない	意識したことがない	分からない	ある (TOP2)
TOTAL	326	7.1	25.5	41.4	14.7	11.3	32.5
委託先の従業員だけで業務を行っていると思う	196	8.2	25.0	49.5	12.8	4.6	33.2
自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う	92	7.6	33.7	34.8	17.4	6.5	41.3
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
分からない	38	0.0	7.9	15.8	18.4	57.9	7.9

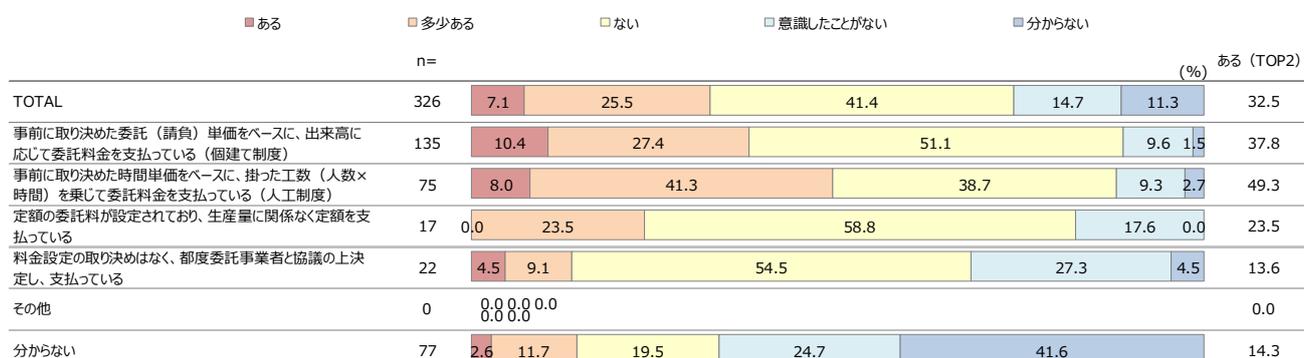
図表 IV-1-1⑫. 偽装請負への不安【委託業務の内容・範囲の明確化の状況別】



※n=30未満は参考値

	n	ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある (TOP2)
TOTAL	326	7.1	25.5	41.4	14.7	11.3	32.5
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	207	9.7	29.0	49.8	8.2	3.4	38.6
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	55	5.5	30.9	34.5	21.8	7.3	36.4
詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	20	0.0	5.0	50.0	40.0	5.0	5.0
分からない	44	0.0	11.4	6.8	25.0	56.8	11.4

図表 IV-1-1⑬. 偽装請負への不安【委託料金の設定・支払い方法別】



※n=30未満は参考値

	n	ある	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある (TOP2)
TOTAL	326	7.1	25.5	41.4	14.7	11.3	32.5
事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）	135	10.4	27.4	51.1	9.6	1.5	37.8
事前に取り決めた時間単価をベースに、掛った工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）	75	8.0	41.3	38.7	9.3	2.7	49.3
定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている	17	0.0	23.5	58.8	17.6	0.0	23.5
料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている	22	4.5	9.1	54.5	27.3	4.5	13.6
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
分からない	77	2.6	11.7	19.5	24.7	41.6	14.3

【5】委託料金の設定・支払い方法について(Q22)[図表⑭～⑮]

図表 IV-1-1 ⑭. 委託料金の設定・支払い方法 【委託業務の内容・範囲の明確化の状況別】

- 事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）
- 事前に取り決めた時間単価をベースに、掛った工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）
- 定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている
- 料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている
- その他
- 分からない

	n=	(%)						
TOTAL	326	41.4	23.0	5.2	6.7	0.0	23.6	
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	207	53.6	29.0	3.4	3.9	0.0	10.1	
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	55	27.3	23.6	12.7	12.7	0.0	23.6	
詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	20	35.0	5.0	15.0	30.0	0.0	15.0	
分からない	44	4.5	2.3	2.3	0.0	0.0	90.9	

※n=30未満は参考値

	n=	(%)					
		事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）	事前に取り決めた時間単価をベースに、掛った工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）	定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている	料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている	その他	分からない
TOTAL	326	41.4	23.0	5.2	6.7	0.0	23.6
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	207	53.6	29.0	3.4	3.9	0.0	10.1
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	55	27.3	23.6	12.7	12.7	0.0	23.6
詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	20	35.0	5.0	15.0	30.0	0.0	15.0
分からない	44	4.5	2.3	0.0	2.3	0.0	90.9

図表 IV-1-1 ⑮. 委託料金の設定・支払い方法 【適正な請負を行うための知識の認知状況別】

(4) パートナーシップ構築宣言

- 事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）
- 事前に取り決めた時間単価をベースに、掛った工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）
- 定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている
- 料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている
- その他
- 分からない

	n=	(%)						
TOTAL	326	41.4	23.0	5.2	6.7	0.0	23.6	
名前も内容も知っている	106	60.4	32.1	3.8	2.8	0.0	0.9	
名前は知っているが内容は知らない	107	38.3	23.4	8.4	10.3	0.0	19.6	
名前も内容も知らない	113	26.5	14.2	3.5	7.1	0.0	48.7	

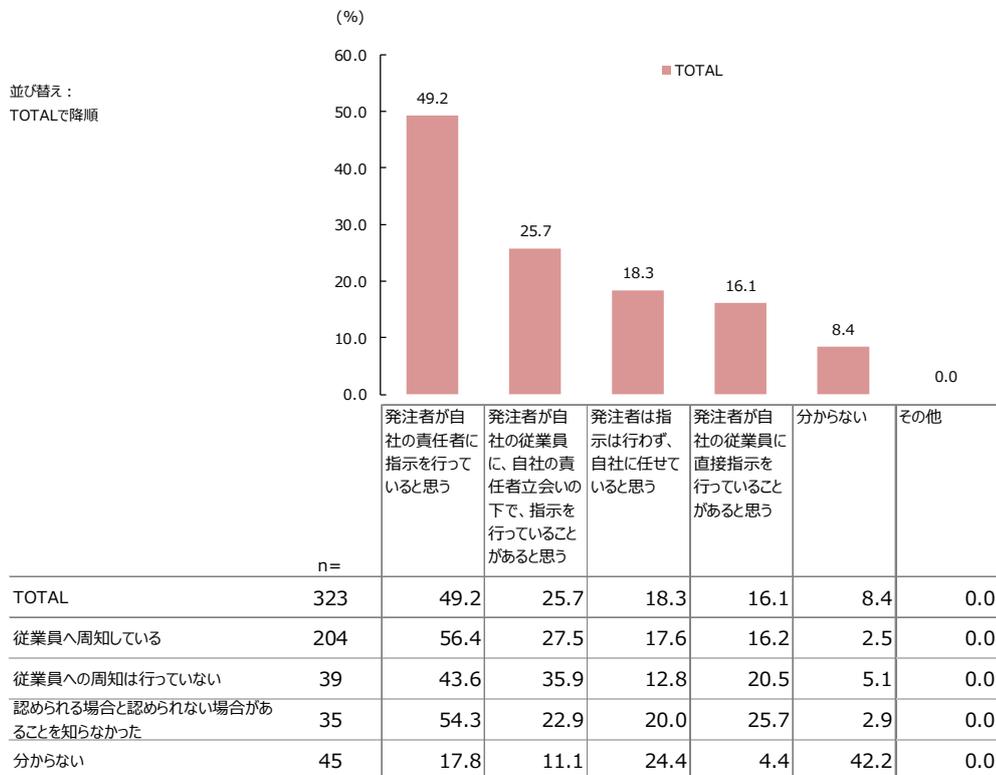
	n=	(%)					
		事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）	事前に取り決めた時間単価をベースに、掛った工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）	定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている	料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている	その他	分からない
TOTAL	326	41.4	23.0	5.2	6.7	0.0	23.6
名前も内容も知っている	106	60.4	32.1	3.8	2.8	0.0	0.9
名前は知っているが内容は知らない	107	38.3	23.4	8.4	10.3	0.0	19.6
名前も内容も知らない	113	26.5	14.2	3.5	7.1	0.0	48.7

## (2) 受託者(請負事業者)

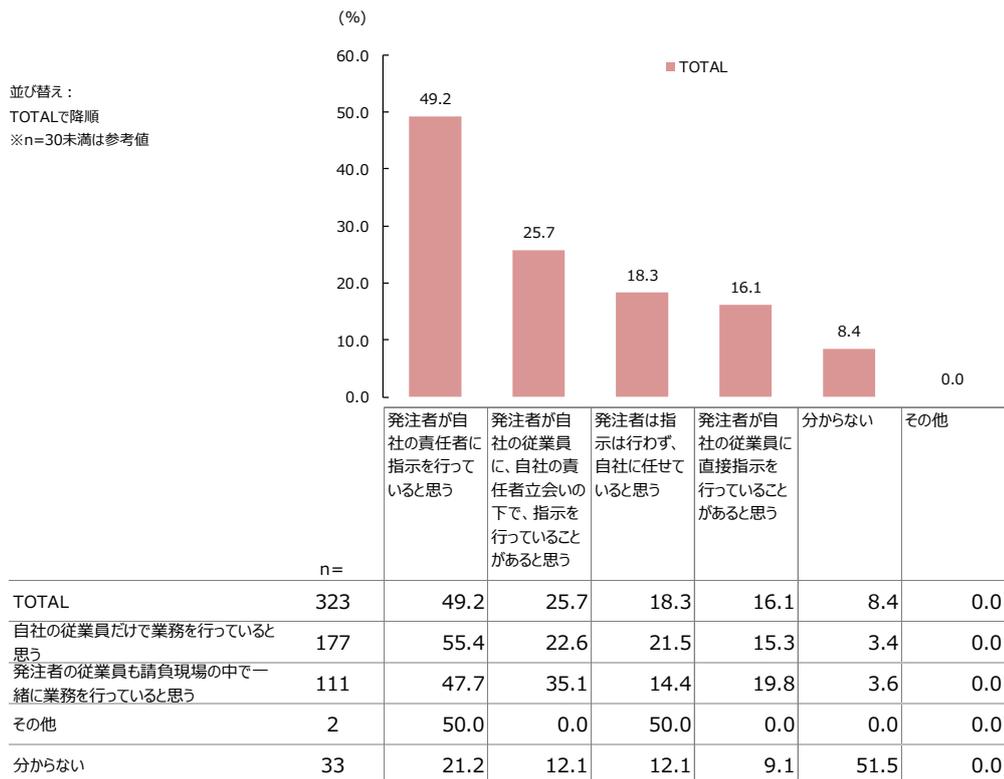
### 【1】発注者の請負業務への指示について(Q9)[図表①～⑤]

図表 IV-1-2①. 発注者の請負業務への指示 (複数回答)

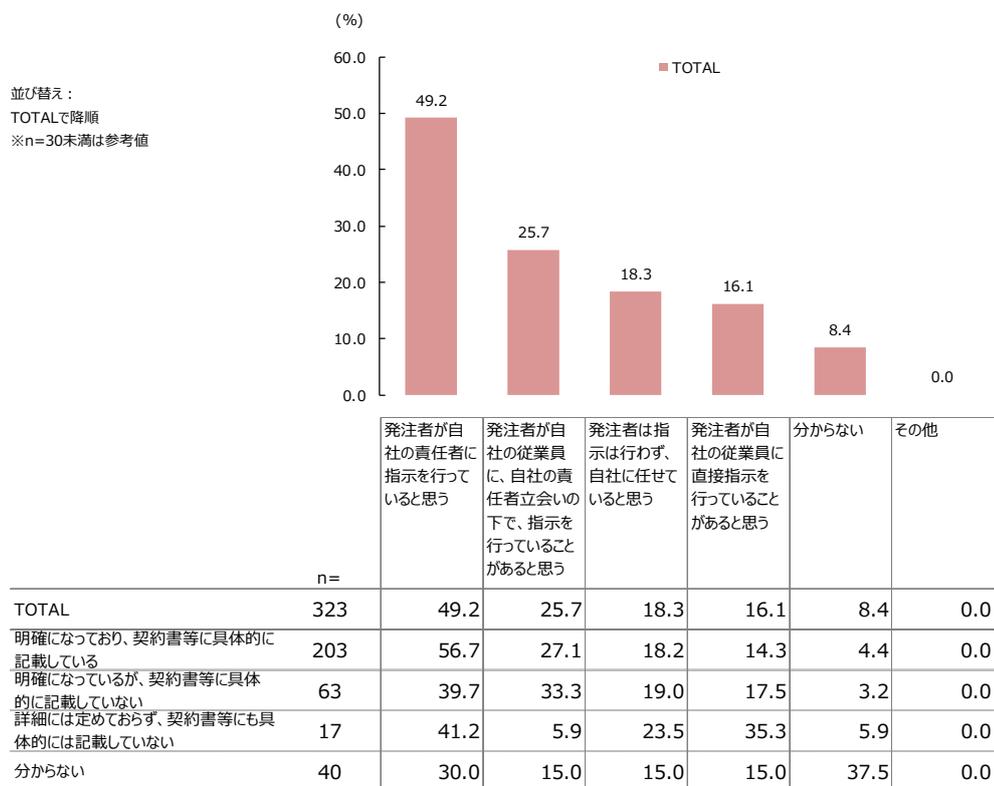
【発注者が直接指示する場合の可否についての従業員 (請負労働者) への周知別】



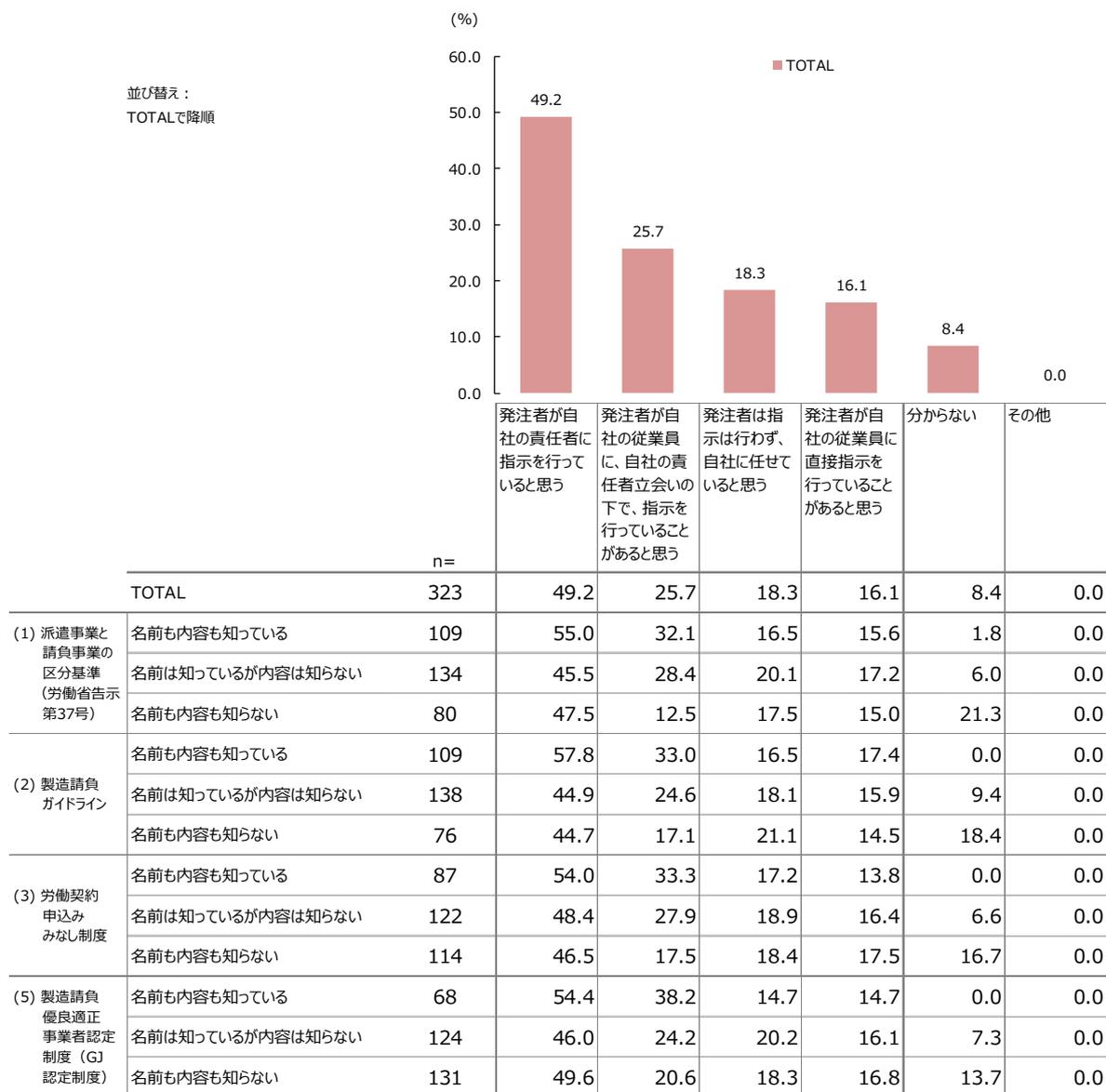
図表 IV-1-2②. 発注者の請負業務への指示 (複数回答) 【請負業務の現場の状況別】



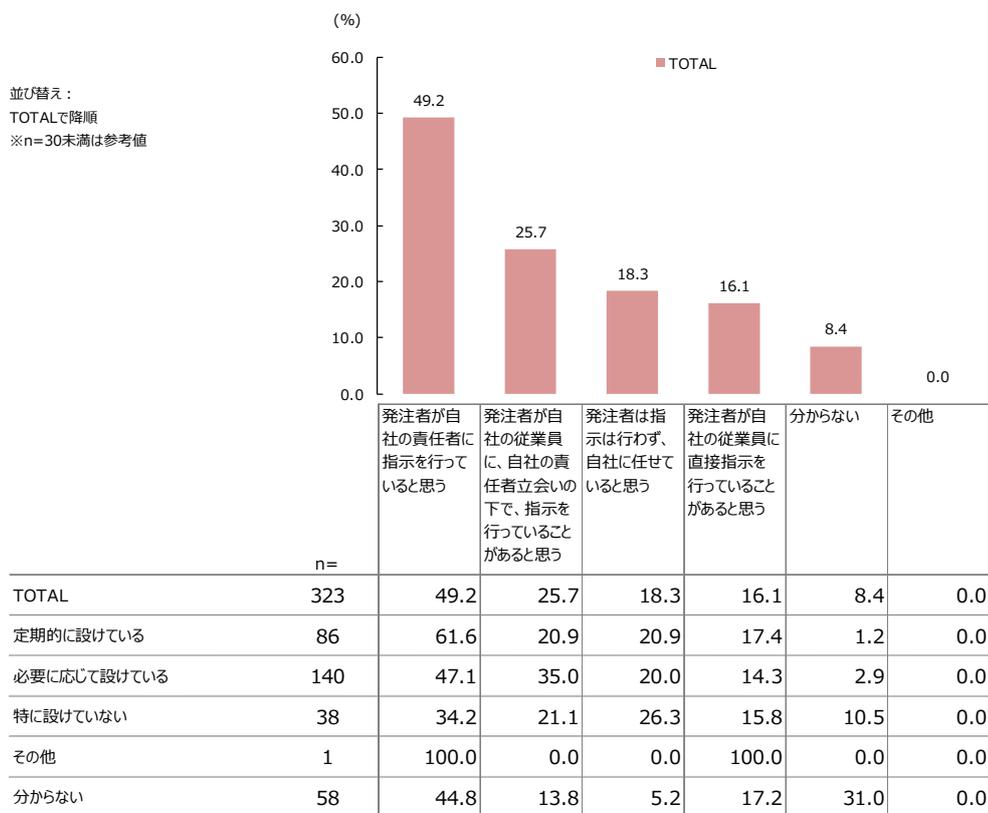
図表 IV-1-2③. 発注者の請負業務への指示（複数回答）【請負業務の内容・範囲の明確化の状況別】



図表 IV-1-2④. 発注者の請負業務への指示（複数回答） 【適正な請負を行うための知識の認知状況：項目別】

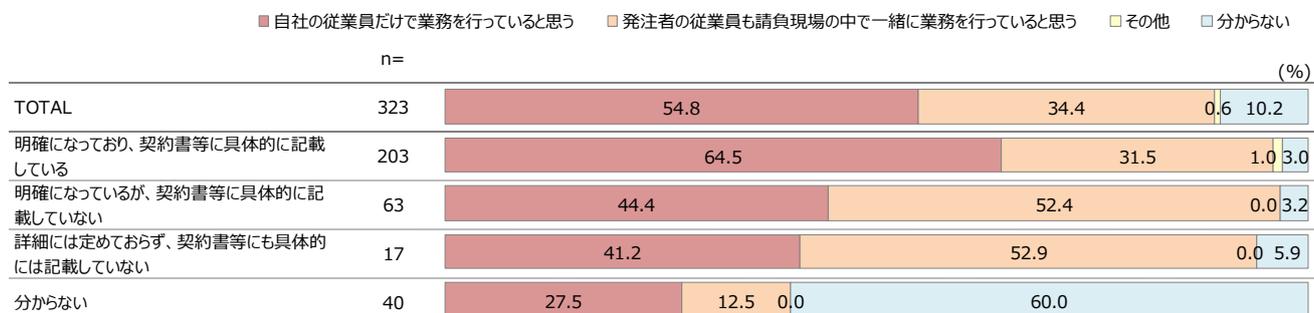


図表 IV-1-2⑤. 発注者の請負業務への指示（複数回答）【発注者とのコミュニケーション（意思疎通）の機会別】



【2】請負業務の現場の状況について(Q11)[図表⑥～⑦]

図表 IV-1-2⑥. 請負業務の現場の状況【請負業務の内容・範囲の明確化の状況別】

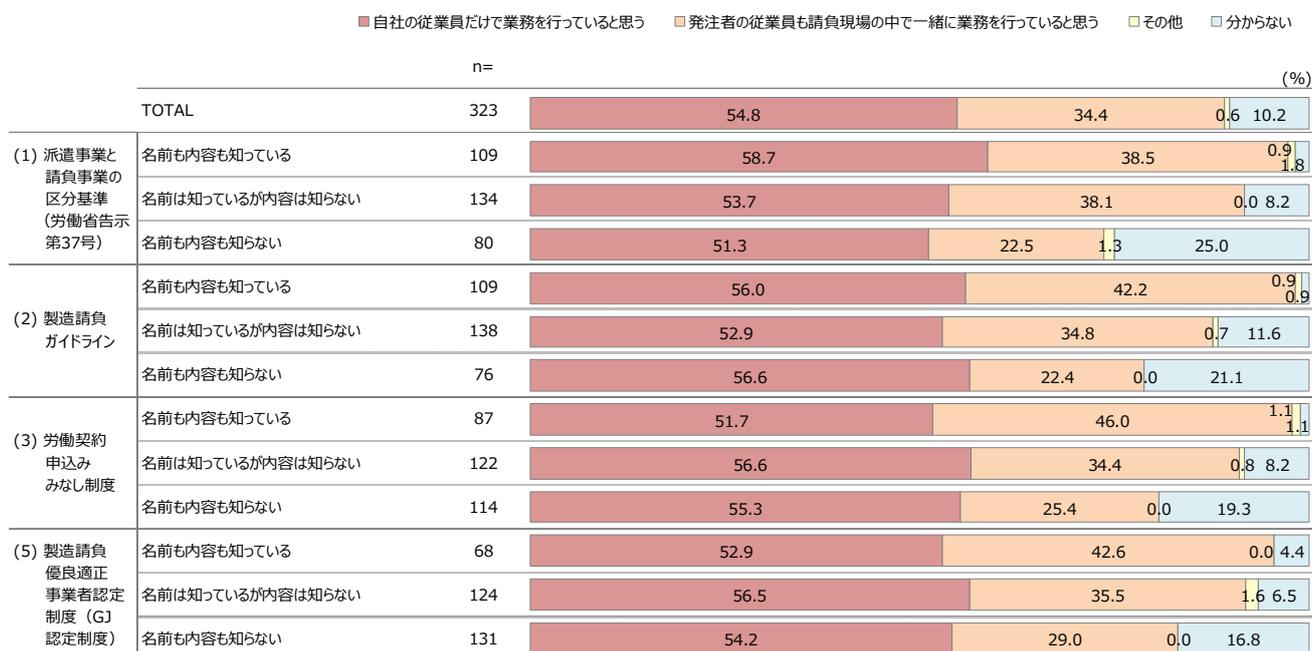


※n=30未満は参考値

(%)

	n	自社の従業員だけで業務を行っていると思う (%)	発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う (%)	その他 (%)	分からない (%)
TAL	323	54.8	34.4	0.6	10.2
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	203	64.5	31.5	1.0	3.0
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	63	44.4	52.4	0.0	3.2
詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	17	41.2	52.9	0.0	5.9
分からない	40	27.5	12.5	0.0	60.0

図表 IV-1-2⑦. 請負業務の現場の状況【適正な請負を行うための知識の認知状況：項目別】

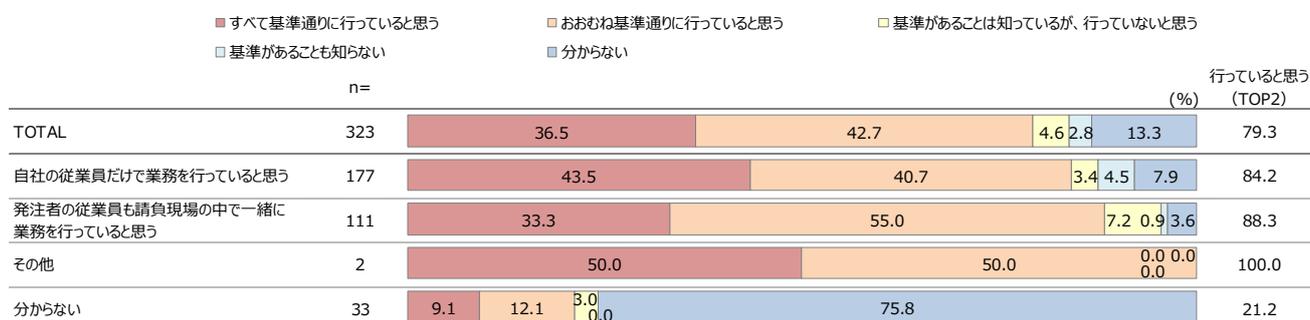


(%)

		n=	自社の従業員 だけで業務を 行っていると思う	発注者の従業員も請負現場の 中で一緒に業 務を行っている と思う	その他	分からない
TOTAL		323	54.8	34.4	0.6	10.2
(1) 派遣事業と請負事業の区分基準 (労働省告示第37号)	名前も内容も知っている	109	58.7	38.5	0.9	1.8
	名前は知っているが内容は知らない	134	53.7	38.1	0.0	8.2
	名前も内容も知らない	80	51.3	22.5	1.3	25.0
(2) 製造請負ガイドライン	名前も内容も知っている	109	56.0	42.2	0.9	0.9
	名前は知っているが内容は知らない	138	52.9	34.8	0.7	11.6
	名前も内容も知らない	76	56.6	22.4	0.0	21.1
(3) 労働契約申込みみなし制度	名前も内容も知っている	87	51.7	46.0	1.1	1.1
	名前は知っているが内容は知らない	122	56.6	34.4	0.8	8.2
	名前も内容も知らない	114	55.3	25.4	0.0	19.3
(5) 製造請負優良適正事業者認定制度 (GJ認定制度)	名前も内容も知っている	68	52.9	42.6	0.0	4.4
	名前は知っているが内容は知らない	124	56.5	35.5	1.6	6.5
	名前も内容も知らない	131	54.2	29.0	0.0	16.8

【3】請負業務での機械・設備等の適正な使用状況について(Q15)[図表⑧～⑨]

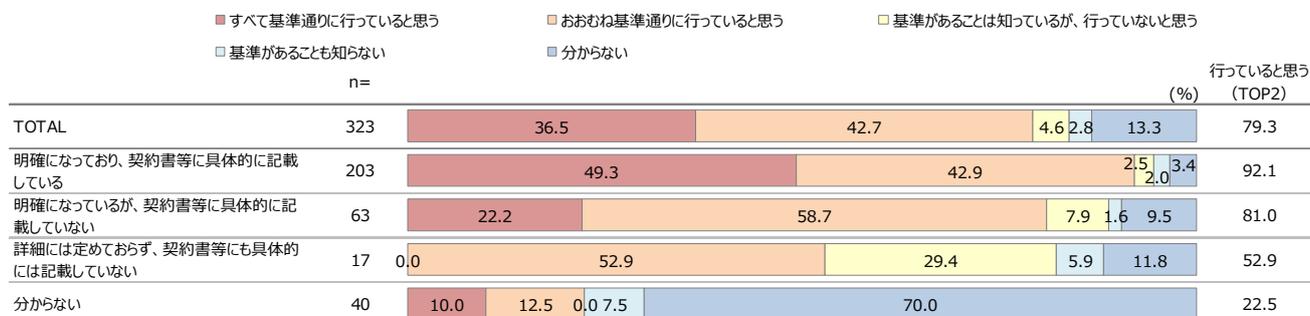
図表 IV-1-2⑧. 請負業務での機械・設備等の適正な使用状況【請負業務の現場の状況別】



※n=30未満は参考値

		(%)					
n=		すべて基準通りに行っていると思う	おおむね基準通りに行っていると思う	基準があることは知っているが、行っていないと思う	基準があることも知らない	分からない	行っていると思う (TOP2)
TOTAL	323	36.5	42.7	4.6	2.8	13.3	79.3
自社の従業員だけで業務を行っていると思う	177	43.5	40.7	3.4	4.5	7.9	84.2
発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う	111	33.3	55.0	7.2	0.9	3.6	88.3
その他	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0
分からない	33	9.1	12.1	3.0	0.0	75.8	21.2

図表 IV-1-2⑨. 請負業務での機械・設備等の適正な使用状況【請負業務の内容・範囲の明確化の状況別】



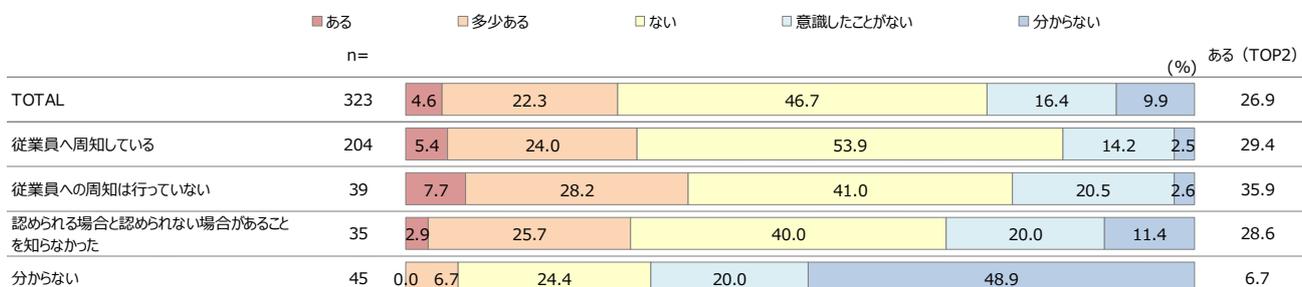
※n=30未満は参考値

		(%)					
n=		すべて基準通りに行っていると思う	おおむね基準通りに行っていると思う	基準があることは知っているが、行っていないと思う	基準があることも知らない	分からない	行っていると思う (TOP2)
AL	323	36.5	42.7	4.6	2.8	13.3	79.3
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	203	49.3	42.9	2.5	2.0	3.4	92.1
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	63	22.2	58.7	7.9	1.6	9.5	81.0
詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	17	0.0	52.9	29.4	5.9	11.8	52.9
うない	40	10.0	12.5	0.0	7.5	70.0	22.5

【4】偽装請負への不安について(Q16)[図表⑩～⑬]

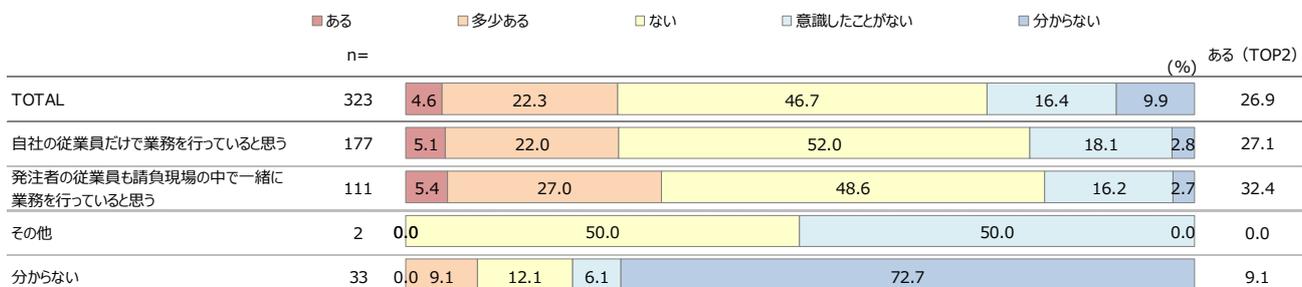
図表 IV-1-2⑩. 偽装請負への不安

【発注者が直接指示する場合の可否についての従業員（請負労働者）への周知別】



	n=	あり	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある (TOP2)
TOTAL	323	4.6	22.3	46.7	16.4	9.9	26.9
従業員へ周知している	204	5.4	24.0	53.9	14.2	2.5	29.4
従業員への周知は行っていない	39	7.7	28.2	41.0	20.5	2.6	35.9
認められる場合と認められない場合があることを知らなかった	35	2.9	25.7	40.0	20.0	11.4	28.6
分からない	45	0.0	6.7	24.4	20.0	48.9	6.7

図表 IV-1-2⑪. 偽装請負への不安 【請負業務の現場の状況別】



※n=30未満は参考値

	n=	あり	多少ある	ない	意識したことがない	分からない	ある (TOP2)
TOTAL	323	4.6	22.3	46.7	16.4	9.9	26.9
自社の従業員だけで業務を行っていると思う	177	5.1	22.0	52.0	18.1	2.8	27.1
発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う	111	5.4	27.0	48.6	16.2	2.7	32.4
その他	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
分からない	33	0.0	9.1	12.1	6.1	72.7	9.1

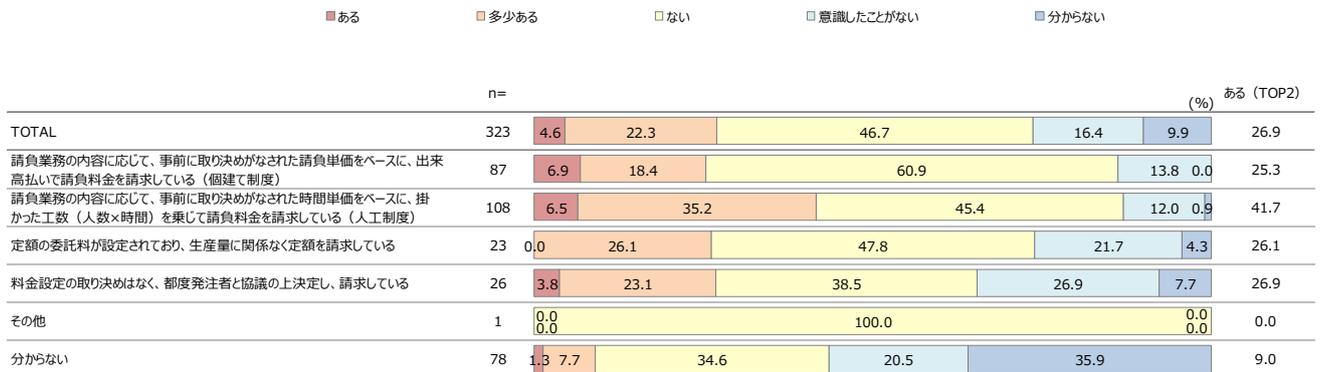
図表 IV-1-2⑫. 偽装請負への不安【請負業務の内容・範囲の明確化の状況別】



※n=30未満は参考値

	n=	あり	多少あり	ない	意識したことがない	分からない	ある (TOP2)
TOTAL	323	4.6	22.3	46.7	16.4	9.9	26.9
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	203	3.0	22.7	58.1	12.8	3.4	25.6
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	63	7.9	34.9	31.7	22.2	3.2	42.9
詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	17	23.5	23.5	35.3	17.6	0.0	47.1
分からない	40	0.0	0.0	17.5	25.0	57.5	0.0

図表 IV-1-2⑬. 偽装請負への不安【請負料金の設定・請求方法別】



※n=30未満は参考値

	n=	あり	多少あり	ない	意識したことがない	分からない	ある (TOP2)
TOTAL	323	4.6	22.3	46.7	16.4	9.9	26.9
請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している (個建て制度)	87	6.9	18.4	60.9	13.8	0.0	25.3
請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数 (人数×時間) を乗じて請負料金を請求している (人工制度)	108	6.5	35.2	45.4	12.0	0.9	41.7
定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している	23	0.0	26.1	47.8	21.7	4.3	26.1
料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している	26	3.8	23.1	38.5	26.9	7.7	26.9
その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
分からない	78	1.3	7.7	34.6	20.5	35.9	9.0

【5】請負料金の設定・請求方法について(Q33)[図表④]

図表 IV-1-2⑭. 請負料金の設定・請求方法【請負業務の内容・範囲の明確化の状況別】

- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）
- 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）
- 定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している
- 料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している
- その他
- 分からない

	n=	(% )					
TOTAL	323	26.9	33.4	7.1	8.0	0.3	24.1
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	203	36.0	35.5	6.9	5.9	0.5	15.3
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	63	17.5	42.9	7.9	15.9	0.0	15.9
詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	17	11.8	23.5	5.9	17.6	0.0	41.2
分からない	40	2.5	12.5	7.5	2.5	0.0	75.0

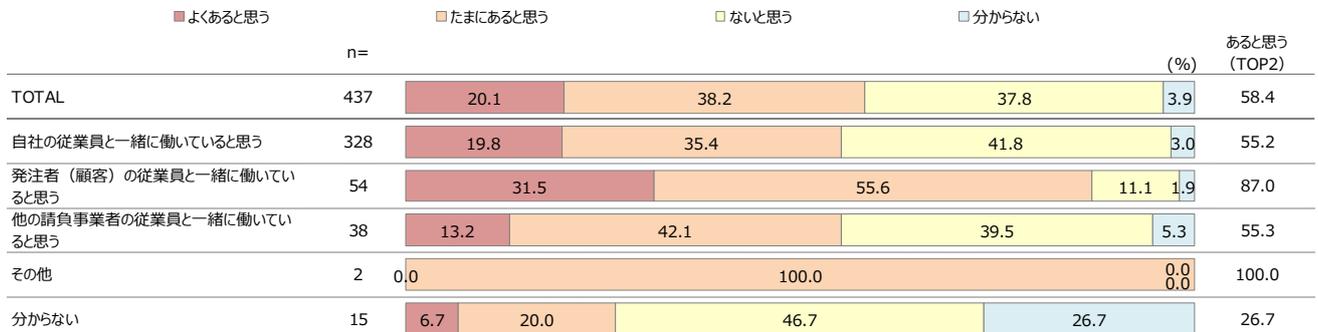
※n=30未満は参考値

	n=	(% )					
		請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）	請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）	定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している	料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している	その他	分からない
TOTAL	323	26.9	33.4	7.1	8.0	0.3	24.1
明確になっており、契約書等に具体的に記載している	203	36.0	35.5	6.9	5.9	0.5	15.3
明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない	63	17.5	42.9	7.9	15.9	0.0	15.9
詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない	17	11.8	23.5	5.9	17.6	0.0	41.2
分からない	40	2.5	12.5	7.5	2.5	0.0	75.0

### (3) 請負労働者

#### 【1】業務についての発注者からの直接指示について(Q7)[図表①]

図表 IV-1-3①. 業務についての発注者からの直接指示 【従事している業務の現場の状況別】



※n=30未満は参考値

	n=	(%)					あると思う (TOP2)
		よくあると思う	たまにあると思う	ないと思う	分からない	あると思う (TOP2)	
TOTAL	437	20.1	38.2	37.8	3.9	58.4	
自社の従業員と一緒に働いていると思う	328	19.8	35.4	41.8	3.0	55.2	
発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う	54	31.5	55.6	11.1	1.9	87.0	
他の請負事業者の従業員と一緒に働いていると思う	38	13.2	42.1	39.5	5.3	55.3	
その他	2	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	
分からない	15	6.7	20.0	46.7	26.7	26.7	



## (参考) 調査票

# 1. スクリーニング票

設問番号	設問内容
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン	
Q1 SA め	あなたの性別をお答えください。  1. 男性 2. 女性
回答者条件 : 全員	
Q2 NF め	あなたの年齢をお答えください。  1. <input type="text"/> 歳
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン	
Q3 SA め	あなたのお仕事についてお伺いします。 あなたの職業をお答えください。  ※複数の職業にあてはまる方は、主に業務を行っている職業を1つお選びください。 1. 会社員（正社員・正職員） 2. 会社員（契約・嘱託） 3. 会社員（派遣） 4. 会社員（臨時・その他） 5. 経営者・会社役員 6. 医師・弁護士・公認会計士 7. 公務員・団体職員 8. 農林漁業 9. 自営業（SOHOを含む） 10. 学生（高校、高専、専門学校、短期大学、大学、大学院） 11. 受験浪人（予備校生、自宅浪人等） 12. 専業主婦／主夫 13. パート・アルバイト 14. 無職 15. その他
回答者条件 : Q3の選択肢『1.会社員（正社員・...』～『5.経営者・会社役員』、『13.パート・アルバイト』の中でいずれかを選択した 表示形式 : ラジオボタン	
Q4 SA め	あなたのお仕事についてお伺いします。 あなたの役職をお答えください。  ※複数の役職にあてはまる方は、主に業務を行っている役職を1つお選びください。 1. 一般クラス（正社員） 2. 一般クラス（契約社員、派遣、パート・アルバイト、臨時等） 3. 主任クラス（リーダー等） 4. 係長クラス 5. 課長クラス 6. 部長クラス 7. 経営・役員クラス 8. その他

回答者条件 : Q4の選択肢『1.一般クラス（正社員）』～『7.経営・役員クラス』の中でいずれかを選択した  
表示形式 : ラジオボタン

Q5

SA



あなたのお仕事についてお伺いします。

あなたが勤務している事業所のおよその従業員数をお答えください。

※本社も事業所の一つとみなしてお答えください。

1. 3人未満
2. 3～10人未満
3. 10～30人未満
4. 30～50人未満
5. 50～100人未満
6. 100～300人未満
7. 300～500人未満
8. 500～1,000人未満
9. 1,000人以上
10. わからない

回答者条件 : Q5の選択肢『1.3人未満』～『9.1,000人以上』の中でいずれかを選択した  
表示形式 : ラジオボタン

Q6

SA



あなたのお仕事についてお伺いします。

あなたの会社の業種をお答えください。

※複数の業種にあてはまる方は、主に業務を行っている業種を1つお選びください。

※勤務先（実際に働いている現場）のことについてお答えください。

1. 農業、林業、漁業
2. 鉱業、採石業、砂利採取業
3. 建設業（※建築資材・部品等の製造に関わる方は製造業をお選びください。）
4. 製造業（機械関連）
5. 製造業（金属・鉄鋼関連）
6. 製造業（電子部品・電子デバイス関連）
7. 製造業（化学関連）
8. 製造業（食品・飲料関連）
9. 製造業（建築・住宅関連）
10. 製造業（医薬品関連）
11. 製造業（化粧品・ヘアケア関連）
12. 製造業（日用雑貨・トイレタリー関連）
13. 製造業（たばこ関連）
14. 製造業（家電製品関連）
15. 製造業（自動車・バイク関連）
16. 製造業（その他）
17. 電気・ガス・熱供給・水道業
18. 情報通信業
19. 運輸業（鉄道・道路・水運・航空）、郵便業 ※「物流業」は除く
20. 物流業（輸送・保管・荷役・包装・流通加工）
21. 倉庫業
22. 卸売業、小売業
23. 金融業、保険業
24. 不動産業、物品賃貸業
25. 学術研究、専門・技術サービス業
26. 宿泊業、飲食サービス業
27. 生活関連サービス業、娯楽業
28. 教育、学習支援業
29. 医療、福祉
30. 複合サービス事業（郵便局、協同組合）
31. 職業紹介・労働者派遣業・業務請負
32. サービス業（他に分類されないもの）
33. 公務
34. 分類不能の産業

回答者条件 : Q5の選択肢『1.3人未満』～『9.1,000人以上』の中でいずれかを選択した

Q7

MA



あなたのお仕事についてお伺いします。

現在、あなたが関与している仕事の中で、次にあてはまるものはありますか。

1. 業務の処理の全部または一部を他社からの請負（受託）と、他社への発注（委託）の両方を行っている
2. 業務の処理の全部または一部を他社から請負って（受託して）いる
3. 業務の処理の全部または一部を他社に発注（委託）している（人材派遣は除く）
4. あてはまるものはない・わからない

回答者条件 : Q7の選択肢『1.業務の処理の全部...』、『3.業務の処理の全部...』の中でいずれかを選択した

Q8

MA



「業務の処理の全部または一部を他社に発注（委託）している」または「業務の処理の全部または一部を他社からの請負（受託）と、他社への発注（委託）の両方を行っている」と答えた方にお伺いします。

現在、あなたが関与している仕事の中で、他社に発注（委託）している業務について、あてはまるものすべてをお答えください。

1. バックオフィス（経理・会計、人事・総務・庶務、給与計算、教育研修、福利厚生）
2. フロントオフィス（受付、窓口、コールセンター）
3. 情報処理（システム・ネットワークの設計・開発・運用・保守）
4. 製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）
5. 物流（輸送・配送、梱包・包装、荷役、ピッキング、流通加工、在庫管理、受発注業務）
6. 技術開発（設計・開発）
7. 企画・販売（商品企画、マーケティング・調査、営業・販売）
8. 施設管理・保安（ビル・施設管理、清掃・廃棄物処理、警備・保安）
9. 食堂・売店（食堂・売店、給食）
10. その他（上記にあてはまらないもの）

回答者条件 : Q8の選択肢『4.製造（製造、組立...』を選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q9

SA



前問でお答えになった「他社に発注（委託）している製造業務」について伺います。

あなたが関与している他社に発注（委託）している製造業の委託業務は主にどこで行われていますか。該当するものを1つ選んでください。

1. 自社の工場等
2. 発注（委託）先の工場等
3. その他
4. わからない

回答者条件 : Q7の選択肢『1.業務の処理の全部...』、『2.業務の処理の全部...』の中でいずれかを選択した

Q10

MA



「業務の処理の全部または一部を他社から請負って（受託して）いる」または「業務の処理の全部または一部を他社からの請負（受託）と、他社への発注（委託）の両方を行っている」と答えた方にお伺いします。

現在、あなたが関与している仕事の中で、他社（発注者）から請け負っている業務について、あてはまるものすべてをお答えください。

1. バックオフィス（経理・会計、人事・総務・庶務、給与計算、教育研修、福利厚生）
2. フロントオフィス（受付、窓口、コールセンター）
3. 情報処理（システム・ネットワークの設計・開発・運用・保守）
4. 製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）
5. 物流（輸送・配送、梱包・包装、荷役、ピッキング、流通加工、在庫管理、受発注業務）
6. 技術開発（設計・開発）
7. 企画・販売（商品企画、マーケティング・調査、営業・販売）
8. 施設管理・保安（ビル・施設管理、清掃・廃棄物処理、警備・保安）
9. 食堂・売店（食堂、売店、給食）
10. その他（上記にあてはまらないもの）

回答者条件 : Q10の選択肢『4.製造（製造、組立...』を選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q11

SA



前問でお答えになった「他社から請け負って（受託して）いる**製造業務**」について伺います。

あなたが関与している製造業の請負業務は主にどこで行われていますか。該当するものを1つ選んでください。

1. 自社の工場等
2. 発注（委託）元の工場等
3. その他
4. わからない

回答者条件 : Q8の選択肢『5.物流（輸送・配送...』を選択した

Q12

MA



**物流業務**の全部または一部を、「他社への発注（委託）と他社からの請負（受託）の両方を行っている」または「他社に発注（委託）」と答えた方にお伺いします。

あなたの会社が他社に発注（委託）している物流業務はどちらですか。あてはまるものすべてをお答えください。

1. 輸送・配送
2. 梱包・包装
3. 荷役（入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等）
4. ピッキング
5. 流通加工（値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等）
6. 在庫管理、受発注業務
7. その他（上記にあてはまるものがない）

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q13

MTM



前問でお答えになった「あなたの会社が他社に発注(委託)している**物流業務**」について伺います。

発注(委託)しているそれぞれの業務は、どこで行われていますか。

===== 項目 =====

1. 梱包・包装
2. 荷役(入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等)
3. ピッキング
4. 流通加工(値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等)
5. 在庫管理、受発注業務
6. その他

===== 選択肢 =====

1. 自社の倉庫・物流センター等
2. 自社の工場
3. 自社の店舗
4. 発注(委託)先の倉庫・物流センター等
5. その他
6. わからない

回答者条件 : Q10の選択肢『5.物流(輸送・配送...)』を選択した

Q14

MA



**物流業務**の全部または一部を、「他社から請負(受託)」または「他社への発注(委託)と他社からの請負(受託)の両方を行っている」と答えられた方にお伺いします。

あなたの会社が他社(発注者)から請負っている物流業務はどちらですか。あてはまるものすべてをお答えください。

1. 輸送・配送
2. 梱包・包装
3. 荷役(入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等)
4. ピッキング
5. 流通加工(値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等)
6. 在庫管理、受発注業務
7. その他(上記にあてはまらないもの)

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q15

MTM



前問でお答えになった「あなたの会社が他社(発注者)から請負っている**物流業務**」について伺います。

請負っているそれぞれの業務は、どこで行われていますか。

===== 項目 =====

1. 梱包・包装
2. 荷役(入荷・出荷、検品、運搬、棚入れ、仕分け 等)
3. ピッキング
4. 流通加工(値札・タグ付け、検針、加工、組み立て 等)
5. 在庫管理、受発注業務
6. その他

===== 選択肢 =====

1. 自社の倉庫・物流センター等
2. 発注(委託)元の倉庫・物流センター等
3. 発注(委託)元の工場
4. 発注(委託)元の店舗
5. その他
6. わからない

## 2. 本調査\_発注者票

設問番号	設問内容
回答者条件 : 全員 AIS1 THR 非	あなたは、事前のアンケートで、  「製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）業務の処理の全部または一部を他社に発注（委託）している」  とお答えになりました。本アンケートでは、その「発注（委託）業務」についてうかがいます。 合紙 【この設問文はモニター回答時には画面に表示されません】
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q1 SA 必	あなたの性別をお答えください。  1. 男性 2. 女性
回答者条件 : 全員 Q2 NF 必	あなたの年齢をお答えください。  1. <input type="text"/> 歳
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q3 SA 必	あなたの会社の年間のおよその売上高について、お答えください。  ※複数のお勤め先がある方は、主に業務を行っているお勤め先について選んでください。（以降の設問も主な業務についてお答えください。） 1. 10億円未満 2. 10～50億円未満 3. 50～100億円未満 4. 100～500億円未満 5. 500～1,000億円未満 6. 1,000億円以上 7. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q4

SA



あなたの会社の従業員のおよその人数について、お答えください。

1. 10人未満
2. 10～50人未満
3. 50～100人未満
4. 100～300人未満
5. 300～500人未満
6. 500～1,000人未満
7. 1,000～3,000人未満
8. 3,000人以上
9. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q5

SA



■以降の設問については、あなたが関わっている委託業務についてお答えください。  
複数の委託業務に関わっている場合は、主な委託業務についてお答えください。

委託業務の生産品目について、最もあてはまるものを選んでください。

1. 事務用機械器具・部品
2. 電子部品・デバイス
3. 電気機械器具・部品
4. 情報通信機械器具・部品
5. 輸送用機械器具・部品
6. 鋼材・金属
7. 化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）
8. 食料品・飲料品
9. 衣料品・日用品・消耗品
10. 建築・住宅資材
11. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q6

SA



委託業務には、委託先の従業員がおよそ何人くらい従事していますか。

※委託先が複数ある場合は、すべて合計したおよその人数を教えてください。

1. 3人未満
2. 3～10人未満
3. 10～30人未満
4. 30～50人未満
5. 50～100人未満
6. 100～300人未満
7. 300～500人未満
8. 500～1,000人未満
9. 1,000人以上
10. 分からない

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q7

MA



業務を他社に委託する目的として、特に重要視しているものを次の中から、最大3つまで選んでください。

1. 人件費・管理コストの軽減
2. 固定費の変動費化
3. 業務量変動への対応
4. 人材不足への対応
5. 雇用リスクの回避
6. 品質・作業効率の向上
7. 経営資源・人材の有効活用
8. グループ経営への貢献
9. IT化、自動化等、技術革新の進展への対応
10. その他

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q8

MA



業務を他社に委託する場合の委託先選定において重要視しているものを次の中から、最大3つまで選んでください。

1. 業務処理能力・品質
2. 委託料金
3. 業務遂行のための必要人員の確保
4. 業務量変動への対応
5. 安全衛生管理
6. 労務管理の能力
7. 専門知識・技術
8. 改善提案力
9. 会社の信頼性（法令遵守）
10. 会社の継続性（財務体質等）
11. その他

回答者条件 : 全員

Q9

MA



委託業務の遂行に関し、自社の従業員は、委託先にどのように指示を行っていると思いますか。あてはまると思うものをすべて選んでください。

1. 委託先の責任者に指示を行っていると思う
2. 委託先の従業員に、委託先の責任者立会いの下で、指示を行っていることがあると思う
3. 委託先の従業員に、直接指示を行っていることがあると思う
4. 指示は行わず、委託先に任せていると思う
5. その他
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q10

SA



発注者（自社）が委託先の従業員（請負労働者）に直接指示することが認められる場合（適正）と認められない場合（不適正）について、自社従業員へ周知していますか。

1. 従業員へ周知している
2. 従業員への周知は行っていない
3. 認められる場合と認められない場合があることを知らなかった
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q11

SA



委託業務の現場は、どのような状況になっていると思いますか。

1. 委託先の従業員だけで業務を行っていると思う
2. 自社の従業員も委託現場の中で一緒に業務を行っていると思う
3. その他
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q12

SA



委託業務の内容、範囲は明確になっていますか。

1. 明確になっており、契約書等に具体的に記載している
2. 明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない
3. 詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない
4. 分からない

回答者条件 : Q12の選択肢『2.明確になっている...』、『3.詳細には定めてお...』の中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q13

SA



Q12で、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」または「詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない」と答えた方にお伺いします。契約書等に委託業務の内容・範囲を具体的に記載しない理由は何ですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

1. 委託先（請負事業者）からの要望により契約書等に記載しなかった
2. 契約書等に記載しない方が業務に柔軟に対応でき、やりやすい
3. 契約書等を結ぶ時点では、具体的な内容まで詰めていない
4. その他
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q14

MTS



委託料金の見直しについての取り決めや対応はどのように行っていますか。それぞれの項目についてあてはまるものを1つ選んでください。

===== 項目 =====

1. 委託料金の見直しが必要になった場合（業務内容の変更、生産性向上、運営コスト増等）
2. イレギュラー的に費用が発生した場合（想定を超える急激な生産量の変動や想定外の外部要因による費用増等）

===== 選択肢 =====

1. 契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う
2. 契約書等に具体的に明記されていないが、委託先との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する
3. 契約書等に取り決めはないが、申し入れがあった場合、都度協議を行い決定する
4. 契約書等に取り決めがないので、申し入れがあっても対応しない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q15

SA



業務の委託に関しては、国が定める基準に『業務を処理するのに必要な機械、設備等は委託先が準備する必要があり、発注者が調達する場合は双務契約を締結し、有償で貸与しなければならぬ』※とあります。あなたの関わる委託業務では、この通りに行われていると思いますか。

※労働省告示第37号「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準」

1. すべて基準通りに行っていると思う
2. おおむね基準通りに行っていると思う
3. 基準があることは知っているが、行っていないと思う
4. 基準があることも知らない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q16

SA



委託業務に関し、偽装請負への不安はありますか。

※偽装請負とは、請負、業務委託などと称しながらも、実態として、労働者派遣事業や労働者供給事業に該当する場合をいいます。（労働省告示第37号「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準」）

1. ある
2. 多少ある
3. ない
4. 意識したことがない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q17

MTS



適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを1つお選びください。

===== 項目 =====

1. 派遣事業と請負事業の区分基準（労働省告示第37号）
2. 製造請負ガイドライン
3. 労働契約申込みみなし制度
4. パートナリシップ構築宣言
5. 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）

===== 選択肢 =====

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は知っているが内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

回答者条件 : 全員

AIS3

THR



**製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）は、厚生労働省により設けられた、健全で優れた製造請負事業者を認定する制度です。**  
**81項目におよぶ審査が行われ、コンプライアンスや労働安全衛生の徹底、高度な生産・品質管理、能力開発（スキルアップ）等の充実した製造請負事業者が認定されます。**

**※従来の107項目の審査基準は、統合等の見直しが行われ、2024年度より81項目となりました。**

合紙

【この設問文はモニター回答時には画面に表示されません】

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q18

SA



製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）はどのように活用できますか。

1. すでにGJ認定制度取得を委託先事業者選定のポイント（判断）の1つにしている
2. GJ認定制度取得を委託先選定のポイント（判断）の1つとして検討したい
3. GJ認定制度を委託先（請負事業者）に紹介したい
4. その他
5. 特にない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q19

SA



委託業務において、委託先が外国人労働者を配置（使用）することについて、最もあてはまるものを選んでください。

1. 配置しても良い
2. できれば配置してもらいたくない
3. 配置してもらいたくない
4. その他
5. 分からない

回答者条件 : Q19の選択肢『2.できれば配置して...』、『3.配置してもらいた...』の中でいずれかを選択した

選択個数制限 : 3個 以下

Q20

MA



Q19で、「できれば配置してもらいたくない」、「配置してもらいたくない」と答えた方にお伺いします。その理由として、あてはまるものを最大3つまでお選びください。

1. 工場・構内で外国人労働者は受け入れていない
2. 工場・構内において、外国人労働者に対する環境が整っていない
3. コミュニケーションが取りづらい、難しい（言語、文化、生活習慣）
4. 作業習熟度、作業品質に不安を感じる
5. トラブルの発生やその場合の対応が難しいと思われる
6. その他
7. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q21

SA



委託先とのコミュニケーション（意思疎通）の機会を設けていますか。最もあてはまるものをお答えください。

1. 定期的に設けている
2. 必要に応じて設けている
3. 特に設けていない
4. その他
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q22

SA



委託業務の料金設定、支払い方法はどのようになっていますか。最もあてはまるものを選んでください。

1. 事前に取り決めた委託（請負）単価をベースに、出来高に応じて委託料金を支払っている（個建て制度）
2. 事前に取り決めた時間単価をベースに、掛った工数（人数×時間）を乗じて委託料金を支払っている（人工制度）
3. 定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を支払っている
4. 料金設定の取り決めはなく、都度委託事業者と協議の上決定し、支払っている
5. その他
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q23

SA



委託業務の生産性が向上したことにより、少ない人数で業務を処理することが可能になった場合、委託料金（単価）はどうしていますか。最もあてはまるものを選んでください。

1. 変えない
2. 変えないことが多い
3. 減らすことが多い
4. 減らす
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q24

SA



委託先から委託料金の値上げの申し入れがあった場合、どのように対応しますか。

1. 協議に応じ、値上げを行うことがある
2. 協議には応じるが、値上げの可能性は低い
3. 協議に応じるかどうか分からない
4. 協議には応じない可能性が高い
5. 協議に応じない（値上げは行わない）
6. 分からない

回答者条件 : Q24の選択肢『1.協議に応じ、値上...』を選択した

選択個数制限 : 3個 以下

Q25

MA



Q24で、「協議に応じ、値上げを行うことがある」と答えた方にお伺いします。値上げに応じる際に、重視する理由を最大3つまで選んでください。

1. 委託業務のコスト（人件費、材料費等）の増加
2. 委託業務の生産性の向上
3. 委託業務の品質向上
4. 長い信頼（貢献・施策への協力）の積み重ね
5. 自社の良好な経営状況
6. その他
7. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q26

SA



今後、アウトソーシング（外部委託）の方向性をどのように思われますか。

1. 自社化に重点を置くと思われる
2. 外部委託に重点を置くと思われる
3. 派遣活用に重点を置くと思われる
4. 外部委託と派遣活用の両方に重点を置くと思われる
5. どちらともいえない
6. その他
7. 分からない

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 5個 以下

Q27

MA



今後、事業を継続していく上で、現在、重要課題と考えられるものを最大5つまで選んでください。

1. 生産性・品質の維持、向上
2. 生産量の変動対応と納期（生産計画）の厳守
3. コスト（人件費、材料費等々）の上昇への対応と利益確保
4. コンプライアンスの徹底
5. 働き方改革関連法等、法令への対応
6. 労働安全衛生（労災事故の防止）の徹底
7. 人材の確保・定着
8. 人材の能力開発・育成
9. 賃上げ等、処遇改善
10. 自動化・IT化、AI化等、技術革新への対応
11. 災害発生への対策
12. サプライチェーンの見直し・構築
13. その他
14. 特にない
15. 分からない

### 3. 本調査\_受託者票

設問番号	設問内容
回答者条件 : 全員	
QX1 THR 非	あなたは、事前のアンケートで、  「製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）業務の全部または一部を他社から請負って（受託して）いる」  とお答えになりました。本アンケートでは、その「請負（受託）業務」についてうかがいます。 合紙 【この設問文はモニター回答時には画面に表示されません】
回答者条件 : 全員	
表示形式 : ラジオボタン	
Q1 SA 必	あなたの性別をお答えください。  1. 男性 2. 女性
回答者条件 : 全員	
Q2 NF 必	あなたの年齢をお答えください。  1. <input type="text"/> 歳
回答者条件 : 全員	
表示形式 : ラジオボタン	
Q3 SA 必	あなたの会社の年間のおよその売上高について、お答えください。  ※複数のお勤め先がある方は、主に業務を行っているお勤め先について選んでください。（以降の設問も主な業務についてお答えください。）  1. 1億円未満 2. 1～5億円未満 3. 5～10億円未満 4. 10～50億円未満 5. 50～100億円未満 6. 100億円以上 7. 分からない
回答者条件 : 全員	
Q4 NF	あなたの会社の年間売上高に占める事業別のおよその売上比率を教えてください。（数字は概算値で結構です。）  合計が100%になるように、それぞれの項目におよその割合の数字を整数で入力してください。合計は自動で計算されます。  1. 請負事業 <input type="text"/> % 2. 派遣事業 <input type="text"/> % 3. その他 <input type="text"/> %

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q5

SA



あなたの会社の従業員（現場スタッフを含む）のおよその人数について、お答えください。

1. 10人未満
2. 10～50人未満
3. 50～100人未満
4. 100～300人未満
5. 300～500人未満
6. 500～1,000人未満
7. 1,000～3,000人未満
8. 3,000人以上
9. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q6

SA



■以降の設問については、あなたの関わっている請負業務についてお答えください。  
複数の請負業務に関わっている場合は、主な請負業務についてお答えください。  
請負業務の生産品目について、最もあてはまるものを選んでください。

1. 事務用機械器具・部品
2. 電子部品・デバイス
3. 電気機械器具・部品
4. 情報通信機械器具・部品
5. 輸送用機械器具・部品
6. 鋼材・金属
7. 化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）
8. 食料品・飲料品
9. 衣料品・日用品・消耗品
10. 建築・住宅資材
11. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q7

SA



請負業務は、全体で何人くらいで行っていますか（派遣労働者を含む）。およその人数について、お答えください。

1. 3人未満
2. 3～10人未満
3. 10～30人未満
4. 30～50人未満
5. 50～100人未満
6. 100～300人未満
7. 300～500人未満
8. 500～1,000人未満
9. 1,000人以上
10. 分からない

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q8

MA



受注獲得のための自社の請負業務のアピールポイントは何ですか。次の中から最大3つまで選んでください。

1. 業務処理能力・品質
2. 請負料金
3. 業務遂行のための必要人員の確保
4. 業務量変動への対応
5. 安全衛生管理
6. 労務管理の能力
7. 専門知識・技術
8. 改善提案力
9. 会社の信頼性（法令遵守）
10. 会社の継続性（財務体質等）
11. その他

回答者条件 : 全員

Q9

MA



請け負っている業務の遂行に関し、発注者は自社の従業員に対してどのように指示を行っていると思いますか。あてはまると思うものをすべて選んでください。

1. 発注者が自社の責任者に指示を行っていると思う
2. 発注者が自社の従業員に、自社の責任者立会いの下で、指示を行っていることがあると思う
3. 発注者が自社の従業員に直接指示を行っていることがあると思う
4. 発注者は指示は行わず、自社に任せていると思う
5. その他
6. 分からない

表示形式 : ラジオボタン

Q10

SA



発注者が自社従業員（請負労働者）に直接指示することが認められる場合（適正）と認められない場合（不適正）について、自社従業員（請負労働者）へ周知していますか。

1. 従業員へ周知している
2. 従業員への周知は行っていない
3. 認められる場合と認められない場合があることを知らなかった
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q11

SA



請負業務の現場は、どのような状況になっていると思いますか。

1. 自社の従業員だけで業務を行っていると思う
2. 発注者の従業員も請負現場の中で一緒に業務を行っていると思う
3. その他
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q12

SA



請負業務の内容、範囲は、明確になっていますか。

1. 明確になっており、契約書等に具体的に記載している
2. 明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない
3. 詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない
4. 分からない

回答者条件 : Q12の選択肢『2.明確になっている...』、『3.詳細には定めてお...』の中でいずれかを選択した

表示形式 : ラジオボタン

Q13

SA



Q12で、「明確になっているが、契約書等に具体的に記載していない」または「詳細には定めておらず、契約書等にも具体的には記載していない」と答えた方にお伺いします。契約書等に請負業務の内容・範囲を具体的に記載しない理由で、最もあてはまるものを選んでください。

1. 発注者からの要望により契約書等に記載しなかった
2. 契約書等に記載しない方が業務に柔軟に対応でき、やりやすい
3. 契約書等を結ぶ時点では、具体的な内容まで詰めていない
4. その他
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q14

MTS



請負料金の見直しについての取り決めや対応はどのように行っていますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

===== 項目 =====

1. 請負料金の見直しが必要になった場合（業務内容の変更、生産性向上、運営コスト増等）
2. イレギュラー的に費用が発生した場合（想定を超える急激な生産量の変動や想定外の外部要因による費用増等）

===== 選択肢 =====

1. 契約書等に具体的に明記されており、それに基づいて行う
2. 契約書等に具体的に明記されていないが、発注者との「協議事項」に該当として、協議を行い決定する
3. 契約書等に取り決めはないが、申し入れを行い、都度協議を行い決定する
4. 契約書等に取り決めがないので、申し入れを行うことはない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q15

SA



業務の委託（請負）に関しては、国が定める基準に『業務を処理するのに必要な機械、設備等は委託先が準備する必要があり、発注者が調達する場合は双務契約を締結し、有償で貸与しなければならぬ』※とあります。あなたの関わる請負業務では、その通りに行われていますか。

※労働省告示第37号「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準」

1. すべて基準通りに行っていると思う
2. おおむね基準通りに行っていると思う
3. 基準があることは知っているが、行っていないと思う
4. 基準があることも知らない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q16

SA  
必

請負業務に関し、偽装請負への不安はありますか。

※偽装請負とは、請負、業務委託などと称しながらも、実態として、労働者派遣事業や労働者供給事業に該当する場合をいいます。（労働省告示第37号「労働者派遣事業と請負により行われる事業との区分に関する基準」）

1. ある
2. 多少ある
3. ない
4. 意識したことがない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q17

MTS  
必

適正な請負を行うための知識についてお伺いします。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。

===== 項目 =====

1. 派遣事業と請負事業の区分基準（労働省告示第37号）
2. 製造請負ガイドライン
3. 労働契約申込みみなし制度
4. パートナーシップ構築宣言
5. 製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）

===== 選択肢 =====

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は知っているが内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

回答者条件 : 全員

QX2

THR  
非

**製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）は、厚生労働省により設けられた、健全で優れた製造請負事業者を認定する制度です。**

**81項目におよぶ審査が行われ、コンプライアンスや労働安全衛生の徹底、高度な生産・品質管理、能力開発（スキルアップ）等の充実した製造請負事業者が認定されます。**

**※従来の107項目の審査基準は、統合等の見直しが行われ、2024年度より81項目となりました。**

合紙

【この設問文はモニター回答時には画面に表示されません】

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q18

SA  
必

自社の製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）の取得について、お答えください。

1. すでにGJ認定を取得している
2. GJ認定の取得（受審）を検討している、または予定している
3. GJ認定の取得に興味がある、または検討してみたい
4. GJ認定の取得に興味がない
5. 以前、GJ認定を取得していたが、今は取得していない
6. 分からない

回答者条件 : 全員  
表示形式 : ラジオボタン

Q19

SA



請負業務における労働力（人材）不足の状況についてお伺いします。

1. 採用等ができており、特に問題にはなっていない
2. 十分な採用等ができず、なんとかやりくりしている
3. 採用等ができず、業務遂行に支障がでてきている。または、その可能性がある
4. 業務遂行が困難な状況にあり、請負業務の継続が難しい
5. 請負事業の経営に影響しており、請負事業全体の継続が難しくなっている
6. 分からない

回答者条件 : 全員  
表示形式 : ラジオボタン

Q20

MTS



請負業務における有期雇用者（自社が受け入れている派遣労働者を除く）及び外国人労働者の占める割合は、それぞれおおよそどれくらいですか。

※有期雇用者とは、契約社員、パート、アルバイト、嘱託社員などの呼称にかかわらず、期間の定めのある労働者。

===== 項目 =====

1. 有期雇用者のおよその割合
2. 外国人労働者のおよその割合

===== 選択肢 =====

1. いない（0割）
2. 2割未満
3. 2割以上～5割未満
4. 5割以上
5. 分からない

回答者条件 : 全員  
選択個数制限 : 5個 以下

Q21

MA



請負業務における有期雇用者の雇用管理の課題は何ですか。あてはまるものを最大5つまで選んでください。

1. 求人を行っても応募がない
2. 採用コストの増加が事業経営の負担
3. 採用してもすぐに辞める、定着しない
4. 個人の生活優先のため、就業時間・就業日に融通がきかない
5. 業務の範囲、就業場所（転勤）に融通がきかない
6. 教育研修に積極的でない
7. キャリアアップを望まない（責任が重くない働き方を望む）
8. 無期雇用転換を望まない
9. 限られた範囲の同じ業務のため、評価が難しく、賃金を上げにくい
10. 生産変動、コスト増などの影響により短期（有期）の契約になる
11. 正社員との賃金格差の是正
12. その他
13. 特にない
14. 分からない

回答者条件 : Q20の項目『2.外国人労働者のお...』の選択肢『2.2割未満』～『4.5割以上』の中でいずれかを選択した

Q22

MA



Q20で、請負業務において外国人労働者を雇用している（割合あり）と答えた方にお伺いします。その雇用している外国人労働者の出身国はどこの国ですか。分かる範囲であればまるものものをすべて選んでください。

- アジア諸国
- 1. ベトナム
- 2. フィリピン
- 3. 中国
- 4. インドネシア
- 5. ネパール
- 6. ミャンマー
- 7. タイ
- 8. 韓国
- 9. その他のアジア諸国
- 中南米諸国
- 10. ブラジル
- 11. ペルー
- 12. その他の中南米諸国
- その他
- 13. その他の諸国
- 14. 分からない

回答者条件 : Q20の項目『2.外国人労働者のお...』の選択肢『2.2割未満』～『4.5割以上』の中でいずれかを選択した

Q23

MA



Q20で、請負業務において外国人労働者を雇用している（割合あり）と答えた方にお伺いします。その雇用している外国人労働者の在留資格は何ですか。分かる範囲であればまるものをすべて選んでください。

- 1. 技能実習
- 2. 特定技能
- 3. 身分に基づく在留資格（日系人、日本人の配偶者等）
- 4. 技術・人文知識・国際業務
- 5. その他
- 6. 分からない

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 5個 以下

Q24

MA



外国人労働者の雇用管理上の課題についてお伺いします。あてはまるものを最大5つまで選んでください。

1. 採用に要するコストが大きい
2. 能力等が実証されない（分からない）まま採用されることが不安
3. 在留資格、外国人労働者受け入れの仕組みが分かりづらい
4. 登録・申請等の手続きが煩雑すぎる、手間がかかる
5. 生活環境・労働環境を整えるのが難しい
6. 外国人労働者を労務管理できるリーダーがいない、または不足している
7. 教育や生活支援の体制を思うように整えられない
8. コミュニケーションがとりづらい（言語、文化、生活習慣等）
9. 戦力になるのに時間がかかる
10. 離職率が高い（失踪、転職、自己都合退職（帰国）等）
11. 従業員同士のトラブルへの対応
12. 邦人との賃金格差の是正
13. 外国人労働者が現場で働くことを発注者が嫌がる
14. 行政の支援が足りない
15. その他
16. 特にない
17. 分からない

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q25

MA



外国人労働者の雇用に関する行政への要望についてお伺いします。あてはまるものを最大3つまで選んでください。

1. 在留資格、外国人労働者受け入れの手続きを簡素化
2. 在留期間の延長・緩和
3. 外国人労働者への生活支援政策の推進
4. 外国人労働者雇用に関するセミナーや説明会の開催
5. 外国人労働者雇用に関する相談窓口の充実・拡充
6. 外国人労働者受け入れのコストの支援
7. 日本語教育のコストの支援
8. 外国人労働者の資格取得の支援・コストの支援
9. その他
10. 特にない
11. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q26

MTS



今後、有期雇用者、外国人労働者の雇用の方向性としては、どのようにお考えですか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください。

===== 項目 =====

1. 有期雇用者の雇用の方向性
2. 外国人労働者の雇用の方向性

===== 選択肢 =====

1. 増やしていく
2. 状況を見て増やしていく
3. 現状を維持する
4. 減らしていく
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q27

MTS



請負労働者の処遇の向上やスキルアップの取組みについて、それぞれあてはまるものを選んでください。

===== 項目 =====

1. 人材の育成（教育訓練）の実施
2. 必要な職務知識、資格等の明示
3. 業務や能力評価の賃金への反映
4. 業績や能力評価結果のフィードバック面談（※）※業績や能力の評価結果に基づいて、業績や能力の向上のための助言や指導を行うものです。
5. 福利厚生面の充実

===== 選択肢 =====

1. 行っている
2. 概ね行っている
3. あまり行っていない
4. 行っていない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 3個 以下

Q28

MA



請負労働者の処遇改善やスキルアップの取組課題についてお伺いします。あてはまるものを最大3つまで選んでください。

1. 請負労働者（本人）が教育・訓練に積極的ではない
2. 日常業務の中から、教育・訓練の時間がとれない
3. 教育・訓練等に係るコスト負担が大きく、あまりできない
4. 教育・訓練等を行っても離職してしまうので、無駄になる（長期育成が難しい）
5. 処遇改善（賃金への反映）を行いたいが、請負料金がアップしない
6. 教育・訓練やキャリアパスの仕組みができていない
7. リーダー・管理職を希望する請負労働者（本人）が少ない
8. スキルを必要とされる業務が少なく、ランクを設けることが難しい
9. その他
10. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q29

SA



今年度の請負労働者の賃上げ状況についてお伺いします。平均賃上げ率はおよそ何パーセント程度だったでしょうか。

1. 賃上げは行わなかった（0%）
2. 1～2%程度
3. 3～4%程度
4. 5%程度以上
5. 賃下げをした
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q30

MTS



請負労働者へのキャリア面談の実施、キャリアパスの提示についてお伺いします。それぞれあてはまるものを選んでください。

===== 項目 =====

1. キャリア面談の実施※キャリア面談とは、従業員の中長期的なキャリア形成とその実現に向けて話し合い、従業員の自律的な成長を促進する機会のことです。
2. キャリアパスの提示※キャリアパスとは、目標とする職務や職位に就くために必要なスキルや経験、そこに到達するまでの順序や道筋のことです。

===== 選択肢 =====

1. 行っている
2. 概ね行っている
3. あまり行っていない
4. 行っていない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q31

SA



請負労働者のキャリアパス（アップ）について、どのように考えていますか。あてはまるものを選んでください。

1. キャリアパス（アップ）に積極的に取組んで行きたい
2. キャリアパス（アップ）には必要に応じ取組んで行きたい
3. キャリアパス（アップ）にはあまり取組んで行こうとは思わない
4. キャリアパス（アップ）に取組んで行こうとは思わない
5. その他
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q32

SA



発注者とのコミュニケーション（意思疎通）の機会を設けていますか。

1. 定期的に設けている
2. 必要に応じて設けている
3. 特に設けていない
4. その他
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q33

SA



請負業務の料金設定、請求方法はどのようになっていますか。最もあてはまるものを選んでください。

1. 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた請負単価をベースに、出来高払いで請負料金を請求している（個建て制度）
2. 請負業務の内容に応じて、事前に取り決めがなされた時間単価をベースに、掛かった工数（人数×時間）を乗じて請負料金を請求している（人工制度）
3. 定額の委託料が設定されており、生産量に関係なく定額を請求している
4. 料金設定の取り決めはなく、都度発注者と協議の上決定し、請求している
5. その他
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q34

SA



請負業務の生産性が向上したことにより、少ない人数で業務を処理することが可能になった場合、請負料金（単価）はどのようになることが多いですか。

1. 変わらない
2. 変わらないことが多い
3. 減ることが多い
4. 減る
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q35

SA



発注者に請負料金値上げの申し入れを行ったとき、発注者はどのような対応でしたか。直近の主な例について教えてください。最もあてはまるものを選んでください。

1. 協議に応じ、申し入れ額通り、またはある程度の値上げを認めてもらった
2. 協議に応じてもらえたが、値上げには至らなかった
3. 協議に応じてもらえなかった
4. 値上げを申し入れたことはない
5. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q36

SA



今後、請負事業の見通しはどのようにになるとお考えですか。

1. 拡大する
2. 多少拡大する
3. 現状維持
4. 多少縮小する
5. 縮小する
6. 分からない

回答者条件 : 全員

選択個数制限 : 5個 以下

Q37

MA



今後、事業を継続していく上で、現在、重要課題と考えられるものを最大5つまで選んでください。

1. 生産性・品質の維持、向上
2. 生産量の変動対応と納期（生産計画）の厳守
3. コスト（人件費、材料費等々）の上昇への対応と利益確保
4. コンプライアンスの徹底
5. 働き方改革関連法等、法令への対応
6. 労働安全衛生（労災事故の防止）の徹底
7. 人材の確保・定着
8. 人材の能力開発・育成
9. 賃上げ等、処遇改善
10. 自動化・IT化、AI化等、技術革新への対応
11. 取引先（発注者）の今後の動向（再編、移転等）への対応
12. 災害発生への対策
13. その他
14. 特にない
15. 分からない

## 4. 本調査\_労働者票

設問番号	設問内容
回答者条件 : 全員 QX1 THR 非	あなたは、事前のアンケートで、  「製造（製造、組立て、加工、検査、生産・品質管理、機械操作・点検・保守、梱包等）業務の全部または一部を他社から請負って（受託して）いる」  とお答えになりました。本アンケートでは、その「受託（請負）業務」についてうかがいます。 合紙 【この設問文はモニター回答時には画面に表示されません】
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q1 SA 必	あなたの性別をお答えください。  1. 男性 2. 女性
回答者条件 : 全員 Q2 NF 必	あなたの年齢をお答えください。  1. <input type="text"/> 歳
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q3 SA 必	あなたの現在の雇用形態について、お答えください。  1. 正社員（無期雇用社員） 2. 契約社員 3. パート・アルバイト 4. 嘱託社員 5. 派遣社員 6. 日々雇用 7. その他 <input type="text"/>
回答者条件 : 全員 表示形式 : ラジオボタン Q4 SA 必	現在の会社での勤続はおよそ何年になりますか。  1. 1年未満 2. 1年～3年未満 3. 3年～5年未満 4. 5年～10年未満 5. 10年以上

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q5

SA



あなたが従事している業務の生産品目について、最もあてはまるものを選んでください。

1. 事務用機械器具・部品
2. 電子部品・デバイス
3. 電気機械器具・部品
4. 情報通信機械器具・部品
5. 輸送用機械器具・部品
6. 鋼材・金属
7. 化学品（医薬品・化粧品・化学肥料・塗料など）
8. 食料品・飲料品
9. 衣料品・日用品・消耗品
10. 建築・住宅資材
11. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q6

SA



あなたが従事している業務について、主に従事しているものを選んでください。

1. 加工
2. 組み立て
3. 検査
4. 梱包
5. 運搬（構内）
6. 生産（工程）・品質管理
7. 機械操作・点検・保守
8. その他

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q7

SA



あなたが従事している業務に関し、発注者（顧客）の従業員の方から直接指示を受けることがあると思いますか。

1. よくあると思う
2. たまにあると思う
3. ないと思う
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q8

SA



あなたが従事している業務の現場では、誰と一緒に働いていると思いますか。最も当てはまるものを選んでください。

1. 自社の従業員と一緒に働いていると思う
2. 発注者（顧客）の従業員と一緒に働いていると思う
3. 他の請負事業者の従業員と一緒に働いていると思う
4. その他
5. 分からない

回答者条件 : 全員

Q9

MA



現在あなたが在籍している会社で、これまでにどのような教育・研修を受けましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 入社時研修
2. 安全衛生の研修（入社時研修の中で受けた場合も含む）
3. 技能（スキル）アップのための研修
4. 「ものづくり」の基本的な知識を習得する研修
5. 現場改善に役立つ研修
6. IT化、自動化、デジタル化に係わる研修
7. 資格取得のための研修
8. 現場管理者やリーダーになるための研修
9. その他
10. 受けたことがない

回答者条件 : 全員

Q10

MA



教育・研修に対するあなたのお考えについてお伺いします。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 教育・研修についてはあまり考えたことがない
2. 教育・研修を受ける必要はない、受けたくない
3. 教育・研修を受けて、知識・技能（能力）を高めたい
4. 教育・研修を受けて、賃金を上げたい
5. 受けたい教育・研修がない
6. 教育・研修は就業時間内に実施してほしい
7. 会社の教育・研修ではなく、自分自身で自主的に研修を行う
8. その他
9. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q11

MTS



あなたは、次の項目について、現在、在籍している会社から受けたことがありますか。それぞれあてはまるものを選んでください。

===== 項目 =====

1. 今後の仕事やキャリアについての面談を受けたこと
2. 今後の昇進や仕事の見通し、能力向上の目標など（キャリアパス）を示されたこと※キャリアパスとは、目標とする職務や職位に就くために必要なスキルや経験、そこに到達するまでの順序や道筋のことです。

===== 選択肢 =====

1. 定期的にある
2. たまにある
3. ない
4. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q12

SA



キャリアパス（アップ）に対するあなたの考えについてお伺いします。最もあてはまるものを選んでください。

※キャリアパスとは、目標とする職務や職位に就くために必要なスキルや経験、そこに到達するまでの順序や道筋のことです。

1. キャリアパス（アップ）に積極的に取り組んでいきたい
2. キャリアパス（アップ）の機会があれば取り組んでいきたい
3. キャリアパス（アップ）に取り組んで行こうとは思わない
4. キャリアパス（アップ）を負担に感じる
5. キャリアパス（アップ）について特に何も考えていない
6. その他
7. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q13

MTS



現在、在籍する会社における、あなたの能力や仕事上の貢献を評価する仕組みや処遇への反映などについてお伺いします。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

===== 項目 =====

1. 能力や仕事上の貢献を評価する仕組みはありますか
2. 能力や仕事上の貢献を評価する仕組みの説明はありますか
3. 能力や仕事上の貢献を処遇への反映（給与など）はありますか
4. 能力や仕事上の貢献の評価結果に基づいて、能力やその貢献の向上のための助言や指導などを行う面談はありますか

===== 選択肢 =====

1. ある
2. ない
3. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q14

SA



あなたは、今年度の賃金はおよそどれくらい上がりましたか。

1. 上がらなかった（0%）
2. 1～2%程度
3. 3～4%程度
4. 5%程度以上
5. 下がった
6. 分からない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q15

SA

必

今後1～2年についてのあなたの仕事や働き方に関する希望はどのようなものですか。最もあてはまるものを選んでください。

1. 製造業務で作業員として働きたい
2. 製造業務でリーダーや管理者として働きたい
3. 製造に関わるデータ・情報処理などのより専門的な仕事をしたい
4. 製造関連ではない仕事をしたい
5. 現在、在籍する会社の他の現場で働きたい
6. 現在、在籍する会社以外で働きたい（転職したい）
7. その他
8. 特にない

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q16

SA

必

製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）の認知状況についてお伺いします。

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は知っているが、内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

回答者条件 : 全員

QX2

THR

非

製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）は、厚生労働省により設けられた、健全で優れた製造請負事業者を認定する制度です。

経営方針、ものづくり力、コンプライアンス等をはじめ、労働者にとって大切な、能力開発（教育研修）の充実や労働安全衛生・災害対策、ワークライフバランスの充実等、81項目におよぶ厳密な審査が行われ、認定されます。

※従来の107項目の審査基準は、統合等の見直しが行われ、2024年度より81項目となりました。

合紙

【この設問文はモニター回答時には画面に表示されません】

回答者条件 : 全員

表示形式 : ラジオボタン

Q17

SA

必

事業者が製造請負優良適正事業者認定制度（GJ認定制度）を取得しているかどうかは、あなたが就業先（就職先）を選ぶときの判断基準（目安）の1つになると思いますか。

1. すでに判断基準（目安）の1つにしている
2. 判断基準（目安）の1つになると思う
3. 判断基準（目安）の1つにはならないと思う
4. どちらとも言えない
5. 分からない

2024年度厚生労働省委託事業 請負事業適正化・雇用管理改善推進事業  
製造請負事業実態把握調査 報告書

2025年 3月

---

一般社団法人 日本BPO協会

〒105-0004 東京都港区新橋4-5-1 アーバン新橋ビル9F

TEL:03-6721-5361 FAX:03-6721-5362